

RISOGRAPH **MD 6650W**  
取扱説明書



**RISO**

047-36005



当社は国際エネルギー・スター・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー・スター・プログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品  
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## ⚠ 注意

安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

# ごあいさつ

このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、以下の機能を備えたデジタル孔版印刷機です。

- 2色分のドラムを標準装備しており、誰でも簡単な操作で、片面のみの2色プリントや、各面1色の両面プリントができます。
- 大型液晶ディスプレイを装備し、画面上に表示されるボタンにタッチして操作する、「タッチパネル方式」を採用しています。
- 各種のガイダンスに従って操作を進める「対話方式」を採用し、高度なプリント設定も簡単に行えます。

## 取扱説明書について

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

- **RISOGRAPH MD6650W 取扱説明書(本書)**

本機の基本的な操作方法をはじめとして、便利な機能の操作方法、高度なプリント機能の設定方法について説明しています。

また、使用上のご注意、各種消耗品の取り扱いや交換方法、トラブル発生時の対処方法についても記載しています。

- **MD シリーズ ナビゲートブック**

2色プリントやかんたん分版のしくみや操作の流れ、うまくプリントするコツなどをわかりやすく紹介しています。

- **リソープリンタドライバ 取扱説明書／インストール手順書**

パソコンから本機にプリントするときの操作手順を説明しています。

- **ソフトデジタイザ取扱説明書**

ソフトデジタイザ機能をお使いになるときの操作方法について説明しています。

本機をご使用になる前、また、ご使用中不明な点があるときに、それぞれの説明書をお読みいただき、本機とともに末永くお役立てください。

**RISO** は理想科学工業株式会社の登録商標です。

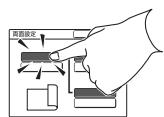
**RISO i Quality System™** は理想科学工業株式会社の商標です。

 は理想科学工業株式会社の商標です。

# 機能一覧

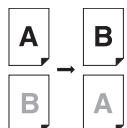
製版、印刷の通常のプリント動作の他に、設定できる主な機能の一覧です。

## 製版時に設定する機能



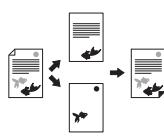
### 両面設定(☞ P.75)

原稿のセット方向と仕上がりを設定します。



### 刷り面入替(☞ P.172)

プリントする面を入れ替えます。



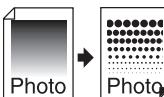
### かんたん分版(☞ P.106)

1枚の原稿でもかんたんに分版してプリントします。



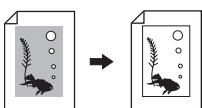
### 原稿モード(☞ P.68)

原稿の種類に適したモードを選択できます。



### 網点(☞ P.78)

写真原稿に網点をかけて鮮明にプリントします。



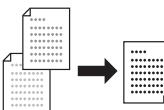
### コントラスト強調(☞ P.79)

写真の原稿の明暗を調節します。



### トーンカーブ選択(☞ P.80)

写真の明暗を調節します。



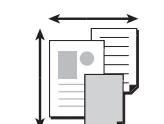
### 読み取濃度(☞ P.70)

原稿を読み取る濃度を選択できます。



### 変倍設定(☞ P.71)

原稿を拡大／縮小してプリントします。



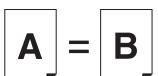
### 用紙サイズ(☞ P.74)

印刷用紙が不定形のとき、用紙サイズを設定します。



### 連続(☞ P.77)

製版から印刷までの動作を自動的に連続して行います。



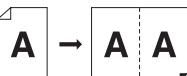
### ①=②濃度追従(☞ P.118)

ドラム 2 側の印刷時のインク量が少なくなるように製版します。



### 省インク(☞ P.81)

インクを節約してプリントします。



### 連写、かんたん連写(☞ P.82)

1枚の用紙に多面取りしてプリントします。



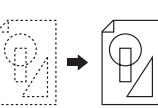
### シングル製版(☞ P.116)

片方のドラムの原稿だけを差しかえて製版します。



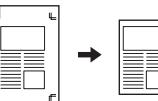
### フルサイズ製版(☞ P.105)

用紙サイズに関わらず、最大印刷範囲で製版を行います。



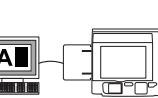
### 再製版、オート再製版(☞ P.169)

最後に製版したマスターのデータを利用して製版しなおします。



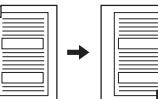
### レイアウト原稿(☞ P.102)

トンボ付きの原稿のトンボをカットしてプリントします。



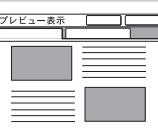
### 180 度回転(☞ P.179)

パソコンで作った原稿データを 180 度回転プリントします。



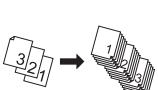
### とじしろ(☞ P.103)

印刷物にとじしろを付けます。



### プレビュー表示(☞ P.114)

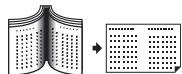
製版する前に画像を確認できます。



### 逆順印刷(☞ P.173)

原稿を、読み込んだ順番と逆に(最後→最初の順に)印刷します。

## 製版時に設定する機能



### ブックモード(☞ P.100)

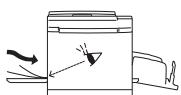
雑誌や本のとじ部分の影を消去してプリントします。

## 印刷時に設定する機能



### 印刷速度、ハイスピード(☞ P.120)

印刷速度を調節できます。



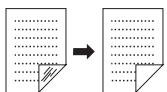
### 重送検知(☞ P.126)

印刷用紙の重ね送りを監視します。



### 印刷濃度(☞ P.122)

印刷濃度を調節できます。



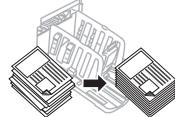
### インターバル印刷(☞ P.127)

印刷の裏移りを防ぎます。



### 印刷位置、①=②位置追従(☞ P.123)

印刷位置を調節できます。



### 排紙ウイング特殊(☞ P.128)

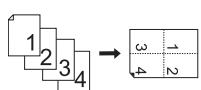
特殊な用紙を使用する場合、設定します。



### 試し刷り(☞ P.125)

印刷の仕上がりを確認します。

## その他の機能



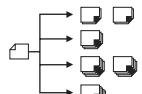
### 面付け(☞ P.92)

複数枚の原稿を1枚の用紙に収めてプリントします。



### 環境設定(☞ P.185)

使用状況に合わせて、各種設定の初期値を変更します。



### プログラム(☞ P.149)

指定した枚数にグループ分けしてプリントします。



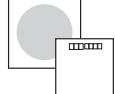
### POP／お気に入り(☞ P.194)

よく使う機能を登録すると、ワンタッチで呼び出すことができます。



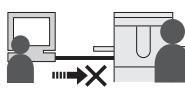
### メモリー(☞ P.161)

プリント時に行った各種の設定を登録／呼び出しができます。



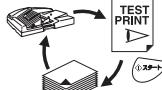
### 用紙サイズ登録(☞ P.196)

定形外サイズの用紙を使用してプリントできるように登録します。



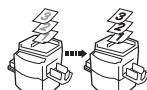
### 占有延長(☞ P.167)

パソコンからのデータ出力指示による割り込みプリントを防止します。



### AFオート製版(☞ P.175)

試し刷りを確認しながら、RISOオートフィーダーDX-1を使ったプリントを行います。



### アイドリング(☞ P.168)

長時間使用していなかったときに、刷り始めのかすれを防止します。



### 認証設定(☞ P.136)

認証ユーザーの登録や認証方式などの設定をし、ユーザー認証を有効にします。



### 機密(☞ P.166)

機密書類の複製を防止します。

以下は、ホールド機能を用いた機能です。

**ホールド、USB メモリ(☞ P.212)**

メモリーカード DM128CF、または USB メモリに保存した原稿データを呼び出してプリントします。

**スキャンモード(☞ P.206)**

紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、画像データを保存できます。

**オーバーレイ(☞ P.215)**

本機で読み取った原稿とホールドデータや USB メモリに保存している画像データを合成して片面にプリントします。

**名入れ(☞ P.218)**

本機で読み取った原稿とホールドデータで片面 2 色プリントできます。

**両面合成(☞ P.224)**

本機で読み取った原稿とホールドデータで両面プリントできます。

連携機 Prioa(別売)を接続すると、次の機能が設定できます。

**連携機情報の設定(☞ P.235)**

連携機や装着しているオプション機能を使用できるように設定を変更します。

**連携機のオプション機能(☞ P.241)**

連携機や装着しているオプション機能を使用するときの各種設定を行います。

# 目次

<b>機能一覧</b> .....	<b>2</b>
製版時に設定する機能 .....	2
製版時に設定する機能 .....	3
その他の機能 .....	3
印刷時に設定する機能 .....	3
<b>文中の表記について</b> .....	<b>11</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>12</b>
設置場所について .....	12
電源の接続について .....	12
アースの接続について .....	12
取り扱いについて .....	13
インクについて .....	13
<b>ご使用の前に</b> .....	<b>14</b>
設置上の注意 .....	14
ご使用上の注意 .....	15
印刷用紙に関する注意 .....	16
印刷範囲について .....	17
原稿に関する注意 .....	18
印刷に関する注意 .....	19
<b>各部の名称とはたらき</b> .....	<b>20</b>
給紙側 .....	20
排紙側 .....	21
操作パネル .....	22
<b>ディスプレイ</b> .....	<b>24</b>
画面の移り変わり .....	24
<b>モードについて</b> .....	<b>27</b>
プリントモード .....	27
スキャンモード .....	27
RLP モード .....	27
<b>基本画面の見かた</b> .....	<b>28</b>
紙原稿をプリントする場合 .....	28
ディスプレイ上のボタンについて .....	28
パソコンの原稿データをプリントする場合 .....	29
<b>本機のプリントモードと使用するドラムの関係</b> .....	<b>30</b>
両面プリントの場合 .....	30
2色プリントの場合 .....	31
1色プリントの場合 .....	31
<b>両面プリントの流れ</b> .....	<b>32</b>
<b>2色プリントの流れ</b> .....	<b>34</b>
<b>1色プリントの流れ</b> .....	<b>36</b>

---

## 基本操作

<b>プリント前の準備</b> .....	<b>40</b>
給紙台と用紙のセット .....	40
排紙台のセット .....	41
<b>原稿をセットする</b> .....	<b>43</b>
原稿台ガラスにセットする .....	43
RISO オートフィーダー DX-1 (オプション) にセットする .....	43
<b>紙原稿をプリントする</b> .....	<b>45</b>
両面プリントする .....	45
2枚の原稿で2色プリントする .....	49
1色プリントする .....	53

パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ] .....	58
パソコンから指示をしてプリントする (ダイレクトプリント) .....	58
USB メモリからプリントする (USB メモリ) .....	61
出力指示の変更 .....	63
本機での停止タイミングの変更 .....	65

---

## 製版するときに設定する機能

原稿に適したモードを選択する [原稿モード] .....	68
原稿の読み取り濃度を選択する [読み取り濃度] .....	70
原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白] ..	71
固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍] [周囲余白] .....	72
縦横比を変えた拡大／縮小 [独立変倍] .....	72
ズームでの拡大／縮小 [ズーム変倍] .....	73
不定形用紙に印刷する [用紙サイズ] .....	74
両面設定をする [両面設定] .....	75
続けてプリントする [連続] .....	77
写真に網点をかける [網点] .....	78
写真の明暗を調節する [コントラスト強調] .....	79
写真の階調を調節する [トーンカーブ選択] .....	80
インクを節約する [省インク] .....	81
1枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写] .....	82
連写を使用するときの注意 .....	83
プリントモード別の連写の仕上がり .....	85
かんたん連写の操作のしかた .....	87
「1 原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた .....	88
チケット連写の操作のしかた .....	90
1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け] .....	92
N アップの操作の仕方 .....	94
4 頁冊子／小冊子の操作の仕方 .....	97
雑誌や本をプリントする [ブックモード] .....	100
原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿] .....	102
製版位置を調整する [とじしろ] .....	103
フルサイズで製版する [フルサイズ製版] .....	105
1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版] .....	106
かんたん分版の種類 .....	106
かんたん分版の操作手順 .....	111
デジタイザ分版する .....	113
製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示] .....	114
片方のドラムのみ原稿を差し替える [シングル製版] .....	116
2つのドラムの濃度を同じにする [①=②濃度追従] .....	118

---

## 印刷するときに設定する機能

印刷速度を変える [印刷速度調節] .....	120
高速で印刷する [ハイスピード] .....	121
印刷濃度を変える [印刷濃度調節] .....	122
印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従] .....	123
両方のドラムの印刷位置をそろえる .....	124
試し刷りをする [試し刷り] .....	125
特殊な用紙を使うときの紙づまりを防ぐ [重送検知] .....	126
裏移りを少なくする [インターバル印刷] .....	127

## 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

[排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定] .....	128
排紙ウイング特殊を設定する [排紙ウイング特殊] .....	129
給紙に関しての設定をする [特殊給紙調整] .....	129
排紙に関しての設定をする [特殊排紙調整] .....	130
調整値リストへの登録と名称入力 .....	131
調整値リストから呼び出す [特殊用紙設定] .....	132
特殊用紙設定の設定内容の変更 .....	133
特殊用紙設定の消去 .....	134

---

## いろいろな機能を使う

認証設定をする [認証設定] .....	136
設定項目について .....	138
認証設定の流れ .....	139
認証方式の選択 .....	140
認証の範囲（認証有無）の設定 .....	141
管理者／ユーザーの登録 .....	142
管理者／ユーザー登録の変更 .....	145
ユーザー登録の消去 .....	146
グループの名称入力 .....	147
全ユーザーの利用枚数のクリア .....	148
グループ（クラス）分けしてプリントする [プログラム] .....	149
プログラムの種類 .....	149
プリント方法 .....	151
プログラムの設定 .....	151
プログラムの登録 .....	153
プログラムを呼び出してプリントする .....	154
プログラムの名称入力 .....	155
プログラムを消去する .....	157
プログラムの設定内容の変更 .....	157
かんたん分版とドリル印刷を組み合わせて使う .....	158
メモリー機能を使う [メモリー] .....	161
メモリーの登録 .....	162
メモリーを呼び出してプリントする .....	163
メモリーの名称入力 .....	164
メモリーを消去する .....	165
機密書類の複製を防止する [機密] .....	166
割り込み印刷を防止する [占有延長] .....	167
アイドリングをする [アイドリング] .....	168
再製版する [再製版] [オート再製版] .....	169
再製版を実行する .....	170
[オート再製版] を使う .....	171
印刷する面を入れ替える [刷り面入替] .....	172
最後のページからプリントする [逆順印刷] .....	173
試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版] .....	175
RISO オートフィーダー DX-1 への原稿のセット方法を選択する	
[AF 読取面指定] .....	176
読み取り面の指定 .....	178
原稿を 180 度回転して製版する [180 度回転] .....	179
各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計] .....	180
利用枚数を出力する .....	181
お知らせ日を設定する .....	181
ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録] .....	183
初期設定を変更する [環境設定] .....	185
設定可能な項目一覧 .....	185
初期設定の変更のしかた .....	191

よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り] .....	194
不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録] .....	196
用紙サイズの登録と名称変更 .....	196
登録した用紙サイズの消去 .....	198
印刷済みのマスターを安全に管理する [プロジェクト] .....	199

## **原稿データを保存して活用する**

原稿データの保存と活用方法について .....	204
紙原稿をデータ保存する [スキャンモード] .....	206
紙原稿をスキャンする .....	207
データの情報設定をする .....	209
保存サイズを指定する .....	211
保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USB メモリ] .....	212
保存データの呼び出しかた .....	212
データの並び順を変える .....	213
[ホールドデータ呼出] 画面／ [USB データ呼出] 画面の使いかた .....	214
保存データを活用する [オーバーレイ] [名入れ] [両面合成] .....	215
保存データを合成する [オーバーレイ] (1色プリント時) .....	216
原稿と保存データで2色プリントする [名入れ] (2色プリント時) .....	218
原稿と保存データで両面プリントする [両面合成] (両面プリント時) .....	224
保存データをコピー／移動する .....	231

## **連携機 Priva (別売) を接続して使う**

連携機を使用したプリント機能について .....	234
自動振分 .....	234
RLP モード .....	234
連携機を使うための準備 [RLP 情報設定] .....	235
連携機情報を設定する .....	235
設定項目一覧 .....	236
紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード] .....	239
連携機のオプション機能を使う .....	241
設定可能な項目一覧 .....	242
両面印刷のしかた [両面] .....	245
RISO オートフィーダー DX-1 を装着している場合 .....	247

## **消耗品を交換する**

消耗品の残量を確認する .....	252
マスター交換のしかた .....	253
インクボトル交換のしかた .....	256
排版ボックスのマスターの処理 .....	258
ドラムのセット (カラー・チェンジ) .....	260
ドラムの取り出しかた .....	260
ドラムのセットのしかた .....	261
使用済み消耗品の回収、廃棄について .....	262

## **お手入れ**

クリーナーについて .....	264
お手入れのしかた .....	265

---

## こんなときには

メッセージが表示されたときは .....	270
エラーメッセージの見かた .....	270
ワーニングメッセージ（ウインドウ表示）の見かた .....	280
消耗品情報入力画面が表示されたときは .....	292
「故障？」と思ったとき .....	295

---

## 付録

消耗品について .....	304
オプションについて .....	305
仕様 .....	306
索引 .....	309



# 文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

## ■ 注意事項等のマークについて

全ページ通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。



気をつけていただきたいことや禁止事項などを記載しています。  
よく読んで指示に従ってください。



参照ページを示しています。



原稿を表しています。



本機をご利用いただく上で、知っておくためになる情報や便利な情報を記載しています。



ディスプレイ上のボタンにタッチすることを表しています。

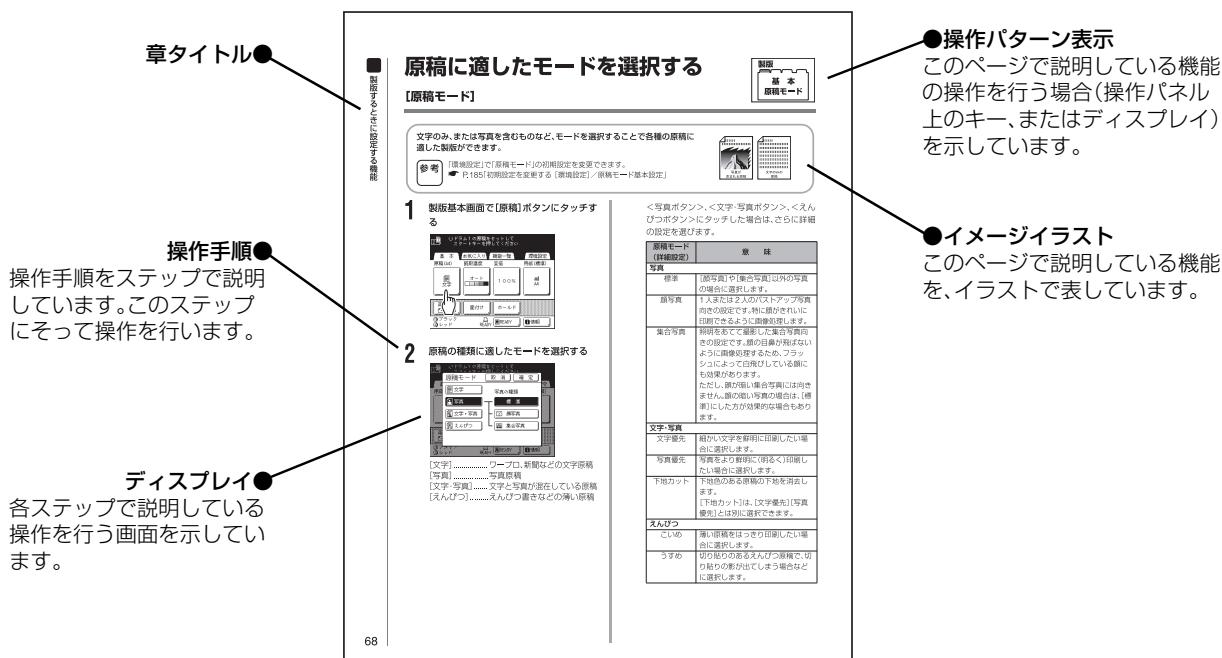


印刷物を表しています。

「△警告」および「△注意」については P.12 をご覧ください。

## ■ 操作説明や機能説明の表記について

機能や操作説明は、次のような表記で行っています。



## ■ 本書で使用している用語について

製版	..... 原稿を読み取ってマスターを作成する動作
印刷	..... 製版されたマスターを使用して用紙に印刷する動作
プリント	..... 製版から印刷までの動作
押す	..... 操作パネルのキーを押すとき

タッチする ..... ディスプレイ(液晶パネル)のボタンを押すとき

ジョブ ..... 出力可能な状態となった原稿データ

初期設定 ..... 電源を「ON」にしたときの設定値(各画面に表示される値)

## ■ 本書の記載内容・使用している画面やイラストについて

- ディスプレイのイラストは、初期設定では表示されていないボタンや、オプションを装着した場合にのみ表示されるボタンも、表示している状態で記載しています。
- 本書の操作例では、基本的にドラム 1 を「ブラック」、ドラム 2 を「レッド」として説明しています。

# ⚠ 安全上のご注意

本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

## 警告表示について

本機を正しくお使いいただき人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、次のような警告表示を使用しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠ 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

**⚠ 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

## 設置場所について

### ⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

## 電源の接続について

### ⚠ 警告

- 電源 90 ~ 100V の範囲内で、電流 10A 以上の電源をご使用ください。火災、感電のおそれがあります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。延長コードが必要なときは 125V/10A 以上の規格のケーブルを使用し、5m 以上延長しないようにしてください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 同梱の電源コードは本機専用です。他の電気製品では使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



## ⚠ 注意

• プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください(必ずプラグを持って抜いてください)。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

• 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

• 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

## アースの接続について

### ⚠ 警告

• アース線を必ず接続してください。  
アースの接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。  
アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。



- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けてください。火災、感電のおそれがあります。
  - ガス管
  - 電話専用アース線
  - 避雷針
  - 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを、65cm 以上地中に埋めたもの
  - 接地工事(第 1 種～第 3 種)が行われている接地端子
  - 水道局がアースの対象物として承認した水道管

## 取り扱いについて

### △警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機の近くで、可燃性のスプレー や引火性溶剤などを使用しないでください。  
スプレーのガスや引火性溶剤が機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。



- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



### △注意

- 給紙台や排紙台回りのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。
- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないようにご注意ください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。
- 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因となることがあります。

- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。
- クリーニングを使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。クリーナー使用後は必ず手を洗ってください。
- 本機を移動する場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。無理に移動させると、機械が転倒して、けがの原因となることがあります。

## インクについて

### △注意

- 目に入った場合は、速やかに多量の水でよく洗い流してください。
- 皮膚に付いた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。
- 誤って飲み込んだ場合は、吐かせずに多量の水(または牛乳)を飲ませ、様子をみてください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 印刷中は充分な換気を行ってください。
- 印刷以外の用途には使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

# ご使用の前に

本機をご使用になる際に気をつけていただきたいことや、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。

## 設置上の注意

### 設置場所について

- 本機の設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。本機を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。
  - 直射日光のある場所や窓際などの明るい場所(やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください)
  - 温度が急激に変化する場所
  - 高温多湿、低温少湿の場所
  - 火気・熱気のある場所、クーラー等の冷風、ストーブ等の温風、ふく射熱などが直接あたる場所
  - 通気性、換気性の悪い場所



### 使用環境について

- 本機が水平に設置できる場所を選んでください。(設置の水平度:前後10mm以下、左右10mm以下)



- 適正環境は次のとおりです。

温度範囲: 15 °C ~ 30 °C

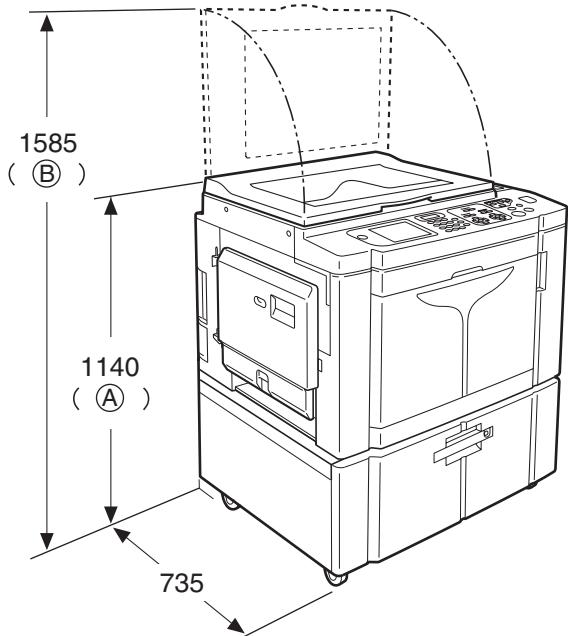


- 湿度範囲: 40%~70%  
(結露しないこと)

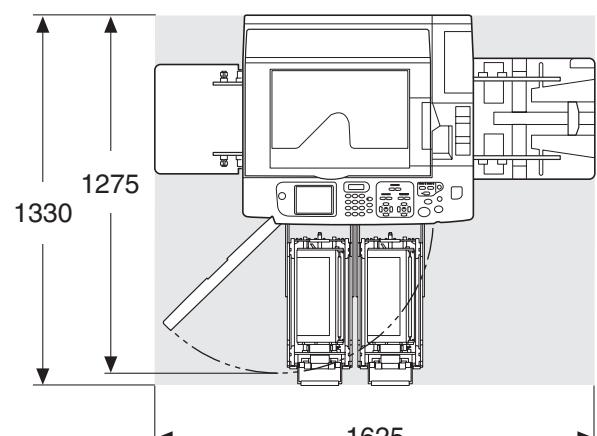


## 専有面積について

本機は給紙台、排紙台を広げたり、ドラムを引き出す場所を必要とするため、以下のスペースが必要です。



上から見た図



単位:mm

オプション装着時は、さらに以下のスペースが必要となります。

	装着オプション
	RISOオートフィーダーDX-1
Ⓐ	+115mm
Ⓑ	+20mm

## ご使用上の注意

### 電源の接続について

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。



- 本機はコンセントの近くに設置してください。
- 本機には、電源を「ON」にしたまま、一定時間使用しないときに、自動的に消費電力を下げる、または電源を「OFF」にして電力を節約する「省エネモード」機能および、決まった時間に本機の電源を「OFF」にする「シャット OFF」機能が搭載されています。
  - P.188「省エネモード」
  - P.188「シャット OFF 時刻」

### 操作について

- 動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中にカバーを開けたり、機械を移動させたりしないでください。
- カバー類の開閉は静かに行ってください。
- 機械の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたたりしないでください。

### 取り扱いについて

- 機械内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 機械を移動するときは、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

### USB メモリについて

- マスストレージクラスに対応した USB メモリをご使用ください。ご使用の USB メモリの種類によって、正常に動作しない場合があります。
- USB メモリを接続または取り外しする際は、正しい手順で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- 天災や不測の事態により、USB メモリデータが損傷した場合、USB メモリ内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

### 消耗品などの保管について

用紙、マスター、インクなどの消耗品やドラムは正しく保管してください。

次のような場所での保管は、おやめください。

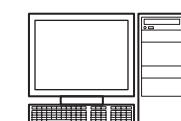
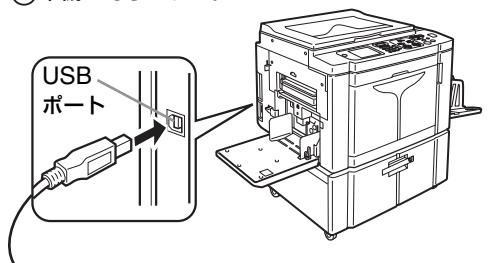
- 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
- 温度が急激に変化する場所
- 高温多湿、低温少湿の場所

### パソコンとの接続について

本機をパソコン（対応 OS:Windows XP/Vista）と接続して、パソコンで作成した原稿データを直接本機でプリントできます。

市販のUSBケーブル（3m以内、Hi-Speed USB規格準拠品）で、本機とパソコンを接続してください。

①本機のUSBポートへ



②パソコンのUSBポートへ

接続する前にパソコンと本機の電源を入れ、本機のディスプレイに初期画面が表示された状態で行ってください。

#### 参考

パソコンとネットワーク接続する場合は、オプションのネットワークインターフェース（RISO Network Card）と市販のイーサネットケーブル（10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したシールドケーブル）が必要です。詳細については、「RISO Network Card 取扱説明書」を参照してください。

## ソフトウェアについて

同梱のCD-ROMには次のソフトウェアを収録しています。

### RISO Printer Driver

初めてプリントを行うときにはインストールが必要です。パソコンから原稿データを送信してプリントするためのプリンタドライバです。

ご使用方法については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」を参照してください。

### リソーユーティリティソフトウェア

「理想集計アプリケーション」と「理想 USB メモリマネージャー」の 2 つのソフトウェアが収録されています。

- 理想 USB メモリマネージャー

原稿データの情報を、パソコン上で管理するアプリケーションです。

- 理想集計アプリケーション

USB メモリに出力した利用枚数データを、パソコン上で管理するアプリケーションです。

ご使用方法については、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

#### 参考

#### RISO Network Card(オプション)

本機をネットワークプリンタとして Windows パソコンから使用するためには、ネットワークインターフェース(RISO Network Card)が必要です。RISO Network Card をインストールすると、パソコンから本機の状態を確認できるモニタリング機能を利用できます。

## 印刷用紙に関する注意

### 印刷に使用できる用紙について

印刷用紙は、機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」、「理想環境用紙」の使用をおすすめします。詳細については、本体お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

本機仕様に定められている範囲を超える用紙をご利用いただく場合は、その紙に対しての通紙および印刷に関しては製品保証対象外となります。

#### サイズ

##### 【両面プリント】

使用できるサイズ、向き:A4 縦※、B4 縦※、A3 縦※

※ 天地方向に長い向き

##### 【2色プリント】

最小:182mm × 257mm(B5 サイズ)

最大:320mm × 432mm ※

##### 【1色プリント(ドラム 1 使用)】

最小:100mm × 148mm(ハガキサイズ)

最大:320mm × 432mm ※

##### 【1色プリント(ドラム 2 使用)】

最小:182mm × 257mm(B5 サイズ)

最大:320mm × 432mm ※

※ 長尺モード使用時は、天地 555mm まで使用できます。ただし、ドラム 2 のみの 1 色プリント(ドラム 1 取り出し)で、印刷速度がハイスピードのときは 364mm になります。

#### 参考

- 本機は、[用紙サイズ登録] を設定することで、天地 555mm までの長尺用紙を使用(通紙)できます。
  - ➡ P.196「不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]」
  - ➡ P.197「奉書(長尺の用紙)にプリントするときは」

#### 重さ

以下の範囲内の上質紙、中質紙、白更、上更、更紙、画用紙、再生紙(古紙パルプ配合率 100%など)などが使用できます。

46g/m<sup>2</sup> ~ 210g/m<sup>2</sup>

(40kg 連量:四六判~ 180kg 連量:四六判)



- 両面プリント時は、62g/m<sup>2</sup> ~ 68g/m<sup>2</sup>(53kg 連量:四六判~ 58.5kg 連量:四六判)の範囲内の上質紙、中質紙、再生紙(古紙パルプ配合率 100%など)が使用できます。

- 本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙の重さ」であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご相談ください。
- 不適切な印刷用紙の使用は、紙詰まりや故障、印刷品質の低下の原因になることがありますので注意してください。
- 給紙フェンスや排紙フェンス、ストッパーは、必ず印刷用紙のサイズに合わせてセットしてください。  
P.40「プリント前の準備」
- 画用紙などの厚紙や滑りやすい紙を使用するときは、給紙圧調節レバーや排紙台の紙揃えプレートを調節してください。  
P.40「プリント前の準備」
- 裁断が悪い用紙や表面が粗い紙(画用紙など)は、よくさばいてから使用してください。
- 横目の用紙は紙詰まりの原因になる場合がありますので、用紙は縦目のものを使用してください。
- 使用する紙によっては機械の使用時に紙粉が発生することがあります。清掃、換気を充分に行うように心がけてください。

## 用紙の保管について

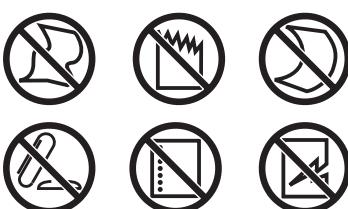
用紙は湿気の少ない場所に保管してください。湿気を含んだ用紙は、紙詰まりや印刷品質の低下の原因になります。



## 印刷に適さない用紙について

次のような用紙は、紙詰まりなどの原因となりますので使用しないでください。

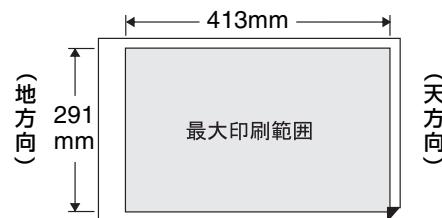
- 紙厚の薄い用紙( $46\text{g}/\text{m}^2$ ( $40\text{kg}$  連量:四六判)未満)
- 紙厚の厚い用紙( $210\text{g}/\text{m}^2$ ( $180\text{kg}$  連量:四六判)を超えるもの)
- 感熱紙、表カーボン紙等、化学処理した用紙
- しわ、カール、折り曲がり、破損(破れ)などの激しい用紙
- 表または裏がコーティングされている用紙
- 先端がギザギザになっている用紙
- アート紙
- 糊付け、穴あけがある用紙



## 印刷範囲について

### 最大印刷範囲

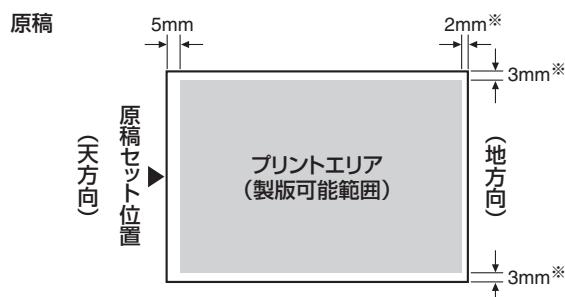
本機で印刷可能な範囲(最大印刷範囲)は次のとおりです。



**重要**  
最大サイズ( $320\text{mm} \times 432\text{mm}$ )の用紙、あるいは長尺用紙(天方向 555mm まで)を使用したときでも、上記の最大印刷範囲内に印刷されます。

### プリントエリア(製版範囲)について

原稿のサイズにかかわらず、給紙台にセットした用紙サイズで、プリントエリア(製版可能範囲)が決まります。プリントエリアは、印刷用紙サイズに対して、下図の余白を除いた範囲です。原稿は、あらかじめこの余白を考慮して作成してください。



\* この数字は、A3 サイズ以下または B4 サイズ以下の用紙をセットした場合の余白です。

A4( $297\text{mm} \times 210\text{mm}$ )サイズの印刷用紙(縦方向セット)の場合、プリントエリアのサイズは $290\text{mm} \times 204\text{mm}$ になります。

パソコンから原稿データを送信して印刷する場合もプリントエリアは同様です。

### 参考

- 周囲に余白のない原稿をプリントするときは、「周囲余白(縮小)」を利用すると便利です。  
P.72「固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍] [周囲余白]」
- 印刷用紙のサイズに関係なく、最大印刷範囲で製版することができます。  
P.105「フルサイズで製版する [フルサイズ製版]」

- 本書では、原稿のセット位置(RISOオートフィーダーDX-1の場合は原稿の給紙方向)の側を「天方向」と呼んでいます。



## 原稿に関する注意



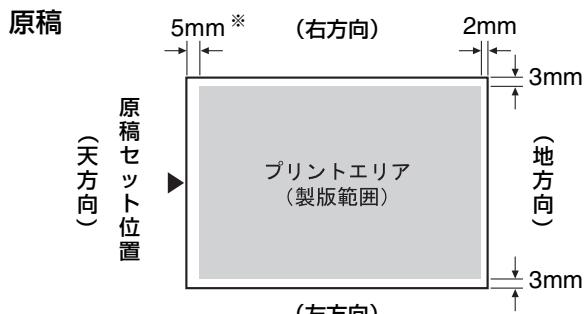
不適切な原稿の使用は、紙詰まりや印刷品質の低下の原因になることがありますので注意してください。

### 原稿の余白について

原稿の天方向には、必ず 5mm 以上の余白を取ってください。

原稿と同じサイズの用紙に等倍で印刷するときには、原稿の天地左右すべてに余白が必要です。

#### ■ 等倍でのプリントの際に必要な余白



\*等倍／縮小／拡大に関係なく、天方向には 5mm 以上の余白が必要です。

### 原稿台ガラスへセットする場合

- 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにしてセットします。
- 10kg 以上の重さの原稿は、使用できません。
- しわ、カール、折れ曲がりの激しい原稿は、よく伸ばして原稿台ガラスから浮かないようにセットして

ください。浮いている部分が、黒くプリントされることがあります。

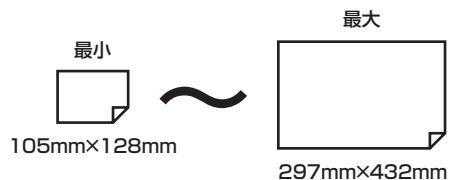
- インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。原稿台ガラスが汚れ、きれいに印刷できなくなります。

### RISO オートフィーダーDX-1(オプション) へセットする場合

約50枚までの原稿を自動的に送ることができます。両面原稿の読み取りが可能です。また、原稿の読み取り面(オモテ面／ウラ面)を指定することができます。

- P.176「RISO オートフィーダーDX-1への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]」

- 原稿サイズ



- 原稿(用紙)の重さ

「AF 読取面指定」の設定により異なります。

- P.176

[オモテ面→片面] の場合

$40\text{g}/\text{m}^2 \sim 128\text{g}/\text{m}^2$

(35kg 連量:四六判～ 110kg 連量:四六判)

[ウラ面→片面]、[両面→片面] の場合

$52\text{g}/\text{m}^2 \sim 105\text{g}/\text{m}^2$

(45kg 連量:四六判～ 90kg 連量:四六判)

- サイズの異なる原稿を混ぜてセットしないでください。

- 一度にセットできる原稿は約 50 枚までです。 $(80\text{g}/\text{m}^2 (69\text{kg} \text{連量:四六判})$ 以下の原稿使用時)

- 次の原稿は RISO オートフィーダーDX-1 では使用できません。原稿台ガラスにセットしてください。

- 切り張りされたもの
- しわ、カール、折れ曲がりが激しいもの
- 糊付け、穴あけがあるもの
- 破れていたり、先端がギザギザなもの
- 感熱紙、カーボン紙等化学処理されたもの
- OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透視度が高いもの
- 修正液、糊などを使用しているもの
- 紙厚の薄い原稿( $50\text{g}/\text{m}^2$  未満)
- 紙厚の厚い原稿( $128\text{g}/\text{m}^2$  を超えるもの)
- アート紙、コート紙などの表面が滑りやすいもの
- 2 枚以上重ねたもの、またはクリップやステープラーでとじてあるもの
- キャリアシート(別売)

## 印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

### 法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券(たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

#### 参考

- 関係法律
- 通貨及ビ証券模造取締法
  - 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
  - 郵便切手類模造等取締法
  - 印紙等模造取締法
  - 紙幣類似証券取締法



### 営利目的での印刷を禁止されているもの

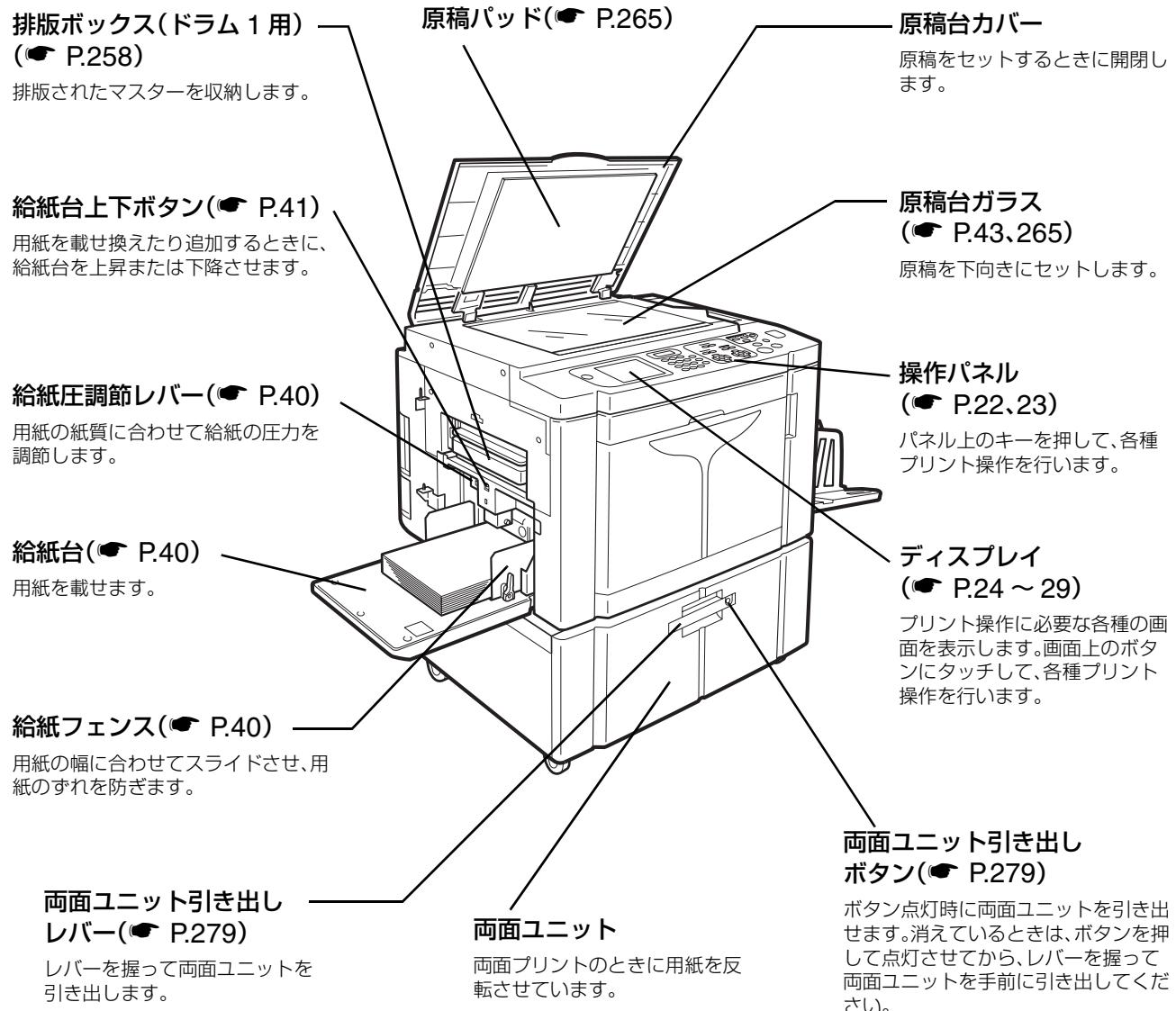
次のような複写は、おやめください。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写(個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています)

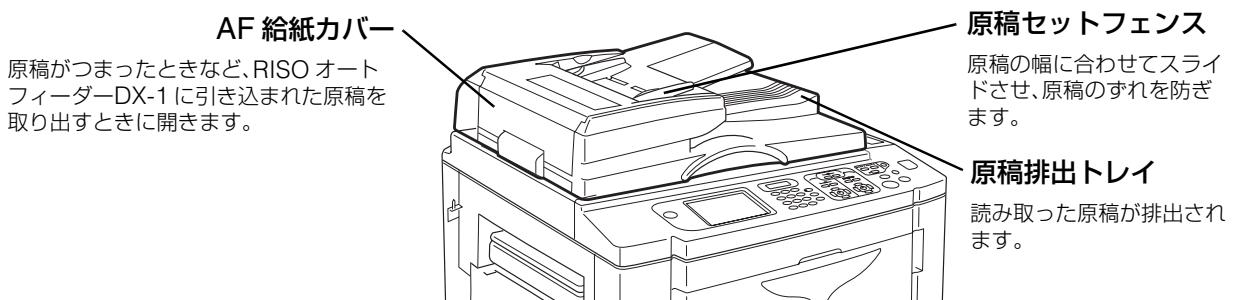


# 各部の名称とはたらき

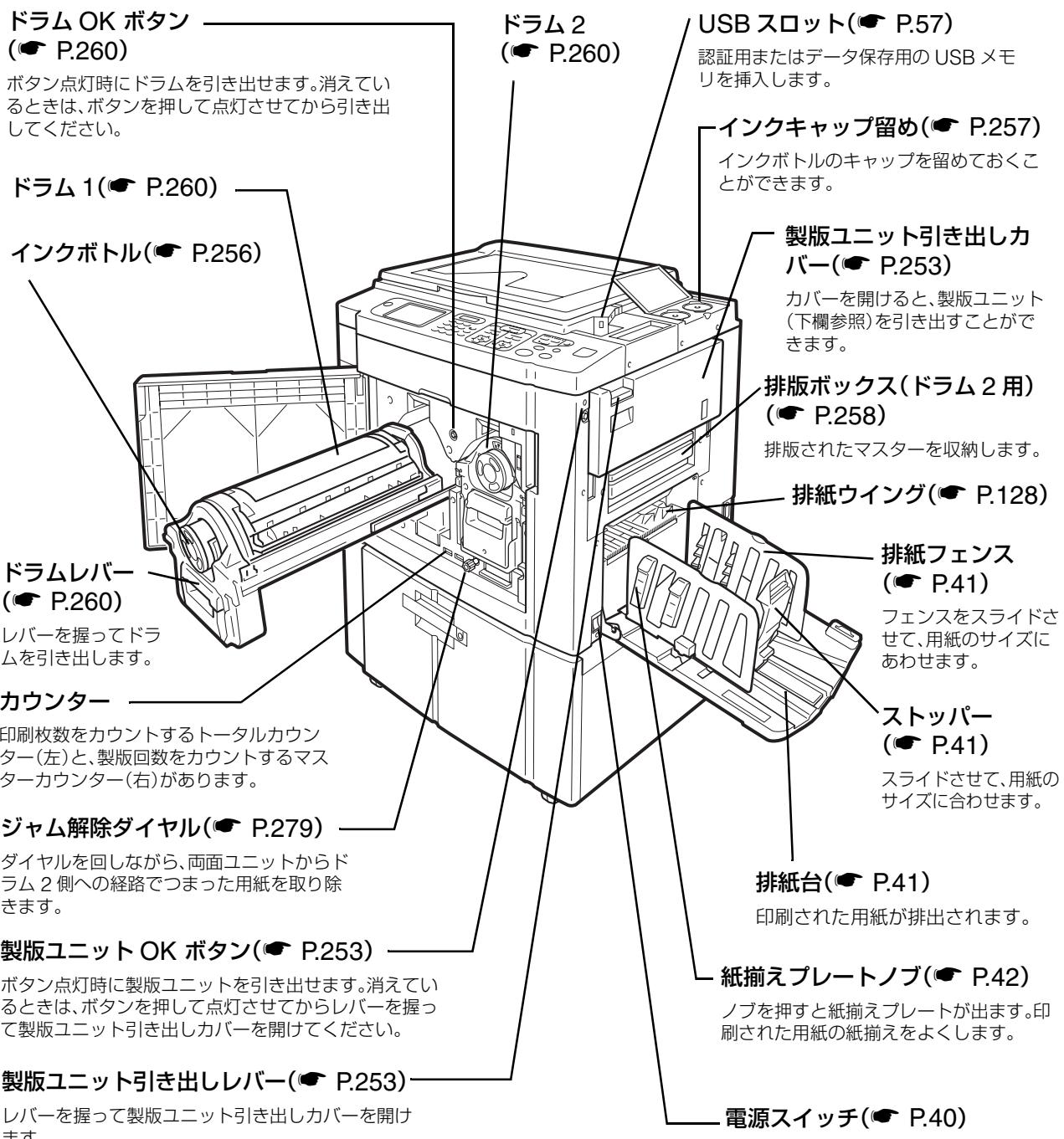
## 給紙側



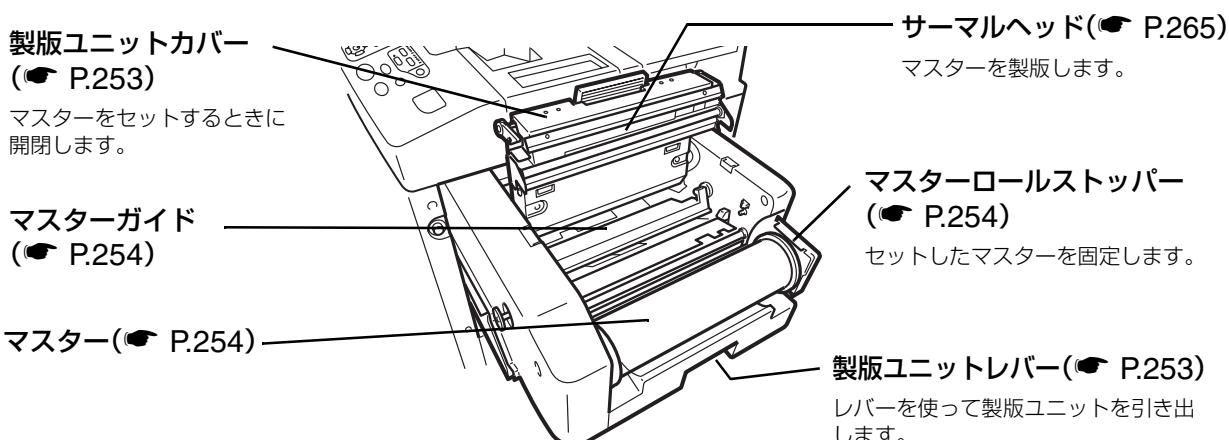
## RISO オートフィーダーDX-1(オプション)



## 排紙側



## 製版ユニット引出し時



## 操作パネル

操作パネルは、<スタート>キーや<ストップ>キーなどの実装キー、および各種のメッセージや機能ボタンなどを表示する大型ディスプレイで構成されています。

ここでは各実装キーの名称とはたらき、ディスプレイ各部の名称について説明しています。

### ■ 操作パネル左部分

#### モードキー(☞ P.24)

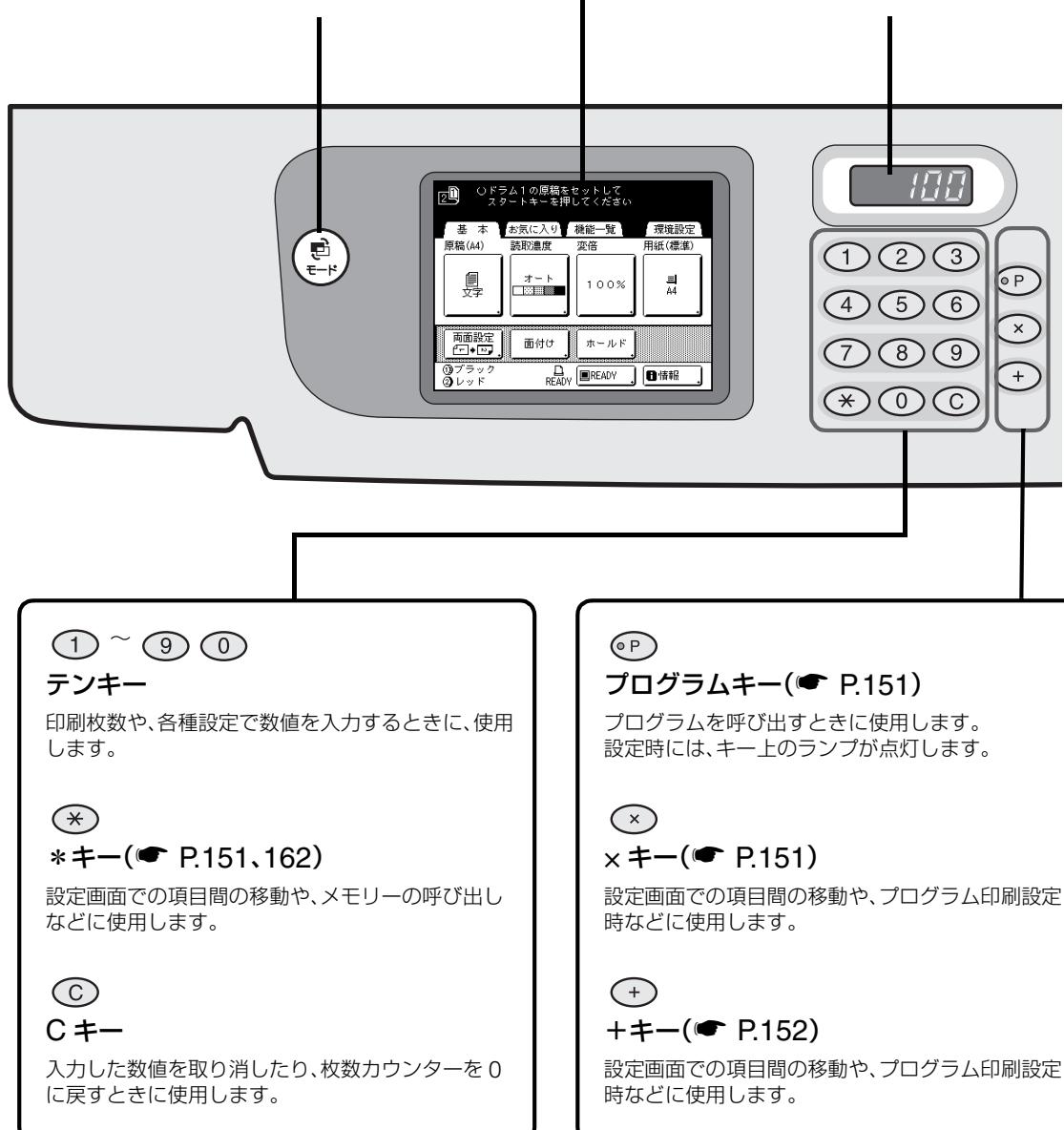
モードを切り替えるときに押します。  
画面の切り替わり方は設定によって異なります。

#### ディスプレイ(☞ P.24)

モードを切り替えるときに押します。

#### 枚数カウンター

印刷枚数や各種設定で入力した数値を表示します。



## ■ 操作パネル右側部分

### 印刷濃度調節キー／ランプ(ドラム1用、ドラム2用) (☞ P.122)

印刷濃度を5段階で調節できます。キー上部のランプは、そのときの濃度を表示しています。

### 印刷速度調節キー／ランプ(☞ P.120)

印刷速度を5段階で調節できます。キー上部のランプは、そのときの速度を表示しています。さらに高速で印刷したい場合は、「ハイスピード」(☞ P.121)をご利用ください。

### プログレスバー



点灯／点滅位置により、現在のモードとプリントの進捗状況がわかります。(下欄参照)

### 製版キー

製版ができる状態にします。

### 印刷キー

印刷ができる状態にします。

### 連続キー(☞ P.77)

製版、印刷を連続して行います。  
設定時には、キー左部のランプが点灯します。

### ウェイクアップキー (☞ P.49)

節電状態から起動させます。  
本機が認証状態にある場合はログアウトします。

### リセットキー

すべての設定を初期値に戻すときや、トラブル処理後にディスプレイのトラブル表示を解除するときなどに使用します。

### ストップキー

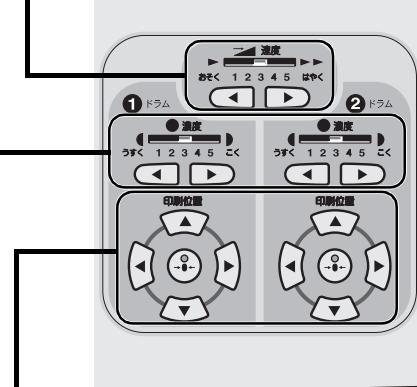
実行中の動作を中止します。ただし、製版動作中は製版終了後に停止します。

### 試し刷りキー(☞ P.125)

試し刷りをするときに使用します。

### スタートキー

製版や印刷の開始、各種動作の実行に使用します。  
動作が可能なときはランプが点灯、動作が不可のときは消灯します。



### 印刷位置調整キー／ランプ (ドラム1用、ドラム2用)(☞ P.123)

製版後に、印刷位置を天地(上下)左右方向に0～10mmの範囲で調整できます。キー上部のランプで、センターからの移動方向を確認できます。<センター>キー(⑧)を押すと、調整前の位置に戻ります。

### プログレスバーの表示と本機の状態(□ 点灯 ▨ 点滅 ■ 消灯)



製版中



製版可能

(製版ランプの点灯が1目盛ずつ増える)



製版可能 (連続 ON)



印刷中

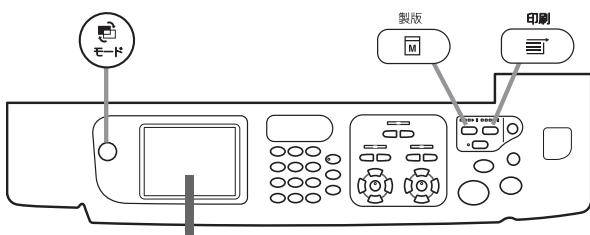


印刷可能

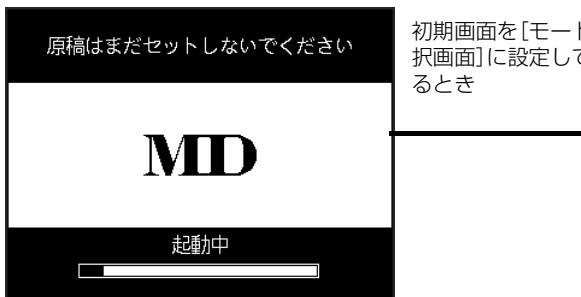
製版／印刷処理が途中で止まると、プログレスバーの点灯状態も途中で止まり、同じ位置で点灯し続けます(復帰指示待ち)。

# ディスプレイ

## 画面の移り変わり



### ■ 起動画面



電源を入れると起動画面の表示後、初期画面が表示されます。

#### 参考

#### 初期画面の設定

起動時に表示される画面を変更できます。  
☞ P.185「初期設定を変更する [環境設定]」

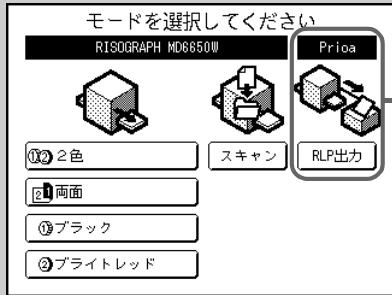
## モード選択画面



メモリーカード DM128CF または USB メモリを装着しているとき



連携機 Prioa(別売)を接続しているとき



初期画面を[製版／印刷]に設定しているとき

- 初期画面を[スキャン]に設定しているとき  
● メモリーカードDM128CFまたはUSBメモリを装着しているときに設定できます。

初期画面を[RLP]に設定しているとき

- 連携機 Prioa(別売)と接続しているときに設定できます。

#### 参考

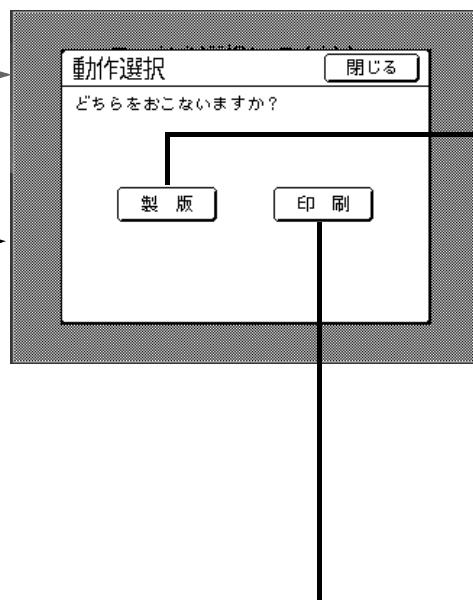
#### <モード>キーについて

モードを切り替えたいときに押します。<モード>キーを押すと、現在の画面から「モード選択画面」または「他のモードの基本画面に切り替えることができます。他のモードの基本画面が表示された場合は、変更したいモードの画面が表示されるまで<モード>キーを押してください。

<モード>キーのはたらきは、「環境設定」で設定します。(工場出荷時の設定は「モード選択画面」)(☞ P.185)



プリントモードでプリントの種類を選択すると、動作選択画面(製版／印刷)が表示されます。



※ これらは両面プリントの場合の基本画面です。  
2色または1色プリントの場合は、画面表示が異なります。

## 基本画面

### 製版基本画面\*

[2] ○ドラム1の原稿をセットしてスタートキーを押してください

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿(A4)	読み取り濃度	変倍	用紙(標準)
[文字]	[オート]	[100%]	[A4]
両面設定		面付け	ホールド
①ブラック	②レッド	READY	[情報]

### 印刷基本画面\*

[2] 印刷枚数を入力してください

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
印刷位置			用紙(標準)
[1] 0.0mm	[2] 0.0mm	[0.0mm]	[A4]
重送検知	開封検	ホールド	
①ブラック	②レッド	READY	[情報]

### スキャン基本画面

○スキャンできます

1ページ目

データ名	scan_0001	オーナー	
保存場所	1_folder	Owner-1	
基本	機能一覧	環境設定	
原稿(A4)	読み取り濃度	変倍	サイズ
[文字]	[オート]	[100%]	[オート A4]
プレビュー表示			

### RLP 基本画面

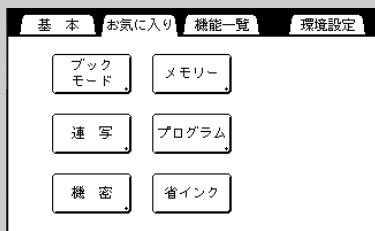
印刷枚数を入力してください

α

Priol	READY				
1 A4	2 A4D	3 A5	4 B5	5 B4	MP A3
基本	お気に入り	機能一覧	環境設定		
原稿(A4)	読み取り濃度	変倍	用紙トレイ		
[文字]	[オート]	[100%]	[オート]		
プレビュー表示		ブックモード			

## その他のタブ画面

### お気に入り画面



ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出すことができます。

### 機能一覧画面



各種機能の設定を行います。

### 環境設定画面



### 環境設定



各種機能の初期値を変更します。

#### 参考

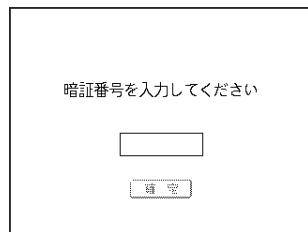
使用環境により「環境設定」が設定できない ([環境設定]が表示されていない) 場合があります。

詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

## 認証画面について

本機では、認証機能を設定することができます。 (☞ P.185「初期設定を変更する [環境設定]」) 認証が設定されている場合は、下の画面が表示されます。この画面が表示されたら、暗証番号を入力するか、認証用のUSBメモリを挿入してください。 暗証番号および認証用USBメモリについては、管理者に確認してください。

### 暗証番号入力



### 認証用 USB メモリ挿入

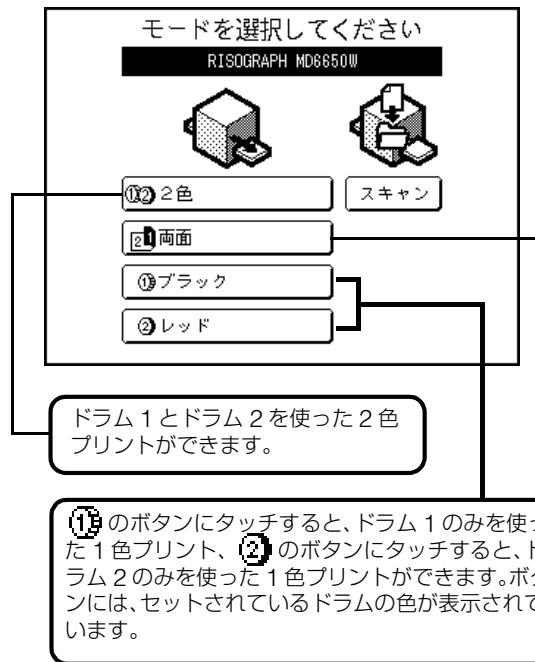


# モードについて

## プリントモード

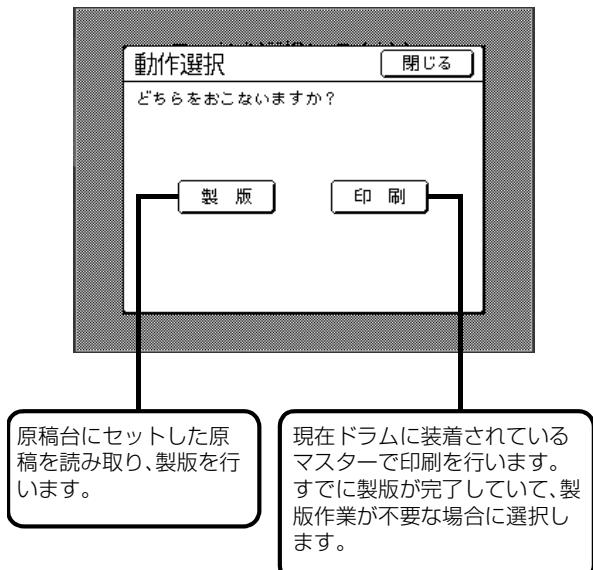
プリントするモードを選択します。

1ページ目はドラム1、2ページ目はドラム2を使った両面プリントができます。



## ■ 動作の選択

プリントの種類を選択した後に表示される[動作選択]画面では、本機の動作(これから行う作業)を選択します。



## スキャンモード

原稿台にセットした原稿を読み取り、ホールド(保存)します。

ホールドしたデータは、デジタイザ機能を利用して編集することもできます。

スキャンモードの詳細は、P.206「紙原稿をデータ保存する [スキャンモード]」をご覧ください。

## RLP モード

原稿台にセットした原稿を読み取り、本機に接続した連携機 Prioa(別売)で出力します。この工程を「RLP (RISO Local Print)出力」といいます。

少部数のプリントを行うときは、本機で製版・印刷するよりも RLP 出力した方が経済的です。

RLP モードの詳細は、P.233「連携機 Prioa(別売)を接続して使う」をご覧ください。

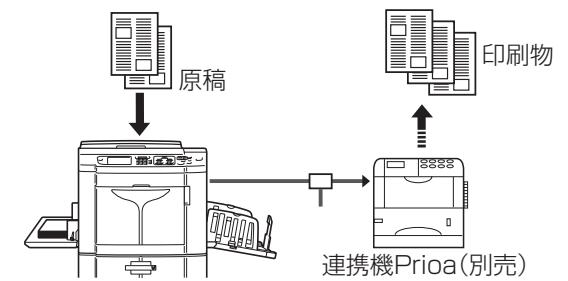
## 連携機 Prioa(別売)

少部数のプリントを行うときは、レーザープリンターなどを利用して、マスターを作成しないで印刷した方が経済的です。

連携機 Prioa を接続すると、本機で読み取った原稿を連携機から出力できます。

この工程を「RLP(RISO Local Print)出力」といいます。

☞ P.234「連携機を使用したプリント機能について」



# 基本画面の見かた

基本画面の各エリアの名称と機能を説明します。基本画面は、本機に原稿をセットしてプリントする場合と、パソコンからの原稿データを受信してプリントする場合で、表示が異なります。

## 紙原稿をプリントする場合

### メッセージエリア

本機の状態や操作指示が表示されます。  
また、プログラム( P.149)や省インクなどの機能を使ってプリントする場合は、プログラムの情報や機能のアイコンが表示されます。

### タブエリア

各タブにタッチすると、選択したタブの画面が表示されます。

### モード表示エリア

現在のプリントモードがアイコン表示されます。

- ①または② : ドラム 1 またはドラム 2 のみの 1 色プリントモード  
①② : 2 色プリントモード  
② : 両面プリントモード



### 基本機能エリア

製版／印刷時に設定できる基本機能が表示されています。  
各ボタンには、現在設定されている内容が表示されます。  
ボタンにタッチすると設定変更画面が表示されます。

### POP エリア

あらかじめ登録することで、4つまでのボタンを表示させることができます。  
よく使う機能を表示しておくと便利です。  
登録は「環境設定」で行います。  
 P.194「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」

### ステータスエリア

本機および連携機 Prioa(別売)の現在の状態を表示しています。

- ① ブラック : セットしているドラムの色  
② レッド を示しています。



: パソコンから送信された原稿データの状態を示しています。  
タッチすると、受信中の原稿データリストを確認できます。

 P.60「受信ジョブ画面について」

READY受信待ち

展開中プリントするための処理を行っています  
出力待ち出力待ち

通信 ER受信中にエラーが発生しています  
受信不可受信できません

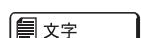


: タッチすると  情報(消耗品情報、ドラム情報、日付・時刻、  
排版ボックス空き容量、利用枚数)が確認できます

 P.252 [ 情報] <  情報ボタン>について」

## ディスプレイ上のボタンについて

ディスプレイ上のボタンは、軽く指で触れる(タッチする)ことにより選択されます。  
再度触ると選択が解除されます。  
ボタンは決して強く押さないでください。



選択されていない状態。



グレー表示されているときは、選択できません。



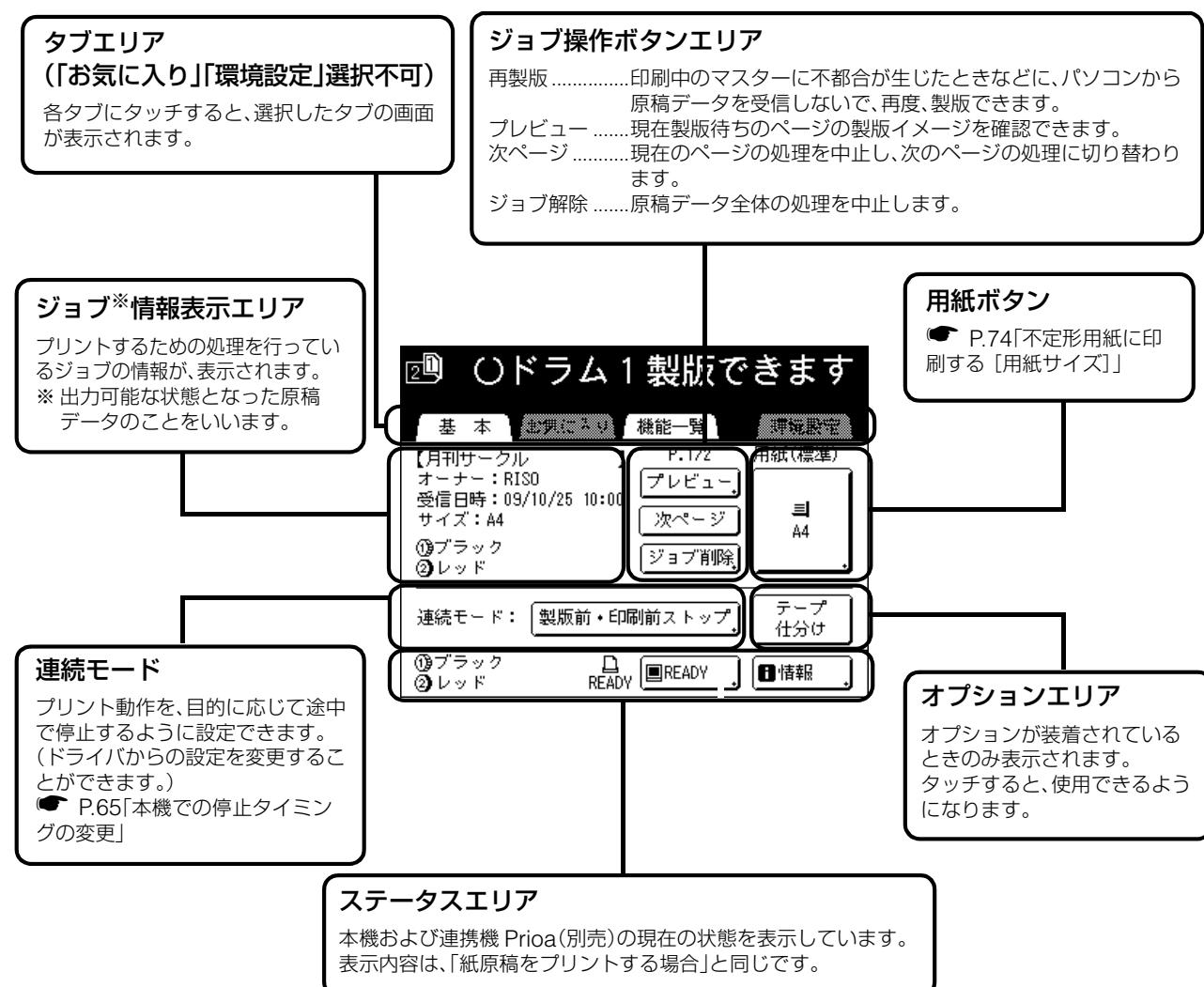
選択されている状態。



右下に + 表示があるボタンは、選択すると画面を展開したり、各種設定画面を表示します。

その他の画面については該当する機能や設定項目のページを参照してください。

## パソコンの原稿データをプリントする場合



## よく使うボタン

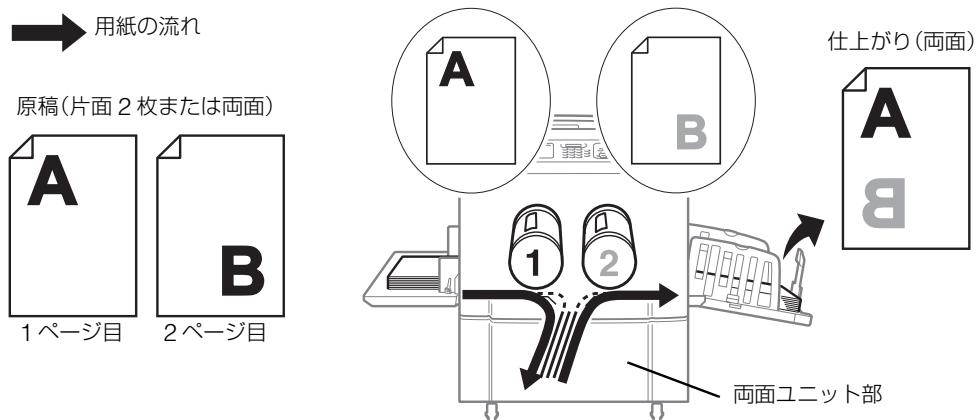
<b>確定</b>	<b>実行</b>	各種設定を実行します。	<b>◀ ▶</b>	ページを切り替えます。
<b>取消</b>		各種設定を取り消します。	<b>▲ ▼</b>	• 設定値(数字、位置など)を増減します。 • 画面をスクロールします。
<b>閉じる</b>		各種表示中のウィンドウを閉じます。		

# 本機のプリントモードと使用するドラムの関係

本機は、2本のドラムを使用して印刷しています。

## 両面プリントの場合

先に読み取った面(1ページ目)をドラム1で、後から読み取った面(2ページ目)をドラム2で製版・印刷します。印刷用紙は、ドラム1で印刷されると、ドラムの下にある両面ユニットで反転してから(裏返しになって)、ドラム2で印刷されます。



2本のドラムの色が異なる場合、片面ずつ異なる色になります。

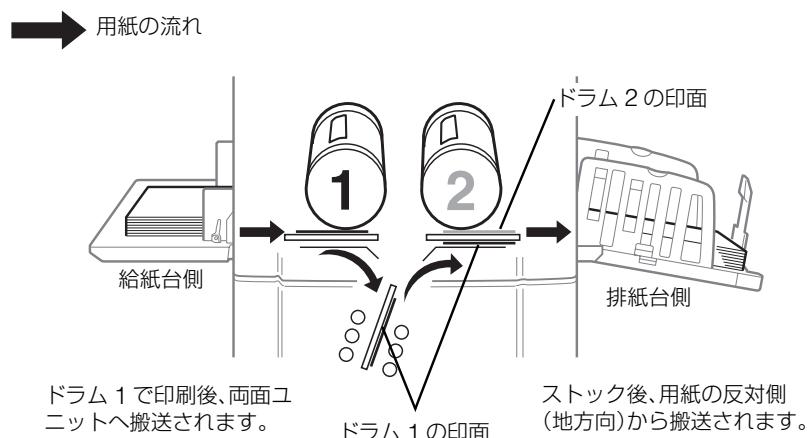
また、すぐに裏面に印刷するため、1ページ目の印刷は、濃度が薄めに設定されています。

1本のドラムで1面ずつ印刷することで両面印刷をしているため、片面2色の両面印刷はできません。

## 両面プリントのしくみ

ドラム1で印刷された用紙は、両面ユニットに送られます。

両面ユニットに、一時的にストックされた後、用紙の反対側からドラム2の下へ送られます。この時点で、用紙の印刷される面が裏に替わっています。

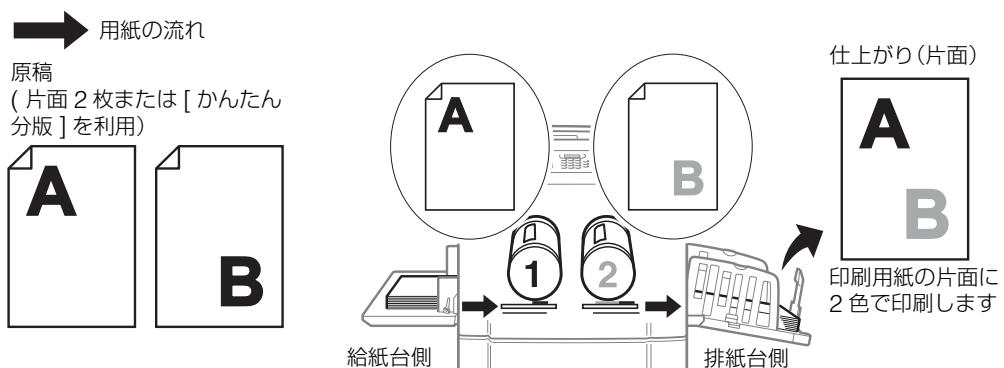


両面ユニット内部には、10枚程度の用紙がストックされるため、両面印刷時には、<スタート>キーを押すと、ドラムが回転する音がしますが、印刷用紙はすぐには出てきません。

また、印刷途中でストップした場合も、すぐには止まらず、<ストップ>キーが押された時点で、両面ユニット内にストックされている用紙を全部排出してから止まります。

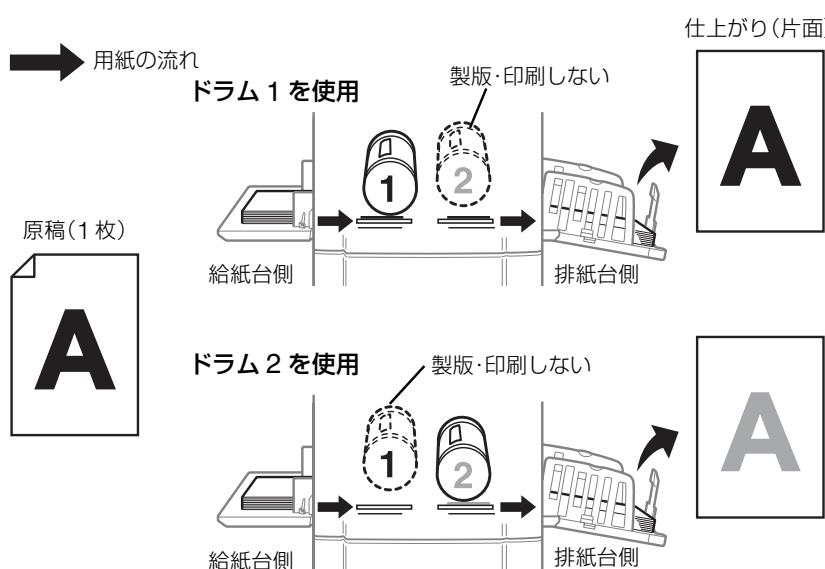
## 2色プリントの場合

先に読み取った原稿をドラム 1 で、後から読み取った原稿をドラム 2 でプリントします。  
ドラム 1 での印刷が終わると、印刷用紙はそのまま、ドラム 2 に送られ、同じ印刷面に印刷します。



## 1色プリントの場合

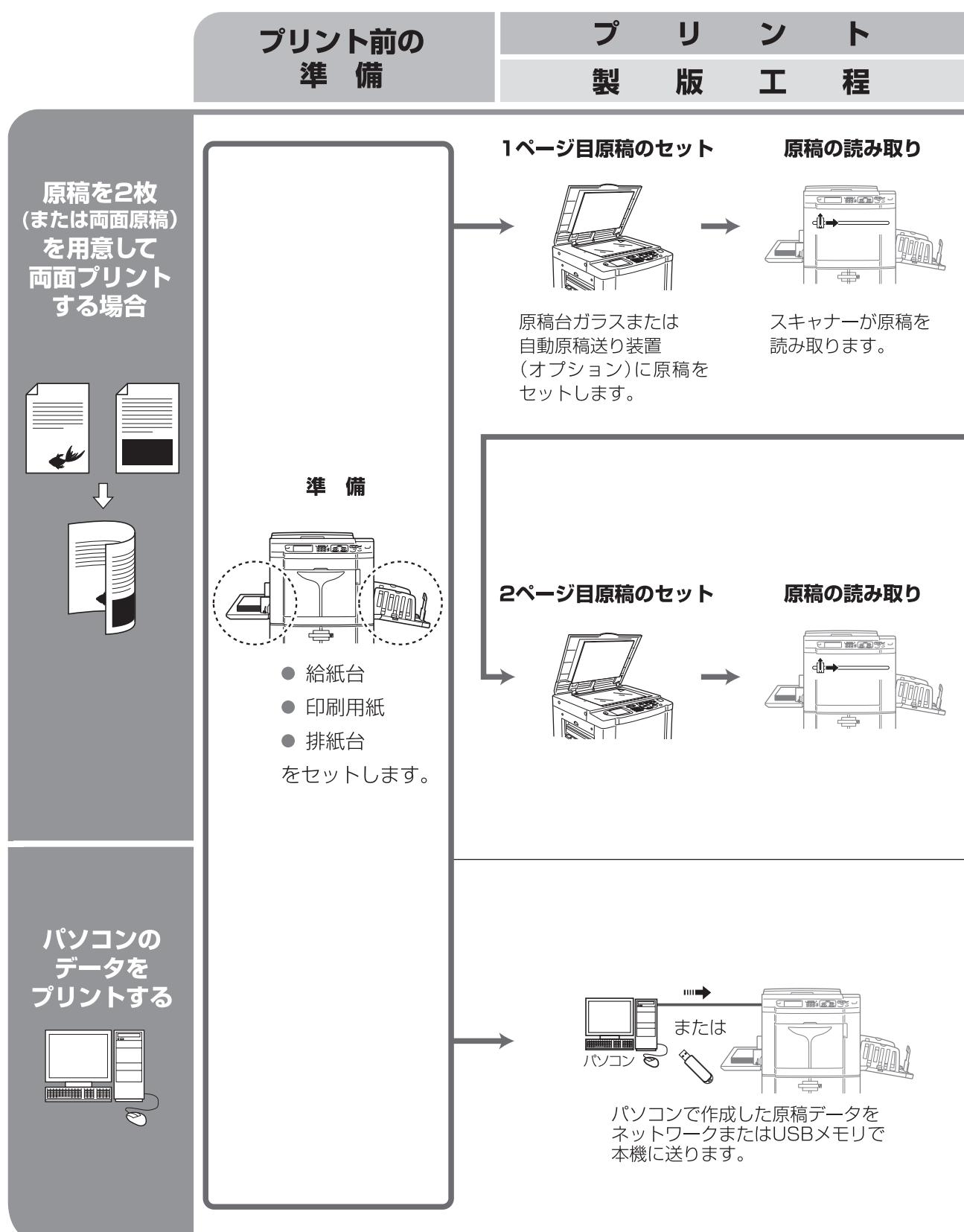
読み取った原稿を、どちらか一方のドラムで製版・印刷します。



# 両面プリントの流れ

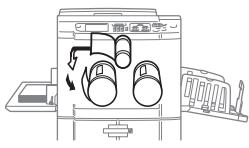
2ページ分の原稿を、印刷用紙の両面に片面1色でプリントします。  
1ページ目の原稿はドラム1で、2ページ目の原稿はドラム2で製版されます。  
以下の2つの方法でプリントすることができます。

- 紙の原稿をプリントする
- パソコンで作成したデータをプリントする



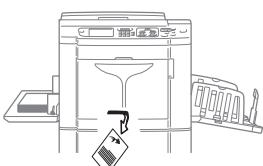
## 印 刷 工 程

### ドラム1の製版



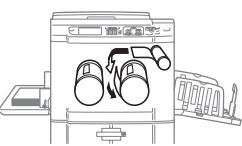
1ページ目のマスター(版)が作成され、ドラム1に巻き付けられます。

### 試し刷り①



ドラム1のみで1色刷りされた試し刷りが両面ユニットに入ります。

### ドラム2の製版



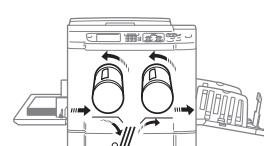
2ページ目のマスター(版)が作成され、ドラム2に巻き付けられます。

### 試し刷り①②



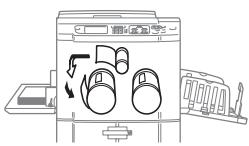
両面刷りされた試し刷りが出てきます。

### 印 刷



指定した枚数分の印刷が行われます。

### ドラム1の製版



1ページ目のマスター(版)が作成され、ドラム1に巻き付けられます。

### 試し刷り①



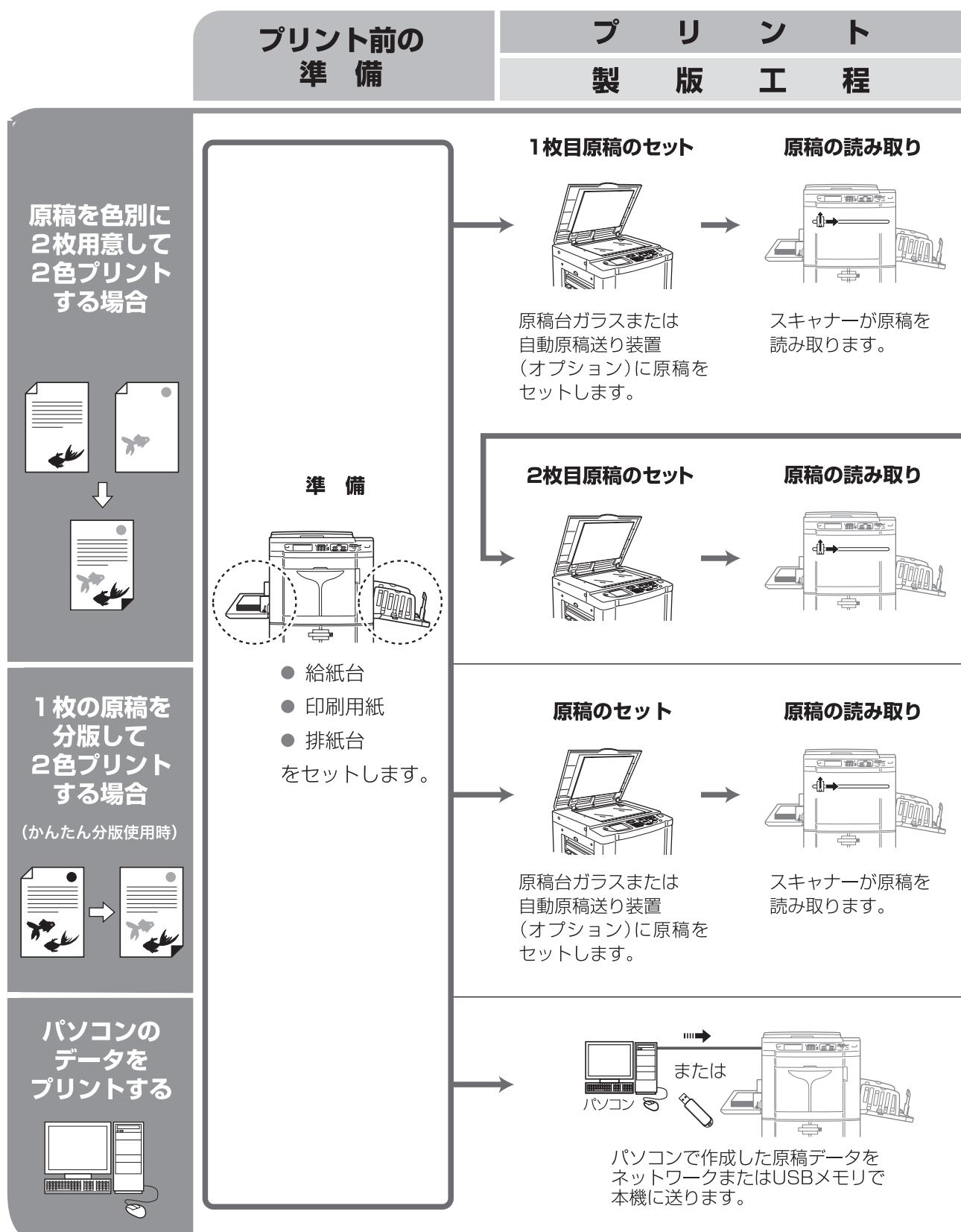
ドラム1のみで1色刷りされた試し刷りが両面ユニットに入ります。



# 2色プリントの流れ

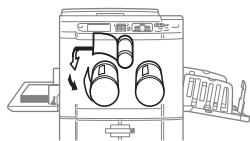
原稿の1枚目(1色目)はドラム1を、2枚目(2色目)はドラム2を使います。  
以下の3つの方法でプリントすることができます。

- 原稿を色別(ドラム1用とドラム2用)に2枚用意してプリントする
- 1枚の原稿を2色に分版してプリントする(かんたん分版を使用)
- パソコンで作成したデータをプリントする



## 印 刷 工 程

### ドラム1の製版



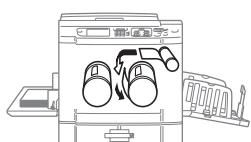
1枚目マスター（版）が作成され、ドラム1に巻き付けられます。

### 試し刷り①



ドラム1のみで1色刷りされた試し刷りが出てきます。

### ドラム2の製版



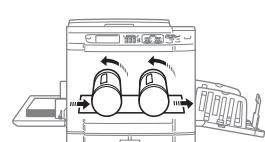
2枚目マスター（版）が作成され、ドラム2に巻き付けられます。

### 試し刷り②



2色刷りされた試し刷りが出てきます。

### 印 刷



指定した枚数分の印刷が行われます。

### ドラム1の製版



1枚目マスター（版）が作成され、ドラム1に巻き付けられます。

### 試し刷り①



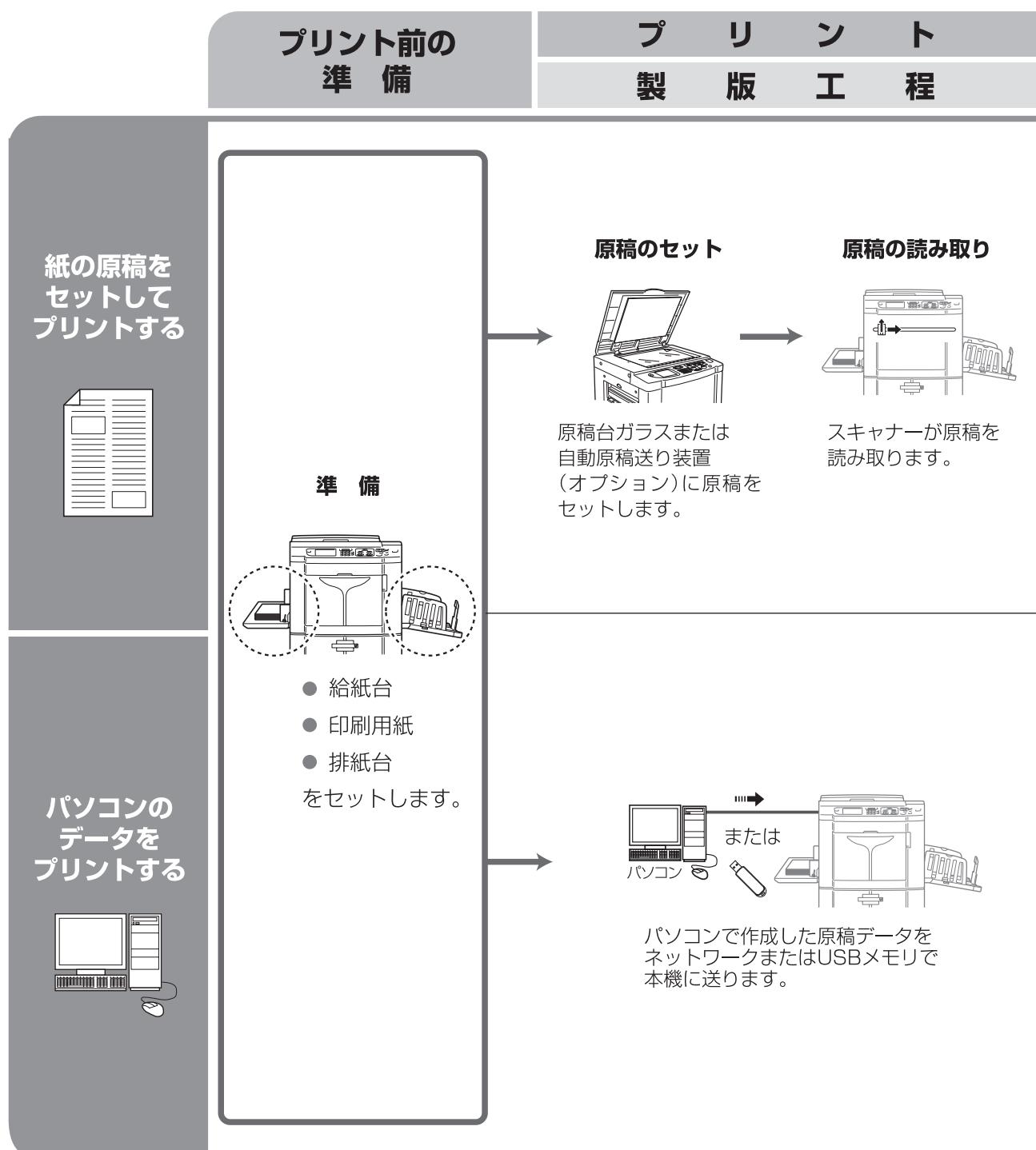
ドラム1のみで1色刷りされた試し刷りが出てきます。



# 1色プリントの流れ

プリントに使用するドラムを選択します。  
以下の2つの方法でプリントすることができます。

- ・書類や本などの紙の原稿をプリントする
- ・パソコンで作成したデータをプリントする



重要

1色プリントは、ドラム1、ドラム2のどちらでも行うことができますが、基本的にはドラム1でのプリントをお勧めします。

## 印 刷 工 程

### 製 版



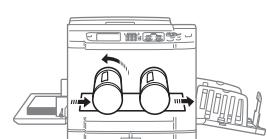
印刷のもととなるマスター（版）  
が作成され、ドラムに巻き付け  
られます。

### 試し刷り



自動的に試し刷りが行われます。  
印刷の仕上がりを確認します。

### 印 刷



指定した枚数分の印刷が  
行われます。

⋮





# 基本操作

- 40 プリント前の準備
- 43 原稿をセットする
- 45 紙原稿をプリントする
- 58 パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ]

# プリント前の準備

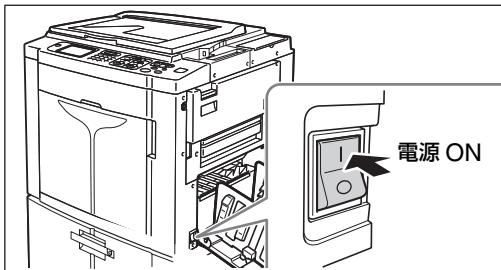
プリントを行う前に、給紙台、排紙台などをセットして、本機を使用可能な状態にします。



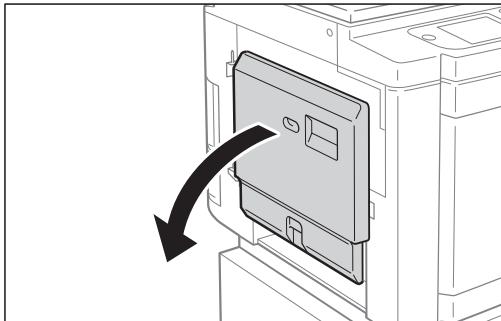
**重要** 不適切な用紙を使用したり、サイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。( P.16「印刷用紙に関する注意」)

## 給紙台と用紙のセット

### 1 本機の電源を「ON」にする



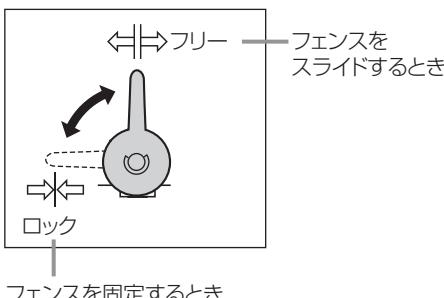
### 2 給紙台を開く



給紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

### 3 用紙をセットする

- ① 印刷する方向に用紙を置く
- ② 給紙フェンスをスライドさせて用紙にぴったりと合わせ、ロックレバーを回して固定する



**重要** 給紙フェンスは必ず、用紙にぴったりとあててください。

給紙フェンスの位置が合っていないと、正常に動作しないことがあります。

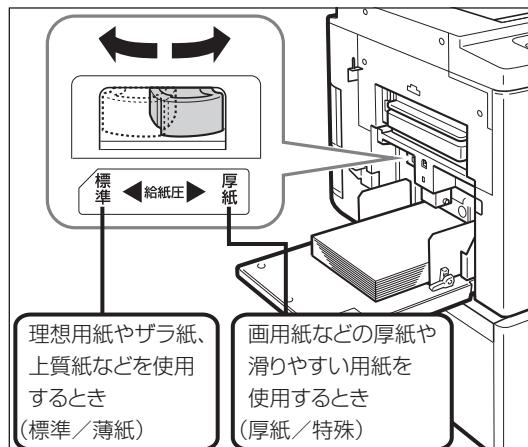


**参考** 不定形(A、B 系列以外)の用紙を使う場合は、あらかじめ登録が必要です。

( P.196「不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]」)

登録しないで使用すると、原稿が全面製版できないことがあります。

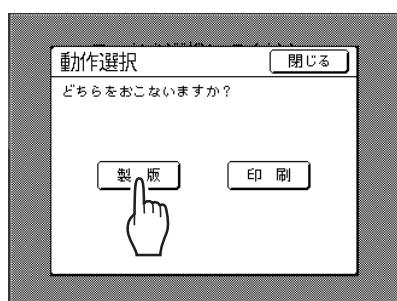
### 4 給紙圧を調節する



**参考** 給紙圧の設定状態は、基本画面の<用紙ボタン>の上に表示されます。

### 5 基本画面を確認する

- ① モードを選ぶ
- ② 動作選択画面で<製版ボタン>にタッチする



## 参考

用紙サイズはオート検知しています。定形用紙をセットしているのにサイズ表示が「不定形」になっている場合は、給紙フェンスが用紙にぴったり合っていません。  
給紙フェンスは、用紙にぴったりと合わせてください。

## 用紙の補給と載せ換え

印刷の途中で用紙を補給したり、別のサイズの用紙に載せ換えるときは、給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げるから行います。



ボタンを押し続けると、指を離した位置で給紙台が止まります。

用紙がなくなったときや用紙をすべて取り除いたときは、給紙台が自動的に最下部まで下がります。

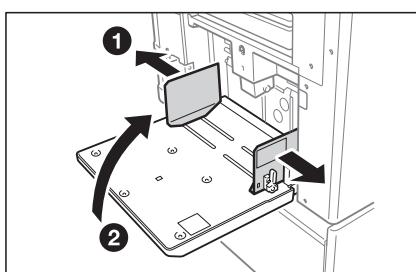


- 別のサイズの用紙に載せ換えるときは、用紙サイズに合わせて排紙フェンスやストッパーもセットしなおしてください。
- 紙質の異なる用紙に載せ換えるときは、給紙圧調節レバーを切り替えてください。

## 給紙台の閉じかた

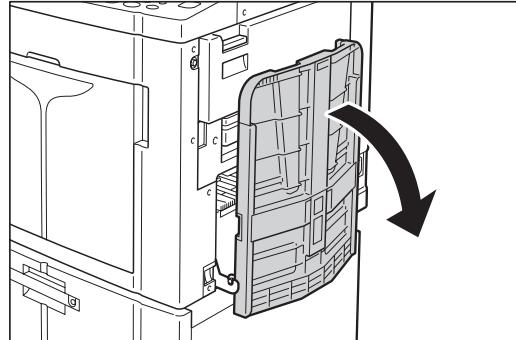
給紙台を閉じるときは、用紙を取り除いてください。

- ① 給紙フェンスを左右いっぱいに広げる
- ② 給紙台を閉じる



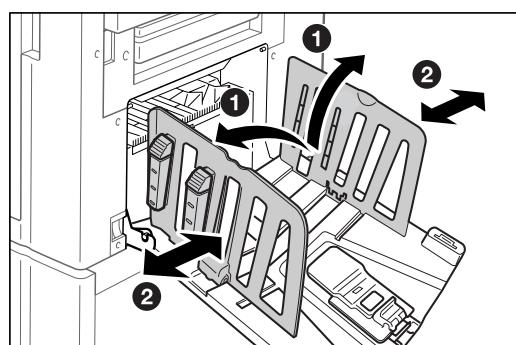
## 排紙台のセット

## 1 排紙台を開く



## 2 排紙フェンスをセットする

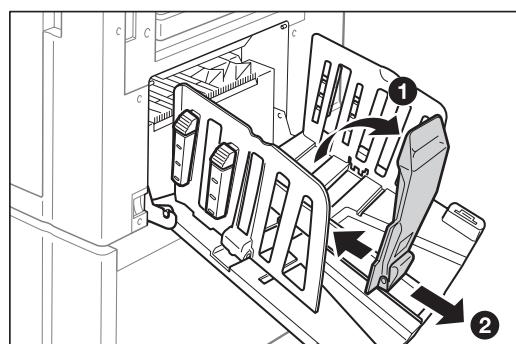
- ① 排紙フェンスを立てる
- ② 排紙フェンスの下部を持って、用紙の幅に合わせて、排紙フェンスをスライドさせる



画用紙などの厚紙を使用するときは、排紙フェンスを実際の用紙の幅より少し広めにセットしてください。

## 3 ストッパーをセットする

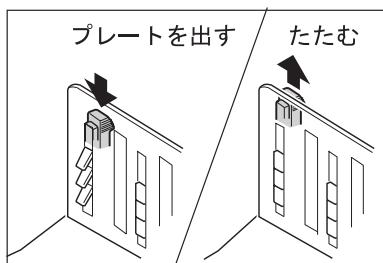
- ① ストッパーを立てる
- ② 用紙の長さに合わせてスライドさせる



## プリント前の準備

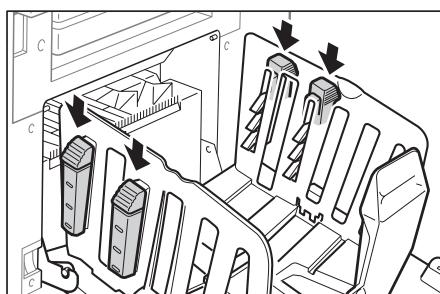
### 4 紙揃えプレートを調節する

用紙サイズやコシの強さなどによって、揃う状態が異なるので、プリントされた用紙が揃うように紙揃えプレートを調節します。  
紙揃えプレートを出すときは紙揃えプレートノブを押し、たたむときは上に引きます。



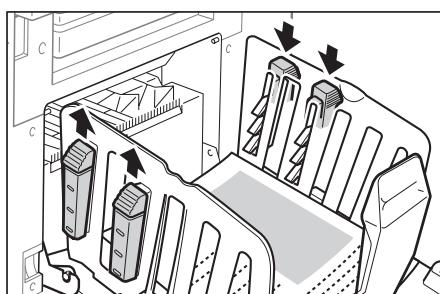
#### 通常の印刷の場合:

紙揃えプレートノブを押し、4つの紙揃えプレートをすべて出します。



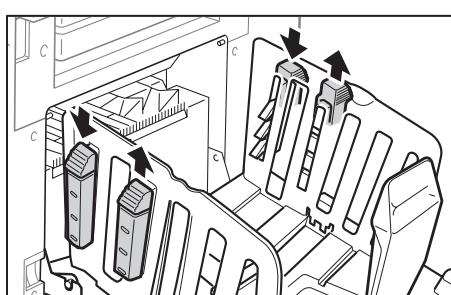
#### 印刷部分が片寄っている場合:

ベタ面の多い側の紙揃えプレートノブを押し、紙揃えプレートを出します。



#### 厚い用紙に印刷する場合:

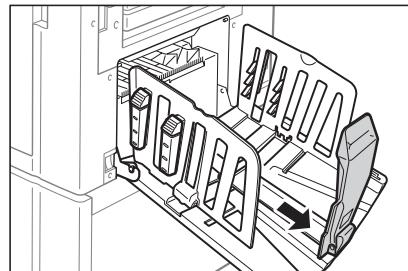
本体に近い側のみ、左右の紙揃えプレートを出します。



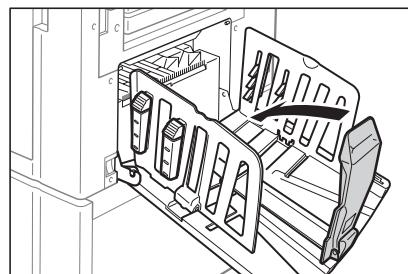
### 排紙台の閉じかた

排紙台を閉じるときは、印刷物を取り除き、以下の手順で閉じてください。

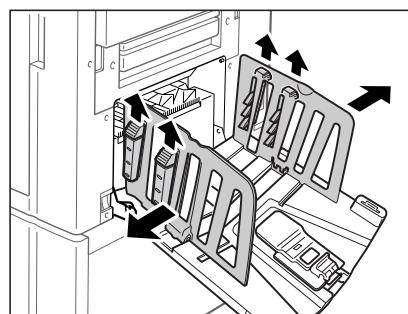
#### ① スッパーを排紙台の端まで広げる



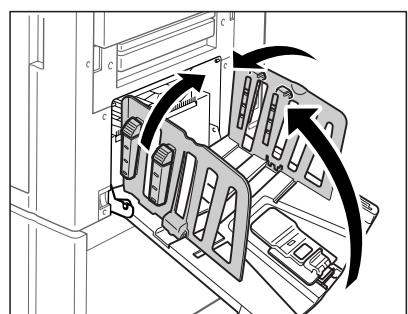
#### ② 内側に倒す



#### ③ 紙揃えプレートをたたみ、排紙フェンスを左右いっぱいに広げる



#### ④ 内側に倒す

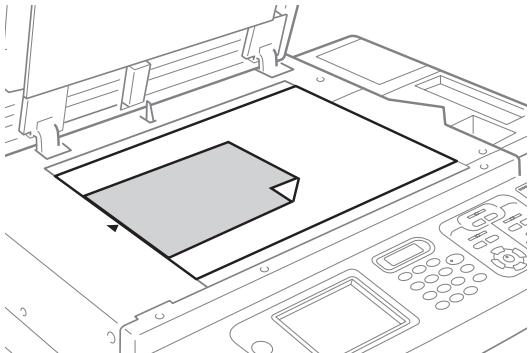


#### ⑤ 排紙台を閉じる

# 原稿をセットする

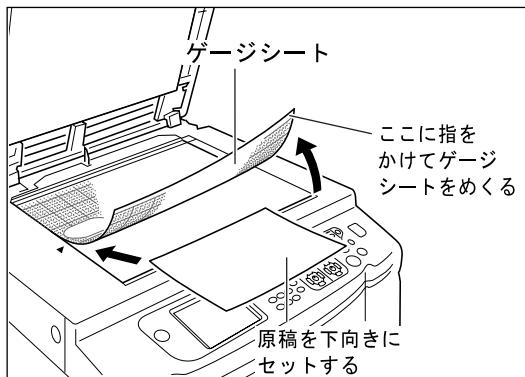
## 原稿台ガラスにセットする

原稿台ガラスに、原稿をセンター合わせで下向きにセットし、原稿台カバーを閉めてください。  
本や雑誌、切り貼り原稿などは、原稿台ガラスにセットしてください。



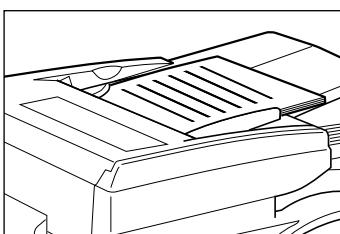
### 参考

ゲージシートが装着されている場合は、その下に原稿をセットしてください。



## RISO オートフィーダーDX-1(オプション)にセットする

複数の原稿を連続してプリントするときは、RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使用します。原稿は上向きにセットしてください。(上にあるページから読み取りを開始します。)  
原稿セットフェンスを原稿の幅に合わせ、先端を奥に当たるまで差し込みます。



### ■ 2色プリントモード、両面プリントモードでの注意

- ドラム 1、2 用の原稿を重ねてセットするときは、ドラム 1 用の原稿を上にしてください。
- ドラム 1、2 用の原稿それぞれに、異なる機能の設定をすることはできません。
- 2 色プリントモードでは、両面原稿は使用できません。

### ■ 1色プリントモードでの注意

- 両面原稿を使用する場合は、原稿をセット後、機能一覧から [AF 読取面指定ボタン] を選択し、原稿の条件を設定してください。☞ P.178「読み取り面の指定」

### 重要

- 「ブックモード」「A4 →ハガキ変倍」は設定できません。

- オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をセットすると、自動的に「連続」が「ON」になります。「連続」※を「OFF」にする場合は、<連続>キーを押してランプを消してください。

☞ P.77「続けてプリントする [連続]」

※ 「環境設定」でオートフィーダーDX-1 使用時の「連続」設定を変更することができます。

☞ P.186「初期設定を変更する [環境設定] / OP 連続自動設定」

### 参考

- 一度に約 50 枚までの原稿をセットできます (80g/m<sup>2</sup>(69kg 連量:四六判)の原稿使用時)。
- 「AF オート製版」を設定すると試し刷りで製版状態を確認できます。

☞ P.175「試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]」

- 片面プリント時の原稿を読み取る面を指定できます。☞ P.176「RISO オートフィーダーDX-1 への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]」をご覧ください。

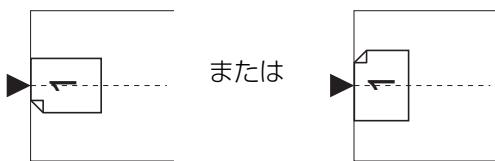


## 原稿をセットする

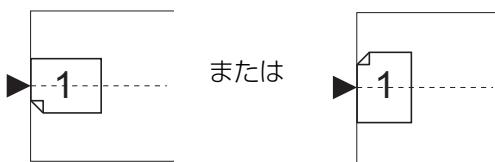
### 原稿セット方向(記載の向き)

原稿のセット方向は、連写や N アップ機能を使うときに設定した面数によりきまっています。この方向に原稿をセットしたときに、原稿の記載がタッチパネル側から見てどの向きになるかで設定します。

#### 左向き



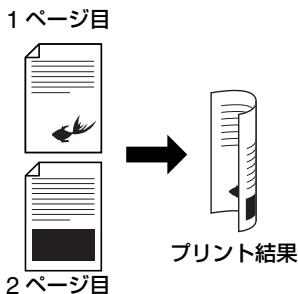
#### 読める向き



# 紙原稿をプリントする

## 両面プリントする

ここでは、2枚の原稿(または両面原稿)で、両面プリントする操作手順を説明します。



**重要** A4 縦、B4 縦、A3 縦の印刷用紙を使用してください。

**参考** • 連携機 Prioa(別売)を接続して「自動振分」機能をお使いになる場合は、P.234をご覧ください。

### 1 本機の電源が「ON」であることを確認する

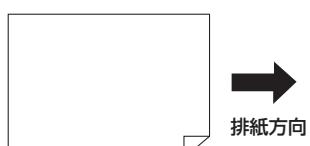
操作パネルを見て確認します。

**参考** • ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。  
☞ P.40「給紙台と用紙のセット」  
• <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押して、スリープを解除してください。

### 2 印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認します。

**重要** 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

☞ P.40「給紙台と用紙のセット」  
用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。  
☞ P.41「排紙台のセット」

## 3

### ディスプレイを確認する

#### ■ 認証画面が表示されている場合

表示されている画面に従って、認証操作を行ってください。認証操作の詳細については、  
☞ P.57「認証画面での操作について」を参照してください。

認証されると、初期画面が表示されます。

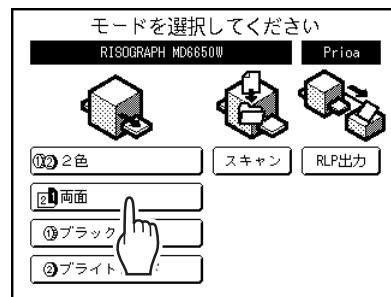
#### ■ 初期画面が表示されている場合

手順 4 へ進みます。

初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」により異なります。

## 4

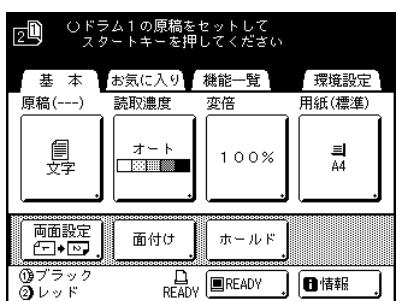
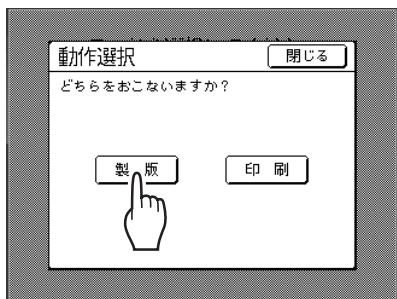
### モード選択画面で<両面ボタン>にタッチする



両面プリント以外の基本画面が表示されている場合は、<モード>キーを押してモード選択画面を表示させてください。

## 紙原稿をプリントする

### 5 動作選択画面で<製版ボタン>にタッチする



製版基本画面が表示されます。

#### 参考

- ステータスエリアに「展開中」と表示されているときは、パソコンから送信された原稿データを処理中です。しばらくお待ちください。
- RLP基本画面が表示されているときは、<製版>キーを押して製版基本画面に切り替えてください。

### 6 ドラム1用の原稿をセットする

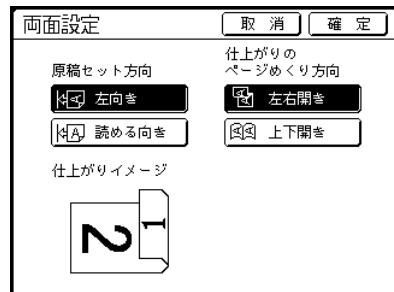
原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

### 7 機能一覧画面で<両面設定ボタン>にタッチする

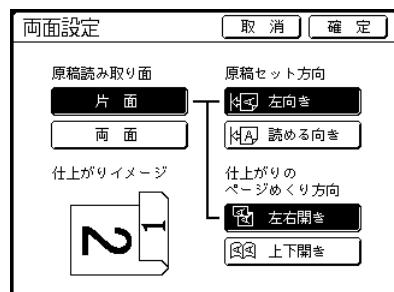
#### ■ 原稿台ガラスに原稿をセットした場合

「原稿セット方向」と「仕上がりのページめくり方向」を設定します。



#### ■ RISO オートフィーダーDX-1 に原稿をセットした場合

「原稿読み取り面」、「原稿セット方向」、「仕上がりのページめくり方向」を設定します。両面原稿使用時は、原稿と仕上がりのページめくり方向およびプリント結果は積載した原稿と同じになります。



#### 参考

両面設定の詳細については、P.75「両面設定をする[両面設定]」を参照してください。

### 8 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、各種機能を設定します。

製版基本画面が表示されていないときは、<製版>キーを押してください。



#### 参考

ここでは以下の設定が可能です。

- 原稿モード(P.68)

- 読取濃度(P.70)
- 変倍(P.71)
- 用紙(P.74)
- 連続(P.77)
- 網点(P.78)
- コントラスト強調(P.79)
- トーンカーブ選択(P.80)
- 省インク(P.81)
- 連写／かんたん連写(P.82)
- 面付け(P.92)
- ブックモード(P.100)
- レイアウト原稿(P.102)
- とじしろ(P.103)
- フルサイズ製版(P.105)
- かんたん分版(P.106)
- プレビュー表示(P.114)
- プログラム(P.149)
- メモリー(P.161)
- アイドリング(P.168)
- 両面合成(P.224)
- 逆順印刷(P.173)
- AF オート製版<sup>※1</sup>(P.175)
- テープ仕分け<sup>※2</sup>
- 自動振り分け<sup>※3</sup>

<sup>※1</sup> RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を装着の場合、設定できます。

<sup>※2</sup> ST ソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

<sup>※3</sup> 連携機 Prioa(別売)を接続してご使用の場合、設定できます。

### 参考

連携機 Prioa(別売)を接続してお使いの場合は、印刷枚数に応じて出力先を切り替えることができます。  
☞ P.56「連携機 Prioa(別売)を接続してお使いの場合」

## 9

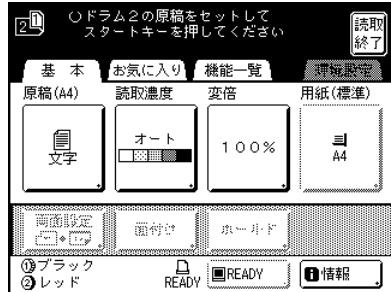
### 排紙台を確認する

使用する用紙サイズに合わせて、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☞ P.41「排紙台のセット」

## 10 <スタート>キーを押す

ドラム 1 用の原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると、ドラム 1 の製版が行われ、ドラム 1 のみの試し刷りが両面ユニットに入ります。続いて、ドラム 2 のための製版基本画面が表示されます。



### 参考

- 手順 6 で、RISO オートフィーダーDX-1 に 2 枚一度に原稿をセットした場合、または両面原稿をセットした場合は、ドラム 1 のみ試し刷りが 1 枚印刷され、続けてドラム 2 の製版を行います。手順 14 に進んでください。
- 「オートアイドリング」の設定を変更できます。  
☞ P.56「オートアイドリングについて」
- 「連続」を設定している場合は、手順が異なります。  
☞ P.77「続けてプリントする [連続]」

## 11 ドラム 2 用の原稿をセットする

### ■ 原稿台ガラスにセットする

原稿台ガラスからドラム 1 用の原稿を取り除き、ドラム 2 用の原稿を手順 6 と同様にセットします。

### ■ RISO オートフィーダーDX-1 に 1 枚ずつセットする([連続]を[OFF]にした場合)

ドラム 2 用の原稿を手順 6 と同様にセットします。

### 参考

両面プリントには、原稿が 2 枚必要です。原稿が 1 枚しかない(2 枚目の原稿が無い)場合は、1 枚目の原稿を読み取り終了後、タッチパネル上の<読み取り終了ボタン>にタッチしてください。読み取りを終了して、片面のみのプリントを開始することができます。(製版する原稿がないためドラム 2 は機密状態になります。)

## 紙原稿をプリントする

### 12 ドラム 2 用の原稿に対して、各種プリント機能の設定を行う

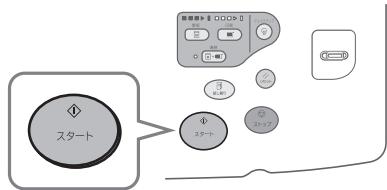
必要に応じて、ドラム 2 用の原稿に対する各種機能を設定することができます。

設定を行わない場合は、1 枚目の原稿と同じ設定が適用されます。

#### 参考

- 原稿モード(P.68)
- 読取濃度(P.70)
- 変倍(P.71)
- 網点(P.78)
- コントラスト強調(P.79)
- トーンカーブ選択(P.80)
- レイアウト原稿(P.102)
- とじしろ(P.103)
- AF オート製版(P.175)

### 13 <スタート>キーを押す



ドラム 2 用の原稿の読み取りを開始します。

読み取りが終わると、ドラム 2 の製版が行われ、両面プリントされた試し刷りが 1 枚出てきます。

#### 参考

- 原稿が複数枚あるときは、2ページ目以降、手順 6 と同様にセットします。原稿の読み取りを終了するときは、タッチパネル上の<読み取り終了ボタン>を押してください。

### 14 試し刷りを確認する

試し刷りが印刷されると、自動的に印刷基本画面が表示されます。



仕上がりの印刷位置や濃度などを確認し、必要に応じて調整します。

- 印刷位置(P.123)

- 印刷濃度(P.122)

調節(調整)が終わったら、<試し刷り>キーを押して、試し刷りを確認してください。



長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなったりすることがあります。<試し刷り>キーを押して、何枚か試し刷りをしてください。

### 15 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

### 16 <スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

#### 参考

- 印刷用紙は、ドラム 1 で印刷されると、両面ユニットに一定枚数を一時的にストックし、用紙を反転してからドラム 2 で印刷を開始します。そのため、<スタート>キーを押しても、すぐに印刷物は排出されません。

- 印刷を途中で停止させたいときは、<ストップ>キーを押してください。<ストップ>キーを押すと、用紙の給紙は行いませんが、両面ユニット内にストックされている用紙をすべて印刷してから停止します。

- パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

☞ P.167「割り込み印刷を防止する【占有延長】」

- 現在の設定をメモリーに登録しておくと、<リセット>キーを押したり、電源を切って設定が初期化されたりしても、メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。

☞ P.161「メモリー機能を使う【メモリー】」

## 17 印刷終了後、<リセット>キーを押す

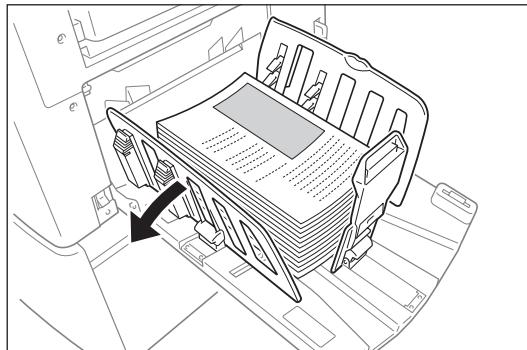
設定を初期値に戻します。

### 参考

- 印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。  
第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。  
☞ P.166「機密書類の複製を防止する【機密】」
- <リセット>キーを押さなかった場合でも、一定の時間(工場出荷時設定5分)が経過すると、自動的に設定はリセットされます。  
☞ P.188「初期設定を変更する【環境設定】／オートクリア設定」

## 18 印刷された用紙を取り出す

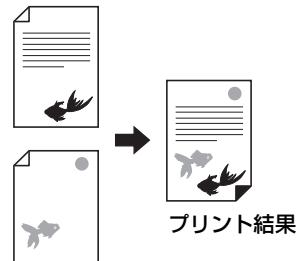
排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。



## 2 枚の原稿で 2 色プリントする

ここでは、原稿を色別(ドラム 1 用とドラム 2 用)に読み取って、2 色プリントする操作手順を説明します。

### ドラム 1 用原稿



### ドラム 2 用原稿



**重要** 182mm × 257mm(B5 サイズ)以上の印刷用紙を使用してください。

### 参考

- 1 枚の原稿を 2 色に分版して 2 色プリントをしたい場合は、P.106 を参照してください。
- 連携機 Prioa(別売)を接続して「自動振分け」機能をお使いになる場合は、P.234 をご覧ください。

## 1 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

### 参考

- ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。  
☞ P.40「給紙台と用紙のセット」
- <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押して、スリープを解除してください。

## 2 印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

☞ P.40「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☞ P.41「排紙台のセット」

## 紙原稿をプリントする

### 3 ディスプレイを確認する

#### ■ 認証画面が表示されている場合

表示されている画面に従って、認証操作を行ってください。認証操作の詳細については、P.57「認証画面での操作について」を参照してください。

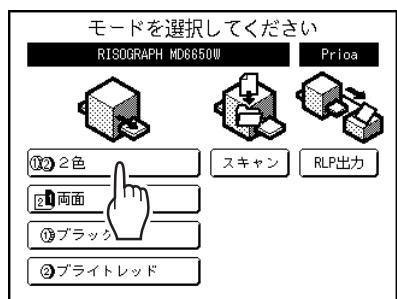
認証されると、初期画面が表示されます。

#### ■ 初期画面が表示されている場合

手順 4 へ進みます。

初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」により異なります。

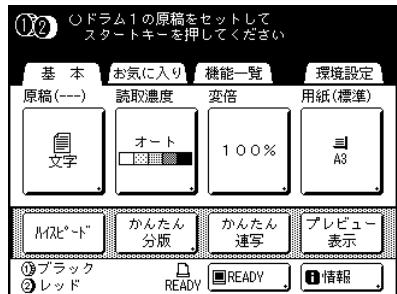
### 4 モード選択画面で<2色プリントボタン>にタッチする



#### 参考

2色プリント以外の基本画面が表示されている場合は、<モード>キーを押してモード選択画面を表示させてください。

### 5 動作選択画面で<製版ボタン>にタッチする



製版基本画面が表示されます。

#### 参考

- ステータスエリアに「展開中」と表示されているときは、パソコンから送信された原稿データを処理中です。しばらくお待ちください。
- RLP 基本画面が表示されているときは、<製版>キーを押して製版基本画面に切り替えてください。

### 6 ドラム 1 用の原稿をセットする

原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

### 7 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、各種機能を設定します。

製版基本画面が表示されていないときは、<製版>キーを押してください。



## 参考

- ここでは以下の設定が可能です。
- 原稿モード(P.68)
  - 読取濃度(P.70)
  - 変倍(P.71)
  - 用紙(P.74)
  - 連続(P.77)
  - 網点(P.78)
  - コントラスト強調(P.79)
  - トーンカーブ選択(P.80)
  - 省インク(P.81)
  - 連写／かんたん連写(P.82)
  - 面付け(N アップ)(P.92)
  - ブックモード(P.100)
  - レイアウト原稿(P.102)
  - とじしろ(P.103)
  - フルサイズ製版(P.105)
  - かんたん分版(P.106)
  - プレビュー表示(P.114)
  - プログラム(P.149)
  - メモリー(P.161)
  - アイドリング(P.168)
  - 再製版(P.169)
  - 逆順印刷(P.173)
  - AF オート製版※<sup>1</sup>(P.175)
  - テープ仕分け※<sup>2</sup>
  - 自動振り分け※<sup>3</sup>
- \*<sup>1</sup> RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を装着の場合、設定できます。
- \*<sup>2</sup> ST ソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。
- \*<sup>3</sup> 連携機 Prioa(別売)を接続してご使用の場合、設定できます。

## 参考

連携機 Prioa(別売)を接続してお使いの場合は、印刷枚数に応じて出力先を切り替えることができます。  
☞ P.56「連携機 Prioa(別売)を接続してお使いの場合」

## 8

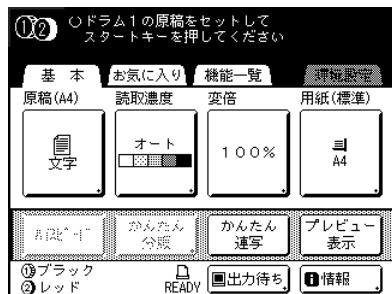
## 排紙台を確認する

使用する用紙サイズに合わせて、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。  
☞ P.41「排紙台のセット」

## 9

## &lt;スタート&gt;キーを押す

ドラム 1 用の原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると、ドラム 1 の製版が行われ、ドラム 1 のみの試し刷りが 1 枚出てきます。続いて、ドラム 2 のための製版基本画面が表示されます。



## 参考

- 手順 6 で、RISO オートフィーダーDX-1 に 2 枚一度に原稿をセットした場合は、ドラム 1 のみ試し刷りが 1 枚印刷され、続けてドラム 2 の製版を行います。手順 13 に進んでください。
- 「オートアイドリング」の設定を変更できます。  
☞ P.56「オートアイドリングについて」
- 「連続」を設定している場合は、手順が異なります。  
☞ P.77「続けてプリントする [連続]」

## 10

## ドラム 2 用の原稿をセットする

原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

## 11

## ドラム 2 用の原稿に対して、各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、ドラム 2 用の原稿に対する各種機能を設定することができます。

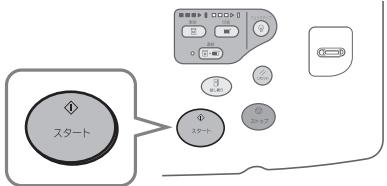
設定を行わない場合は、1 枚目の原稿と同じ設定が適用されます。

## 参考

- ドラム 2 用の原稿に対しては以下の設定が可能です。
- 原稿モード(P.68)
  - 読取濃度(P.70)
  - 変倍(P.71)
  - 網点(P.78)
  - コントラスト強調(P.79)
  - トーンカーブ選択(P.80)
  - レイアウト原稿(P.102)
  - とじしろ(P.103)

## 紙原稿をプリントする

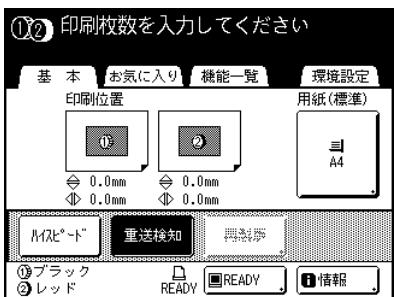
### 12 <スタート>キーを押す



ドラム 2 用の原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると、ドラム 2 の製版が行われ、2 色刷りされた試し刷りが 1 枚出てきます。

### 13 試し刷りを確認する

試し刷りが印刷されると、自動的に印刷基本画面が表示されます。



仕上がりの印刷位置や濃度などを確認し、必要に応じて調整します。

- 印刷位置(P.123)
  - 印刷濃度(P.122)
- 調節(調整)が終わったら、<試し刷り>キーを押して、試し刷りを確認してください。



**重要**  
長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなったりすることがあります。<試し刷り>キーを押して、何枚か試し刷りをしてください。



印刷位置や印刷濃度、印刷速度は、印刷している最中でも調整できます。

### 14 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。



枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

### 15 <スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

#### 参考

- 印刷を途中で停止させたいときは、<ストップ>キーを押してください。
- パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

☞ P.167「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

- 現在の設定をメモリーに登録しておくと、<リセット>キーを押したり、電源を切って設定が初期化されたりしても、メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。

☞ P.161「メモリー機能を使う [メモリー]」

### 16 印刷終了後、<リセット>キーを押す

設定を初期値に戻します。

#### 参考

- 印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。  
第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。

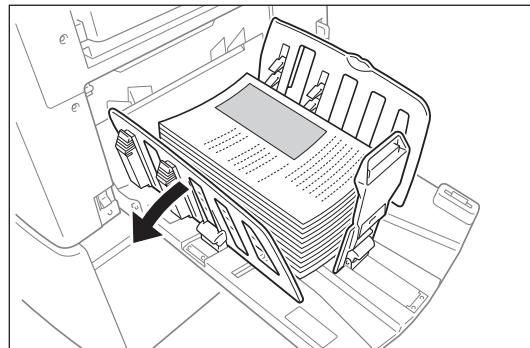
☞ P.166「機密書類の複製を防止する [機密]」

- <リセット>キーを押さなかった場合でも、一定の時間(工場出荷時設定 5 分)が経過すると、自動的に設定はリセットされます。

☞ P.188「初期設定を変更する [環境設定] / オートクリア設定」

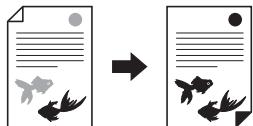
### 17 印刷された用紙を取り出す

排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。



## 1 色プリントする

ここでは、ドラム 1 またはドラム 2 のどちらか 1 つを使用して、1 色プリントする操作手順を説明します。



1 色プリントは、ドラム 1、ドラム 2 のどちらでも行なうことができますが、基本的にはドラム 1 でのプリントをお勧めします。

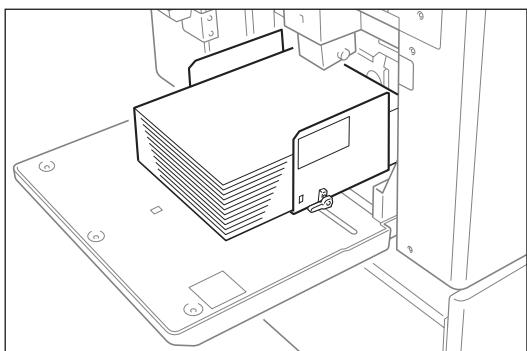
## 1 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

### 参考

- ディスプレイも <ウェイクアップ> キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
- P.40「給紙台と用紙のセット」
- <ウェイクアップ> キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ> キーを押して、スリープを解除してください。

## 2 印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

P.40「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

P.41「排紙台のセット」

## 3 ディスプレイを確認する

### ■ 認証画面が表示されている場合

表示されている画面に従って、認証操作を行ってください。認証操作の詳細については、P.57「認証画面での操作について」を参照してください。

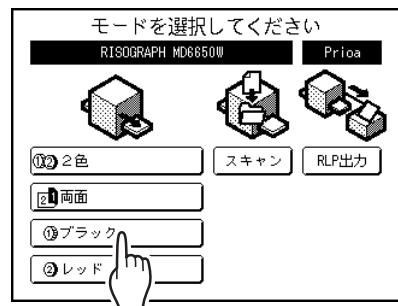
認証されると、初期画面が表示されます。

### ■ 初期画面が表示されている場合

手順 4 へ進みます。

初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」により異なります。

## 4 モード選択画面で、使用するドラムのボタンにタッチする

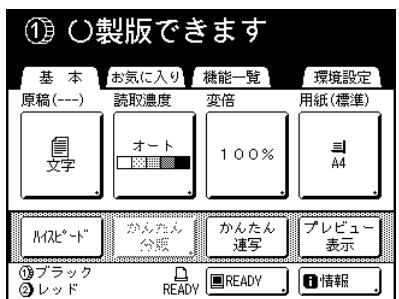


### 参考

- ① のボタンはドラム 1 を使った 1 色プリント、② のボタンはドラム 2 を使った 1 色プリントになります。
- この画面には、現在セットされているドラムの色が表示されています。
- 1 色プリント以外の基本画面が表示されている場合は、<モード> キーを押してモード選択画面を表示させてください。
- ここでは、ドラム 1 を使った場合で説明します。ドラム 2 を使う場合は、P.56「ドラム 2 で 1 色プリントする」をご覧ください。

## 紙原稿をプリントする

### 5 動作選択画面で<製版ボタン>にタッチする



製版基本画面が表示されます。

#### 参考

- ステータスエリアに「展開中」と表示されているときは、パソコンから送信された原稿データを処理中です。しばらくお待ちください。
- RLP 基本画面が表示されているときは、<製版>キーを押して製版基本画面に切り替えてください。

### 6 原稿をセットする

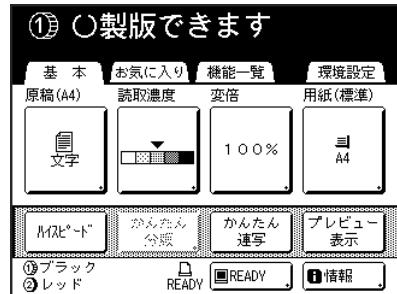
原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

### 7 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、各種機能を設定します。

製版基本画面が表示されていないときは、<製版>キーを押してください。



#### 参考

ここでは以下の設定が可能です。

- 原稿モード(P.68)
- 読み取り濃度(P.70)
- 変倍(P.71)
- 用紙(P.74)
- 連続(P.77)
- 網点(P.78)
- コントラスト強調(P.79)
- トーンカーブ選択(P.80)
- 省インク(P.81)
- かんたん連写／連写(P.82)
- 面付け(N アップ)(P.92)
- ブックモード(P.100)
- レイアウト原稿(P.102)
- とじしろ(P.103)
- フルサイズ製版(P.105)
- かんたん分版(P.106)
- プレビュー表示(P.114)
- プログラム(P.149)
- メモリー(P.161)
- アイドリング(P.168)
- 再製版(P.169)
- 逆順印刷(P.173)
- AF オート製版<sup>※1</sup>(P.175)
- テープ仕分け<sup>※2</sup>
- 自動振り分け<sup>※3</sup>

<sup>※1</sup> RISO オートフィーダー DX-1(オプション)を装着の場合、設定できます。

<sup>※2</sup> ST ソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

<sup>※3</sup> 連携機 Prioia(別売)を接続してご使用の場合、設定できます。

#### 参考

連携機 Prioia(別売)を接続してお使いの場合は、印刷枚数に応じて出力先を切り替えることができます。

→ P.56「連携機 Prioia(別売)を接続してお使いの場合」

**8****排紙台を確認する**

使用する用紙サイズに合わせて、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☞ P.41「排紙台のセット」

**9****<スタート>キーを押す**

原稿の読み取りを開始します。

読み取りが終わると、製版が行われ、試し刷りが1枚出でます。

**参考**

- ・「連続」を設定している場合、手順が異なります。  
☞ P.77「続けてプリントする [連続]」
- ・「オートアイドリング」の設定を変更できます。  
☞ P.56「オートアイドリングについて」

**10****試し刷りを確認する**

試し刷りが印刷されると、印刷基本画面が表示されます。



仕上がりの印刷位置や濃度、排紙位置などを確認し、必要に応じて調整します。

- ・印刷位置(P.123)
- ・印刷濃度(P.122)

調整が終わったら、<試し刷り>キーを押して、再度試し刷りを確認してください。

**重要**

長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなったりすることがあります。<試し刷り>キーを押して、何枚か試し刷りをしてください。

**11****テンキーで印刷枚数を入力する**

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

**12****<スタート>キーを押す**

入力した枚数が印刷されます。

**参考**

- ・パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。  
☞ P.167「割り込み印刷を防止する [占有延長]」
- ・現在の設定をメモリーに登録しておくと、<リセット>キーを押したり、電源を切って設定が初期化されたりしても、メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。  
☞ P.161「メモリー機能を使う [メモリー]」

**13****印刷終了後、<リセット>キーを押す**

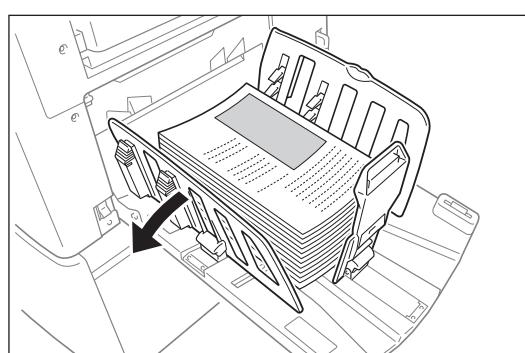
設定を初期値に戻します。

**参考**

- ・印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。  
☞ P.166「機密書類の複製を防止する [機密]」
- ・<リセット>キーを押さなかった場合でも、一定の時間(工場出荷時設定5分)が経過すると、自動的に設定はリセットされます。  
☞ P.188「初期設定を変更する [環境設定]／オートクリア設定」

**14****印刷された用紙を取り出す**

排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。



# 紙原稿をプリントする

## ドラム 2 で 1 色プリントする

1色プリントはドラム 1 側で行うことを推奨していますが、ドラム 2 側で行うこともできます。ただし、ドラム 1 側で行うときとは用紙サイズや本機の動作が異なります。

### ■ ドラム 1 を取り出して、ドラム 2 だけを使う場合

以下のサイズの印刷用紙を使用してください。

- 紙(排)紙方向長さが、257mm(B5 縦サイズ相当)以上の用紙
- ハイスピード機能使用時は、紙(排)紙方向長さが、364mm(B4 縦サイズ相当)までの用紙

### ■ ドラム 1 をセットしたまま、ドラム 2 だけを使う場合

用紙サイズは、上記と同じです。

- 製版時に、ドラム 1 が自動的に「機密状態」になります(現在ドラムに巻き付いているマスターを廃棄して、無製版のマスターを巻き付けます)。
- 印刷時に、ドラム 1 に機密状態でないマスターがセットされていると、警告メッセージが表示され

## オートアイドリングについて

「オートアイドリング」を「有効」に設定していると、製版する前にアイドリング動作を行う場合があります。

工場出荷時には、前回の使用から 12 時間以上経過すると、次の製版時に自動でアイドリングを行うように設定してあります(オートアイドリング)。

「環境設定」で「オートアイドリング」の「有効／無効」や、実行までの時間などを変更できます。

☞ P.189「初期設定を変更する [環境設定]／オートアイドリング」

製版前、任意のタイミングでアイドリングを行うことも可能です。

☞ P.168「アイドリングをする [アイドリング]」

## 連携機 Prioa(別売)を接続してお使いの場合

印刷枚数に応じて出力先を切り替える「自動振り分け」機能が働きます。

(出荷時は 20 枚以上は本機から、19 枚以下は連携機から出力されるよう設定されています。)

ただし、以下の機能を設定した場合は、印刷枚数に関係なく、本機でプリントされます。

- かんたん連写
- 連写
- N アップ
- 小冊子\*
- プログラム
- 省インク
- 4 頁冊子\*

\*両面プリントモード時のみ設定できます。



必ず印刷枚数を入力してから、<スタート>キーを押してください。

枚数により出力先を切り替えて、プリントを行います。

印刷枚数が 0 の状態で<スタート>キーを押したときは、本機での製版スタートとなります。

### 参考

出力先を切り替える「自動振分枚数」は、「環境設定」で変更することができます。

☞ P.190「初期設定を変更する [環境設定]／自動振分枚数」

## 認証画面での操作について

管理者によって認証機能が設定されていると、本機の操作時に認証を求められる場合があります。認証画面では、設定されている認証方式(暗証番号またはUSBメモリ)に従って、認証操作を行ってください。

### 参考

認証用の「暗証番号」や「USBメモリ」については、管理者に確認してください。

### ■ 暗証番号入力画面が表示された場合

テンキーで暗証番号を入力し、<確定ボタン>にタッチします。



### 参考

誤った暗証番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。  
正しい暗証番号を入力しなおしてください。

### ■ USBメモリ挿入画面が表示された場合

USBスロットに、認証用として登録されているUSBメモリを挿入します。



### 参考

「USBメモリ」での認証画面で、認証用として登録されていないUSBメモリや、本機で使用できないUSBメモリを挿入すると、エラーメッセージが表示されます。登録済みの認証用USBメモリを挿入してください。

認証されると、初期画面が表示されます。



**重要** 操作を終了したら<ウェイクアップ>キーを押して、認証を解除(ログアウト)してください。(解除を忘れた場合は、オートクリアと一緒に認証も解除されます。) P.188「初期設定を変更する【環境設定】／オートクリア設定」  
認証されていない第三者による使用を防ぐために、使用後は認証状態を解除しておくことをおすすめします。

# パソコンデータをプリントする

## [ダイレクトプリント][USB メモリ]

パソコンと本機をケーブルで接続し、パソコンで作成した原稿データを、直接本機でプリントすることができます。

原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの仕上がりが鮮明です。

パソコンと本機がケーブルで接続されていない場合でも、「USB メモリ」を使用することで、本機に直接データを持っていくことができます。

## 参考

- プリントする前に、パソコンに専用のプリンタドライバをインストールしてください。
- パソコン画面での印刷の設定については、ここでは基本的な設定のみ説明しています。
- インストール方法、原稿データの送信方法および各種設定については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

### パソコンから指示をしてプリントする (ダイレクトプリント)

パソコンと印刷機が、ケーブルで接続されている環境が必要です。

## 参考

管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.57「認証画面での操作について」を参照してください。

### 1 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

## 参考

- ディスプレイもくウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
- 本機がスリープ状態でもパソコンから原稿データが送信されると、本機は自動的にウェイクアップし、原稿データが処理されます。

### 2 印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

☞ P.40「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストップバーの位置を調整してください。

☞ P.41「排紙台のセット」

## 3

パソコンの画面で印刷条件を設定する

通常版のプリンタドライバを使用します。

#### ■ 印刷ダイアログボックスの例



印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。



印刷ダイアログボックスの「□部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

#### ■ プロパティ(プリンタドライバ)の例



印刷条件を変更する場合は「プロパティ」をクリックします。詳しくは、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

## 4 印刷ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックする



パソコンから原稿データが送信されます。本機がデータを受信するとプリンタドライバの設定内容で、自動的にプリントを開始します。  
連続モード[ON]でプリントするときは手順6に進んでください。

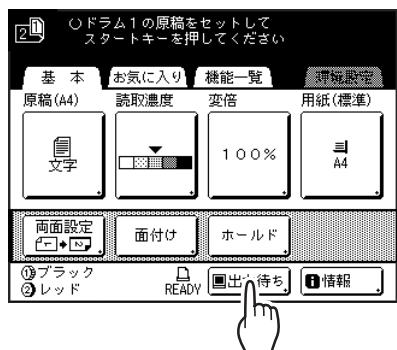
## 5 操作パネルでプリント操作をする

プリンタドライバの連続モードの設定(メイン設定タブ)により、表示されている画面や操作手順が異なります。

### ■ 製版前トップでのプリント

ご使用方法や環境設定の内容によっては、手順②の製版基本画面で本機が停止していることがあります。その場合は、<スタート>キーを押してください。

#### ① <出力待ちボタン>にタッチする

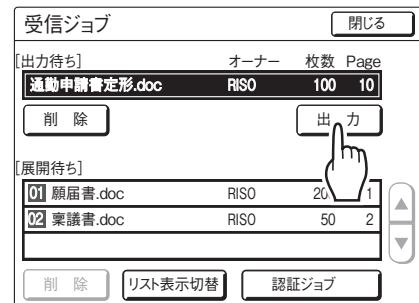


[受信ジョブ]画面が表示されます。

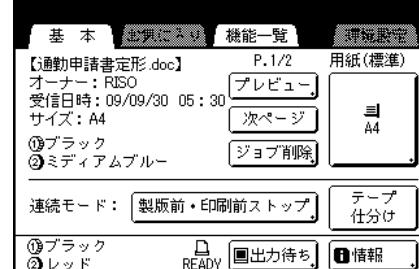
#### ② <出力ボタン>にタッチする

認証プリントを行う場合は、<認証ジョブボタン>にタッチしてください。

☞ P.60「認証プリントについて」



### ④ O ドラム 1 製版できます



#### ③ <スタート>キーを押す

製版後、引き続き印刷を開始します。

### ■ 印刷前トップでのプリント

データを受信して製版し、試し刷りを出して停止しています。

#### ① 試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定を調整する

#### ② <スタート>キーを押す

印刷を開始します。

### ■ 製版前・印刷前トップでのプリント

#### ① 「製版前トップでのプリント」の手順1～3を行なう

製版して試し刷りを出して停止します。

#### ② 試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定を調整する

#### ③ <スタート>キーを押す

印刷を開始します。

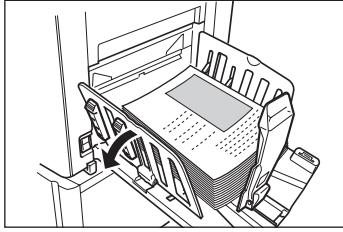
### 参考

- 原稿データが複数ページあるときは、ページごとに同じ手順をくりかえしてください。
- テンキーで印刷枚数を入力すると、プリンタドライバで設定した印刷枚数は無効になります。

# パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USB メモリ]

- 認証プリントの場合は、認証後、指定された連続モードでプリントを開始します。
- 製版／印刷動作中にプリントを停止させたいときは、<ストップ>キーを押してください。製版処理中では製版終了後に、印刷処理中では印刷を中止し、動作を停止します。  
再開するときは<スタート>キーを押してください。

## 6 用紙を取り出す



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

### 参考

- 印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。  
第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。

☞ P.166「機密書類の複製を防止する〔機密〕」

### 連携機 Prioa(別売)を接続してお使いの場合

「連続」設定時には、印刷枚数に応じて、出力先を切替える「受信ジョブ自動振分」機能が設定できます。

☞ P.190「初期設定を変更する [環境設定] / 受信ジョブ自動振分」

☞ P.234「連携機を使用したプリント機能について」



### 受信ジョブ画面について

受信ジョブ		
[出力待ち]	オーナー	枚数 Page
<b>通勤申請書定形.doc</b>	RISO	100 10
<b>削除</b> <b>出力</b>		

[展開待ち]		
01	顧問書.doc	RISO 200 1
02	稟議書.doc	RISO 50 2

**削除** **リスト表示切替** **認証ジョブ**

データ受信後、基本画面で<出力待ちボタン>にタッチすると[受信ジョブ]画面が開き、現在受信しているジョブが確認できます。[受信ジョブ]画面では、出力待ちジョブの出力や、[出力待ち]/[展開中]/[展開待ち]のジョブの削除をすることができます。

### 認証プリントについて

プリンタドライバから「認証プリント」として送られたデータは、[認証ジョブ]画面から呼び出してプリントします。<認証ジョブボタン>にタッチすると認証画面が表示されるので、画面の指示に従って認証操作を行ってください。

認証画面の表示タイミングは、管理者が設定した認証設定により異なります。

認証プリントのデータの場合、データ名の最初に鍵マークが表示されます。

☞ P.137「■ 認証方式」

認証ジョブ		
[出力待ち]	オーナー	枚数 Page
<b>削除</b> <b>出力</b>		

[展開待ち]		
52	稟議書 doc	RISO 09/11/16
52	契約書 doc	RISO 09/11/15

**削除** **リスト表示切替**

### 参考

プリンタドライバで「認証プリント」を設定するには、「ユーザー登録番号(認証登録番号)(1桁または2桁)が必要です。暗証番号または認証用として登録済みの USB メモリ、ユーザー登録番号は、管理者に確認してください。

## USBメモリからプリントする(USBメモリ)

パソコンと印刷機がケーブルで接続されていない環境でも、USBメモリを通して原稿データのプリントができます。

パソコンと印刷機が違う部屋に設置されている環境や、外出先のMDシリーズで印刷したい場合などに便利です。

## 参考

管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.60「受信ジョブ画面について」を参照してください。

### 1 USBメモリをパソコンに接続する

## 参考

認証方式で、「USBメモリ」を設定している場合は、データ出力時にも、認証用に使っているUSBメモリを使用すると便利です。

### 2 パソコンの画面で印刷条件を設定する

USBメモリ用のプリンタドライバを使用します。

## ■ 印刷ダイアログボックスの例



印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。

**重要** 印刷ダイアログボックスの「□部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

## ■ プロパティ(プリンタドライバ)の例



印刷条件を変更する場合は、[プロパティ]をクリックします。詳しくは、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

### 3 印刷ダイアログボックスの[OK]をクリックする

パソコンで作成したデータがUSBメモリに保存されます。

### 4 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

## 参考

- ディスプレイもくウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
- <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押してスリープを解除してください。

### 5 印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

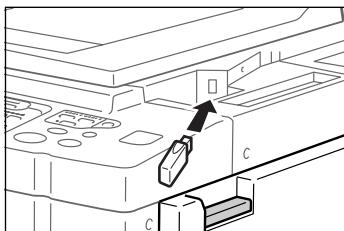
☞ P.40「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストップバーの位置を調整してください。

☞ P.41「排紙台のセット」

## パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USB メモリ]

### 6 プリントする原稿データが保存されている USB メモリを USB スロットに挿入する



USBメモリを「認証用」としてではなく、データ出力用としてのみ使用している場合は、手順 9 に進んでください。

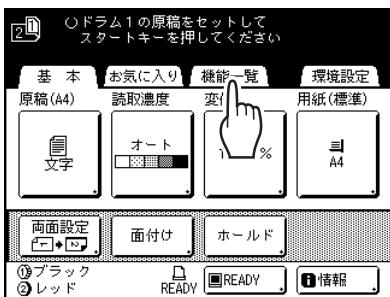


**重要**  
USB メモリは、プリントが終了するまで抜かないでください。  
途中で抜くと、データや設定内容の消失、または USB メモリの故障の原因になります。

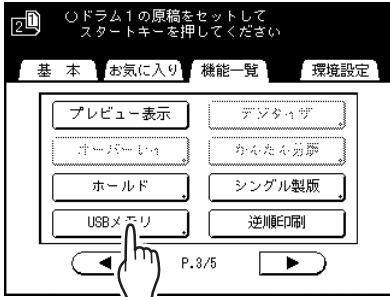


プリンタドライバの出力方法(メインタブ)で「USB メモリ出力(自動製版)」に設定した場合は、USB メモリを挿入すると、連続モードの設定内容で製版・印刷を開始します。設定方法については、「リソープリンタ ドライバ取扱説明書」をご覧ください。

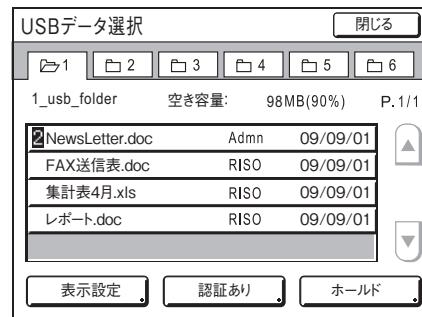
### 7 製版基本画面で [機能一覧] タブにタッチする



### 8 <USB メモリボタン>にタッチする



[USBデータ選択] 画面(認証なし)が表示されます。(画面に<認証ありボタン>が表示されています。)



### 9 プリントする USB メモリデータにタッチする

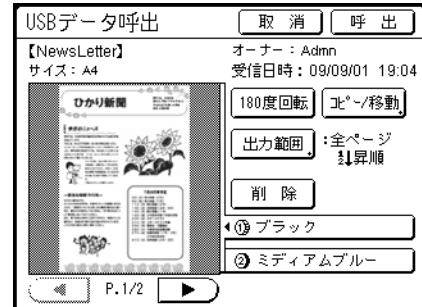
[USB データ呼出] 画面が表示されます。  
別のフォルダに保存されているデータを選ぶ場合は、フォルダのタブにタッチします。



- 認証設定されているデータを呼び出す場合は、<認証ありボタン>にタッチします。
- 認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されている場合、<認証ありボタン>は表示されません。
- USB メモリデータが画面に表示しきれない場合は、<▲ボタン> <▼ボタン>にタッチして表示させてください。

### 10 呼び出す USB メモリデータを確認する

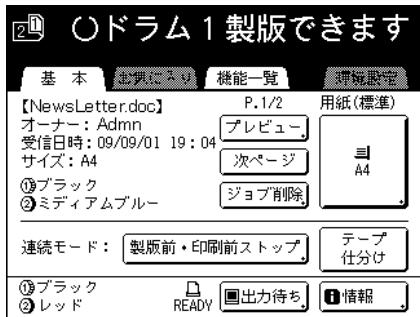
サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。



[USB データ呼出] 画面では、USB メモリデータの確認や出力設定を行うことができます。  
操作については、P.214「[ホールドデータ呼出] 画面 / [USB データ呼出] 画面の使いかた」を参照してください。

## 11 <呼出ボタン>にタッチする

USBメモリデータが呼び出され、保存データ用の製版基本画面が表示されます。



### 参考

製版基本画面で、出力指示を変更したり、停止タイミングの変更ができます。詳しくは、P.63「出力指示の変更」、P.65「本機での停止タイミングの変更」を参照してください。

## 12 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

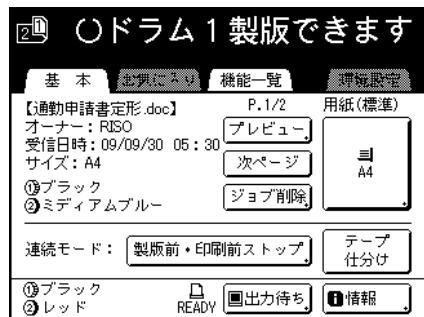
## 13 <スタート>キーを押す

データがプリントされます。

以降は、通常の製版・印刷工程と同様の操作を行ってください。

## 出力指示の変更

製版／印刷基本画面で出力指示を変更することができます。



[Preview] ..... 現在製版待ちのページの製版イメージを確認できます。

### 参考

「Preview」では、受信した原稿全体を製版イメージとして表示しますが、実際の印刷では、プリントエリア以外の部分は印刷できません。

[Next Page] ..... 現在指示待ちのページの処理をキャンセルし、次のページの処理を開始します。受信した原稿データに不要なページがあり、そのページの処理をキャンセルするときに使用します。

[Job Delete] ..... 現在指示待ちの原稿データ全体を削除します。まちがって送信した原稿データや、指示待ちで止まっている原稿データを削除するときに使用します。

**重要** 製版／印刷動作中には、<次ページボタン>や<ジョブ削除ボタン>は選択できません。

製版／印刷動作中に指示を変更するときは、<ストップ>キーを押してください。

(製版処理中は製版終了後に動作を停止します。印刷処理中は印刷を中止し、動作を停止します。)

### 参考

指示待ち(製版できます／印刷できます)画面の状態で、<リセット>キーまたは<モード>キーを押して、<確定ボタン>にタッチしてからもジョブは削除できます。

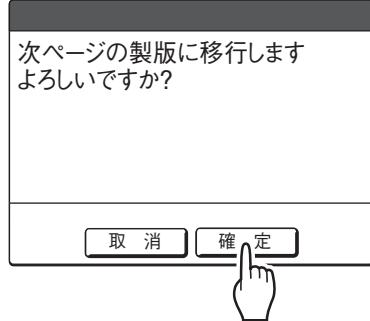
# パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USBメモリ]

## <次ページボタン>の指示

1 <次ページボタン>にタッチする



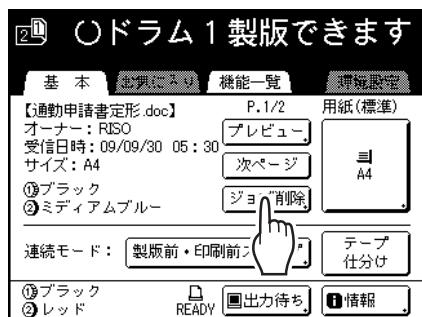
2 <確定ボタン>にタッチする



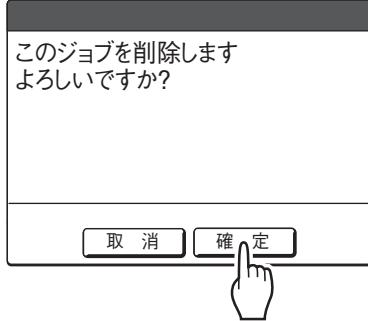
現在のページの処理を中止し、次のページの処理を行います。

## <ジョブ削除ボタン>の指示

1 <ジョブ削除ボタン>にタッチする



2 <確定ボタン>にタッチする



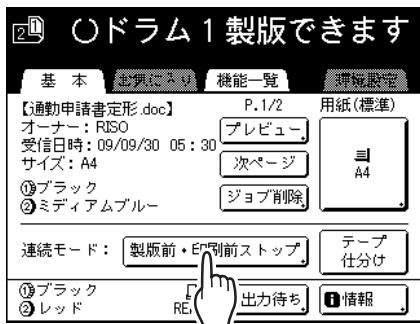
現在の原稿データを削除します。  
処理待ちの原稿データがあるときは、処理を開始します。

## 本機での停止タイミングの変更

プリントの停止タイミングは、プリンタドライバでの設定が常に優先されます。  
ただし、各停止中には本機で設定を変更できます。

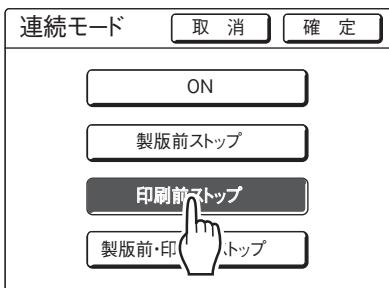
**参考** プリンタドライバで「連続モード」を「ON」に設定しているときは、<ストップ>キーを押して動作を停止させてから設定してください。

### 1 <連続モードボタン>にタッチする



[連続モード]画面が表示されます。

### 2 設定する項目にタッチする



[ON] ..... 製版から印刷まで連続して行います。

[製版前ストップ]

..... データ受信後、製版する前に停止します。

[印前ストップ]

..... 製版後、試し刷りを1枚印刷した状態で停止します。

[製版前・印前ストップ]

..... 製版前、印刷前両方とも停止します。

**参考** 各停止タイミング後の操作については、P.59 を参照してください

### 3 <確定ボタン>にタッチする

指定した「連続モード」に設定され、基本画面に戻ります。

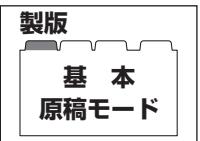


# 製版するときに設定する機能

- 68 原稿に適したモードを選択する [原稿モード]
- 70 原稿の読み取り濃度を選択する [読み取り濃度]
- 71 原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]
- 74 不定形用紙に印刷する [用紙サイズ]
- 75 両面設定をする [両面設定]
- 77 続けてプリントする [連続]
- 78 写真に網点をかける [網点]
- 79 写真の明暗を調節する [コントラスト強調]
- 80 写真の階調を調節する [トーンカーブ選択]
- 81 インクを節約する [省インク]
- 82 1枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写]
- 92 1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け]
- 100 雑誌や本をプリントする [ブックモード]
- 102 原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿]
- 103 製版位置を調整する [とじしろ]
- 105 フルサイズで製版する [フルサイズ製版]
- 106 1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版]
- 114 製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]
- 116 片方のドラムのみ原稿を差し替える [シングル製版]
- 118 2つのドラムの濃度を同じにする [①=②濃度追従]

# 原稿に適したモードを選択する

## [原稿モード]



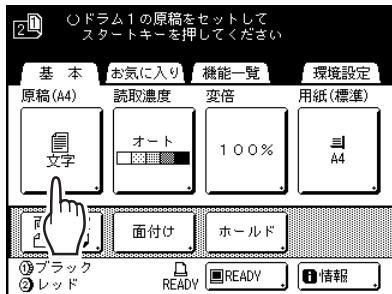
文字のみ、または写真を含むものなど、モードを選択することで各種の原稿に適した製版ができます。

### 参考

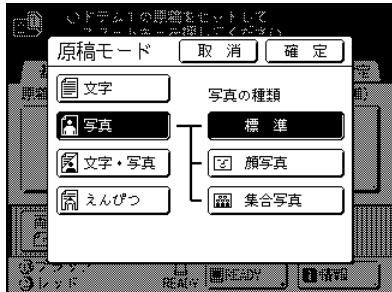
「環境設定」で「原稿モード」の初期設定を変更できます。  
P.185「初期設定を変更する [環境設定] / 原稿モード基本設定」



### 1 製版基本画面で[原稿]ボタンにタッチする



### 2 原稿の種類に適したモードを選択する



- [文字] ..... ワープロ、新聞などの文字原稿
- [写真] ..... 写真原稿
- [文字・写真] ..... 文字と写真が混在している原稿
- [えんぴつ] ..... えんぴつ書きなどの薄い原稿

<写真ボタン>、<文字・写真ボタン>、<えんぴつボタン>にタッチした場合は、さらに詳細の設定を選びます。

原稿モード (詳細設定)	意味
<b>写真</b>	
標準	[顔写真] や [集合写真] 以外の写真の場合に選択します。
顔写真	1人または2人のバストアップ写真向きの設定です。特に顔がきれいに印刷できるように画像処理します。
集合写真	照明をあてて撮影した集合写真向きの設定です。顔の目鼻が飛ばないように画像処理するため、フラッシュによって白飛びしている顔にも効果があります。 ただし、顔が暗い集合写真には向きません。顔の暗い写真の場合は、[標準]にした方が効果的な場合もあります。
<b>文字・写真</b>	
文字優先	細かい文字を鮮明に印刷したい場合に選択します。
写真優先	写真をより鮮明に(明るく)印刷したい場合に選択します。
下地カット	下地色のある原稿の下地を消去します。 [下地カット]は、[文字優先] [写真優先]とは別に選択できます。
<b>えんぴつ</b>	
こいめ	薄い原稿をはっきり印刷したい場合に選択します。
うすめ	切り貼りのあるえんぴつ原稿で、切り貼りの影が出てしまう場合などに選択します。

**3**

## &lt;確定ボタン&gt;にタッチする

指定した「原稿モード」に設定され、製版基本画面に戻ります。

## 参考

- 選択する「原稿モード」により、設定できない機能があります。

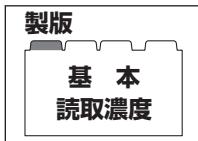
	文字	写真	文字・写真	えんぴつ
網点	×	○	○	×
読み取り濃度 (オート)	○	×	×	×
読み取り濃度 (1~5)	○	○	○	○
コントラスト 強調	×	○	×	×
トーンカーブ 選択	×	○	○	○

○: 設定可 ×: 設定不可

- 「文字」モードの場合は、「読み取り濃度」を「オート」に設定すると、下地の色は自動的に消去されます。  
 P.70「原稿の読み取り濃度を選択する【読み取り濃度】」

# 原稿の読み取り濃度を選択する

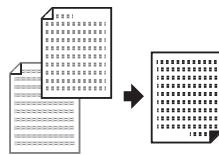
## [読み取り濃度]



原稿の地色や文字の濃淡などに合わせて、原稿の読み取り濃度を調節できます。

オートまたは、濃度(5段階)を選択します。

オートでは、原稿の地色に合わせて、自動的に「読み取り濃度」を設定してプリントします。



＜オートボタン＞は「原稿モード」で「文字」を選択しているときのみ設定できます。

☞ P.68「原稿に適したモードを選択する〔原稿モード〕」



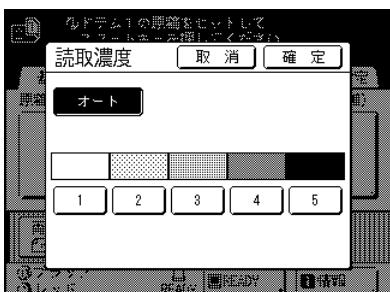
「環境設定」で「読み取り濃度」の初期設定を変更できます。

☞ P.185「初期設定を変更する〔環境設定〕／読み取り濃度基本設定」

## 1 製版基本画面で[読み取り濃度]ボタンにタッチする



## 2 設定する濃度のボタン、または＜オートボタン＞にタッチする



番号と読み取り濃度の関係

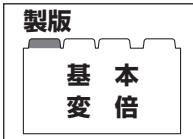
- |   |  |           |
|---|--|-----------|
| 1 |  | .....薄い   |
| 2 |  | .....やや薄い |
| 3 |  | .....標準   |
| 4 |  | .....やや濃い |
| 5 |  | .....濃い   |

## 3 <確定ボタン>にタッチする

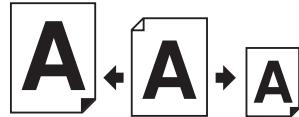
指定した[読み取り濃度]に設定され、製版基本画面に戻ります。

# 原稿を拡大／縮小する

[固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]



原稿を拡大または縮小してプリントできます。  
拡大／縮小の方法には、以下の5種類があります。



## ■ 固定変倍

A4やB5などの定形サイズの原稿を、他の定形サイズの印刷用紙に拡大または縮小してプリントできます。

## ■ オート

給紙台にセットされている用紙に合わせて、自動的に拡大・縮小してプリントします。

## ■ 周囲余白

原稿全体を少し縮小してプリントします。

印刷物にとじしろをつけたいときや、プリントエリアの外まで文字や図などがある原稿をプリントするときに使用します。

「環境設定」で縮小率を90%～99%の間で変更することができます。

☞ P.187「初期設定を変更する [環境設定] / 周囲余白縮小率」

**参考** 「周囲余白」は、「固定変倍」と併用できます。

## ■ 独立変倍

原稿の天地(上下)と左右を、任意の変倍率で別々に拡大または縮小してプリントします。

変倍率は、50%～200%までの間で、1%きざみで指定できます。

## ■ ズーム変倍

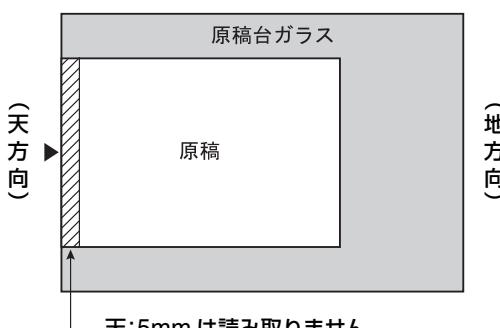
任意の変倍率で拡大または縮小してプリントします。

変倍率は、50%～200%までの間で、1%きざみで指定できます。

**参考**

- 本機では、印刷物の紙詰まり(舞い上がり)や、裏移りを未然に防ぐために、用紙サイズいっぱいに印刷(縁なし印刷)できないしくみになっています。特に天方向は必ず5mmの余白が必要です。☞ P.17「プリントエリア(製版範囲)について」  
原稿台ガラス(RISOオートフィーダーDX-1も同様)の▲マーク側(天方向)5mmは、縮小・拡大にかかわらず読み取りません。

原稿セット位置

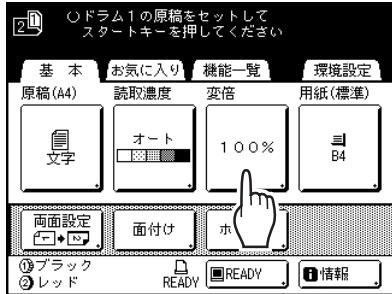


- 原稿の天方向5mmに文字や画像がある場合、カットされた状態で印刷されますのでご注意ください。この5mmは「フルサイズ製版」機能を使用した場合も、余白として残ります。  
☞ P.105「フルサイズで製版する [フルサイズ製版]」
- 天方向に余白のない原稿は、「周囲余白」を設定しても、天方向5mmの部分の原稿はカットされてしまいます。5mm程度ずらしてセットしてください。

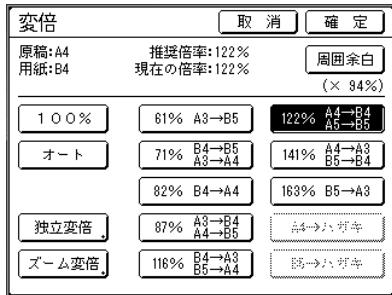
## 原稿を拡大／縮小する【固定変倍】【独立変倍】【ズーム変倍】【周囲余白】

### 固定倍率の拡大／縮小 【固定変倍】 【周囲余白】

#### 1 製版基本画面で【変倍】ボタンにタッチする



#### 2 指定する倍率のボタンにタッチする



倍率を等倍に戻すときは<100%ボタン>にタッチします。

原稿の周囲に余白がない場合は、<周囲余白ボタン>にタッチしてください。



- RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に、原稿をセットしているときは、[A4 →ハガキ]は選択できません。
- [A4→ハガキ][B5→ハガキ][オート][ズーム変倍][独立変倍]を選択した場合は、[周囲余白]は併用できません。
- 2色プリント時、またはドラム2での1色プリント時は、[A4→ハガキ]と[B5→ハガキ]は選択できません。
- ドラム1での1色プリント時のみ、[A4→ハガキ]と[B5→ハガキ]は選択できます。



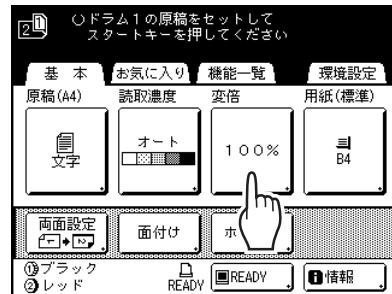
- 「固定変倍」と「周囲余白」を併用した場合、「現在の倍率」には固定変倍率×周囲余白縮小率が表示されます。
- 原稿サイズが検知できなかった場合は、「---」と表示されます。

#### 3 <確定ボタン>にタッチする

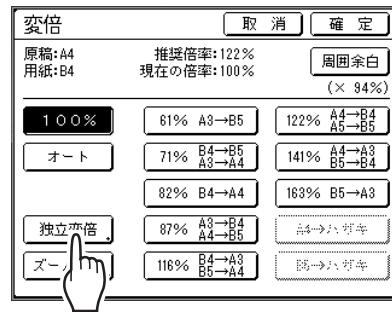
指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻ります。

### 縦横比を変えた拡大／縮小 【独立変倍】

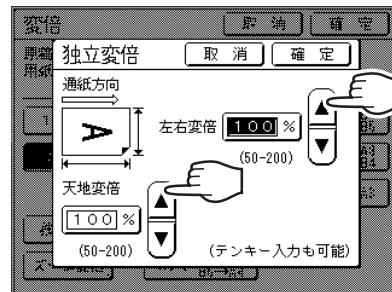
#### 1 製版基本画面で【変倍】ボタンにタッチする



#### 2 <独立変倍ボタン>にタッチする



#### 3 <▲ボタン><▼ボタン>にタッチして天地または左右の倍率を指定する



倍率は、1% きざみで設定できます。



- 倍率は、テンキーでも入力できます。
- < C >キーを押すと等倍(100%)に戻ります。

#### 4 <確定ボタン>にタッチする

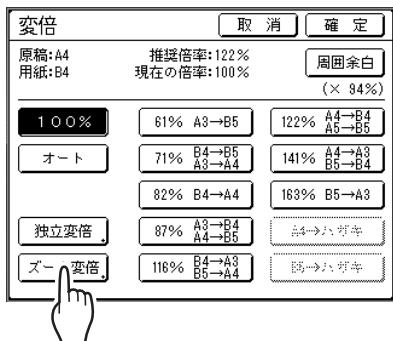
指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻ります。

## ズームでの拡大／縮小 [ズーム変倍]

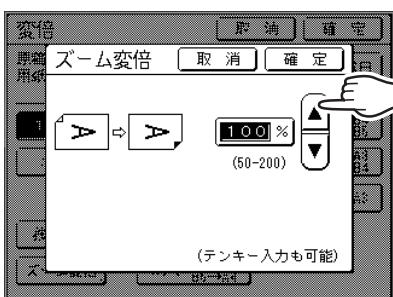
### 1 製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



### 2 <ズーム変倍ボタン>にタッチする



### 3 <▲ボタン><▼ボタン>にタッチして倍率を指定する



倍率は、1% きざみで設定できます。

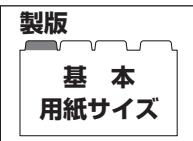
- 参考**
  - 倍率は、テンキーでも入力できます。
  - < C >キーを押すと等倍(100%)に戻ります。

### 4 <確定ボタン>にタッチする

指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻ります。

# 不定形用紙に印刷する

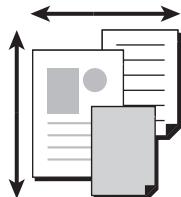
## [用紙サイズ]



給紙台にセットした用紙が定形サイズの場合、自動でサイズを検知し、用紙に合わせた適正なサイズで製版を行います。不定形サイズの場合、自動でサイズ検知できないため、製版する前に印刷用紙のサイズを選択してください。



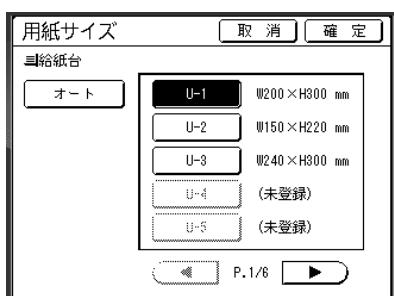
- 不定形サイズの用紙を使用するときは、あらかじめ「環境設定」で登録しておいてください。登録せずに不定形用紙を使用すると、製版が正しく行わなければ、原稿が欠けることがあります。
- ☞ P.196「不定形サイズを登録する【用紙サイズ登録】」
- 両面プリントには、不定形サイズの用紙は使用できません。



### 1 製版基本画面で[用紙]ボタンにタッチする



### 2 使用する用紙サイズのボタンにタッチする



- この画面には、あらかじめ登録済みの不定形用紙が表示されます。ここに表示されないサイズの用紙を使う場合は、登録から行ってください。
- ☞ P.196「不定形サイズを登録する【用紙サイズ登録】」
- 選択しているプリントモードにより、使用できる用紙サイズが異なります。
- ☞ P.16「印刷に使用できる用紙について」



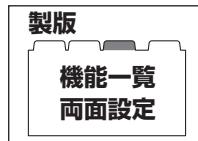
定形サイズの用紙を使用するときは、<オートボタン>にタッチしてください。

### 3 <確定ボタン>にタッチする

指定した用紙に設定され、製版基本画面に戻ります。

# 両面設定をする

## [両面設定]



両面プリントをする場合に、原稿のセット方向や読み取り面(両面／片面)、仕上がりの印刷の向きを設定します。片面原稿を読み取る場合は、原稿セット方向と仕上がりのページめくり方向を指定します。

RISO オートフィーダーDX-1(オプション)で両面原稿を読み取る場合は、印刷の向きは原稿と同じになります。

仕上がりイメージで、印刷の向きを確認できます。

原稿セット方向*	仕上がりのページめくり方向	仕上がりイメージ
左向き 	左右開き	
左向き 	上下開き	
読める向き 	左右開き	
読める向き 	上下開き	

\* 原稿をセットしたときの、操作パネル側から見た記載の向き



「両面設定」の「原稿読み取り面」で「両面」に設定した場合、以下の機能とは併用できません。

- ・プログラム印刷([多原稿プログラム])
- ・両面合成
- ・レイアウト原稿
- ・多原稿連写



工場出荷時は、以下のように設定されています。

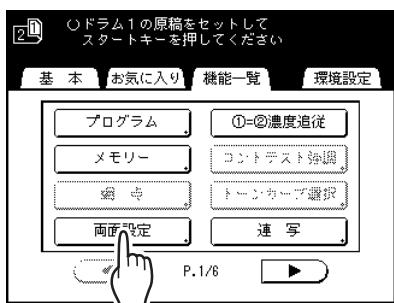
原稿読み取り面:片面(RISO オートフィーダーDX-1 装着時)

原稿セット方向:左向き

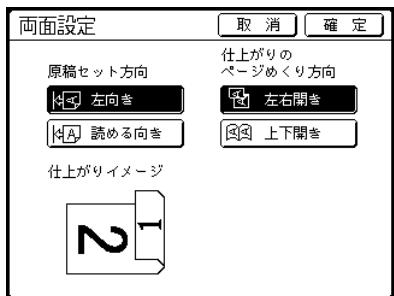
仕上がりのページめくり方向:左右開き

## 両面設定をする [両面設定]

### 1 機能一覧画面で<両面設定ボタン>にタッチする



### 2 原稿セット方向、仕上がりのページめくり方向を選択する



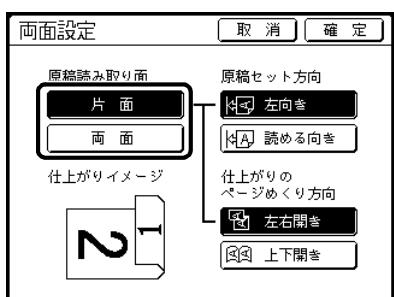
#### ■ RISO オートフィーダーDX-1(オプション) 装着時

下記の画面が表示されます。

初めに原稿読み取り面を選択してください。

<片面ボタン>をタッチした場合は、続いて原稿セット方向、仕上がりのページめくり方向を選択します。

<両面ボタン>をタッチした場合は、原稿セット方向、仕上がりのページめくり方向の設定は不要になります。



### 3 <確定ボタン>にタッチする

「両面設定」が設定され、製版基本画面に戻ります。

# 続けてプリントする



## [連続]

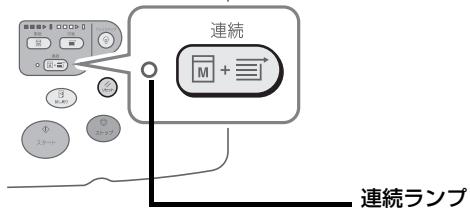
製版から印刷までのプリント動作を、自動的に連続して行うことができます。  
「連続」を設定しているときは、印刷枚数を入力した後に<スタート>キーを押してください。



- 参考**
- プリント終了後、印刷枚数は入力した枚数に復帰します。
  - 「環境設定」で本機の起動時やリセット時に「連続」が「ON」になるように設定できます。

☞ P.186「初期設定を変更する [環境設定]／連続基本設定」

### <連続>キーを押す



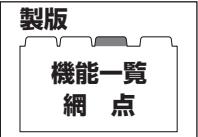
連続ランプが点灯します。

**参考**

- 「連続」を解除するときは、再度<連続>キーを押してください。ランプが消灯します。
- 初期設定では、RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に複数枚の原稿をセットして、[連続]を「ON」に設定すると、すべての原稿が自動的にプリントされます。
- 2色プリント時に RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をセットする場合は、原稿のセット順序に注意してください。先に読み取られる原稿がドラム 1 で製版されます。

# 写真に網点をかける

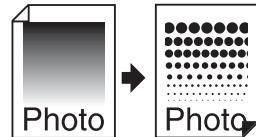
## [網点]



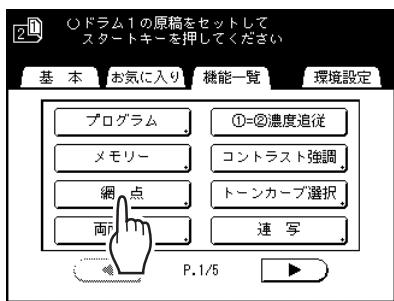
写真原稿などに網点をかけることで、より鮮明なプリントができます。  
網点パターンは4種類から選択できます。



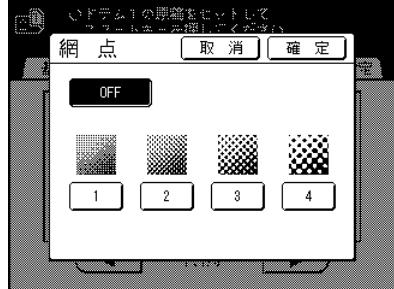
【原稿モード】が【文字】、【えんぴつ】に設定されているときは【網点】は設定できません。



### 1 機能一覧画面で<網点ボタン>にタッチする



### 2 設定する網点のボタンにタッチする



表示				
番号	1	2	3	4
線数	106線 相当	71線 相当	53線 相当	34線 相当



網点を設定しないときは、<OFFボタン>にタッチしてください。

### 3 <確定ボタン>にタッチする

指定した網点に設定され、機能一覧画面に戻ります。

# 写真の明暗を調節する

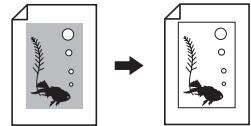
## [コントラスト強調]



階調のはっきりしない写真原稿の場合、コントラストを強調することで、より鮮明にプリントできます。

コントラストの強調は、2種類から選択できます。

**重要** [原稿モード]が[文字]、[文字・写真]、[えんぴつ]に設定されているときは  
[コントラスト強調]は設定できません。



### 1 機能一覧画面で<コントラスト強調ボタン>にタッチする



### 2 設定するコントラストのボタンにタッチする



[うすめ] .....濃い部分をより鮮明にします。写真全体が暗く、暗い被写体がはっきりしない場合に設定します。

[こいめ] .....薄い部分をより鮮明にします。写真全体が明るく、明るい被写体がはっきりしない場合に設定します。

### 3 <確定ボタン>にタッチする

指定した[コントラスト強調]に設定され、機能一覧画面に戻ります。

# 写真の階調を調節する

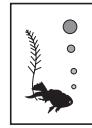
## [トーンカーブ選択]



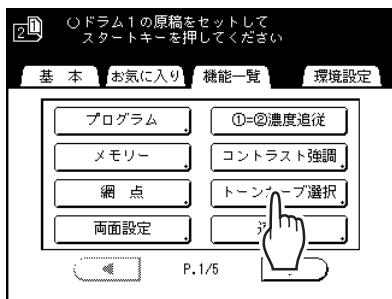
写真の明るい部分(ハイライト)の調子と暗い部分(シャドウ)の調子を、それぞれ3段階から選んで調節できます。



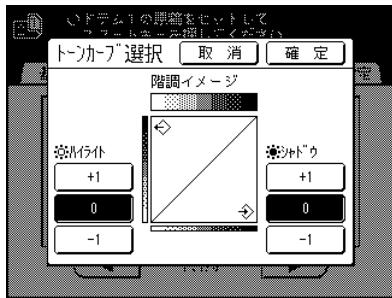
**重要** [原稿モード]が[文字]に設定されているときは[トーンカーブ選択]は設定できません。



### 1 機能一覧画面で<トーンカーブ選択ボタン>にタッチする



### 2 [ハイライト]または[シャドウ]の調節ボタンにタッチして、調節する



[ハイライト] .....写真の光線を強く受けている部分を調節します。

[シャドウ] .....写真の光線の弱い部分を調節します。

< +1 ボタン>を選ぶとそれが強調され、<-1ボタン>を選ぶとそれが弱まります。

### 3 <確定ボタン>にタッチする

指定したトーンカーブに設定され、機能一覧画面に戻ります。

# インクを節約する

## [省インク]

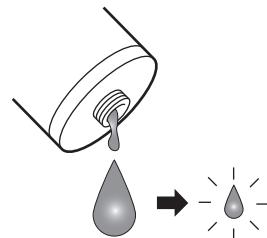


[省インク]を設定して製版すると、印刷するときに使用するインクの量が、通常よりも少なくなるため、インクを節約して印刷できます。

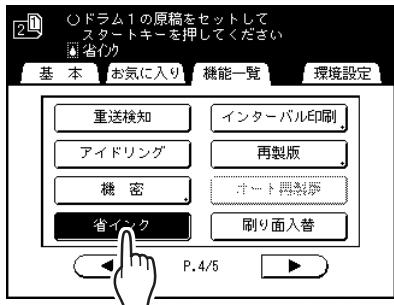
インクの消耗量を抑える処理を行うため、印刷濃度は通常よりも薄くなります。



- 印刷時には設定できません。
- 「省インク」を設定しているときは、「読み取り濃度」および「印刷濃度」は設定できません。
  - P.70「原稿の読み取り濃度を選択する [読み取り濃度]」
  - P.122「印刷濃度を変える [印刷濃度調節]」
- パソコンから送信したデータを出力するときは、この機能は使用できません。



機能一覧画面で<省インクボタン>にタッチする



[省インク]が設定され、メッセージエリアに[省インク]アイコンが表示されます。

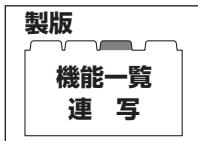


省インクは、製版時に有効な機能です。印刷時に設定(解除)を行っても、現在ドラムに巻きついているマスターには反映されません。

次回の製版時に設定(解除)されます。

# 1枚の用紙に多面取りする

## [連写] [かんたん連写]

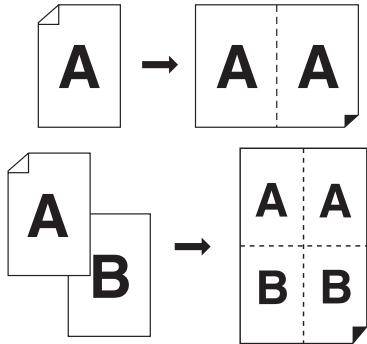


1枚の印刷用紙に複数の原稿を割り付けてプリントすることを「連写」といいます。

1枚の用紙に複数ページを割り付けて用紙を節約したい場合や、文集などの袋とじをするとき、伝言メモ用紙をプリントするときなどに便利な機能です。

連写には「かんたん連写」と、複数の原稿の多面取りが可能な「連写」があります。

2面取りで連写する場合は、「かんたん連写」を使うと便利です。



「連写」を行うときは定形用紙を使用してください。不定形用紙および「環境設定」でサイズ登録した用紙をセットしているときは、「連写」はできません。

### ■ かんたん連写

1枚の印刷用紙に2面取りします。

### ■ 連写

1枚または複数(最大4原稿)の原稿を、1枚の印刷用紙に多面取りします。

原稿と原稿の境界線(影)を出さずに印刷できます。

[連写]には、以下の3種類があります。

[1原稿連写] ..... 1枚の原稿を多面取りします。

[多原稿連写] ..... 複数の原稿を多面取りします。

[チケット連写] ..... チケットのような細長い不定形の原稿を多面取りすることができます。

[1原稿連写]と[多原稿連写]では、それぞれ2面取り、4面取り、8面取り、16面取りでプリントすることができます。

### 参考

- 両面原稿をRISOオートフィーダーDX-1にセットした場合は、多原稿連写はできません。片面ずつ原稿台ガラスにセットしてください。
- 「かんたん連写」「連写」は、次の機能とは併用できません。
  - 自動振分機能
  - 自動90度回転
  - レイアウト原稿
  - ブックモード
  - とじしろ
  - 変倍([オート][A4→ハガキ][B5→ハガキ])
  - スキャンモード時の原稿読み取りサイズ[オート]
  - かんたん分版
  - 省インク([多原稿連写]で、原稿と原稿の間で「原稿モード」を変更する場合)
- 連続する複数のページを、1ページずつ割り付けたい場合は、「面付け」機能の「Nアップ」を利用してください。

## 連写を使用するときの注意

「連写」をするときは、次の項目に注意してください。

### ■ 印刷用紙のセット方向

印刷用紙は、必ず右図の向きにセットしてください。

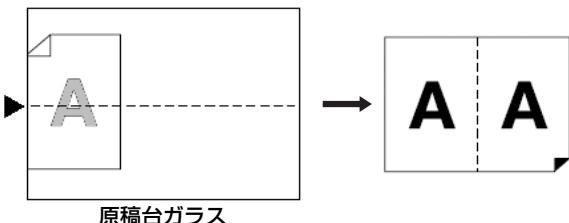


### ■ 原稿のセット方向

面取りの数により、原稿のセット方向が異なります。

各面取りでのセット方向とプリント結果は、以下のようにになります。

#### かんたん連写(2面のみ)

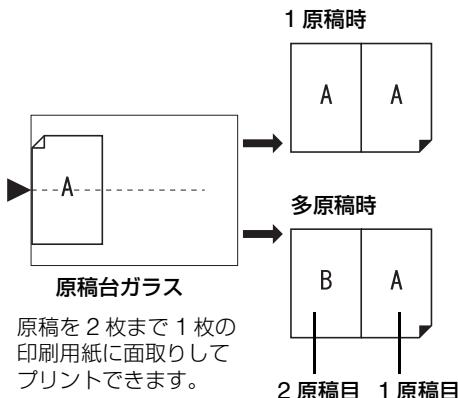


1枚の原稿を、1枚の印刷用紙に2面取りします(1原稿2面連写)。

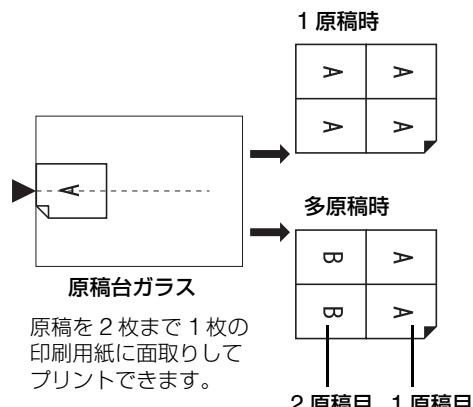
#### 連写

##### [1原稿連写]および[多原稿連写]の場合:

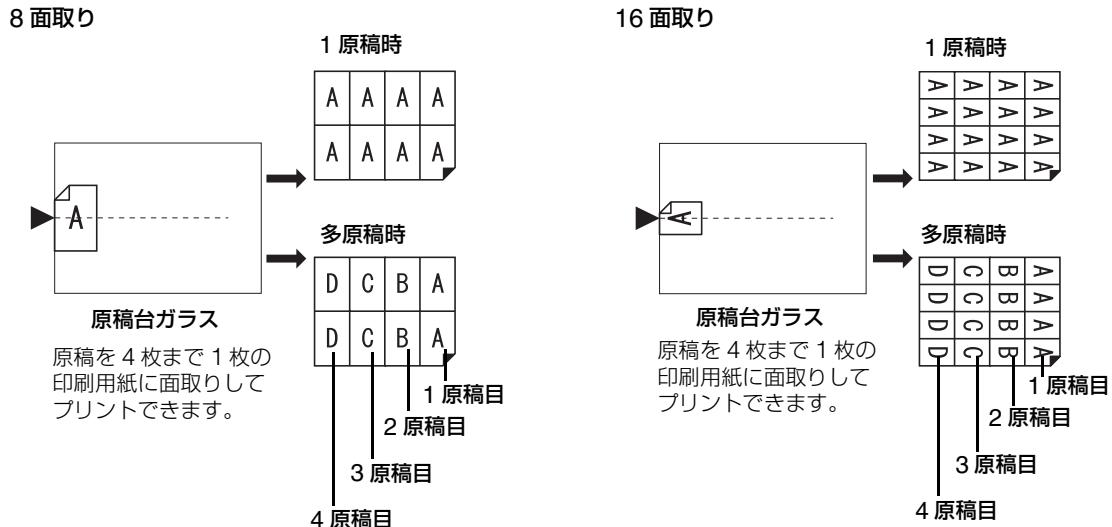
###### 2面取り



###### 4面取り



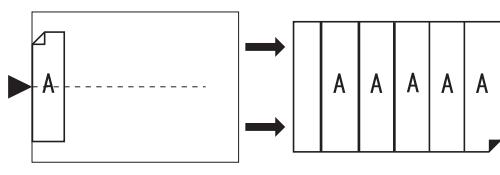
## 1枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写]



## 参考

「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残りを空白でプリントしたい場合は、不足する原稿の枚数分だけ白紙原稿をセットしてください。

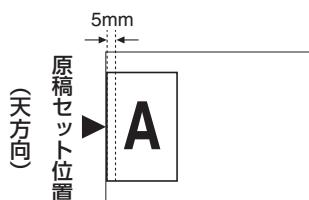
### [チケット連写]の場合:



### ■ 余白

原稿は必ず天方向5mmの余白を取ってください。余白が十分でないと、きれいな面取りになりません。

☞ P.18 「原稿の余白について」



## 参考

天方向の余白は変倍されずにそのまま残ります。

### ■ 連写待ち時間

「連写」では、原稿を枚数分読み取ります。

1回目の読み取りと、2回目の読み取りの間の時間を「連写待ち時間」といいます。

「連写待ち時間」の間に原稿の入れ替えや、各種の機能の設定をします。

## 参考

「環境設定」で「連写待ち時間」の初期設定を変更できます。工場出荷時は15秒に設定されています。

☞ P.188 「初期設定を変更する [環境設定] / 連写待ち時間」

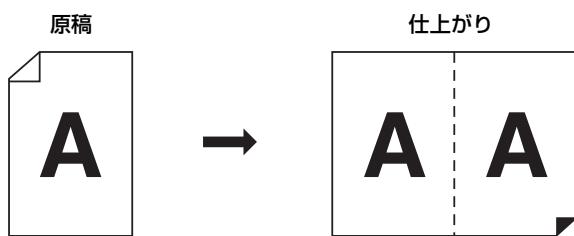
## プリントモード別の連写の仕上がり

2面取りを例に、プリントモード別に1原稿連写と多原稿連写の仕上がりをご紹介します。

### 1 原稿連写

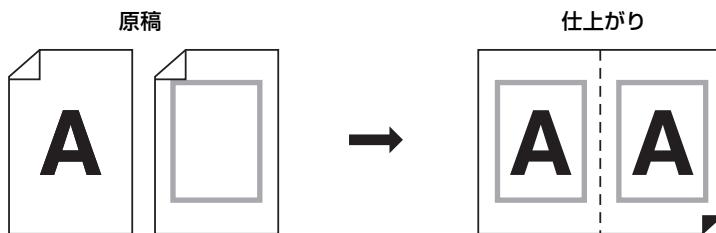
#### ■ 1色プリントモード

ドラム1用またはドラム2用の原稿を1枚用意します。



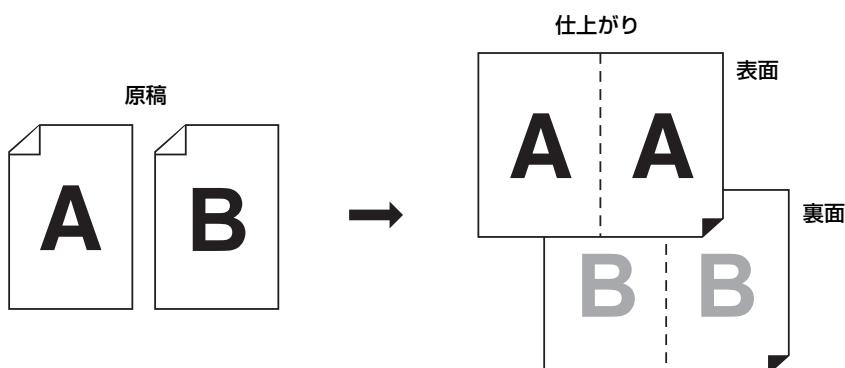
#### ■ 2色プリントモード

ドラム1側とドラム2側の原稿を用意します。



### ■ 両面モード

1ページ目をドラム1で、2ページ目をドラム2でプリントします。

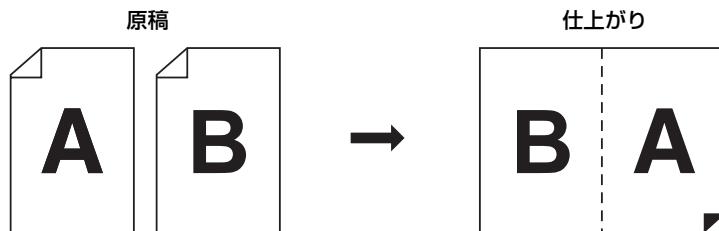


## 1枚の用紙に多面取りする【連写】[かんたん連写]

### 多原稿連写

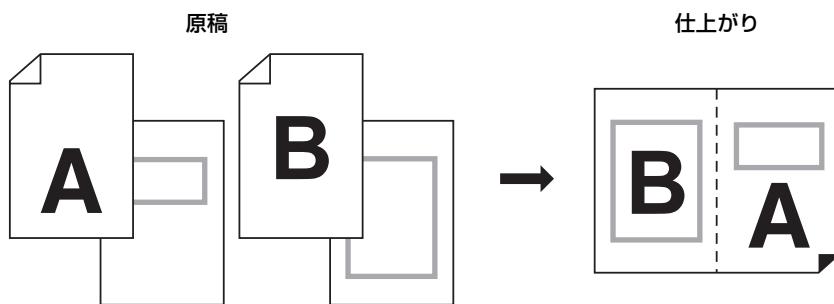
#### ■ 1色プリントモード

ドラム1用またはドラム2用の原稿を1枚用意します。2回目の原稿読み取り時に、異なる原稿を用意すると、2原稿連写ができます。



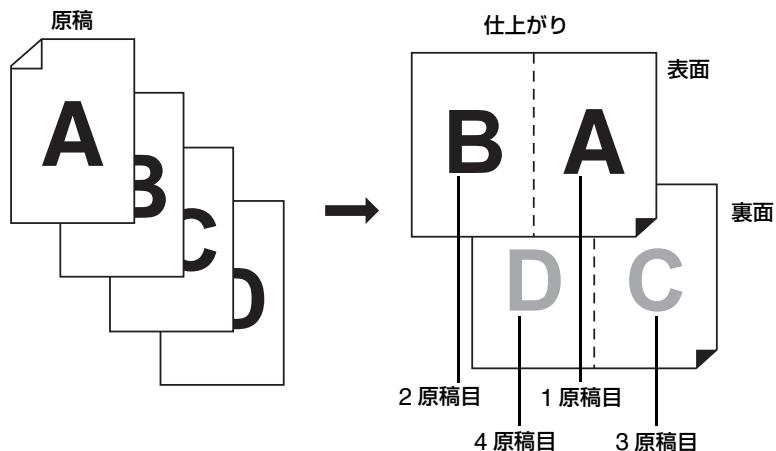
#### ■ 2色プリントモード

ドラム1側とドラム2側の原稿を用意します。面数×2枚の原稿が必要です。



#### ■ 両面モード

指定した面数を両方の面にプリントするため、面数×2枚の原稿が必要です。



## かんたん連写の操作のしかた

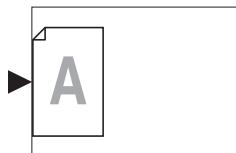
### 1 プリントモードを選ぶ

プリントするモードを選びます。

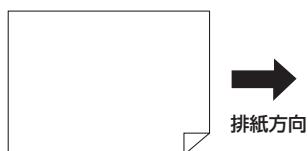
プリントモードの選びかたは、P.27「プリントモード」をご覧ください。

### 2 原稿、印刷用紙をセットする

- 原稿は必ず下図の方向にセットしてください。



- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



#### 参考

RISOオートフィーダーDX-1(オプション)を使用すると、2原稿2面連写ができます。原稿を2枚重ねてセットしてください。

1原稿2面連写の場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

### 3 機能一覧画面で<かんたん連写ボタン>にタッチする



### 4 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷工程と同様に操作してください。

原稿サイズと用紙サイズの組み合わせにより、変倍率の設定が必要です。次の表を参考に設定してください。

原稿 印刷用紙	A4	B5	A5	B6
<b>A3</b>	100%	116%	141%	163%
<b>B4</b>	87%	100%	123%	142%
<b>A4</b>	71%	82%	100%	116%
<b>B5</b>	61%	71%	87%	100%

原稿 印刷用紙	A6	B7	A7	B8
<b>A3</b>	200%	—	—	—
<b>B4</b>	173%	200%	—	—
<b>A4</b>	138%	163%	200%	—
<b>B5</b>	122%	141%	173%	200%

### 5 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが開始されます。

# 1枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写]

## 「1原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた

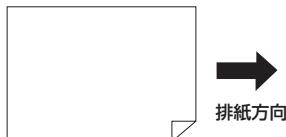
### 1 プリントモードを選ぶ

プリントするモードを選びます。  
プリントモードの選びかたは、P.27「プリントモード」をご覧ください。

### 2 原稿、印刷用紙をセットする



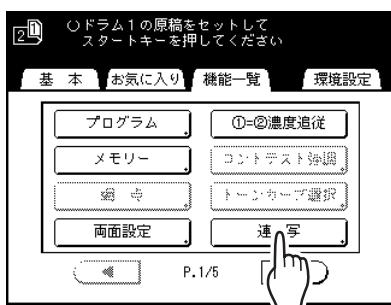
- 原稿のセット方向に注意してください。  
P.83「連写を使用するときの注意」
- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



#### 参考

- 「多原稿連写」で片面原稿の場合は、RISO オートフィーダーDX-1(オプション)にすべての原稿をセットすると便利です。セット方法は、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。
- 両面原稿を「多原稿連写」する場合は、片面ずつ原稿台ガラスにセットします。

### 3 機能一覧画面で<連写ボタン>にタッチする

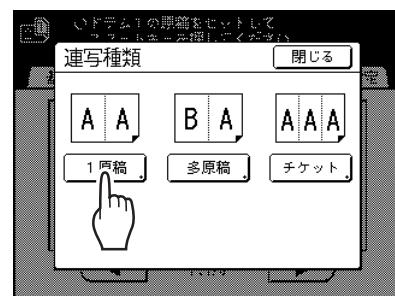


### 4 使用する原稿サイズを選択する

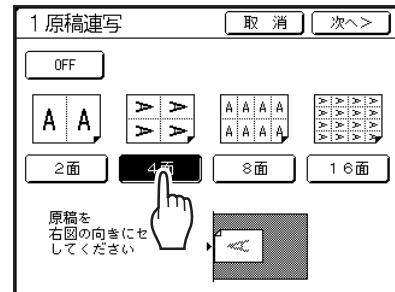
原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



### 5 <1原稿ボタン>または<多原稿ボタン>にタッチする



### 6 設定する面数のボタンにタッチする



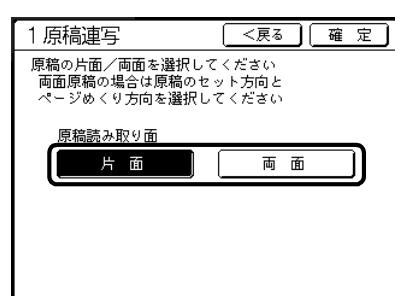
[連写]の設定を中止する場合は、<取消ボタン>を押します。

### 7 <次へボタン>または<確定ボタン>にタッチする

RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使用する場合は、<次へボタン>にタッチし、手順 8 に進んでください。

それ以外の場合は、<確定ボタン>にタッチし、手順 11 に進んでください。

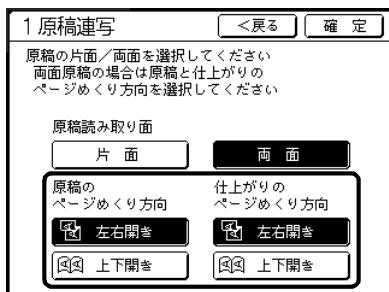
### 8 <片面ボタン>または<両面ボタン>にタッチする



<片面ボタン>にタッチした場合は、手順 10 に進んでください。

<両面ボタン>にタッチした場合は、手順 9 に進んでください。

## 9 原稿のページめくり方向と仕上がりのページめくり方向を選択する



それぞれについて、<左右開きボタン>または<上下開きボタン>にタッチしてください。

## 10 <確定ボタン>にタッチする

[連写]が設定され、機能一覧画面に戻ります。使用する用紙サイズと原稿サイズから、選択した面数に合わせて、自動的に変倍率が設定されます。

## 11 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

- 連写設定前に変倍率を設定した場合、その変倍率は無効となり、選択した面数に応じた変倍率になります。
- 1色または2色プリントの場合、2原稿目以降の原稿モードは、1原稿目の原稿モードとは違うものに変更できます。両面モードの場合、2原稿目以降の原稿モードは、1原稿目と同じになります。

### 参考

- 設定できる機能
- 原稿モード
  - 網点
  - 読み取り濃度
  - 変倍

## 12 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが開始されます。

2色または両面プリントの場合は、続けてドラム2の原稿をセットします。以降は、通常の製版・印刷工程と同様に操作してください。

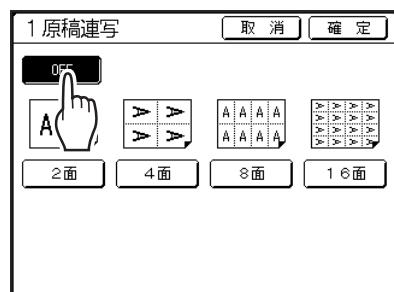


• [次の原稿をセットし、スタートを押してください。ストップキーで中止します]のメッセージが表示されたときは、次原稿待ちの状態です。次の原稿をセットして、<スタート>キーを押してください。連写を中止したい場合は、<ストップ>キーを押してください。

- 原稿台ガラスと RISO オートフィーダーDX-1(オプション)の併用はできません。最初の原稿読み取りを原稿台ガラスで行ったときは、2枚目以降の原稿も原稿台ガラスにセットしてください。
- 原稿読み取りを RISO オートフィーダーDX1(オプション)で行い、「1原稿連写」をする場合は、原稿を2回セットする必要があります。

### 参考

- 「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残りを空白でプリントしたい場合は、不足分の白紙原稿を入れるか、次原稿待ちの状態で<ストップ>キーを押してください。製版を開始します。  
☞ P.83「連写を使用するときの注意」
- 「連続」を設定しているときは、RISO オートフィーダーDX-1に原稿があれば続けてプリントします。
- 一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順3を行って面数を選択する画面を表示させます。<OFFボタン>にタッチして、<確定ボタン>にタッチしてください。



# 1枚の用紙に多面取りする【連写】[かんたん連写]

## チケット連写の操作のしかた

[チケット連写]は、原稿の短辺サイズ(幅)を指定するだけで、面取り可能な数を自動的に割り出して、1枚の印刷用紙にプリントします。

原稿の幅は、50mm～210mmの間で指定できます。印刷用紙に面付けされる数は、「印刷用紙の長辺÷原稿の幅」で計算できます。  
余りは余白になります。

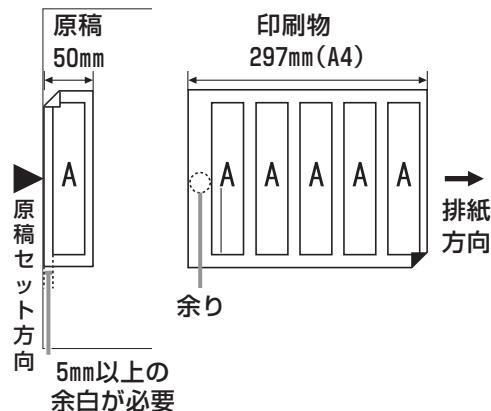
例

原稿の幅 50mm

印刷用紙の長辺 297mm(A4 サイズ)

$$297 \div 50 = 5 \text{ 余り } 47$$

この場合、印刷用紙に5面取りでプリントされます。



## 1 プリントモードを選ぶ

プリントするモードを選びます。

プリントモードの選びかたは、P.27「プリントモード」をご覧ください。

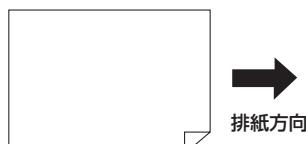
## 2 原稿、印刷用紙をセットする

原稿台ガラスに上記の向きで原稿をセットします。

2色プリントまたは両面時は、ドラム1の原稿をセットします。

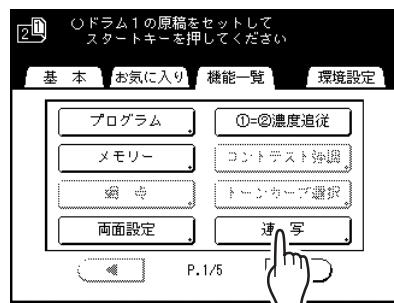
**重要**

印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



## 3

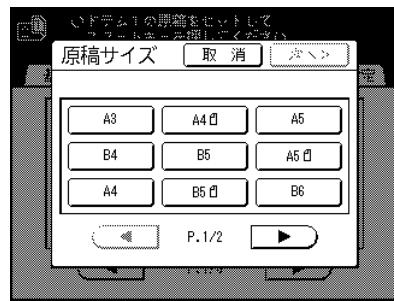
機能一覧画面で<連写ボタン>にタッチする



## 4

使用する原稿サイズを選択する

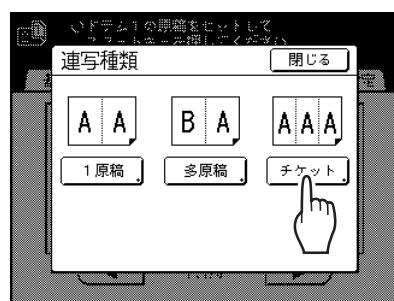
いずれかの原稿のサイズボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。(チケット連写の場合、どのサイズボタンを選択しても、後の操作に影響はありません。)



[連写種類]画面が表示されます。

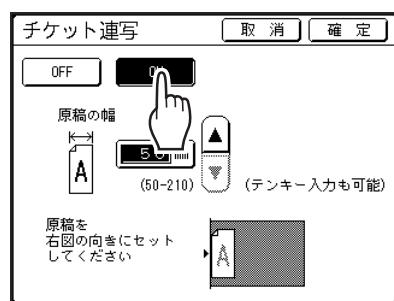
## 5

<チケットボタン>にタッチする



## 6

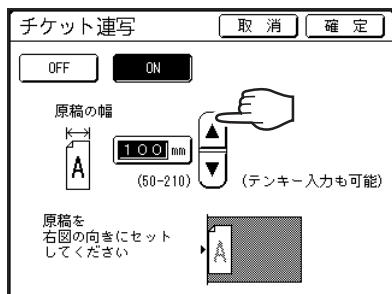
<ONボタン>にタッチする



原稿の幅を入力できるようになります。

7

<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、原稿の幅を指定する



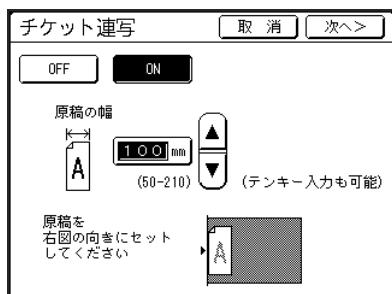
- 手順12(プリント機能を設定)で拡大／縮小を行う場合は、次の点に注意してください。
- 拡大／縮小後のチケット幅を指定してください。
- 拡大を行う場合は、拡大後のサイズが、指定した「原稿の幅」や印刷用紙の短辺からはみ出さないように注意してください。
- 拡大を行う場合は、あらかじめ拡大後のサイズに応じた印刷用紙をセットしてください。

8

<次へボタン>または<確定ボタン>にタッチする

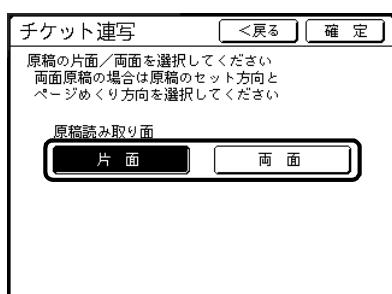
RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使用する場合は、<次へボタン>にタッチし、手順9に進んでください。

それ以外の場合は、<確定ボタン>にタッチし、手順12に進んでください。



9

<片面ボタン>または<両面ボタン>にタッチする

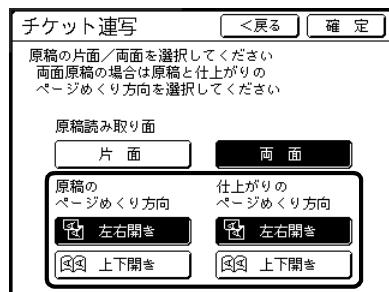


<片面ボタン>にタッチした場合は、手順11に進んでください。

<両面ボタン>にタッチした場合は、手順10に進んでください。

10

原稿のページめくり方向と仕上がりのページめくり方向を選択する



それぞれについて、<左右開きボタン>または<上下開きボタン>にタッチしてください。

11

<確定ボタン>にタッチする

[チケット連写]が設定され、機能一覧画面に戻ります。

12

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

13

<スタート>キーを押す

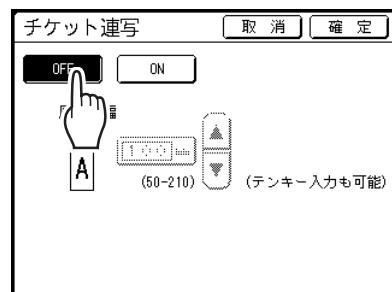
原稿の読み取りを開始します。

2色または両面プリントの場合は、続けてドラム2の原稿をセットします。

以降は、通常の各プリントモードの製版・印刷工程と同様の操作を行ってください。

参考

一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順2を行って面数を選択する画面を表示させます。<OFFボタン>にタッチして、<確定ボタン>にタッチしてください。



# 1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け]



複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめてプリントします。

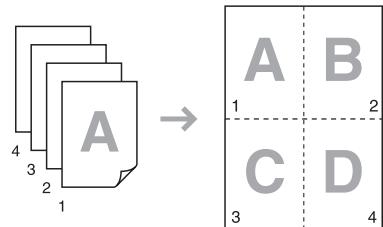
面付けには、[Nアップ]、[4頁冊子]、[小冊子]の3種類があります。

**参考**

「4頁冊子」、「小冊子」は両面プリントモード用の機能です。1色プリントモード、2色プリントモードでは使用できません。

## Nアップ

1枚の用紙に連続する複数枚の原稿を割り付けます。  
袋とじ文集の作成や、用紙を節約したいときに便利です。

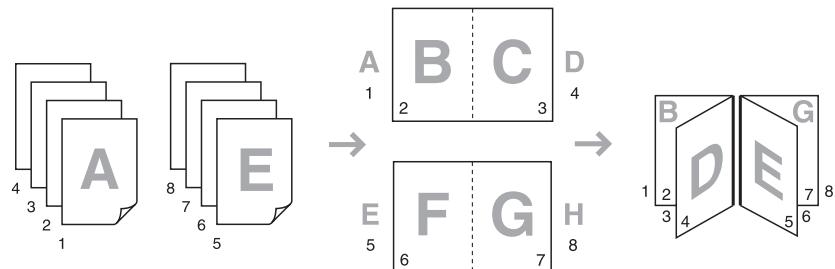


**参考**

「Nアップ」は、「かんたん分版」とは併用できません。

## 4頁冊子

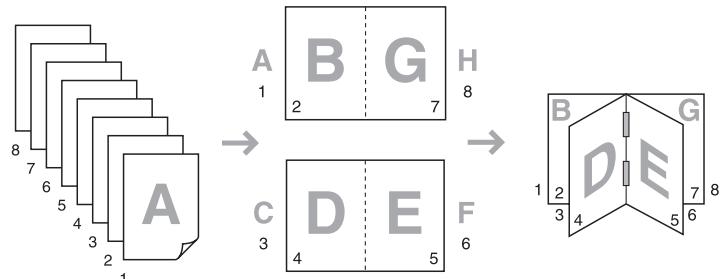
1枚の用紙に4ページ分の原稿を、両面に2面ずつ面付けします。複数枚印刷したものを、それぞれ中央で折って重ねると、ページ順の冊子になります。



右開き／左開きの設定や、印刷用紙の中央に余白を入れるとじしろ設定(0～50mm)ができます。

## 小冊子

1枚の用紙に4ページ分の原稿を、両面に2面ずつ面付けします。複数枚印刷したものを、印刷した順に重ねて中央で折るとページ順の冊子になります。



右開き／左開きの設定や、印刷用紙の中央に余白を入れるとじしろ設定(0～50mm)ができます。

## 設定項目について

### ■ 原稿サイズ設定

使用する原稿のサイズを設定します。

**重要** 原稿サイズと印刷用紙のサイズにより、変倍率が決定します。変倍率が適切でないときは、エラーメッセージが表示されます。サイズの異なる印刷用紙を使用するか、原稿のサイズを変えてください。

### N アップ

#### ■ 面数

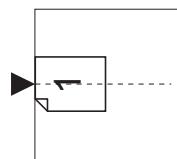
1枚の用紙に割り付ける原稿の枚数を設定します。

**2面 4面 8面 16面**

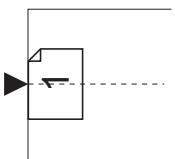
#### ■ 原稿セット方向(記載の向き)

原稿のセット方向は、設定した面数により決まっています。原稿の記載がタッチパネル側から見てどの向きになるかを設定します。

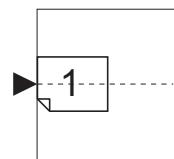
##### 左向き



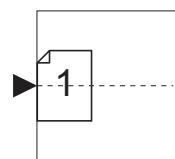
または



##### 読める向き



または

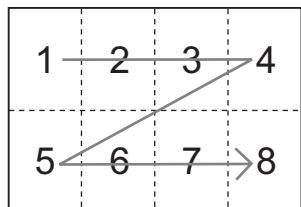


#### ■ 面付け順序

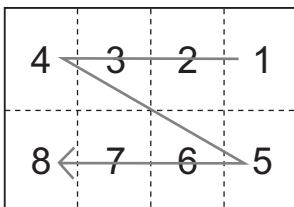
印刷された紙を、記載内容が読める向きにしたときに、どの順に面付けするかを設定します。

[例] 面数:8面付け、原稿セット方向(記載の向き):読める向き

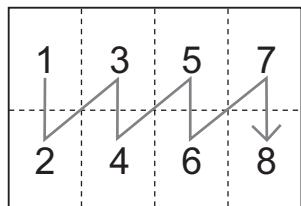
##### 左上から横へ



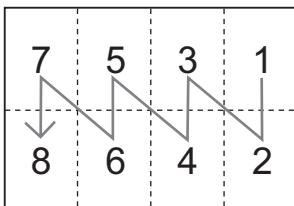
##### 右上から横へ



##### 左上から下へ



##### 右上から下へ



### 参考

[面数]、[原稿セット方向]の設定により、[面付け順序]の設定内容は異なります。

# 1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け]

## 4頁冊子／小冊子

### ■ 仕上がり

仕上がりのページめくり方向を設定します。

左開き 右開き

### ■ とじしろ

印刷用紙の長辺を2等分にした位置から50 mmまでの間で設定できます。

<自動縮小ボタン>にタッチした場合は、とじしろ部分以外について、その中央を基準に原稿が収まるようにサイズを縮小します。

### ■ 原稿読み取り面(RISO オートフィーダーDX-1 装着時)

片面 両面

#### 参考

両面原稿の場合は、「原稿セット方向／原稿のページめくり方向」を選択します。

### ■ 原稿セット方向／原稿のページめくり方向(RISO オートフィーダーDX-1 装着時)

原稿のセット方向とページめくり方向を選択します。

原稿：[左向き]／[読める向き]

仕上がり：[左右開き]／[上下開き]

## N アップの操作の仕方

### 1 プリントモードを選ぶ

プリントするモードを選択します。

プリントモードの選びかたは、P.27「プリントモード」をご覧ください。

### 2 原稿、印刷用紙をセットする

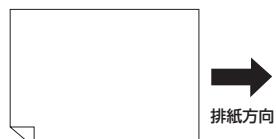
原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。

2色または両面プリント時は、ドラム 1 の原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。



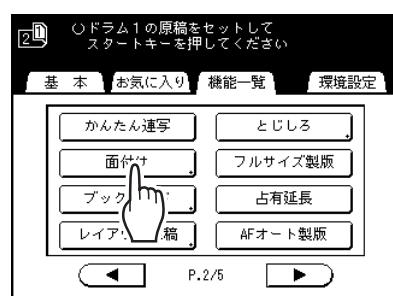
- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



- 2色プリントモードで、RISO オートフィーダーDX-1を使用する場合は、ドラム 1 用の原稿の次にドラム 2 用の原稿を重ねてセットしてください。例えば4面付けの場合、ドラム 1 でプリントする 1 ページ～4 ページの後ろにドラム 2 でプリントする 1 ページ～4 ページを重ねます。
- 2色プリントモードでは、両面原稿は使えません。
- 2色プリントモード、両面プリントモードでは、設定する面数と同じ数の原稿(ドラム 1 用)が必要です。原稿が面数より少ない場合は、足りない面数分の白い用紙を原稿として使用してください。

### 3

機能一覧画面で<面付けボタン>にタッチする



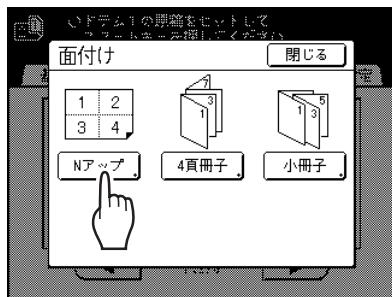
## 4 使用する原稿サイズを選択する

原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



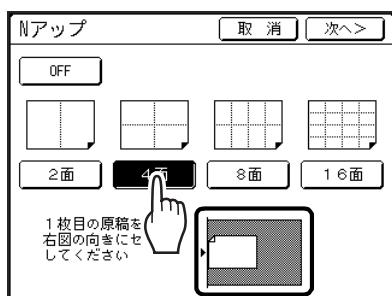
自動的に変倍率が設定され、[面付け]画面が表示されます。

## 5 <Nアップボタン>にタッチする



## 6 設定する面数のボタンにタッチする

割り付ける面数のボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



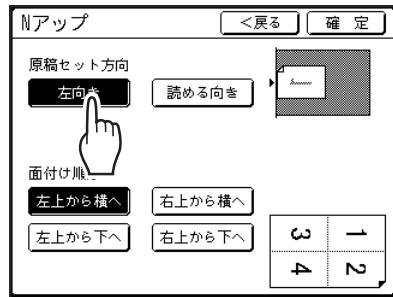
原稿のセット方向が、画面下のイラストと同じ方向になっているか確認してください。



[Nアップ]の設定を中止する場合は、<取消ボタン>にタッチしてください。

## 7 原稿の記載の向きを設定する

原稿の記載が、タッチパネル側から見てどの向きになっているかを[左向き] [読める向き]から選択します。



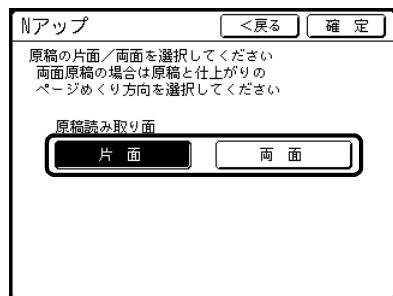
## 8 設定する面付け順のボタンにタッチする

## 9 <次へボタン>または<確定ボタン>にタッチする

両面プリントモードで、RISOオートフィーダーDX-1(オプション)を装着している場合は、<次へボタン>にタッチし、手順 10 に進んでください。

それ以外の場合は、<確定ボタン>にタッチし、手順 13 に進んでください。

## 10 <片面ボタン>または<両面ボタン>にタッチする

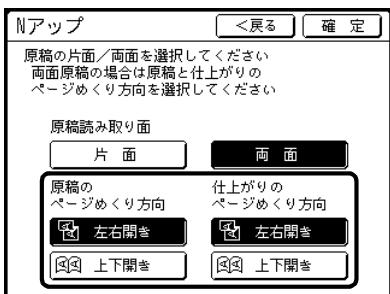


<片面ボタン>にタッチした場合は、手順 12 に進んでください。

<両面ボタン>にタッチした場合は、手順 11 に進んでください。

# 1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け]

## 11 原稿のページめくり方向と仕上がりのページめくり方向を選択する



それについて、<左右開きボタン>または<上下開きボタン>にタッチしてください。

## 12 <確定ボタン>にタッチする

「N アップ」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

## 13 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

## 14 <スタート>キーを押す

1 ページ目の原稿の読み取りを開始します。

### 参考

手順 2 で、RISO オートフィーダー DX-1 に原稿をセットした場合は、指定した面数分の原稿の読み取りが終わると、ドラム 1 のみの試し刷りが 1 枚印刷され、続けてドラム 2 の製版が行われます。

## 15 すべての原稿を読み取り、製版する

原稿を入れ替えて、手順 13、14 を繰り返します。プリントモードにより、操作方法が異なります。

### ■ 1色プリントの場合

設定した面数まで、読み取りを繰り返します。

原稿が面数より少ない場合は、すべての原稿を読み取った後、<読み取り終了ボタン>→<はいボタン>の順にタッチします。原稿が足りない部分は空白になります。

原稿読み取りが終わると、印刷基本画面が表示されます。

### ■ 2色または両面プリントの場合

ドラム 1 用の原稿について、設定した面数まで、読み取りを繰り返します。

原稿読み取りが終わると、ドラム 1 の製版が行われます。

引き続き、ドラム 2 用の原稿をセットし、手順 13～15 を繰り返してください。

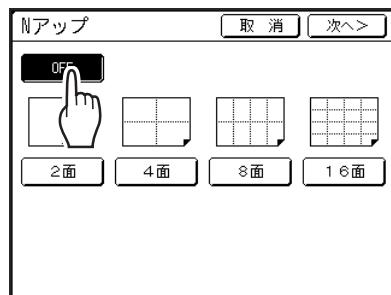
ドラム 2 用の原稿が面数より少ない場合は、すべての原稿を読み取った後、<読み取り終了ボタン>→<はいボタン>の順にタッチします。原稿が足りない部分は空白になります。

ドラム 2 の製版が行われ、印刷基本画面が表示されます。

以降は、通常の製版、印刷工程と同様の操作を行ってください。

### 参考

- 原稿は、読み取られた順に面付けされます。
- 面数が設定されている状態から N アップ設定を解除したい場合は、手順 3 を行って N アップ画面を表示させます。<OFF ボタン>にタッチして、<確定ボタン>にタッチしてください。



## 4 頁冊子／小冊子の操作の仕方

### 1 両面プリントモードを選ぶ

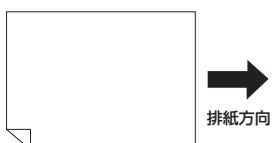
両面プリントモードを選択します。

### 2 原稿、印刷用紙をセットする

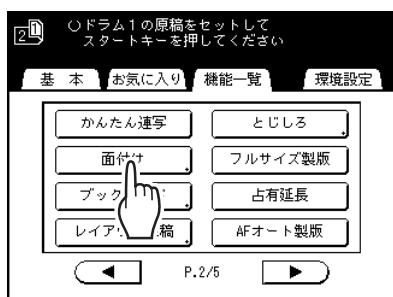
原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。  
原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。



- 原稿のセット方向に注意してください。
- ホールドしてあるデータは原稿には使用できません。
- RISO オートフィーダー DX-1 (オプション) にすべての原稿をセットすると便利です。セット方法は P.43「原稿をセットする」をご覧ください。
- 原稿を読み込んだ順に面付けを行います。
- 原稿枚数が指定した面数に満たない場合は、白紙ページとして処理を行います。
- 印刷用紙片面毎に、それぞれ2枚の原稿を面付けします。
- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



### 3 機能一覧画面で<面付けボタン>にタッチする



### 4 使用する原稿サイズを選択する

原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



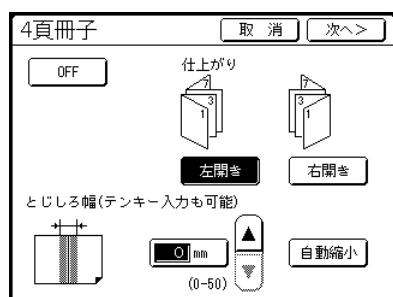
自動的に変倍率が設定され、[面付け]画面が表示されます。

### 5 <4頁冊子ボタン>または<小冊子ボタン>にタッチする



### 6 <仕上がり>を設定する

仕上がりの開き方向を設定します。  
必要に応じて、とじしろを設定してください。



- <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、とじしろ幅を設定します。  
(テンキーでも入力できます。)
- <自動縮小ボタン>にタッチした場合は、とじしろ幅で指定した移動量を除いた印面とし、その印面を基準に原稿が収まるようにサイズを縮小します。

## 1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け]

7

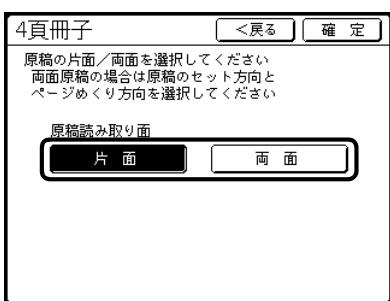
<次へボタン>または<確定ボタン>にタッチする

両面プリントモードでRISOオートフィーダーDX-1(オプション)を装着している場合は、<次へボタン>にタッチし、手順8に進んでください。

それ以外の場合は、<確定ボタン>にタッチし、手順12に進んでください。

8

<片面ボタン>または<両面ボタン>にタッチする



<片面ボタン>にタッチした場合は、手順11に進んでください。

<両面ボタン>にタッチした場合は、手順9に進んでください。

9

原稿の記載の向きを設定する

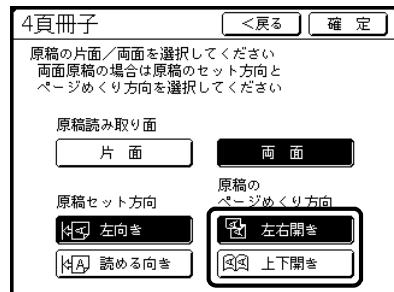
原稿の記載が、タッチパネル側から見てどの向きになっているかを<左向きボタン>または<読める向きボタン>にタッチして選択します。



10

原稿のページめくり方向を選択する

<左右開きボタン>または<上下開きボタン>にタッチしてください。



11

<確定ボタン>にタッチする

12

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

13

<スタート>キーを押す

1ページ目の原稿の読み取りを開始します。

### 参考

RISOオートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をまとめてセットした場合、「4頁冊子」では、原稿を4ページ読み取ると製版を開始します。  
「小冊子」では、全てのページを読み取り、内部的に面付け処理を行います。  
このとき画面のメッセージエリアに、「ページデータ展開中」と表示されます。

14

すべての原稿を読み取り、製版する

原稿を入れ替えて、手順12、13を繰り返します。  
原稿全ての読み取りを繰り返します。

### ■ 4頁冊子の場合

原稿を4ページ読み取ると製版を開始します。  
製版後、必要な枚数を印刷し、原稿が残っている場合は原稿をセットし、手順12～14を繰り返してください。

最後に原稿が4ページ分ない場合は、<読み終了ボタン>→<はいボタン>にタッチしてください。原稿が足りないページは空白になります。

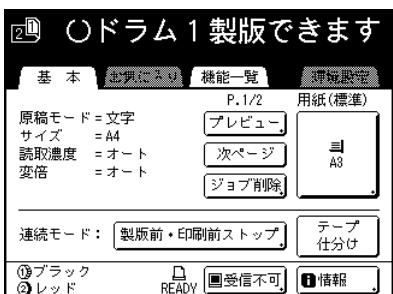
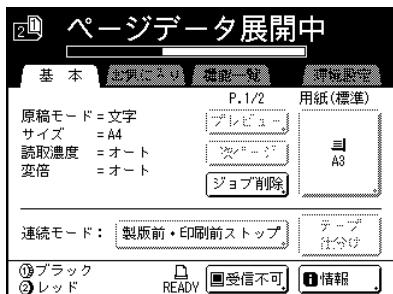
## ■ 小冊子の場合

全ての原稿を読み取ったら、<読取終了ボタン>にタッチしてください。  
「ページデータ展開中」のメッセージ表示後、「ドラム1製版できます」とメッセージが表示されます。  
<スタート>キーを押すとドラム1の製版が行われます。

### 参考

待機画面では、「連続モード」の変更や、「プレビュー」での確認などが行えます。

☞ P.63「出力指示の変更」、P.65「本機での停止タイミングの変更」



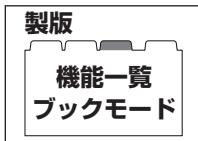
以降は、通常の印刷工程と同様の操作を行ってください。

### 参考

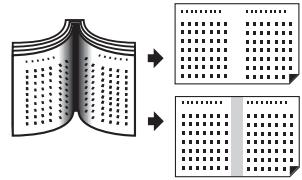
- 原稿は、読み取られた順に面付けされます。
- 4頁冊子／小冊子設定を解除したい場合は、手順3を行って4頁冊子／小冊子画面を表示させます。<OFFボタン>にタッチして、<確定ボタン>にタッチしてください。

# 雑誌や本をプリントする

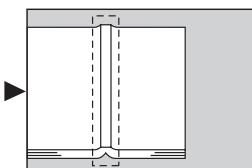
## [ブックモード]



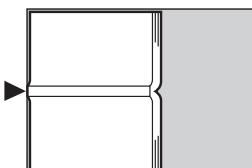
雑誌や本など中央で閉じられた原稿をプリントするときに、とじ部分(センター)や原稿の周囲の影を消去または、写真処理で影を淡くしてプリントできます。  
消去する領域(消去幅)は選択できます。  
また、見開き状態の雑誌や本などを1ページずつに分割してプリントできます。



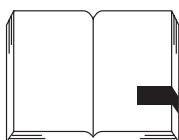
- 2色プリントで[ブックモード]を選択した場合は、ドラム1、ドラム2の両方に設定が反映されます(ドラム1のみやドラム2のみの設定はできません)。
- 読み取りサイズは、最大297mm×432mmです。
- 原稿は、必ず原稿台ガラスのセンターにあわせてセットしてください。



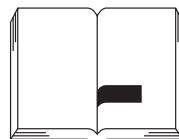
とじ部分を消去したり、分割をしてプリントする場合は、原稿を上記の向きにセットします。



- 以下のような画像部分も消去(または写真処理)されます。
  - 原稿の周囲から続いている(余白のない)黒い画像部分

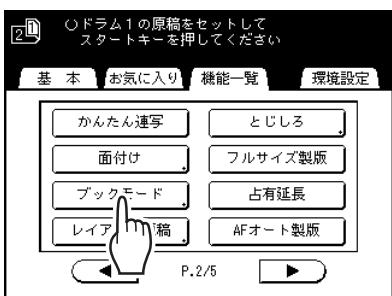


- とじ部分から続いている黒い画像部分

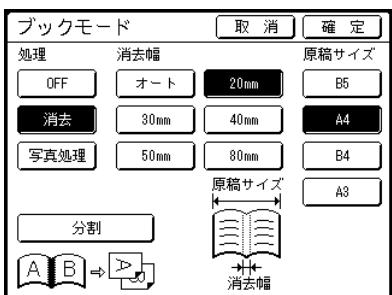


- 「ブックモード」は、次の機能とは併用できません。
  - レイアウト原稿(分割を設定した場合)
  - とじしろ
  - 省インク
  - 読み取り濃度([オート])
  - 連写
  - かんたん分版
  - ライトプリント
  - AF読み取り面指定
  - 90度回転
  - 面付け
- ゲージシートが装着されている場合は、ゲージシートを外してブックモードを使用してください。ゲージシートを装着したまま使用すると、周囲が黒く製版されてしまいます。

## 1 機能一覧画面で<ブックモードボタン>にタッチする



## 2 処理内容にタッチする



[OFF] ..... ブックモード処理を行いません  
[消去] ..... 原稿を読み込んだときにできる  
とじ部分と原稿の周りにできる  
黒い影を消去します。

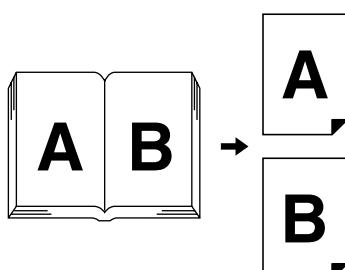
とじ部分の消去幅は選択できます。  
「オート」以外を選択するときは、  
[原稿サイズ]で、見開き原稿のサ  
イズも設定してください。

[写真処理] ... とじ部分の影を写真処理して自  
然な感じにし、原稿の周りにでき  
る黒い影を消去します。

[分割] ..... 見開き状態の原稿から、左右各  
ページを別々にプリントします。

1色プリントモードでは、読み込  
んだ原稿の半分を印刷用紙の1枚目  
に、もう半分を印刷用紙の2枚目に  
プリントします。両面プリントモー  
ドでは、読み込んだ原稿の半分を印  
刷用紙の表面に、もう半分を印刷用  
紙の裏面にプリントします。

[原稿サイズ]で、見開き原稿のサ  
イズを選択してください。



参考 この場合、Bのページが先にプリントされます。

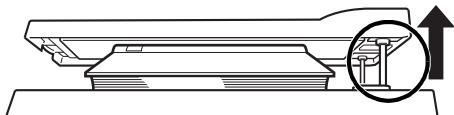
重要 2色プリントモードでは分割印刷はできません。

## 3 <確定ボタン>にタッチする

[ブックモード]に設定され、機能一覧画面に戻  
ります。

重要 「分割」を設定した場合は、原稿の読み込みをド  
ラム別に2回行います。

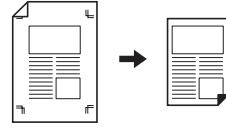
参考 百科事典のようなページ数の多い本を読み取る場  
合は、原稿台カバーのヒンジを引き上げて本を押  
さえると便利です。



# 原稿のトンボをカットして プリントする [レイアウト原稿]



原稿の先端(天)部分を 0 ~ 99mm の間でカットして製版することができます。トンボのある原稿をプリントする場合、[レイアウト原稿]を設定し、原稿のトンボ内のサイズの印刷用紙を使用することで、トンボのない印刷物を作ることができます。



- ・「変倍」が設定されているときは、「レイアウト原稿」で設定した分をカットした状態から拡大／縮小します。
- ・「オート変倍」は使用しないでください。
- ・「レイアウト原稿」は、「かんたん連写」「連写」とは併用できません。

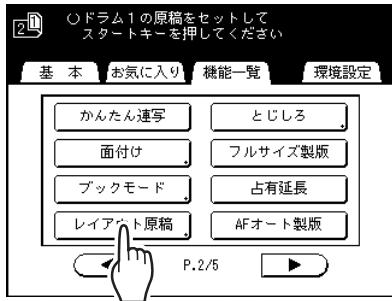
[レイアウト原稿]は、ドラム 1 用、ドラム 2 用のそれぞれの原稿に対して個別に設定することができます。ドラムのセット状況(インク色)や印刷目的に応じて、両方の原稿に設定したり、片方の原稿のみにも設定ができます。

## 1 原稿台に原稿をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

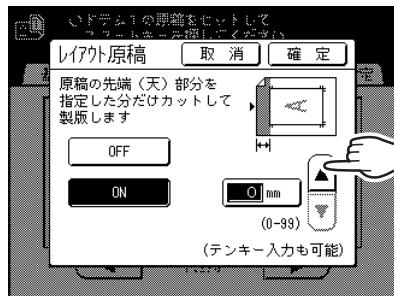
## 2 機能一覧画面で<レイアウト原稿ボタン>にタッチする



## 3 <ON ボタン>にタッチする



## 4 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、カットする幅を指定する



0 ~ 99mm の間で設定できます。



テンキーでも入力できます。

## 5 <確定ボタン>にタッチする

[レイアウト原稿]が設定され、機能一覧画面に戻ります。

# 製版位置を調整する

## [とじしろ]

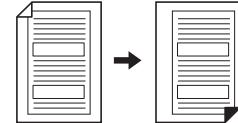


製版するときに設定する機能

原稿の天地左右のいずれか一方に、とじしろ(余白)をつけて製版することができます。調整範囲は天地左右 0 ~ 50mm の間です。

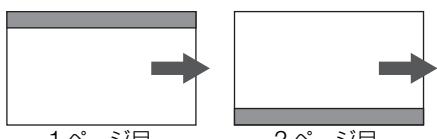


- 「とじしろ」は、製版位置を調整する機能です。とじしろを追加する機能ではありません。
- 原稿の周囲に余白がないときは、画像が製版可能エリアを超える場合があります。製版可能エリアを越えた部分は製版されません。
- とじしろの位置は、排紙台に排出された印刷物を排紙台の真上から見たときの、用紙搬送方向となります。
- とじしろが設定できるのは、印刷物の天側、地側、右側、左側のいずれか一箇所のみです。
- 変倍が設定されている場合は、変倍した後の画像を移動します。
- 「90 度回転」および「180 度回転」と併用できます。
- 逆順印刷と併用できます。

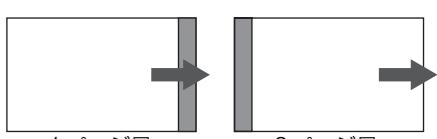


### ■ 両面プリント時の注意

- 両面プリントでは、1ページ目と2ページ目を、別々に設定することはできません。
- 排紙台に排出されるとき上になる面(2ページ目)に対して、「とじしろ」の位置を指定してください。



1 ページ目で右側になるようにしたい場合は、とじしろは「左側」を選択

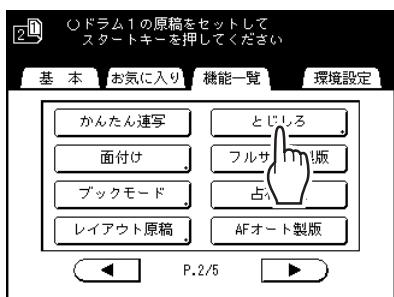


1 ページ目で天側になるようにしたい場合は、とじしろは「地側」を選択

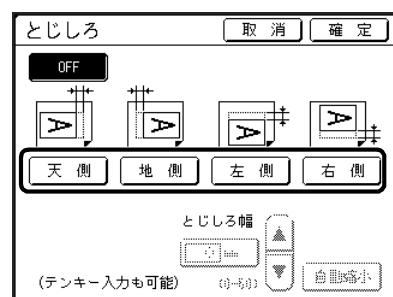


- 操作パネルによる印刷位置調整を併用すると、元の原稿に対して最大約 60mm まで、仕上がりの印刷位置を移動することができます。
- 「とじしろ」は、次の機能とは併用できません。
  - 連写
  - かんたん連写
  - 変倍([A4 →ハガキ] [B5 →ハガキ])
  - オーバーレイ
  - AF 読取面指定

### 1 機能一覧画面で<とじしろボタン>にタッチする



### 2 <天側ボタン>、<地側ボタン>、<左側ボタン>、<右側ボタン>の調整したい方向のボタンにタッチする



両面プリントの場合は、印刷物の2ページ目の「とじしろ」の位置を選択してください。

## 製版位置を調整する【とじしろ】

### 3 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、移動量を設定する

#### 参考

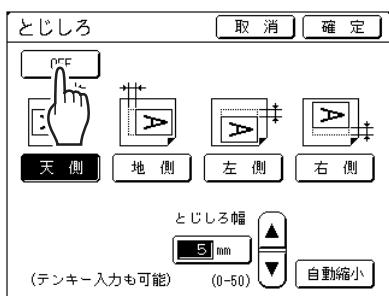
- テンキーでも入力できます。
- <自動縮小ボタン>にタッチした場合は、とじしろ幅で指定した移動量を除いた面を印面とし、その印面の中央を基準に原稿が収まるようサイズを縮小します。

### 4 <確定ボタン>にタッチする

とじしろの移動量が設定され、機能一覧画面に戻ります。

#### 参考

一度確定したとじしろを解除したい場合は、<リセット>キーを押すか、手順2で<OFFボタン>にタッチしてから、<確定ボタン>にタッチしてください。



# フルサイズで製版する

## [フルサイズ製版]

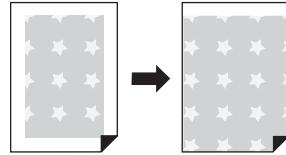


製版するときに設定する機能

通常の製版では、印刷用紙の周囲に余白ができるように用紙サイズを検知して、サイズ規制をかけています。これは、紙詰まりや、内部のローラーがインクで汚れることを防ぐためです。

[フルサイズ製版]を設定すると、印刷用紙や原稿のサイズにかかわらず、最大印刷範囲のサイズで原稿を読み取って製版を行います。

必ず、原稿と印刷用紙のサイズを確認してから実行してください。



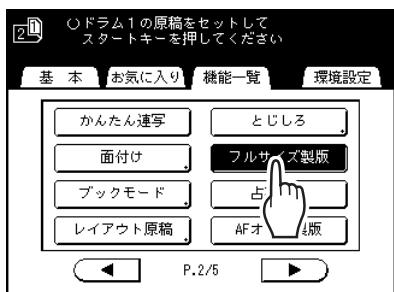
### 最大印刷面積

291mm × 413mm



- 天方向 5mm には製版できません。
- 製版された原稿よりも小さいサイズの印刷用紙を使用しないでください。本機内部のローラーなどにインクが付着する恐れがあります。(ローラーが汚れると、以降の印刷物の裏面に、汚れが転写されてしまいます。)
- 原稿台ガラス全体に汚れがないか確認してください。最大印刷範囲で読み取るため、原稿より外側にある汚れも製版され、内部のローラーを汚す原因となります。

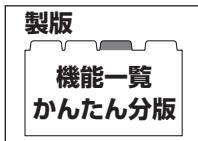
機能一覧画面で<フルサイズ製版ボタン>に  
タッチする



[フルサイズ製版]が設定されます。

# 1枚の原稿で2色プリントする

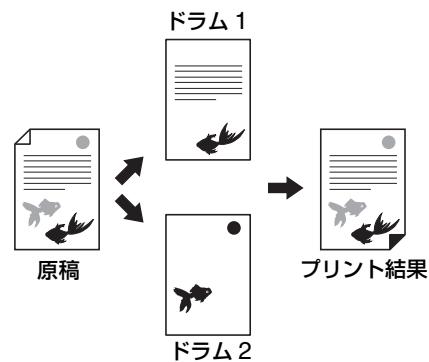
## [かんたん分版]



「かんたん分版」は「スキャナ」を使って、1枚の原稿を読み取るときに、原稿の濃い部分と薄い部分の2つのデータに分けて製版する機能です。原稿の濃い部分(元原稿)はドラム1側に、原稿の薄い部分(手書き部分)はドラム2側へと分版され、製版をします。ドラムへの原稿の割り当ては「刷り色入れ替え」で入れ替えが出来ます。



- 「かんたん分版」は2色プリントモード用の機能です。
  - ここでは、ドラム1側に黒インク、ドラム2側に赤インクがセットされていることを前提に説明します。
  - よく使う分版を1つだけ、機能一覧にボタン表示することができます。
- ここで設定した内容が、かんたん分版の基本設定となります。
- P.185「初期設定を変更する【環境設定】／分版ボタン登録」



## かんたん分版の種類

「かんたん分版」には以下の2タイプ／6種類があります。

### 原稿の濃度で分版する

原稿の濃度の濃い部分と薄い部分を自動判別して分版します。

- 赤色分版
- 書き込み分版
- 書き込み分版(インク)

### エリアを指定して分版する

原稿の分版したい部分を当社推奨ペン(または指)で囲んで指定し、分版します。

- エリア指定分版
- トレース分版
- デジタイザ分版



- [赤色分版]、[書き込み分版]、[書き込み分版(インク)]、[デジタイザ分版]を使用すると「原稿モード」は自動的に「文字」になります。
- 文字・写真混在の原稿や写真原稿をご使用の場合は、「エリア指定分版」「トレース分版」をおすすめします。
- 「かんたん分版」で「赤色分版」、「書き込み分版」、「書き込み分版(インク)」、「デジタイザ分版」のいずれかを選択すると、「読み取り濃度」は自動的に「オート」になります。
- また、「エリア指定分版」「トレース分版」を選択すると、「読み取り濃度」の「オート」は選択できなくなります。
- かんたん分版で分版したデータは、ホールドデータとして保存することはできません。
- ホールドデータやUSBメモリデータをかんたん分版用の原稿として使用することはできません。(デジタイザ分版を除く)



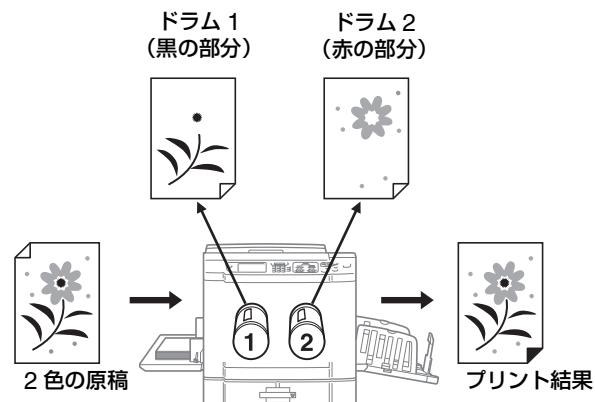
- よく使う分版を機能一覧画面にボタン表示することができます。環境設定の「分版ボタン登録」でいずれかの分版を選択すると、機能一覧に選択した分版名のボタンが表示できます。
- 「かんたん分版」は、次の機能とは併用できません。
  - 読み取り濃度(エリア指定分版／トレース分版時は「オート」は併用できません)
  - 連写
  - 変倍
  - デジタイザ
  - 名入れ
  - シングル製版
  - かんたん連写

- ブックモード
- 自動振分機能
- 面付け
- とじしろ

## ■ 赤色分版

黒と薄い赤の2色で作られた原稿を使用します。原稿の黒部分をドラム1、赤部分をドラム2に分けて製版します([刷り色入替]を選択した場合は逆になります)。

**重要** パソコンなどで原稿を作成する場合は、赤はオレンジ(朱色)を使用してください。



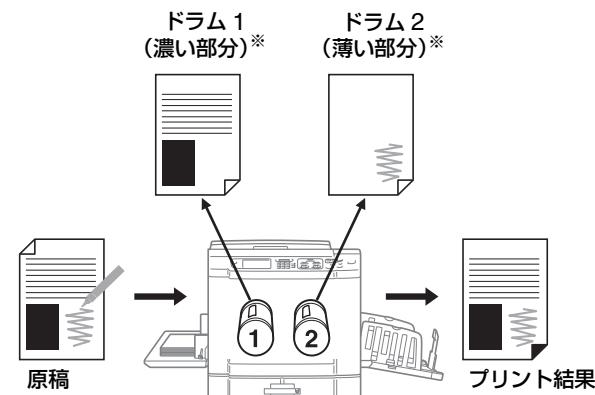
## ■ 書き込み分版

コピー機やレーザープリンタなどで印刷した(黒がはっきりしている)原稿に、推奨のペンや薄めの鉛筆、シャープペンで手書きした原稿を使用します。

元の原稿部分をドラム1、手書き部分をドラム2に分けて製版します。

**参考**

- 書き込みには、ボールペンは使用しないでください。赤色ボールペンであっても、黒と判断される場合があります。
- シャープペンは、H～2B程度を使用してください。

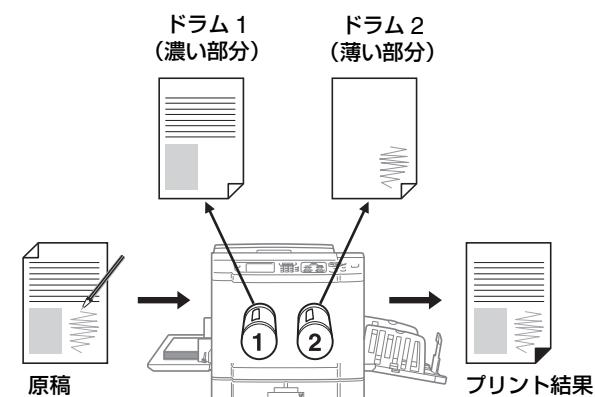


※濃度について  
☞ P.110「[赤色分版]、[書き込み分版]、[書き込み分版(インク)]の原稿について」

## ■ 書き込み分版(インク)

当社製印刷機やインクジェットプリンタで印刷した(水性インクなどで黒が少し薄めに印刷された)原稿に、推奨のペンや薄い赤鉛筆で手書きした原稿を使用します。

元の原稿部分をドラム1、手書き部分をドラム2に分けて製版します。



## 1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版]

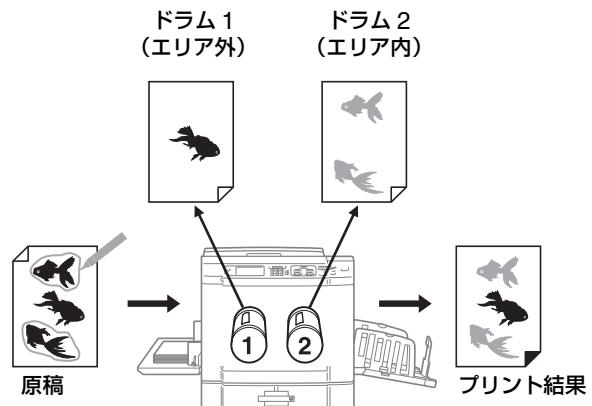
### ■ エリア指定分版

分版したいエリアを推奨のペンで直接囲んだ原稿を使用します。

エリア外をドラム1、エリア内をドラム2に分けて製版します。



- 写真やカラー画像が含まれている原稿の場合は、[トレース分版]を使用してください。
- RISO オートフィーダーDX-1(オプション)との併用はできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。



### ■ トレース分版

原稿と、分版したいエリアを推奨のペンで書き込んだ別紙(トレース用紙)を用意します。

トレース用紙で指定したエリア外をドラム1、エリア内をドラム2に分けて製版します。

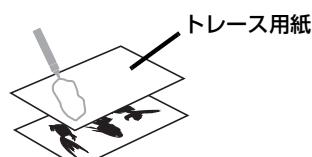
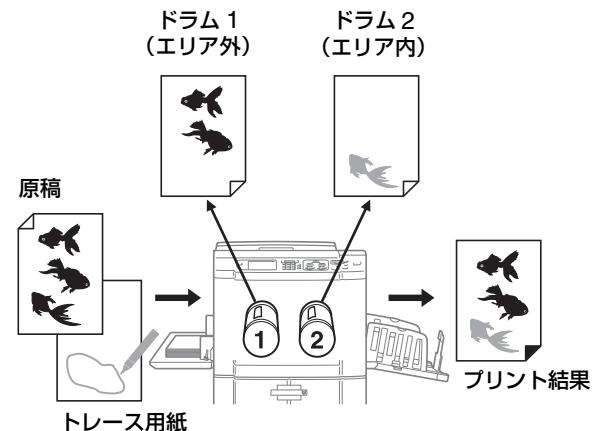


#### トレース用紙について

書き込みのできない大事な原稿や他の印刷物と共有している原稿、または原稿内に写真やカラー画像がある原稿の分版には、トレース用紙を使用します。

トレース用紙には、原稿と同じサイズの白い紙が適しています。

原稿に白い紙をのせ、分版したい(色刷りしたい)箇所をペン枠で囲みます。



## ■ デジタイザ分版

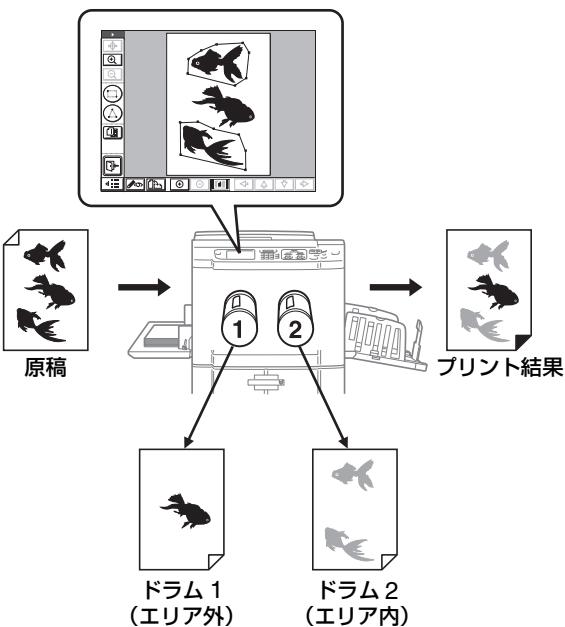
デジタイザ分版は、ソフトデジタイザの機能から分版機能だけを抜粋した簡易デジタイザ機能です。

本機のスキャナで読み取った原稿や、あらかじめ本機にホールドしてあるデータおよびUSBメモリデータを呼び出して、タッチパネル上で分版したいエリアを指定します。エリア外をドラム1、エリア内をドラム2に分けて製版します。



デジタイザ分版では編集機能を使用できません。指定したエリアを編集したい場合は、「機能一覧画面」から「デジタイザ」を選択してください。

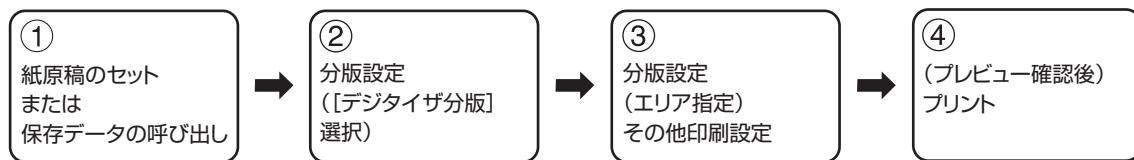
タッチパネル(エリアを指定)



### 操作の流れ(デジタイザ分版以外)



### 操作の流れ(デジタイザ分版)



# 1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版]

## [赤色分版]、[書き込み分版]、[書き込み分版(インク)]の原稿について

[かんたん分版]は、原稿の濃度の濃い部分と薄い部分を判別し、分版する機能です。色では判断できません。

本機では、濃い部分はドラム1(黒版)、薄い部分はドラム2(赤版)に製版します。

- 赤ペンであっても、書き込みの濃度が濃いと、黒と判断されます。また、濃度が極端に薄い場合、赤版にも黒版にも製版されません。
- 原稿の文字は、10.5ポイント以上のゴシック体を推奨します。明朝体の場合は、18ポイント以上にしてください。ポイントが小さいと、黒い文字でも赤と判断されます。

あ 10.5ポイント

あ 18ポイント

- 中間濃度(濃くもなく、薄くもない)の文字は、黒版と赤版の両方に製版されてしまうため、文字のエッジが汚くなります(赤黒の文字になります)。
- 写真やグラデーション、網がかかった部分は、濃度により黒または赤になってしまいます。写真やグラデーションがある原稿の場合は、トレース分版をおすすめします。

## [エリア指定分版]、[トレース分版]についての注意

エリアを指定するペン枠には、推奨のペンを使用してください。推奨のペン以外でエリアを指定すると、正しく分版されない場合があります。

- ペン枠の端は、確実につないでください。つながっていない場合は、ペン枠として認識されません。



- ペン枠の線幅は、1mm～3mm(2.25ポイント～4.5ポイント)にしてください。1mm未満、または3mmを超える線は、ペン枠として認識されません。

1mm (2.25pt)

3mm (4.5pt)

- ペン枠の大きさが10mm×10mmの矩形以下の場合、ペン枠として認識されません。
- ペン枠内には、濃度の濃くなるような点を作らないでください。



- 1枚の原稿に使用できるペン枠の数は、最大20個です。20個を超えると、エラーとなります。
- ペン枠どうしを接触させないでください。接触した場合は、ペン枠として認識されません。ペン枠どうしの間隔は、3mm以上空けてください。



- ペン枠の線は、原稿の文字や画像から約3mm離してください。ペン枠の線から約3mmの部分は欠けてしまいます。



- ペン枠は二重に書かないでください。二重にすると、内側の枠はペン枠として認識されません。



- プリントエリアからはみ出したペン枠の指定部分は、分版されません。

## かんたん分版の操作手順

### 1 プリントモードを選ぶ

2色プリントモードを選びます。

プリントモードの選び方は、P.27「プリントモード」をご覧ください。

### 2 原稿、印刷用紙をセットする

原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

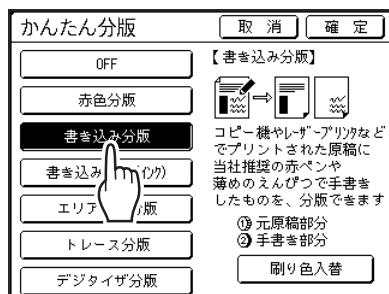


- 【エリア指定分版】を使用する場合、原稿は原稿台ガラスにセットしてください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿は、2色の試し刷りが出てくる(手順 7)まで抜き取らないでください。

### 3 機能一覧画面で<かんたん分版ボタン>にタッチする



### 4 使用する分版のボタンにタッチする



[デジタイザ分版]を選択した場合は、以降の操作が異なります。詳しくは、P.113「デジタイザ分版する」をご覧ください。



- 画面右下には、ドラム 1(①)とドラム 2(②)に原稿のどの部分が製版されるか表示されています。刷り色を入れ替える場合は、<刷り色入替ボタン>にタッチしてください。
- 「かんたん分版」の設定を中止する場合は、<取消ボタン>にタッチしてください。

### 5 <確定ボタン>にタッチする

「かんたん分版」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

### 6 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、各種機能を設定してください。



[プレビュー表示]を設定すると、分版終了後、いったん停止します。分版が正しく行われたかを確認することができます。

→ P.114「製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]」

### 7 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りを開始します。

以降は、通常の2色プリントの製版、印刷工程と同様の操作を行ってください。

## 1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版]

### トレース分版での原稿のセット

#### 1 トレース用紙をセットする

##### ■ 原稿台ガラスにセットする

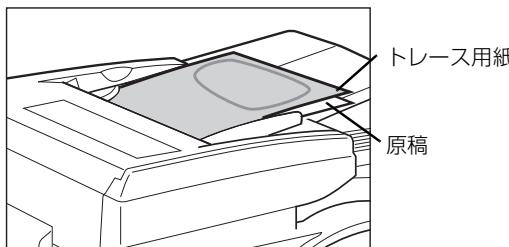
原稿台ガラスに、トレース用紙をセンター合わせで下向きにセットし、原稿台カバーを閉めてください。

##### ■ RISO オートフィーダーDX-1(オプション)にセットする

原稿は上向きにセットします。

##### ☞ P.43「原稿をセットする」

原稿とトレース用紙を2枚一度にセットすることができます。その場合は、トレース用紙を、原稿の上に重ねてセットします。



RISO オートフィーダーDX-1 にセットできる用紙については、P.18「原稿に関する注意」をご覧ください。

#### 2 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、各種機能を設定してください。

#### 3 <スタート>キーを押す

トレース用紙の読み取りを開始します。

読み取りが終わると、製版基本画面に戻ります。

#### 4 原稿をセットする

##### ■ 原稿台ガラスにセットする場合

原稿台ガラスからトレース用紙を取り除き、原稿を手順1と同様にセットします。



切り貼り原稿などは、原稿台ガラスにセットしてください。

##### ■ RISO オートフィーダーDX-1 で1枚ずつセットする場合

原稿を手順1と同様にセットします。

##### ■ RISO オートフィーダーDX-1 に2枚一度にセットした場合

自動的に原稿の読み取りを行います。

#### 5 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りを開始します。

以降は、通常の製版、印刷工程と同様の操作を行ってください。

## デジタイザ分版する

### 1 [デジタイザ分版]画面を表示させる

P.111「かんたん分版の操作手順」の手順1～3を行い、<デジタイザ分版ボタン>にタッチします。

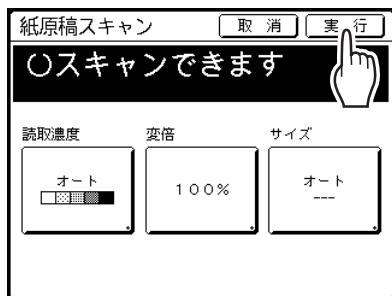
### 2 原稿を選択し、<確定ボタン>にタッチする



#### 参考

ここでは「紙原稿を新規スキャン」する手順で説明をします。「ホールドデータを呼出」を選択した場合は、[ホールドデータ選択画面]が表示されます。

### 3 読み取り条件を設定し、<実行ボタン>にタッチする



原稿の読み取りを開始します。

読み取りが終わると、デジタイザの基本画面が表示されます。

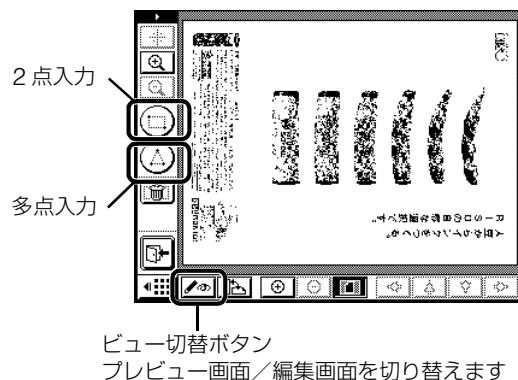
### 4 分版エリアを指定する

続いて2点入力または多点入力で分版するエリアを作成します。

エリア作成後、<編集終了ボタン>にタッチして、[プリント]または[保存する]を選択します。

#### デジタイザ画面について

デジタイザ分版では、タッチパネルに表示されている原稿を見ながら、分版したいエリアを専用のタッチペンを使って囲みます。エリアを囲む方法には、「2点入力」と「多点入力」があります。入力方法やデジタイザの基本画面／操作については、別冊の「ソフトデジタイザ取扱説明書」をご覧ください。



ビューア切替ボタン  
プレビュー画面／編集画面を切り替えます

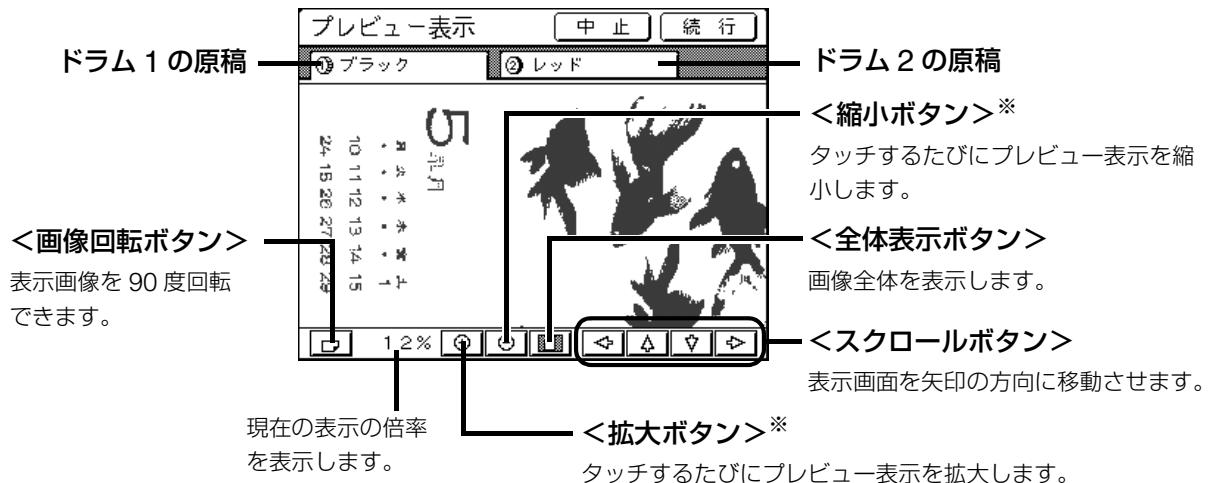
# 製版前に印刷イメージを確認する



## [プレビュー表示]

スキャナで読み取った原稿やパソコンから送信した原稿データを、実際に製版する前に確認できます。「かんたん分版」できちんと分版できたかを確認したり、連写やレイアウトの仕上がりイメージを確認したりするのに便利な機能です。

プレビュー画面では、以下の操作が行えます。



※両面プリントモードでは使用できません

モードにより、操作や表示のタイミングが異なります。

原稿タイプ(モード名)	設定するタイミング	表示のタイミング	「連続」時の動作
紙原稿	製版に関わる機能を設定するとき(機能一覧から設定)	原稿の読み取り後	原稿を読み取った後、いったん停止してプレビュー画面を表示します。
スキャンモード	読み取りに関わる機能(製版機能)を設定するとき(機能一覧から設定)	原稿の読み取り後	スキャンモードは原稿を読み取って保存するだけなので、「連続」という動作はありませんが、RISO オートフィーダー DX-1 に複数枚の原稿をセットした場合、プレビュー表示の後、<閉じるボタン>にタッチすると、次の原稿の読み取りを開始します。
パソコンからの原稿データをプリント	本機が原稿データを受信した後、製版前ストップで停止しているとき(データ受信画面で設定)	タッチ時にすぐ表示	プリンタドライバから[連続モード][ON]で送信した場合、プレビューは表示できません。
ホールドデータ／USB メモリデータ	ホールドデータ／USB メモリデータを呼び出したとき(保存データ用の製版基本画面で設定)	タッチ時にすぐ表示	呼び出した画面で<プレビューボタン>にタッチすると、すぐに表示されます。<閉じるボタン>にタッチすると、「連続」で製版・印刷が行われます。

### 参考

- 読み取った原稿をそのまま表示します。実際のプリントには余白が必要です。余白が十分あるかどうか確認してください。
- 2色プリントのときは、ドラム1／ドラム2それぞれの原稿を読み取ってから、2色分のプレビューを表示します。
- 両面プリントのときは、ドラム1(1枚目)／ドラム2(2枚目)、それぞれの原稿を読み取ってから、両面分のプレビューを表示します。
- 1枚の原稿でかんたん分版した場合も、分版した結果をそれぞれ表示します。
- パソコンから原稿データを送信した場合は、データ受信画面で確認できます。  
☞ P.60「受信ジョブ画面について」
- RLP モードの場合(連携機 Prioia(別売)接続時)、原稿を読み取った後、連携機から出力される前にプレビューが表示されます。

ここでは、紙原稿をプリントするときの操作方法を説明します。

## 1 原稿をセットする

## 2 機能一覧画面で＜プレビュー表示ボタン＞にタッチする



[プレビュー表示]が設定されます。

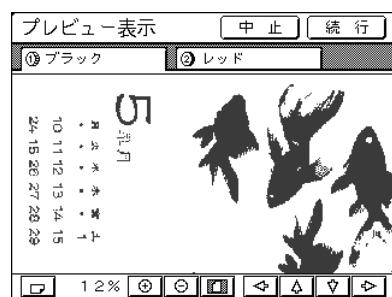
## 3 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

## 4 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが開始され、[プレビュー表示]画面にプレビュー画像が表示されます。

## 5 プレビューの画像を確認する



### 参考

確認のための操作が行えます。

☞ P.114

## 6

### ＜続行ボタン＞にタッチする

製版が開始されます。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷工程と同様に操作してください。

### 参考

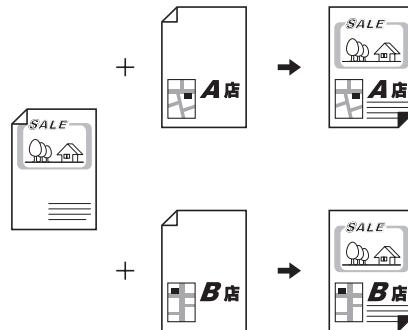
＜中止ボタン＞にタッチした場合は、製版基本画面に戻ります。もう一度手順3からやり直してください。

# 片方のドラムのみ原稿を差し替える

## [シングル製版]



2色プリントまたは両面プリントの途中で、2枚の原稿のいずれか片方だけを差しかえて、プリントすることができます。  
例えば、商品の紹介部分は同じで、販売店の住所や地図部分のみを変えたチラシなどを、簡単に作ることができます。



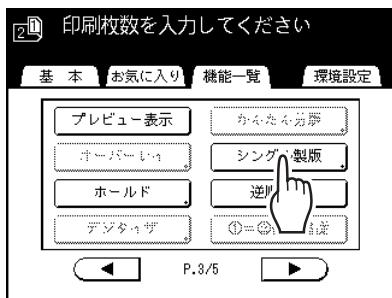
### 1 2色プリントまたは両面プリントを行う

#### 参考

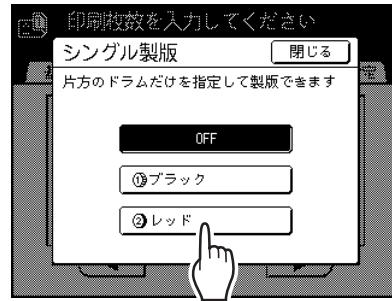
パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

☞ P.167「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

### 2 機能一覧画面で<シングル製版ボタン>にタッチする



### 3 原稿を差し替えるドラムのボタンにタッチする



[シングル製版]が設定され、機能一覧画面に戻ります。

### 4 差し替える原稿をセットする

原稿台ガラスまたは RISO オートフィーダー DX-1(オプション)にセットします。原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。



差しかえができる原稿は紙原稿のみです。

### 5 各種プリント機能を設定する

必要に応じて、差し替える原稿に対して各種機能を設定します。  
設定を行わない場合は、最初のプリントと同じ設定が適用されます。

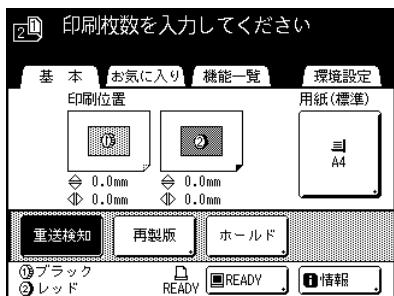
### 6 <スタート>キーを押す

手順 3 で指定したドラムの製版を開始し、印刷基本画面が表示されます。

## 7

### 試し刷りを確認する

試し刷りが印刷されると、印刷基本画面が表示されます。



仕上がりの印刷位置や濃度、排紙位置などを確認し、必要に応じて調整します。

- 印刷位置 (P.123)
- 印刷濃度 (P.122)
- インターバル印刷 (P.127)
- 排紙ウイング特殊 (P.128)

調整が終わったら、<試し刷り>キーを押して、再度試し刷りを確認してください。

## 8

### テンキーで印刷枚数を入力する

入力枚数は、枚数カウンターに表示されます。

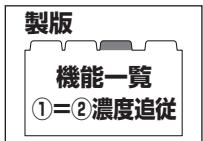
## 9

### <スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

# 2つのドラムの濃度を同じにする

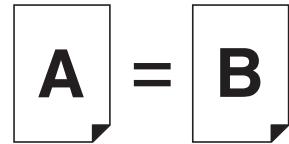
## [①=②濃度追従]



両面プリントでは、ドラム2側の方がドラム1側よりも濃度が濃く印刷されます。印刷濃度の違いが気になる場合に設定してください。ドラム2側の印刷濃度を、ドラム1側に合わせます(インク使用量を少なくします)。

**参考**

- 両面プリントモードの製版時のみ有効な機能です。
- 印刷中に濃度を変更したい場合は、操作パネルの<印刷濃度調節>キーで濃度を調節してください。ただし、濃度調節の幅は少なくなります。
- 読み取り濃度および印刷濃度は変更できます。



機能一覧画面で<①=②濃度追従ボタン>に  
タッチする



[①=②濃度追従]機能が設定されます。

# 印刷するときに設定する機能

- 120 印刷速度を変える [印刷速度調節]
- 121 高速で印刷する [ハイスピード]
- 122 印刷濃度を変える [印刷濃度調節]
- 123 印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従]
- 125 試し刷りをする [試し刷り]
- 126 特殊な用紙を使うときの紙づまりを防ぐ [重送検知]
- 127 裏移りを少なくする [インターバル印刷]
- 128 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

# 印刷速度を変える



## [印刷速度調節]

印刷速度を毎分 60 枚から 120 枚まで、5 段階で調節できます。  
速度は、印刷中にも変えられます。

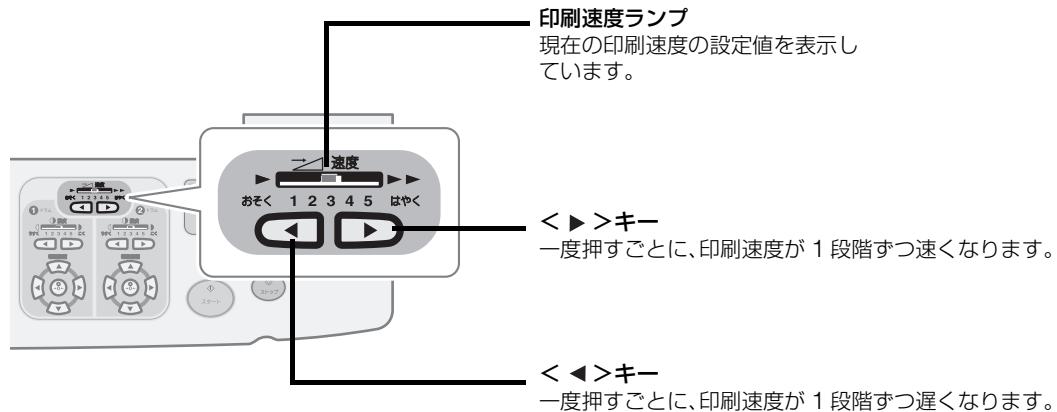


両面プリント時は、60枚から100枚までの3段階で調節できます。



[環境設定] で、印刷速度の初期設定を変更できます。工場出荷時設定は 3(約 100 枚／分)に設定されています。  
☞ P.186「初期設定を変更する [環境設定]／印刷速度基本設定」

<◀>キーまたは<▶>キーを押して印刷速度を調節する



### ランプのレベルと印刷速度の関係

ランプのレベル	1	2	3	4	5
印刷速度(枚／分)	約 60	約 80	約 100	約 110	約 120



機能一覧画面より、より速い印刷ができる「ハイスピード」機能も選択できます。

☞ P.121「高速で印刷する [ハイスピード]」

# 高速で印刷する

## [ハイスピード]

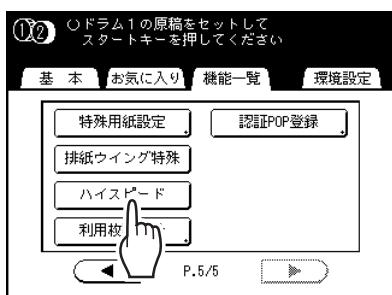


[ハイスピード]を使用すると、[印刷速度調節]での調節よりも、さらに高速(約 150 枚)で印刷することができます。



- 本機内部の温度が 15 ℃未満の場合、<ハイスピードボタン>はグレー表示され、使用できません。通常の印刷速度調節(1~5)で使用してください。内部温度が15℃以上に上昇するまでの時間は、ご使用の環境により異なります。
- 両面プリントモード時は使用できません。
- ドラム 2 を使う 1 色プリントで、ドラム 1 を取り出している場合、364mm(縦(排)紙方向、B4 サイズ相当)を越える長さの用紙には、「ハイスピード」での印刷はできません。
- 「ハイスピード」を使用すると、印刷濃度が薄くなります。

機能一覧画面で<ハイスピードボタン>に  
タッチする



[ハイスピード]が設定され、操作パネルの印刷速度ランプが消灯します



- 印刷中に「ハイスピード」をやめたい時は、操作パネルの<印刷速度調整>キーでスピードを設定してください。
- POP エリアに登録しておくと、印刷の最中にワンタッチで[ハイスピード]を設定することができます。  
☞ P.194「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」

# 印刷濃度を変える



## [印刷濃度調節]

印刷濃度を、「うすく」から「こく」まで、ドラムごとに 5 段階で調節できます。  
濃度は、印刷中にも調節できます。

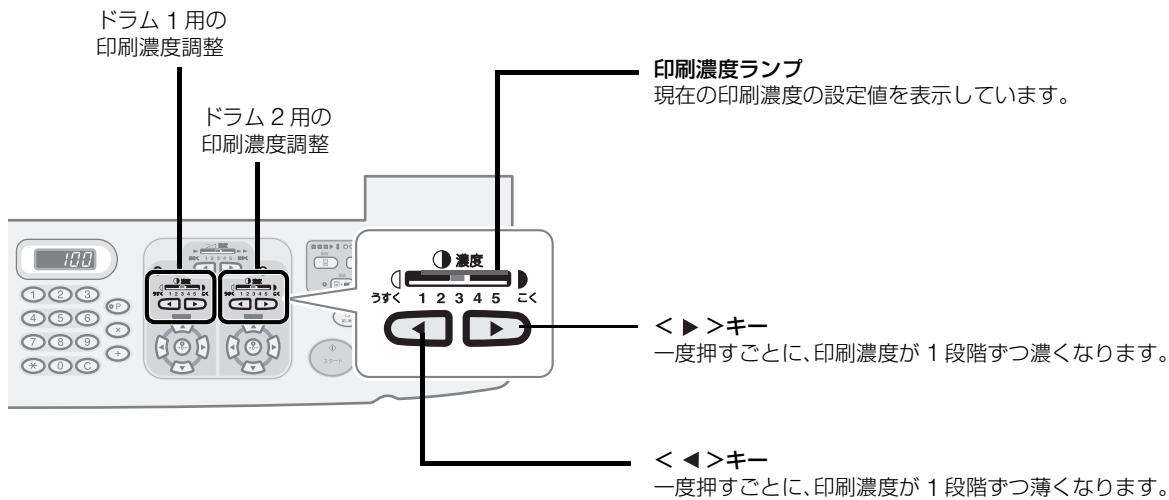


**重要** [省インク]を設定しているときは、印刷濃度は調節できません  
☞ P.81「インクを節約する [省インク]」



**参考** [環境設定]で、印刷濃度の初期設定を変更できます工場出荷時設定は 3(標準)に設定されています。  
☞ P.186「初期設定を変更する [環境設定]／印刷濃度基本設定」

<◀>キーまたは<▶>キーを押して印刷濃度を調節する



# 印刷位置を調整する



## [印刷位置調節] [①=②位置追従]

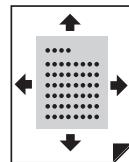
印刷するときに設定する機能

印刷位置調整キーで天地(上下)方向および左右方向に、印刷の位置をドラムごとに調節できます。

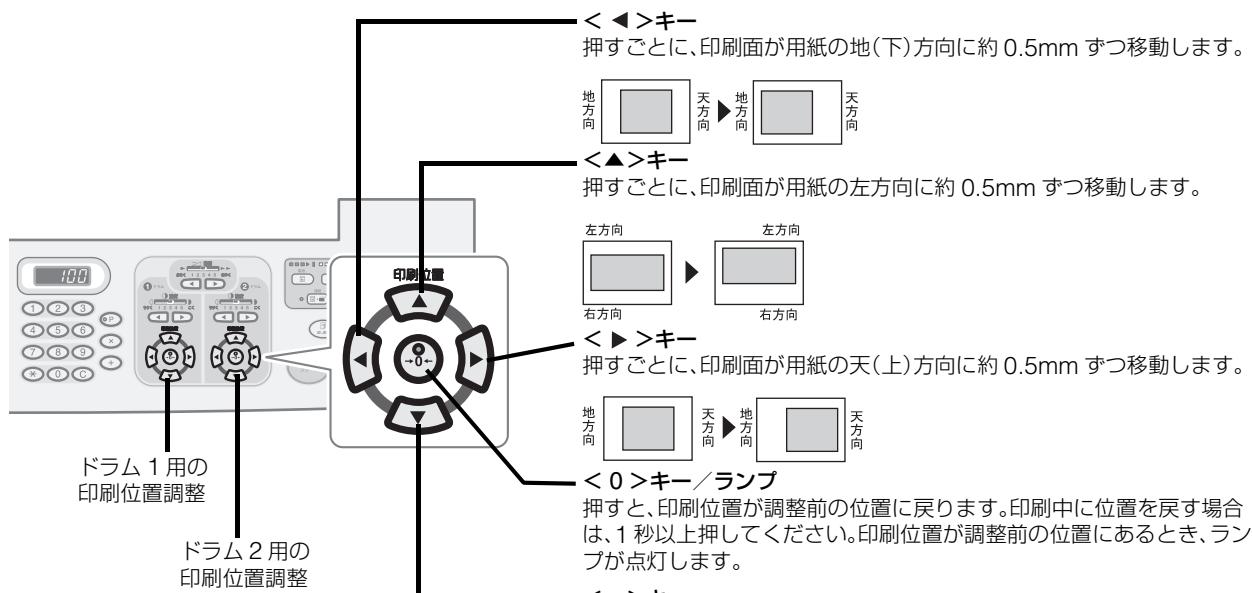
調整範囲は、天地(上下)左右:±10mmです。

印刷位置は、印刷中でも調整できます。

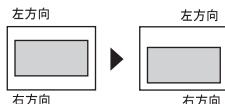
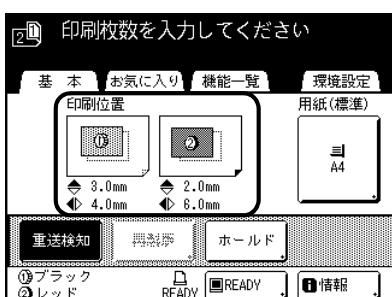
**重要** 印刷位置を調整したときは、試し刷りをして印刷位置を確認してください。  
P.125「試し刷りをする【試し刷り】」



調整したいドラム側の印刷位置調整キー( <▲><▼><◀><▶>キー)を押して調整する



調整結果は、印刷基本画面に表示されます。



### 参考

- 【印刷位置調整】で調整した数値は目安です。実際の位置は、印刷物を見て確認しながら調整してください。
- 片方のドラムの印刷位置のみを調整した直後には、前回の印刷位置の跡が残り、ぶれたように印刷されることがあります。その場合は、残像がなくなるまで数枚試し刷りしてください。( P.125「試し刷りをする【試し刷り】」)
- 両方のドラムを同じ印刷位置に調整する場合は、いずれか一方のドラムを調整するだけで、もう一方のドラムを同じ位置にそろえることができます。( P.124「両方のドラムの印刷位置をそろえる」)
- 位置調整をした場合の移動量は、各ドラムに記憶されます。ただし、電源の ON / OFF や<リセット>キーを押したときは、調整前の位置に戻ります。
- 両面プリントでは、表面(1ページ目)が下向きで排紙されます。そのため、表面(1ページ目)の印刷位置を調整するときは、実際に移動する方向を確認してください。

## 印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従]

### 両方のドラムの印刷位置をそろえる

#### 1 いずれか一方のドラムの印刷位置を調整する

印刷基本画面に調整結果が表示されます。

#### 2 機能一覧画面で<①=②位置追従ボタン>にタッチする

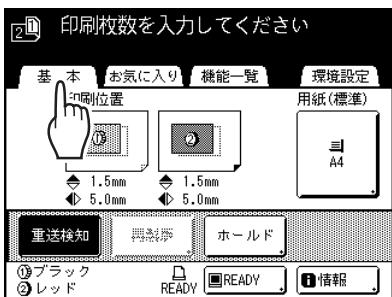


もう一方のドラムが、同じ印刷位置に調整されます。

#### 参考

両方のドラムを別々に調整した場合は、最後に調整したドラムの位置にそろいます。

#### 3 [基本] タブにタッチして、印刷基本画面を確認する



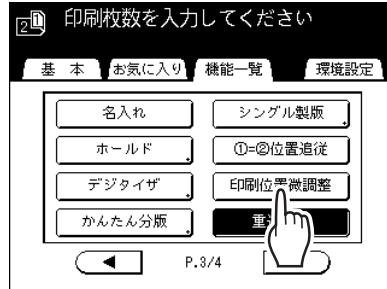
### 印刷位置の微調整について

[印刷位置微調整]ができるように設定されている場合は、印刷位置を約0.1mm単位で微調整できます(通常は0.5mm単位)。

#### 参考

[印刷位置微調整]を使えるように設定したい場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。

[印刷位置微調整]が使える場合は、機能一覧画面に<印刷位置微調整ボタン>が表示されます。<印刷位置微調整ボタン>にタッチすると、[印刷位置微調整]が[ON](白黒反転)になります。[OFF]にすると、0.5mm単位になります。



# 試し刷りをする



## 【試し刷り】

印刷の位置や濃度などの調整後、仕上がりを確認できます。  
試し刷りをしても、枚数カウンターに表示される印刷枚数は変化しません。

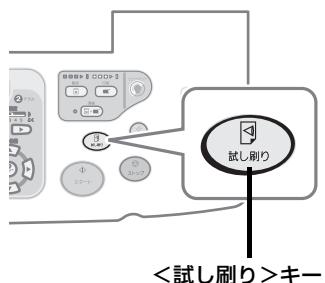
### 参考

- ・<試し刷り>キーを押し続けると、連続して試し刷りができます。
- ・連携機 Prioa(別売)からは、試し刷りを出力することはできません。



### <試し刷り>キーを押す

試し刷りが 1 枚印刷されます。



### 参考

両面プリントの場合、<試し刷り>キー押下後、実際の試し刷りが排紙されるまで、少し時間がかかります。

# 特殊な用紙を使うときの 紙づまりを防ぐ [重送検知]



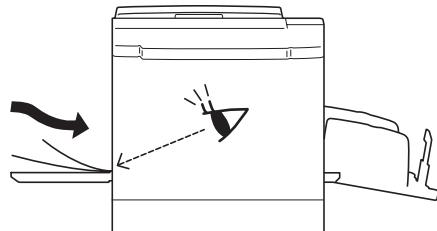
本機には、印刷用紙の給紙状態を監視し、用紙が重なったまま送られると、印刷を自動的に停止する[重送検知]機能を搭載しています。

[重送検知]のセンサーは、一般的な印刷用紙に合わせて設定されているため、使用する用紙によっては正常に1枚給紙された場合も重送と検知し、エラーが表示されることがあります。以下の場合には、[重送検知]を[OFF]にしてください。

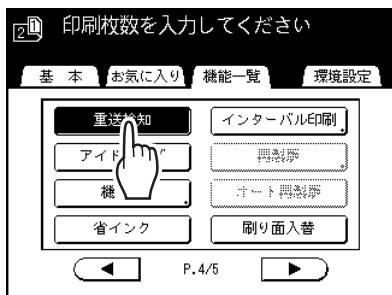
- 重送していないのに度々「重送検知」メッセージが表示される
- 地色が濃い用紙(黒・赤・紺など)を使用している
- 裏面にすでに印刷されている用紙を使用している

## 参考

工場出荷時には、[重送検知]は[ON]に設定されています。  
P.186「初期設定を変更する [環境設定]／重送検知基本設定」



機能一覧画面で<重送検知ボタン>にタッチする



ボタンが白黒反転表示から通常の表示に変わり、[重送検知]が[OFF]になります。

# 裏移りを少なくする

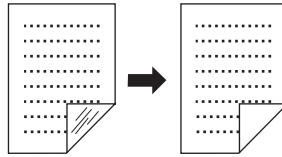
## [インターバル印刷]



印刷時にドラムを空転させて、排紙の間隔を空けることにより、印刷物の乾燥時間を作り、裏移りを防ぎます。

空転回数は、1～10回の間で設定できます。

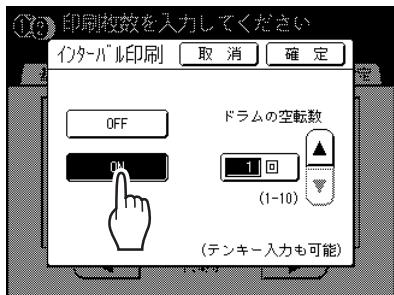
**重要** 両面プリントモード時は使用できません。



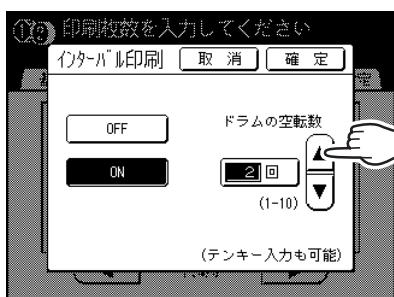
### 1 機能一覧画面で<インターバル印刷ボタン>にタッチする



### 2 <ONボタン>にタッチする



### 3 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、ドラムの空転数を指定する



#### 参考

- テンキーでも入力できます。
- 長尺用紙を使用する場合にドラムの空転数を奇数回に設定すると、実際には「設定した回数 + 1回」の空転を行います。
- P.197「奉書(長尺の用紙)にプリントするときは」

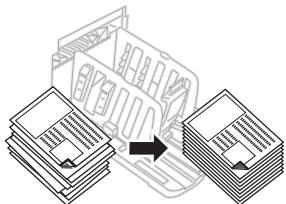
# 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

## [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

特殊な用紙を使用して印刷を行う場合や、印刷画像にムラなどが発生した場合に、給紙・排紙設定を調整することができます。

### ■ 排紙ウイング特殊

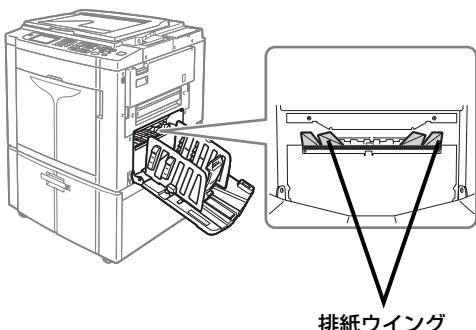
事前に登録してある排紙ウイングの特別な設定を呼び出します。通常、自動的に調節される排紙ウイングの位置では、適切に排紙できない用紙に印刷する場合に使用します。



- ・「排紙ウイング特殊」は、あらかじめ登録されている場合のみ、表示されます。
- ・あらかじめ登録できる設定は 1 種類です。
- ・登録したい場合や、設定を変更したい場合は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。



「排紙ウイング」は、印刷物を排紙台に飛ばすための装置です。通常は、給紙台にある「給紙圧調節レバー」の位置（標準／厚紙）によって、自動的に調節されています。



### ■ 特殊用紙設定

設定した内容を登録しておくと、次回から同じ設定を簡単に呼び出してプリントできます。  
「特殊用紙設定」では、以下の設定が可能です。

#### 特殊給紙調整

使用する用紙の特性に合わせて、給紙台の位置や、用紙のたるみ量を調整できます。

調整方法については、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

#### 特殊排紙調整

原稿の画像種類や用紙の種類によっては、エアブロー、分離ファンなどの影響を受けて、印刷画像にムラやブレが発生する場合があります。そのような場合に、エアブロー、分離ファンの加減を調整してプリントできます。  
調整方法については、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

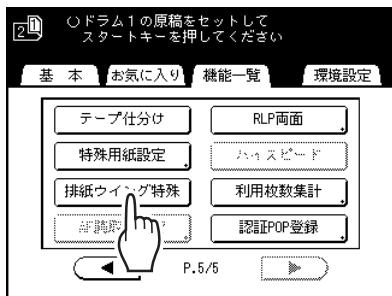


「環境設定」で「特殊用紙設定」の初期設定を変更できます。

☞ P.186「初期設定を変更する [環境設定] / 特殊排紙調整基本」

## 排紙ウイング特殊を設定する[排紙ウイング特殊]

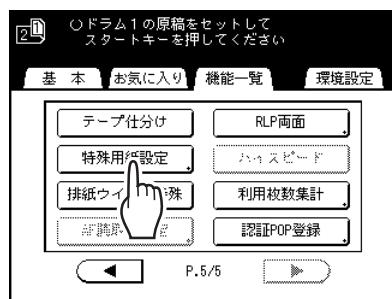
機能一覧画面で<排紙ウイング特殊ボタン>にタッチする



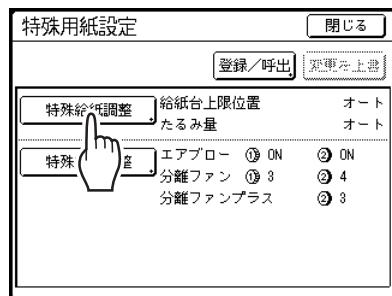
「排紙ウイング特殊」が指定されます。

## 給紙に関しての設定をする[特殊給紙調整]

1 機能一覧画面で<特殊用紙設定ボタン>にタッチする

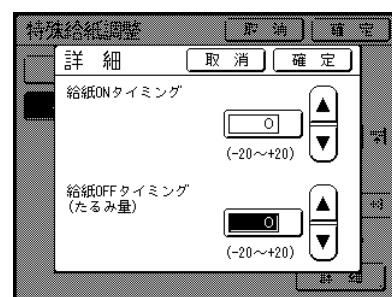
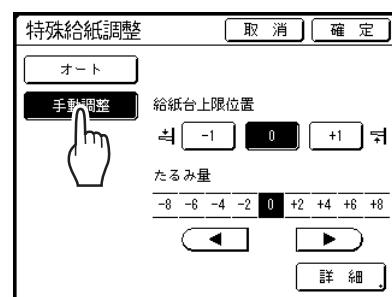


2 <特殊給紙調整ボタン>にタッチする



3 必要に応じて<手動調整ボタン>にタッチする

給紙台上限位置やたるみ量を調節します。<詳細ボタン>にタッチすると、さらに給紙ONタイミングと給紙OFFタイミングが調節できます。



## 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

### 4 <確定ボタン>にタッチする

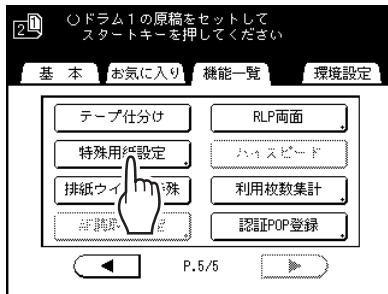
特殊用紙設定画面に戻ります。

#### 参考

ここで設定した内容は、登録できます。  
P.131「調整値リストへの登録と名称入力」

### 排紙に関しての設定をする [特殊排紙調整]

### 1 機能一覧画面で<特殊用紙設定ボタン>にタッチする

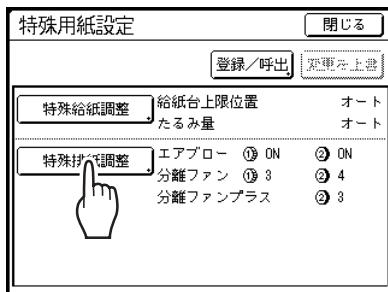


[環境設定]の[特殊排紙調整基本]で、設定値を確認できます。

#### 参考

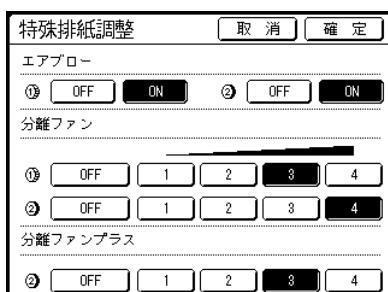
1色プリントモードの場合、使用しないドラムの調整はできません。

### 2 <特殊排紙調整ボタン>にタッチする



### 3

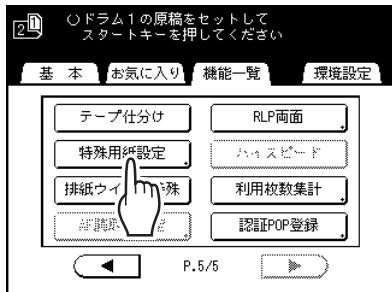
必要に応じて<エアブローボタン>、<分離ファンボタン>、<分離ファンプラス>にタッチする



薄紙(50g/m<sup>2</sup>)以下の用紙にプリントしているとき、排紙揃えが悪くなったときは、[分離ファンプラス]を[OFF]に設定してください。

## 調整値リストへの登録と名称入力

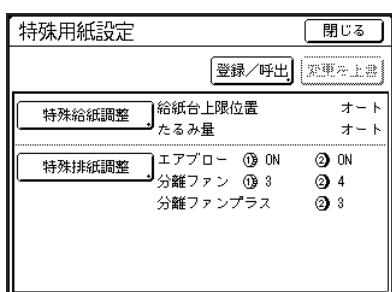
### 1 機能一覧画面で<特殊用紙設定ボタン>にタッチする



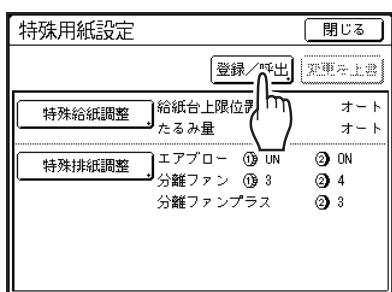
### 2 「特殊給紙調整」、「特殊排紙調整」を調整する

**参考** 各調整項目については、P.128 を参照してください。

### 3 [特殊用紙設定]画面で、調整内容を確認する

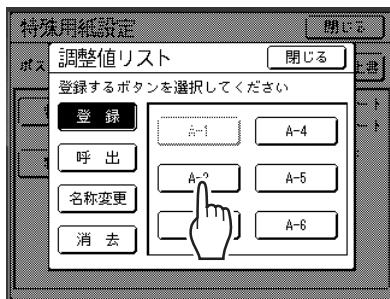


### 4 <登録／呼出ボタン>にタッチする



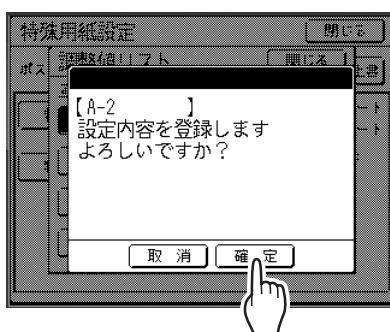
[調整値リスト]画面が表示されます。

### 5 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。  
登録済みの調整値はグレー表示されタッチできません。

### 6 <確定ボタン>にタッチする

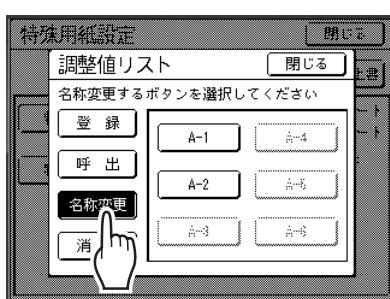


設定した調整値が登録され、[調整値リスト]画面に戻ります。  
設定の名称を入力する場合は、次の手順に進んでください。

**参考**

- 登録後、[調整値リスト]画面の<閉じるボタン>にタッチすると、[特殊用紙設定]画面に戻ります。
- [特殊用紙設定]画面の<閉じるボタン>にタッチすると、機能一覧画面に戻り、登録した調整値でプリントできます。
- 設定の登録のみで、調整値を反映させたプリントを行わないときは、操作パネルのクリセッタキーを押してください。

### 7 <名称変更ボタン>にタッチする



## 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

- 8** 名称を入力したいボタンにタッチする  
未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。
- 9** 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.156「名称入力画面について」

## 参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀C ボタン>にタッチ、または< C >キーを押して消去できます。

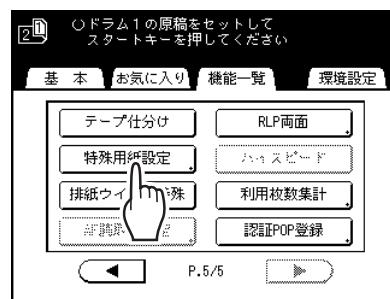
- 10** すべての文字を入力後、**<確定ボタン>**にタッチする

入力した名称が登録され、[調整値リスト]画面に戻ります。

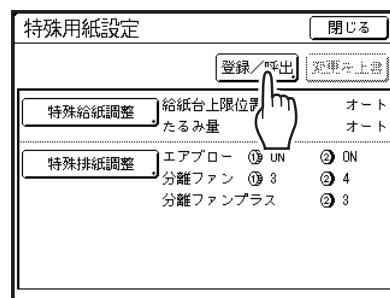
- 11** <閉じるボタン>にタッチする  
[特殊用紙設定]画面に戻ります。

### 調整値リストから呼び出す [特殊用紙設定]

- 1** 機能一覧画面で**<特殊用紙設定ボタン>**にタッチする



- 2** <登録／呼出ボタン>にタッチする



[調整値リスト]画面が表示されます。

- 3** <呼出ボタン>にタッチする



- 4** 呼び出したいボタンにタッチする

未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

選択した調整値が呼び出され、[特殊用紙設定]画面に戻ります。

調整内容を確認してください。

## 参考

別の調整値を呼び出したい場合は、再度手順2～5を行います。

## 5 <閉じるボタン>にタッチする

呼び出した調整値が反映され、機能一覧画面に戻ります。  
ひきつづき、通常の手順で印刷を行うことができます。

## 特殊用紙設定の設定内容の変更

### 1 [調整値リスト]画面を表示させる

P.132 の手順 1、2 を行います。

### 2 <呼出ボタン>にタッチする



### 3 調整値を変更したいボタンにタッチする

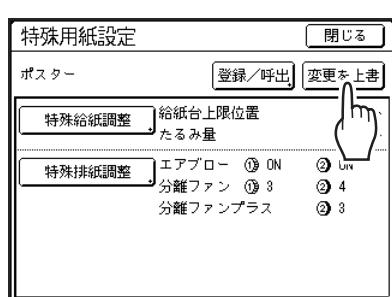
### 4 調整値を変更する

「特殊給紙調整」、「特殊排紙調整」の調整値を変更します。

#### 参考

各調整項目については、P.128 を参照してください。

### 5 [特殊用紙設定]画面で<変更を上書きボタン>にタッチする



### 6 <確定ボタン>にタッチする

変更した調整値が上書き登録され、[特殊用紙設定]画面に戻ります。

## 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

### 特殊用紙設定の消去

#### 1 [調整値リスト]画面を表示させる

P.132 の手順 1、2 を行います。



- 消して良い内容かどうかを確認してください。(設定を呼び出して内容を確認後、手順2以降を行ってください。)
- 消去確定後は復帰させることはできません。

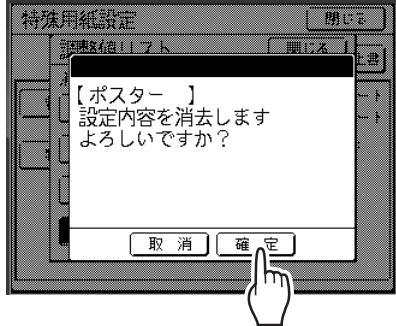
#### 2 <消去ボタン>にタッチする



#### 3 消去するボタンにタッチする

未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

#### 4 <確定ボタン>にタッチする



選択した調整値が消去され、[調整値リスト]画面に戻ります。

#### 5 <閉じるボタン>にタッチする

[特殊用紙設定]画面に戻ります。

# いろいろな機能を使う

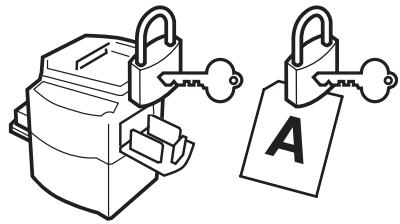
- 136 認証設定をする [認証設定]
- 149 グループ（クラス）分けしてプリントする [プログラム]
- 161 メモリー機能を使う [メモリー]
- 166 機密書類の複製を防止する [機密]
- 167 割り込み印刷を防止する [占有延長]
- 168 アイドリングをする [アイドリング]
- 169 再製版する [再製版] [オート再製版]
- 172 印刷する面を入れ替える [刷り面入替]
- 173 最後のページからプリントする [逆順印刷]
- 175 試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]
- 176 RISO オートフィーダー DX-1 への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]
- 179 原稿を 180 度回転して製版する [180 度回転]
- 180 各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]
- 183 ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]
- 185 初期設定を変更する [環境設定]
- 194 よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]
- 196 不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]
- 199 印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]

# 認証設定をする

## [認証設定]



セキュリティの強化やユーザー管理を充実させるために、本機では認証機能を用意しています。認証機能とは、暗証番号の入力や認証用の USB メモリ挿入により、誰が使用しているかを本機に認識させる機能です。認証機能を利用するには、あらかじめ管理者が認証の種類や認証方式の設定、ユーザーの登録を行う必要があります。ここでは、管理者が認証設定を行う方法を説明します。



### ■ 認証の種類

認証の種類には、「本体認証」と「認証プリント」があります。

#### 本体認証

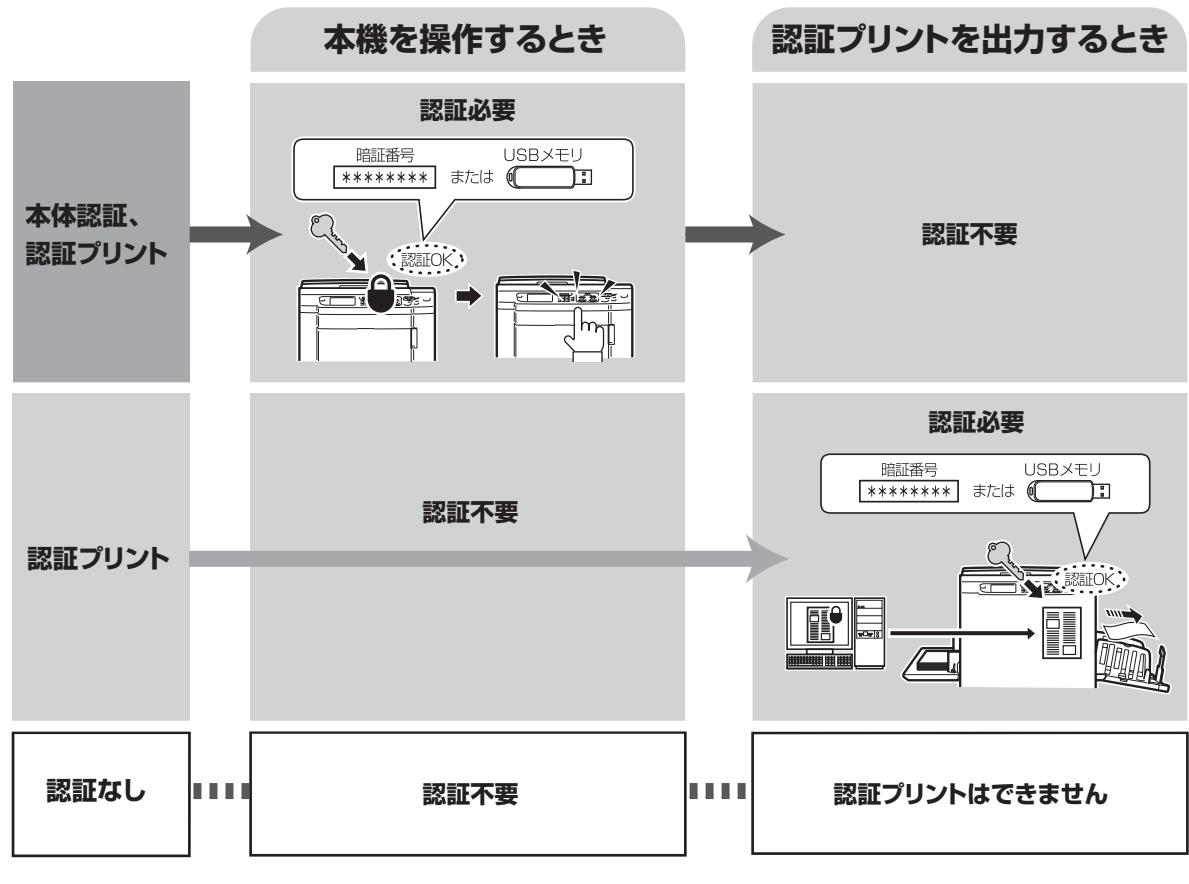
本機の操作をする際に、「認証」を必要とする設定です。本体認証を行うと、以下のメリットがあります。

- ユーザーごとの使用状況を把握できる (P.180「各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]」)
- 本機の利用者を制限したり、ユーザーごとに印刷枚数などを制限できる (P.142「管理者／ユーザーの登録」)
- ユーザーごとに、よく使う機能を POP エリアに登録できる (P.183「ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]」)

#### 認証プリント

パソコンから送るデータに認証をかけて送信します。データは認証待ちになり、暗証番号の入力(USBメモリの挿入)により出力されます。他人に見られたくない文書をプリントする場合などに有効です。

#### 認証操作のタイミング



## ■ 認証方式

認証方式には、「暗証番号」を使用する方法と「USB メモリ」を使用する方法があります。ユーザーは「本体認証」や「認証プリント」を行う際に、管理者が設定した認証方式で、認証を求められます。

### 暗証番号を使用する方法

ユーザーごとに最大 8 行までの暗証番号を設定します。

ユーザーとして登録する利用者のリストを用意し、ユーザー登録番号と、暗証番号を記録することをおすすめします。

各ユーザーに、設定した暗証番号とユーザー登録番号(認証登録番号)をお知らせください。

### USB メモリを使用する方法

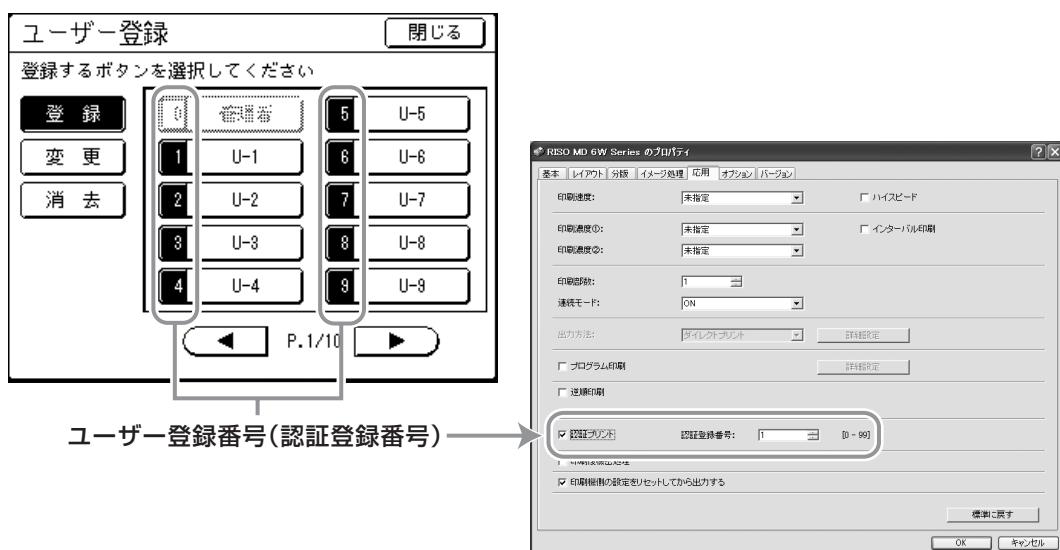
使用するユーザーの人数分 USB メモリを用意し、本機に登録します。

USB メモリは、誰にどの USB メモリを配布するのかが、分かるように準備することをおすすめします。

各ユーザーに、登録した USB メモリとユーザー登録番号(認証登録番号)を配布してください。

#### 参考

ユーザー登録番号(認証登録番号)は、プリンタドライバで「認証プリント」を設定する際に必要です。



## 認証設定をする [認証設定]

認証機能を有効にするには、あらかじめ管理者により認証設定を行っておく必要があります。ここでは、認証設定の設定項目とその詳細について説明します。

### 設定項目について

#### ■ 認証方式(☞ P.140)

認証する方法を選択します。

**暗証番号** : 認証画面で、ユーザー登録時に設定した暗証番号を入力します。

**USB メモリ** : 認証画面で、ユーザー登録時に認証用に設定したUSBメモリを、USBスロットに挿入します。

**認証設定消去** : 認証設定で登録した情報(管理者／ユーザー登録含む)が消去され、工場出荷時の設定に戻ります。

**参考**

認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。はじめに認証方式を確定してから、他の設定を行ってください。

#### ■ 認証有無(認証の範囲)(☞ P.141)

使用したい認証機能に応じて、認証の範囲を以下の3種類から選択します。

**本体認証、認証プリント** : 本体認証と認証プリントの両方を使用します。

**認証プリントのみ** : 認証プリントのみ使用します。

**認証なし** : 本体認証と認証プリントのいずれも使用しません。

**参考**

認証有無の設定と、認証操作の要・不要との関係、および使用できる認証機能との関係は、以下のようになります。

認証 有無	認証操作		その他の認証機能		
	本体操作時	認証プリント時	利用枚数集計 (☞ P.180)	認証POP登録 (☞ P.183)	認証データの保存※ (☞ P.209)
本体認証、 認証プリント	必要	不要	使用可 (各ユーザーの使用状況を 正確に把握できる)	使用可	使用可
認証プリント のみ	不要	必要	使用可 (使用状況を正確には 把握できない)	使用不可	使用不可
認証なし	不要	認証プリント 使用不可	使用不可	使用不可	使用不可

※ スキャンモードで読み取った原稿を認証データとして保存する操作

## ■ ユーザー登録(☞ P.142)

認証する管理者／ユーザーを最大 100 件(管理者を含む)まで登録できます。

登録の際に、以下の項目を設定します。

- ユーザー名称
- 所属グループの設定
- 製版・印刷の上限枚数
- 利用の許可／不許可

登録した内容は、変更・消去が可能です。

ユーザー登録や、その他の認証設定を行うには、管理者の登録が必要です。管理者の登録をすると、認証機能が働きります。

## ■ グループ名称(☞ P.147)

グループ管理をする場合に、グループの名称を設定します。

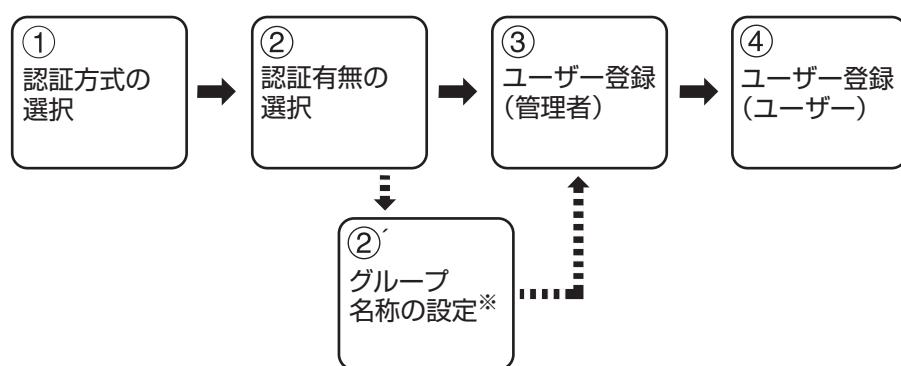
最大 32 グループまで登録できます。

## ■ カウントオールクリア(☞ P.148)

すべてのユーザー、グループの利用枚数カウントをクリアします。

### 認証設定の流れ

認証設定は、以下の順に設定することをおすすめします。



\*「利用枚数集計」(☞ P.180)で、グループごとの集計を行いたい場合に設定します。

## 認証設定をする [認証設定]

### 認証方式の選択

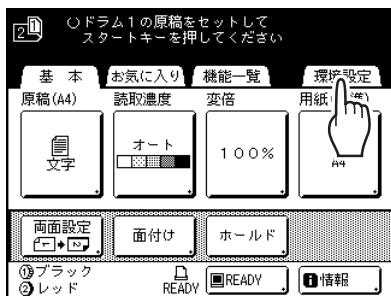
認証設定をするときは、はじめに認証方式の設定をしてください。



認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。

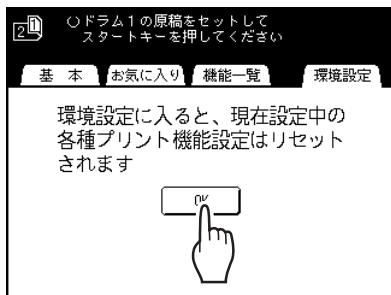
**1**

各モードの基本画面で [環境設定] タブにタッチする



**2**

<OKボタン>にタッチする



管理者が登録されていない場合は、手順 4 に進んでください。

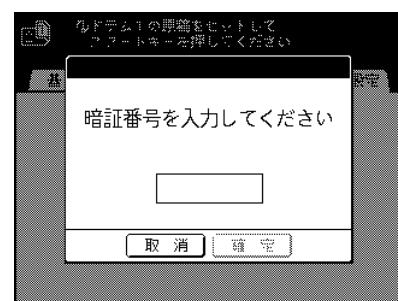
すでに管理者が登録されている場合は、ここで認証画面が表示されます。手順 3 に進んでください。

**3**

管理者の認証をする

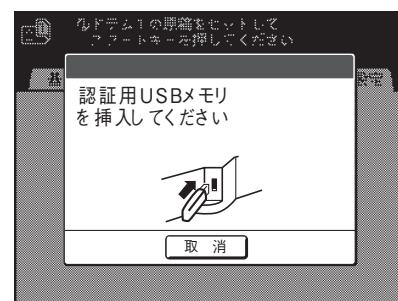
#### ■ 認証方式が「暗証番号」の場合

管理者用の暗証番号を入力します。



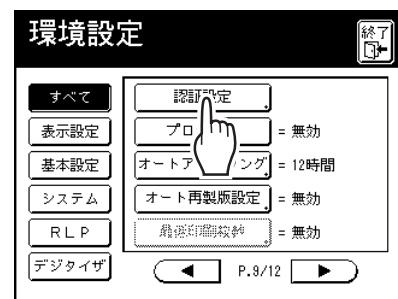
#### ■ 認証方式が「USBメモリ」の場合

管理者認証用の USB メモリを USB スロットに挿入します。



**4**

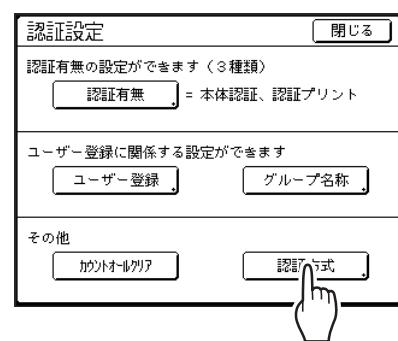
<認証設定ボタン>にタッチする



[認証設定] 画面が表示されます。

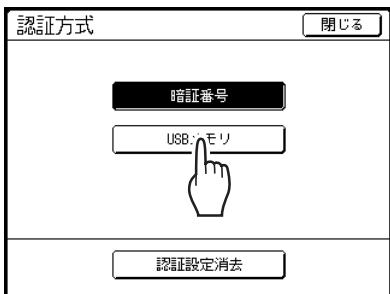
**5**

<認証方式ボタン>にタッチする



## 6

認証方式を選択してボタンにタッチする

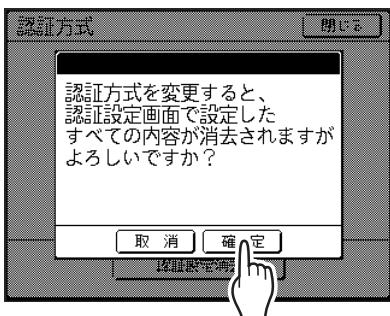


## 参考

<認証設定消去ボタン>にタッチすると、すべての認証設定が消去され、工場出荷時の設定になります。

## 7

<確定ボタン>にタッチする



認証方式が変更され、[認証設定]画面に戻ります。

ひき続き、その他の認証設定を行います。次ページ以降を参照してください。

## 認証の範囲(認証有無)の設定



あらかじめ「認証方式」の設定をしてください。  
P.140「認証方式の選択」

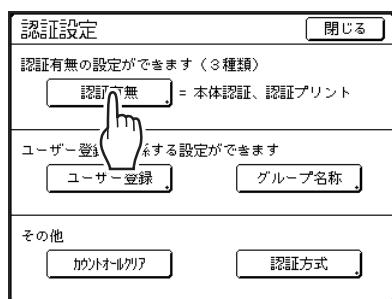
## 1

[認証設定]画面を表示させる

P.140「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

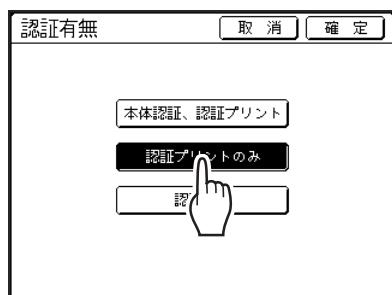
## 2

<認証有無ボタン>にタッチする



## 3

設定したい範囲のボタンにタッチする



各設定の認証の有効範囲については、P.136 を参照してください。

## 4

<確定ボタン>にタッチする

選択した認証の範囲が設定され、[認証設定]画面に戻ります。

ひき続き、ユーザー登録、グループ名称の設定ができます。認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画面に戻ります。

## 認証設定をする [認証設定]

### 管理者／ユーザーの登録

認証機能を有効にするには、管理者を登録する必要があります。  
最大 100 件まで登録できます。(管理者を含む)

### 管理者／ユーザー登録の基本操作

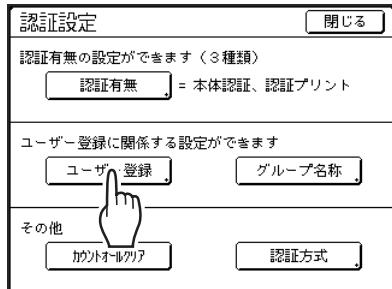
#### 1 [認証設定]画面を表示させる

P.140「認証方式の選択」の手順 1～4 を行います。

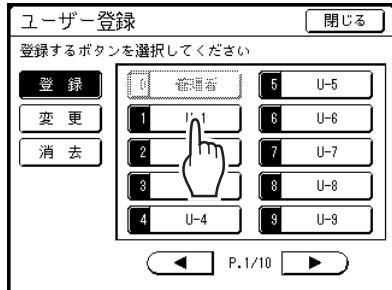


- あらかじめ「認証方式」の設定をしてください。
- グループ設定をする場合は、先にグループ名称を設定することをおすすめします。(P.147)

#### 2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする



#### 3 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。  
登録済みのボタンはグレー表示されタッチできません。



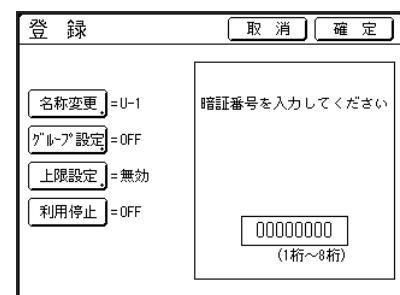
- 必ず最初に管理者を設定してください。
- 管理者を登録していない場合は、<0 管理者ボタン>以外はタッチできません。
- <0 管理者ボタン>は、管理者専用ボタンです。名称を変更しても管理者として扱われます。

#### 4

### 暗証番号を入力するか、USBメモリを挿入する

#### ■ 認証方式が「暗証番号」の場合

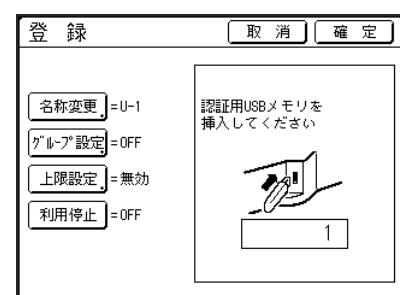
テンキーで暗証番号を入力します。



最大 8 桁まで入力できます。  
数値をクリアするときは < C > キーを押します。

#### ■ 認証方式が「USB メモリ」の場合

認証用の USB メモリを USB スロットに挿入します。

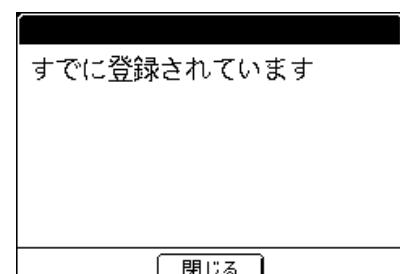


認証用 USB メモリを区別する番号が表示されます。



多数の USB メモリを登録する場合は、ユーザー名を USB メモリに貼っておくなど、後から USB メモリを識別できるようにしておくことをおすすめします。

登録済みの暗証番号を入力したり(認証方式「暗証番号」)、すでに認証用に設定済みの USB メモリが挿入されていると(認証方式「USB メモリ」)、確定にタッチしたときに次のメッセージが表示されます。



<閉じるボタン>にタッチし、未登録の暗証番号を入力するか、認証未設定のUSBメモリを挿入してください。

## 5 各種の設定をする

必要に応じて以下の設定を行います。

- ・名称変更(☞ P.143)
- ・グループ設定(☞ P.144)
- ・上限設定(☞ P.144)
- ・利用停止(☞ P.145)

## 6 <確定ボタン>にタッチする

管理者またはユーザーが登録され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

複数のユーザーを登録するときは、<登録ボタン>にタッチして、手順3～6を繰り返してください。

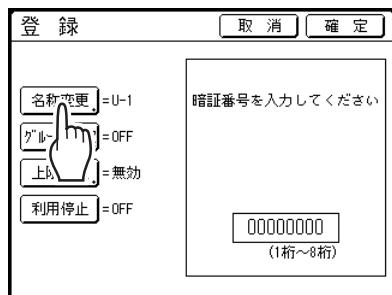
## 7 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。ひき続き、ユーザー登録、グループ名称の設定ができます。

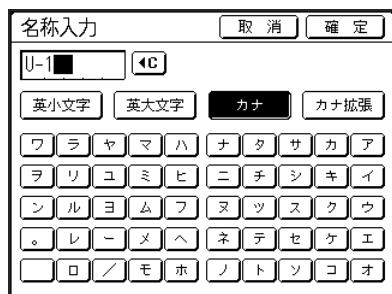
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

### ユーザー名を入力する

#### 1 [登録]画面で<名称変更ボタン>にタッチする



#### 2 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

(☞ P.156「名称入力画面について」)

#### 参考

名称入力欄の文字は、<◀Cボタン>にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

#### 3 <確定ボタン>にタッチする

入力した名称が登録され、[登録]画面に戻ります。

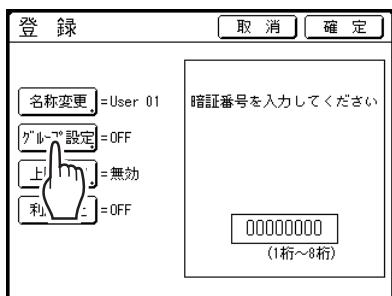
## 認証設定をする [認証設定]

### 所属するグループを設定する

所属グループを設定すると、グループごとに利用枚数を集計できます。

☞ P.180「各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]」

#### 1 [登録]画面で<グループ設定ボタン>にタッチする



#### 2 設定するグループボタンにタッチする



#### 参考

- グループを設定しない場合は<OFFボタン>にタッチします。
- グループの名称を設定できます。  
名称入力については P.147「グループの名称入力」を参照してください。

#### 3 <確定ボタン>にタッチする

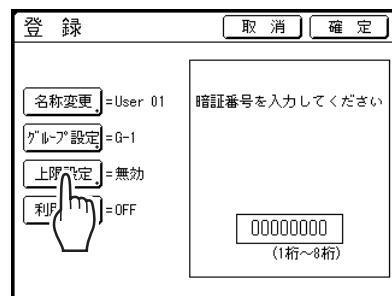
登録画面に戻り、設定したグループが表示されます。

### ユーザーの利用枚数の上限を設定する

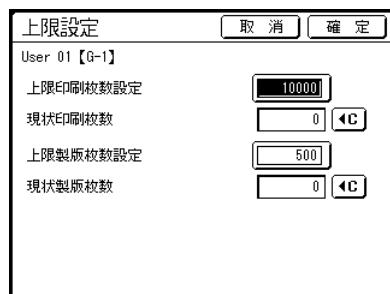
印刷枚数／製版枚数の上限を設定します。最大99,999,999枚まで設定できます。

また、現状印刷／製版枚数をクリアすることができます。

#### 1 [登録]画面で<上限設定ボタン>にタッチする



#### 2 入力ボックスにタッチし、テンキーで上限枚数を入力する



#### 参考

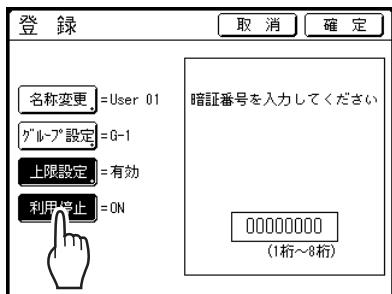
- 入力を取り消したいときは、<C>キーを押します。
- 「現状印刷枚数」と「現状製版枚数」には、それぞれ現在までにユーザーが印刷または製版した枚数が表示されます。
- 「現状印刷枚数」と「現状製版枚数」をクリアする場合は、それぞれの<<C>ボタン>にタッチします。

#### 3 <確定ボタン>にタッチする

利用枚数の設定が変更され、[登録]画面に戻ります。

## ユーザーを利用停止にする

[登録]画面で<利用停止ボタン>にタッチして「ON」にする



「利用停止」が有効になり、利用停止されたユーザーは認証できなくなります。

### 参考

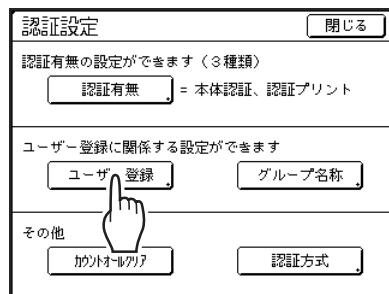
- 利用停止を解除するときは、<利用停止ボタン>にタッチして「OFF」にします。
- 管理者の[登録]画面では、<利用停止ボタン>は設定できません。(グレー表示されます。)

## 管理者／ユーザー登録の変更

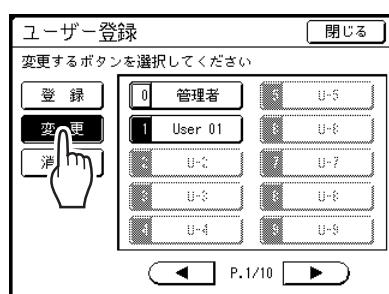
### 1 [認証設定]画面を表示させる

P.140「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

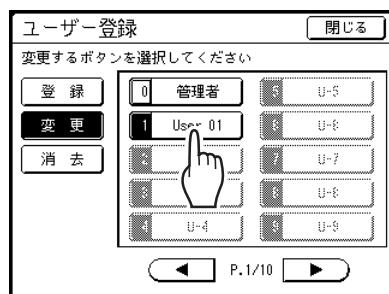
### 2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする



### 3 <変更ボタン>にタッチする



### 4 変更するユーザーボタンにタッチする



登録済みのボタンが実線で表示されます。未登録のボタンはグレー表示されタッチできません。

### 5 各種の設定を変更する

P.142「管理者／ユーザーの登録」の手順4、5を行います。

## 認証設定をする [認証設定]

### 6 <確定ボタン>にタッチする

登録内容が変更され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

### 7 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。

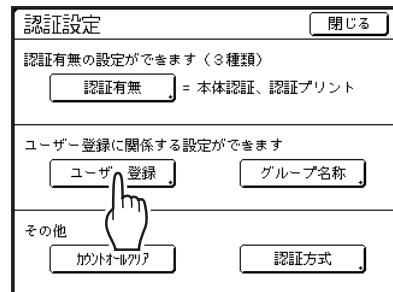
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

## ユーザー登録の消去

### 1 [認証設定]画面を表示させる

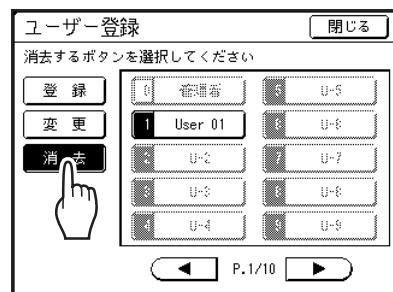
P.140「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

### 2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする

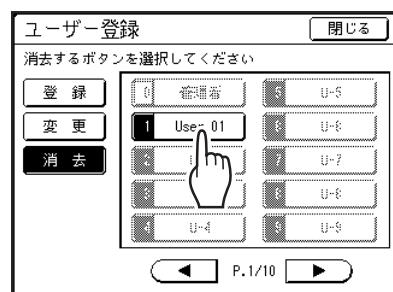


消去確定後は登録を復帰させることはできません。

### 3 <消去ボタン>にタッチする



### 4 消去するユーザーボタンにタッチする



管理者以外の登録済みのボタンが実線で表示されます。未登録のボタン、および管理者ボタンはグレー表示されタッチできません。

## 5 <確定ボタン>にタッチする



選択したユーザーの設定が消去され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

## 6 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。

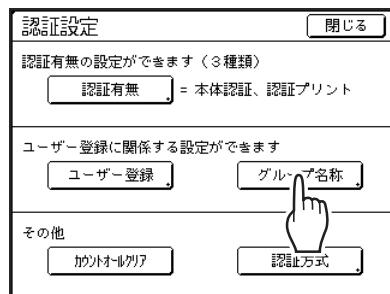
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

## グループの名称入力

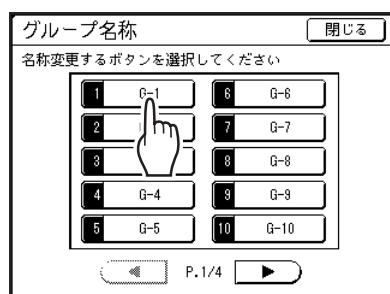
### 1 [認証設定]画面を表示させる

P.140「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

### 2 <グループ名称ボタン>にタッチする



### 3 名称を入力するグループボタンにタッチする



### 4 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.156「名称入力画面について」

#### 参考

カナは最大で5文字まで、英数字は最大で10文字まで入力できます。

## 認証設定をする [認証設定]

### 5 <確定ボタン>にタッチする

[グループ名称]画面に戻り、入力した名称が登録されます。

### 6 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画面に戻ります。

## 全ユーザーの利用枚数のクリア

全ユーザーの利用枚数を一度にクリアすることができます。



消去確定後は、カウントを復帰させることはできません。

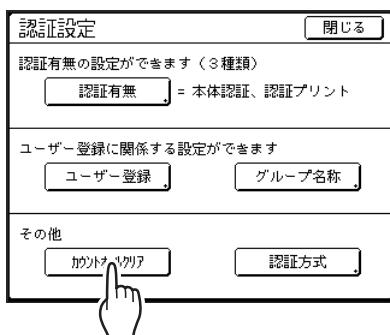
### 1

#### [認証設定]画面を表示させる

P.140「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

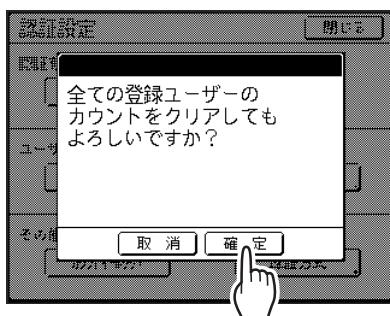
### 2

#### <カウントオールクリアボタン>にタッチする



### 3

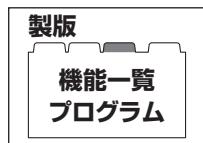
#### <確定ボタン>にタッチする



すべてのユーザー別利用枚数がクリアされ、[認証設定]画面に戻ります。

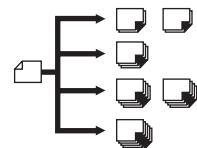
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画面に戻ります。

# グループ(クラス)分けして プリントする [プログラム]



「プログラム」は、印刷枚数などをあらかじめ設定することで、そのつど、印刷枚数を入力しないでプリントできる機能です。各区切りで印刷がいったん停止します。

設定したプログラムを登録しておくと、呼び出して使用することができます。学校などで、各学年のクラスの人数を登録しておくと便利です。



[プログラム]には、[1原稿プログラム] [多原稿プログラム] [ドリル印刷]の3種類があります。

一度設定した[プログラム]は、プログラムメモリーに登録して、呼び出して繰り返し利用することができます(3種類あわせて12件まで登録できます)。

☞ P.153「プログラムの登録」

**重要** 「プログラム」は、「オート再製版」とは併用できません。

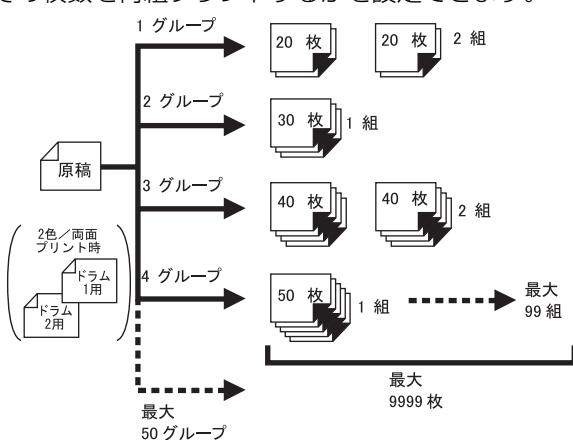
## プログラムの種類

[プログラム]には、以下の3種類が用意されています。

### 1 原稿プログラム

1つの原稿(1色プリントは1枚、2色プリントは2枚で1組)をグループに分けてプリントします。

最大50グループまで、1グループに最大9999枚で99組まで設定できます。各グループに対してプリント枚数とその枚数を何組プリントするかを設定できます。



[1原稿プログラム]でプリントする原稿が複数ある場合、RISOオートフィーダーDX-1(オプション)に複数枚(最大50枚まで)の原稿をセットし、[連続]を[ON]にすれば、設定した[プログラム]が繰り返され、セットした原稿すべてを指定した枚数のグループに分けてプリントできます。

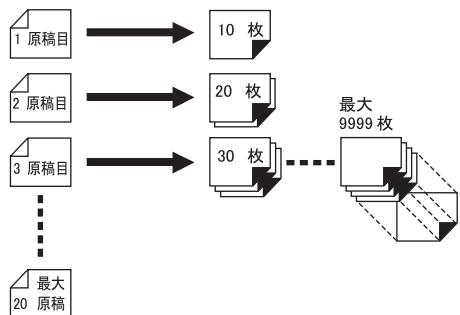
## グループ(クラス)分けしてプリントする【プログラム】

### 多原稿プログラム

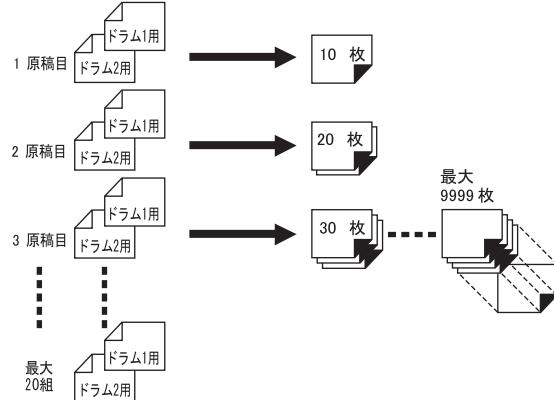
複数の原稿(1色プリントは複数枚、2色／両面プリントは2枚を1組とした複数組)をそれぞれ異なる枚数でプリントします。

原稿の数は最大20原稿まで、1原稿の最大プリント枚数は9999枚までです。

#### 1色プリント時:



#### 2色／両面プリント時:



### ドリル印刷(2色プリント時のみ使用可能)

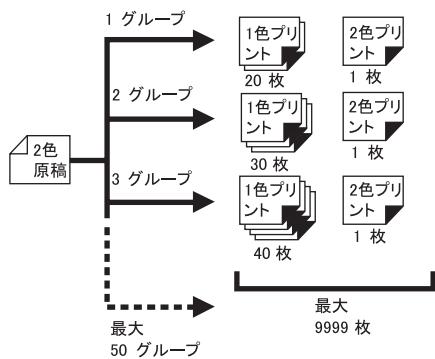
2枚の原稿または2色原稿から、グループ(クラス)ごとに1色プリントと2色プリントをします。

ドラム1のみで1色プリントした後、ドラム1、2両方を使った2色プリントを差し込みます。

プリント枚数は、1色プリントはグループごとに設定できます。2色プリントは、全グループ共通か、各グループの1色プリントと同じ枚数を設定できます。

学校で、生徒数分の問題用紙と、答えの入った先生用の解答用紙を作成したいときなどに便利です。

最大50グループまで、各グループの各プリントごとに最大9999枚まで設定できます。



[ドリル印刷]は、印刷枚数を設定する機能です。赤と黒に分版する機能ではありません。2色原稿の場合は、[かんたん分版]などと併用してご利用ください。

☞ P.158「かんたん分版とドリル印刷を組み合わせて使う」

## プリント方法

[プログラム]を使用してプリントする方法は、2種類あります。

- ・プログラムを設定してプリント(登録しないでプリントする場合) P.151
- ・登録済みのプログラムを呼び出してプリント(あらかじめ登録した設定でプリントする場合) P.154

[プログラム]使用時に印刷基本画面に表示されるボタンでは、次の指定ができます。

指定するときは、それぞれのボタンにタッチしてください。



### [再製版]

.....最後に製版したデータを利用して、再度製版することができます。

P.169「再製版する [再製版]  
[オート再製版]」

### [次原稿]または[次グループ組]

.....実行中の印刷を中止し、次の組またはグループの原稿のプリントに切り替えます。

### [プログラム OFF]

.....[プログラム]を解除します。

### 参考

オプションのSTソーターとプログラムを組み合わせて使用すると便利です。

STソーターを使用すると、設定した組や原稿の印刷終了ごとに自動的にテープが出力され、仕分けが行われます。組ごとに印刷物を取り除いたり、合紙を入れたりする必要がありません。

STソーターを使用するときは、機能一覧画面で「テープ仕分け」を「ON」にしてください。

STソーターがない場合は、区切りの停止中に排紙台から印刷物を取り出すか、合紙を入れてください。

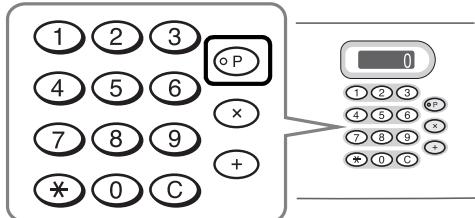
## プログラムの設定

[プログラム]画面の表示方法は、2種類あります。

- ・ディスプレイで機能一覧画面の<プログラムボタン>にタッチする方法
- ・テンキー部分の<P>キーを押す方法

以下の手順では、テンキー部分の<P>キーを押す方法で説明します。

### 1 <P>キーを押す



### 参考

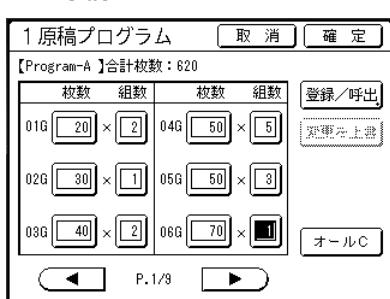
<×>キーを押すと「1 原稿プログラム」、<+>キーを押すと「多原稿プログラム」の入力画面(手順3)にショートカットできます。

### 2 設定するプログラムのボタンにタッチする



### 3 テンキーで、枚数などを入力する

#### ■ 1 原稿プログラムのとき



① テンキーで枚数を入力する

② <×>キーまたは<\*>キーを押す

③ テンキーで組数を入力する

## グループ(クラス)分けしてプリントする [プログラム]

### ④ <+>キーまたは<\*>キーを押す

複数のグループを設定する場合は、①～④の手順を繰り返してください。

#### 参考

- <×>、<+>、<\*>の各キーでも、入力ボックスを移動することができます。  
<×>キーを押すと[組数]、<+>キーを押すと[枚数]を、それぞれ上から下へ移動します。  
<\*>キーを押すと、[組数]→[枚数]→1つ下の[組数]の順で移動します。
- 枚数または組数をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。
- <オールCボタン>にタッチすると、入力したすべての枚数と組数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上部に表示され、実際に印刷する枚数を確認できます。

#### 重要

ここで設定した[プログラム]を登録する場合は、<登録／呼出ボタン>にタッチしてください。  
登録する場合は、P.153「プログラムの登録」の手順2へ進んでください。

### ■ 多原稿プログラムのとき

多原稿プログラム		取 消	確 定
【Program-B】合計枚数: 21			
枚数	枚数		
原稿01	<input type="text" value="1"/>	原稿04	<input type="text" value="4"/>
原稿02	<input type="text" value="2"/>	原稿05	<input type="text" value="5"/>
原稿03	<input type="text" value="3"/>	原稿06	<input type="text" value="6"/>
< >		P.1/4 < >	

### ① テンキーで枚数を入力する

### ② <+>キーまたは<\*>キーを押す

### ③ 上記の①、②手順をくり返して、各原稿のプリント枚数を入力する

#### 参考

- <+>、<\*>の各キーでも、入力ボックスを上から下へ移動することができます。
- 枚数をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。
- <オールCボタン>にタッチすると、入力したすべての枚数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上部に表示され、実際に印刷する枚数を確認できます。

#### 重要

ここで設定した[プログラム]を登録する場合は、<登録／呼出ボタン>にタッチしてください。  
登録する場合は、P.153「プログラムの登録」の手順2へ進んでください。

### ■ ドリル印刷のとき

ドリル印刷				取 消	確 定	
【Program-C】合計枚数: ①20+②1				②	印 刷 枚 数	
①	②	①	②	②	登録／呼出	
01G	<input type="text" value="20"/>	+	1	04G	<input type="text" value="0"/>	+ 0
02G	<input type="text" value="0"/>	+	0	05G	<input type="text" value="0"/>	+ 0
03G	<input type="text" value="0"/>	+	0	06G	<input type="text" value="0"/>	+ 0
< >				P.1/9 < >		

### ① テンキーでドラム1でプリントする枚数を入力する

### ② <+>キーまたは<\*>キーを押す

### ③ 上記の①、②手順をくり返して、各グループのプリント枚数を入力する

### ④ <①②印刷枚数ボタン>にタッチする

2色プリントの枚数が1枚の場合は、この操作は不要です。

ドリル印刷				取 消	確 定	
【Program-C】合計枚数: ①250+②5				②	印 刷 枚 数	
①	②	①	②	②	登録／呼出	
01G	<input type="text" value="50"/>	+	1	04G	<input type="text" value="52"/>	+ 1
02G	<input type="text" value="45"/>	+	1	05G	<input type="text" value="48"/>	+ 1
03G	<input type="text" value="55"/>	+	1	06G	<input type="text" value="0"/>	+ 0
< >				P.1/9 < >		

### ⑤ <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチする

ドリル印刷		取 消	確 定
①②印刷枚数			
グループごとに2色で印刷する枚数を一括して設定できます			
①と同数			
枚数指定	<input type="text" value="1"/>	(1~9999)	(テンキー入力も可能)

#### 参考

- テンキーでも入力できます。
- 1色プリントと同じ枚数を2色プリントする場合は、<①②と同数ボタン>にタッチします。
- <①②印刷枚数>は全グループ同じ枚数になります。グループ毎に変更はできません。
- ダイレクトプリントで[ドリル印刷]を指定すると、1ページ目は[印刷前ストップ]で停止します。操作パネルにドリル印刷の画面が表示されるので印刷枚数を入力してください。

### ⑥ <確定ボタン>にタッチする

#### 参考

- <+>、<\*>の各キーでも、入力ボックスを上から下へ移動することができます。



ここで設定した[プログラム]を登録する場合は、<登録／呼出ボタン>にタッチしてください。  
登録については、P.153「プログラムの登録」をご覧ください。

## 4 <確定ボタン>にタッチする

設定した[プログラム]でプリントできる状態になり、元の画面に戻ります。



枚数または組数を入力後に<確定ボタン>にタッチしなくとも、<スタート>キーを押せばプリントを開始することができます。

## ダイレクトプリントでドリル印刷をする



次ページ以降については、以下になります。

[連続モード]が[OFF- 印刷前ストップ]または[OFF- 製版前・印刷前ストップ]の場合：

次ページも[印刷前ストップ]で停止します。  
操作パネルで印刷枚数を確認し<スタート>キーを押してください。

[連続モード]が[OFF- 製版前ストップ]または[ON]の場合：

次ページからは停止せずに、1 ページ目の設定で印刷を行います。

## プログラムの登録

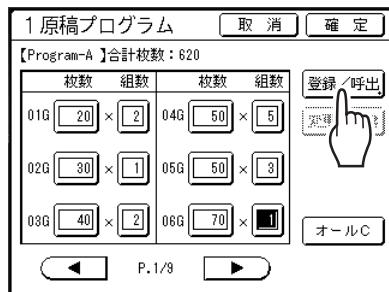
よく使う[プログラム]の設定を登録しておくと、呼び出して繰り返しプリントできます。

[プログラム] の設定は、3 種類あわせて 12 件まで登録できます。

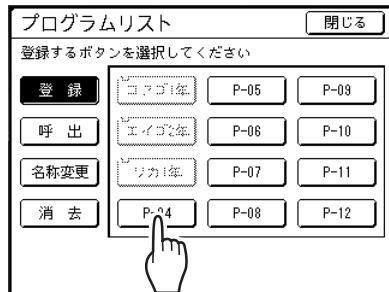
### 1 プログラムを設定する

P.151「プログラムの設定」の手順 1～3 を行います。

### 2 プログラム画面で、<登録／呼出ボタン>にタッチする



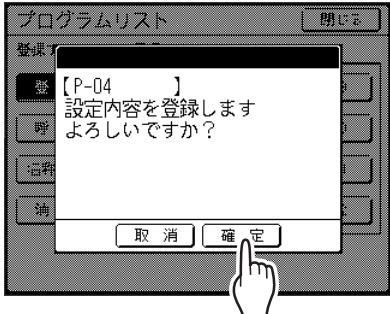
### 3 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されている未登録のボタンにタッチしてください。(グレー表示のボタンは、登録済みです。)

## グループ(クラス)分けしてプリントする [プログラム]

### 4 <確定ボタン>にタッチする

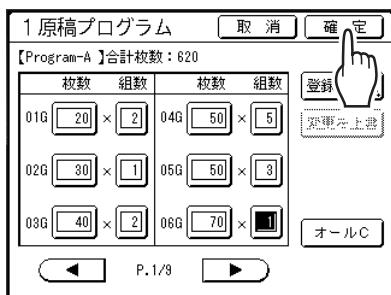


設定した[プログラム]が登録され、[プログラムリスト]画面に戻ります。

必要があれば、P.155「プログラムの名称入力」の手順3へ進んでください。

#### 参考

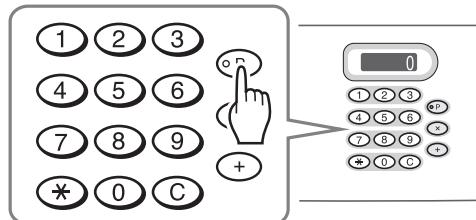
登録後、[プログラムリスト]画面の<閉じるボタン>にタッチすると、プログラム画面に戻ります。プログラム画面の<確定ボタン>にタッチすると、登録したプログラムでプリントできます。



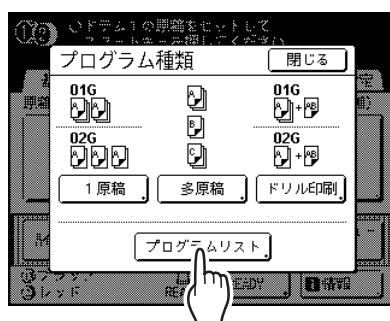
### プログラムを呼び出してプリントする

登録済みのプログラムを呼び出して、プリントや設定内容の変更ができます。

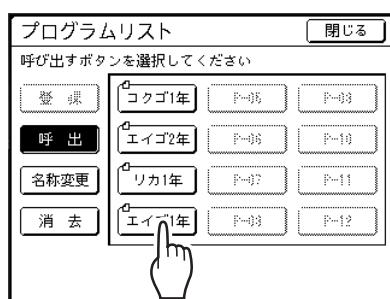
#### 1 <P>キーを押す



#### 2 <プログラムリストボタン>にタッチする



#### 3 呼び出したいプログラムのボタンにタッチする



#### 参考

1色プリント時には、[ドリル印刷]の[プログラム]は呼び出せません。

## 4 <確定ボタン>にタッチする

呼び出したプログラムでプリントできる状態になり、元の画面に戻ります。

### 参考

プログラム印刷を中止したい場合は、<P>キーを押して(または機能一覧画面で<プログラムボタン>にタッチして)、表示される画面で<プログラムOFFボタン>にタッチしてください。<リセット>キーを押してプログラム印刷を中止した場合、そのときの他の設定もリセットされてしまいます。

## プログラムの名称入力

登録した[プログラム]の名称は、用途や目的に合わせて変更できます。

### 1 機能一覧画面で<プログラムボタン>にタッチする

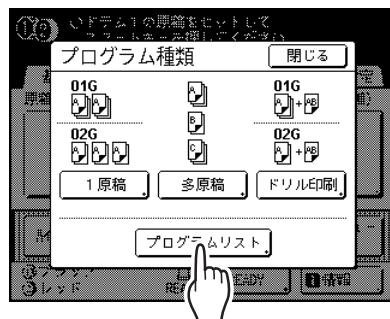


### 参考

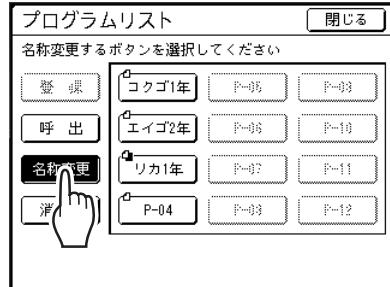
すでに<プログラムボタン>が反転しているときは、タッチするとプログラム画面が表示され、[名称入力]画面に進めません。

<プログラムOFFボタン>にタッチ後<確定ボタン>にタッチして機能一覧画面に戻り、再度<プログラムボタン>にタッチしてください。

### 2 <プログラムリストボタン>にタッチする



### 3 <名称変更ボタン>にタッチする

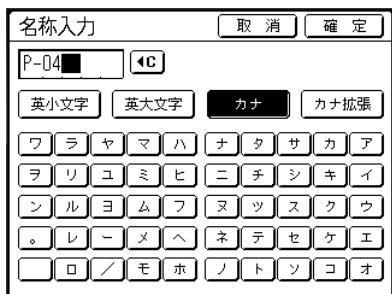


### 参考

[プログラム]のボタン左上のアイコンは、□が[1原稿プログラム]、△が[多原稿プログラム]、■が[ドリル印刷]であることを示しています。

## グループ(クラス)分けしてプリントする [プログラム]

- 4** 名称を変更したい[プログラム]のボタンにタッチする
- 5** 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.156「名称入力画面について」

### 参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀ C ボタン>にタッチ、または< C >キーを押して消去できます。

- 6** すべての文字を入力後、<確定ボタン>にタッチする

入力した名称が登録され、[プログラムリスト]画面に戻ります。

### 名称入力画面について

#### 英小文字



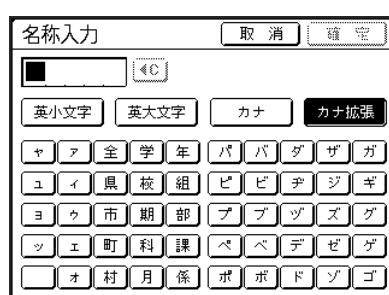
#### 英大文字



#### カナ



#### カナ拡張



### 参考

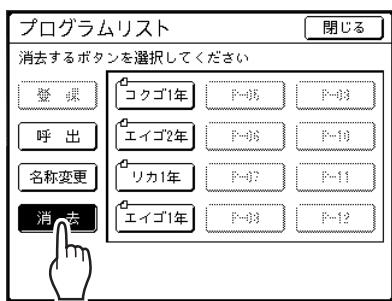
- ・カナは最大で5文字まで、英数字は最大で10文字まで入力できます。
- ・数字は、テンキーでも入力できます。
- ・入力した文字を消去するときは<◀ C ボタン>にタッチしてください。1回タッチするたびに、1文字消去されます。

## プログラムを消去する

### 1 [プログラムリスト]画面を表示させる

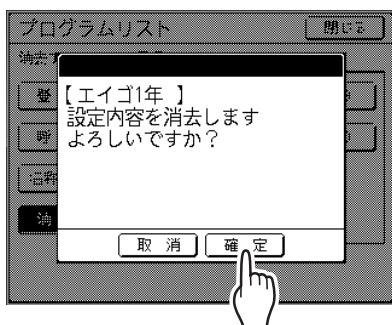
P.154「プログラムを呼び出してプリントする」の手順1、2を行います。

### 2 <消去ボタン>にタッチする



### 3 消去するプログラムにタッチする

### 4 <確定ボタン>にタッチする



選択したプログラムが消去され、[プログラムリスト]画面に戻ります。

## プログラムの設定内容の変更

### 1 変更したい[プログラム]を呼び出す

P.154「プログラムを呼び出してプリントする」の手順1～3を行います。

### 2 プログラムの設定を変更する

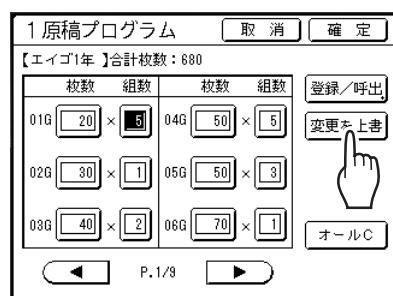
表示された画面で、枚数や組数を変更します。

☞ P.151「プログラムの設定」

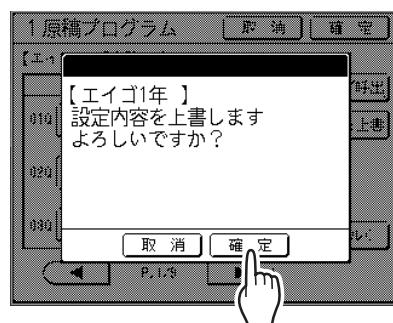
#### 参考

設定については、P.151「プログラムの設定」の手順を参照してください。

### 3 <変更を上書ボタン>にタッチする



### 4 <確定ボタン>にタッチする



変更したプログラム設定が上書き登録され、プログラム画面に戻ります。

## グループ(クラス)分けしてプリントする【プログラム】

### かんたん分版とドリル印刷を組み合わせて使う

「かんたん分版」により、原稿をドラム1、2へと分版します。(問題用紙がドラム1、解答を書き換えたものがドラム2へ分版されます)

また、「ドリル印刷」により、ドラム1によるプログラム印刷と、グループ(クラス)の変わり目にドラム1、2両方を使った2色プリントを行います。

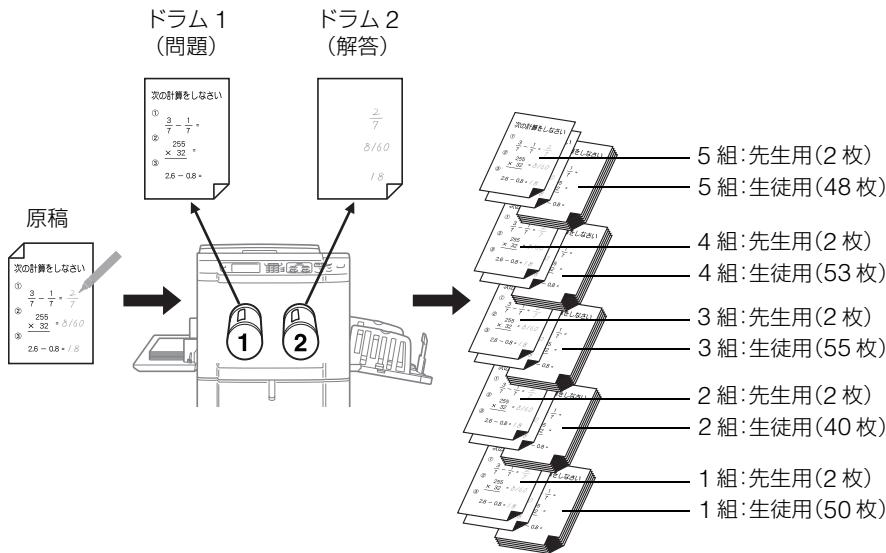
これを利用することで、以下の例のようなプリントができます。

例: 学校でテストを実施するとき、生徒用の問題用紙と先生用の解答入りの問題用紙を、一度の操作でグループ(クラス)ごとの枚数に分けてプリントする

原稿は、1色(黒)で印刷された問題用紙(生徒用)に、推奨のペンで解答を書き加えたもの(先生用)を使用します。

#### グループ(クラス)ごと印刷枚数

	1組	2組	3組	4組	5組
生徒用 (ドラム1での1色プリント)	50枚	40枚	55枚	53枚	48枚
先生用 (ドラム2での2色プリント)	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚



#### 参考

「ドリル印刷」はプログラム印刷の1種です。あらかじめクラスの人数と解答入りの問題用紙の枚数を登録しておくと、次回からはそのプログラムを呼び出すだけでドリル印刷ができます。

## 1 原稿と印刷用紙をセットする

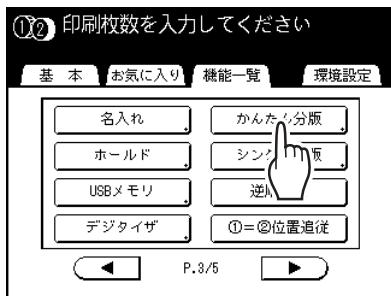
① P.106「1枚の原稿で2色プリントする[かんたん分版]」

### 参考

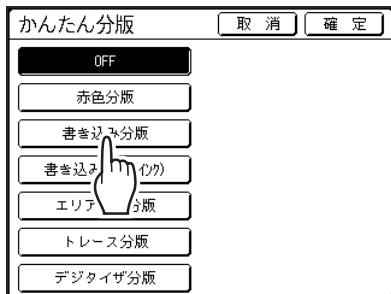
パソコンから「ドリル印刷分版」で原稿データを送信したときは、手順3の③画面が表示されます。枚数を入力してください。

## 2 [かんたん分版]を設定する

- ① 機能一覧画面で<かんたん分版ボタン>にタッチする



- ② <書き込み分版ボタン>にタッチする



- ③ <確定ボタン>にタッチする

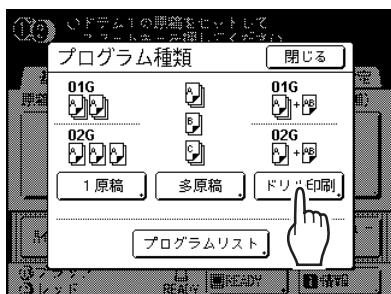
機能一覧画面に戻ります。

## 3 [ドリル印刷]を設定する

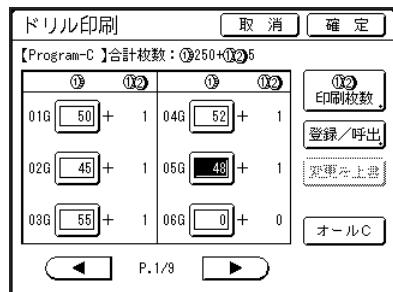
- ① [プログラム種類]画面を表示させる

P.154「プログラムを呼び出してプリントする」の手順1、2を行います。

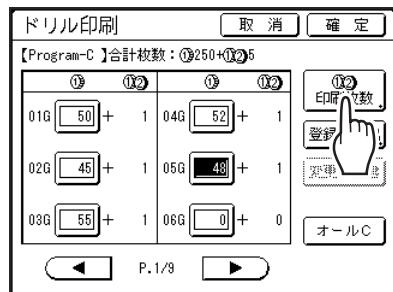
- ② <ドリル印刷ボタン>にタッチする



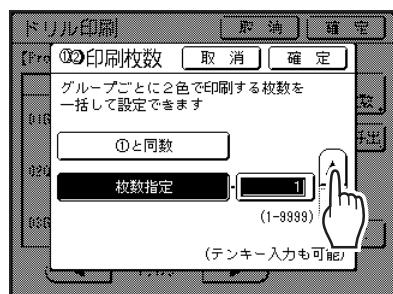
- ③ テンキーで生徒用(黒)の枚数を入力する



- ④ <①②印刷枚数ボタン>にタッチする



- ⑤ <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、先生用(黒+赤)の枚数を入力する



テンキーでも入力できます。

- ⑥ <確定ボタン>にタッチする

[ドリル印刷]画面に戻ります。

### 参考

ここで設定した[プログラム]を登録するときは、<登録／呼出ボタン>にタッチしてください。詳しくは P.153「プログラムの登録」をご覧ください。

- ⑦ <確定ボタン>にタッチする

設定した[プログラム]でプリントできる状態になり、元の画面に戻ります。

## グループ(クラス)分けしてプリントする [プログラム]

### 4 プリントを実行する

#### ① <スタート>キーを押す

[かんたん分版]の設定に従って、読み取り、分版、製版が続けて行われます。

#### ② 試し刷りを確認する

仕上がりの印刷位置や濃度、排紙位置などを確認し、必要に応じて調整します。

- 印刷位置( P.123)
- 印刷濃度( P.122)
- インターバル印刷( P.127)
- 排紙ウイング特殊( P.129)

#### ③ <スタート>キーを押す

[ドリル印刷]の設定に従って、印刷が行われます。

# メモリー機能を使う

## [メモリー]

プリント時に行った各種の設定を[メモリー]に登録できます。

以後、同様の設定でプリントをしたいときには、登録したメモリーを呼び出すだけで、同じ設定のプリントができます。

[メモリー]には、最大10件を登録できます。

[メモリー]に登録できる設定は、次のとおりです。

原稿モード	印刷枚数
網点	印刷速度
両面設定	印刷濃度
読み取濃度	印刷位置
①=②濃度追従	重送検知
省インク	特殊給紙調整
変倍	排紙ウイング特殊
周囲余白	エアブロー
用紙サイズ	分離ファン
フルサイズ製版	連続
ブックモード	AFオート製版※
かんたん連写	インターバル印刷
連写	刷り面入替
面付け	テープ仕分け※
レイアウト原稿	かんたん分版
コントラスト強調	オート再製版
トーンカーブ選択	AF読み取面指定※
とじしろ	印刷位置微調整

※ オプション装着時のみ

### ■ RLP モード(連携機 Prioa(別売)接続時のみ)

原稿モード	電子ソート※
網点	区分積み※
読み取濃度	ステープル※
変倍	パンチ※
周囲余白	中綴じ※
用紙トレイ	メールボックス※
ブックモード	ソート※
レイアウト原稿	回転ソート※
コントラスト強調	フェイスアップ※
トーンカーブ選択	リバース出力※
印刷枚数	ブックレット※
両面※	

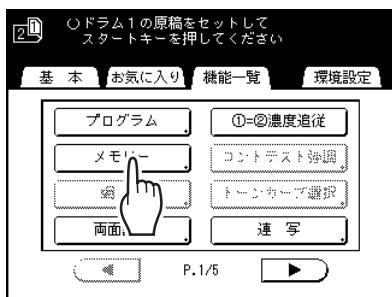
※ オプション装着時のみ

# メモリー機能を使う [メモリー]

## メモリーの登録

### 1 各種のプリント機能を設定する

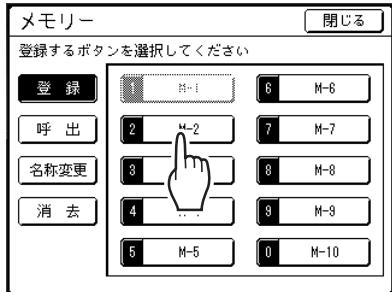
### 2 機能一覧画面で<メモリーボタン>にタッチする



#### 参考

テンキーの<\*>キーを押しても、[メモリー画面]を表示できます。

### 3 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。登録済みのメモリーはグレー表示され、タッチできません。

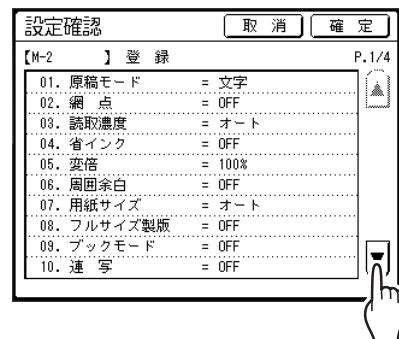
#### 参考

<\*>キーを押して表示させた場合は、先に<登録ボタン>にタッチしてください。

### 4

## 設定内容を確認する

<▼ボタン>にタッチして、最後の項目まで確認してください。



#### 参考

変更したい内容があるときは、<取消ボタン>にタッチして、設定しなおしてください。

### 5

## <確定ボタン>にタッチする

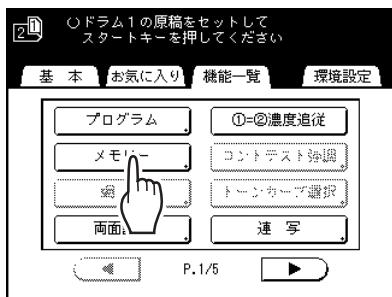
設定がメモリーに登録され、[メモリー]画面に戻ります。

必要があれば、P.164「メモリーの名称入力」の手順2へ進んでください。

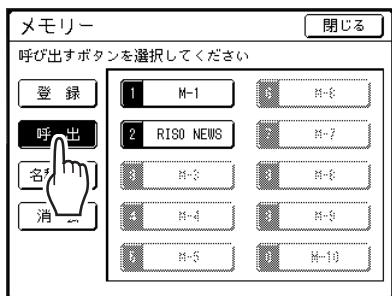
## メモリーを呼び出してプリントする

- [メモリー]画面の表示方法は、2種類あります。
- ディスプレイで機能一覧画面の<メモリーボタン>にタッチする方法
  - テンキー部分の<\*>キーを押す方法
- 以下の手順では、ディスプレイにタッチする方法で説明します。

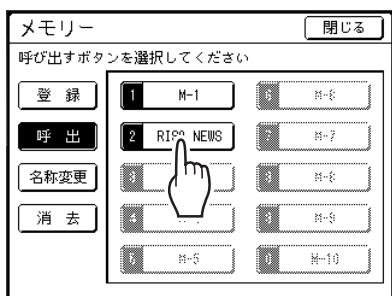
### 1 機能一覧画面で<メモリーボタン>にタッチする



### 2 <呼出ボタン>にタッチする



### 3 呼び出すボタンにタッチする

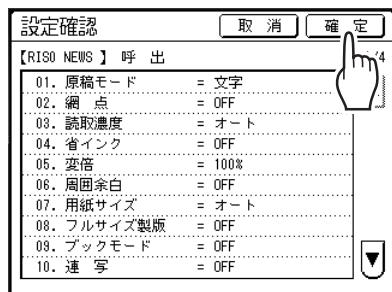


未登録のメモリーはグレー表示され、タッチできません。

#### 参考

テンキーで呼び出すこともできます。  
M-1～9.....<1>～<9>キー  
M-10.....<0>キー

### 4 設定内容を確認して、<確定ボタン>にタッチする



呼び出したメモリーの設定でプリントできる状態になり、機能一覧画面に戻ります。

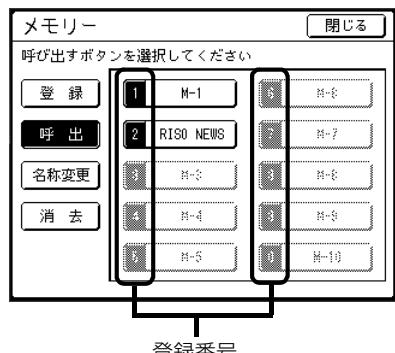
通常の手順でプリントを行ってください。

#### 参考

呼び出したメモリーを取り消したい場合は、<リセット>キーを押してください。

### かんたんな呼び出しかた

ディスプレイにタッチせずに、キー操作だけでメモリーの呼び出しができます。たとえば、「M-2」(登録番号 2)を呼び出してプリントしたい場合には、<\*>→(2)(登録番号)→<スタート>の順にキーを押せば、「M-2」が呼び出されてプリントが開始されます。



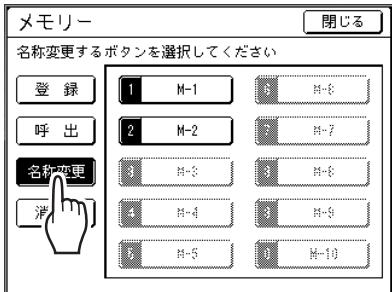
### メモリー機能を使う [メモリー]

## メモリーの名称入力

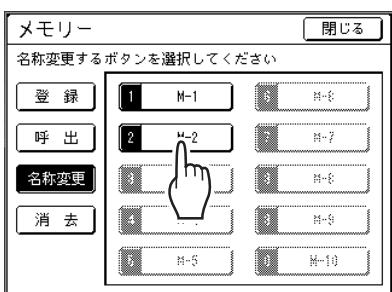
## 1 機能一覧画面で<メモリーボタン>に タッチする



## 2 <名称変更ボタン>にタッチする

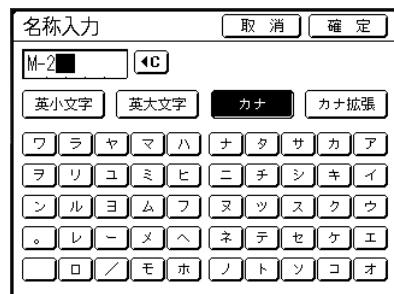


**3** 名称を変更したいメモリーのボタンにタッチする



未登録のメモリーはグレー表示され、タッチできません。

**4** 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.156「名称入力画面について」

参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、  
<◀Cボタン>にタッチ、または<C>キーを押  
して消去できます。

**5** すべての文字を入力後、<確定ボタン>  
にタッチする

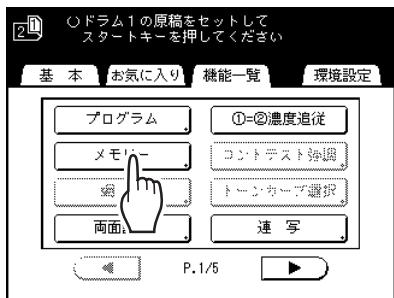


入力した名称が登録され、[メモリー]画面に戻ります。

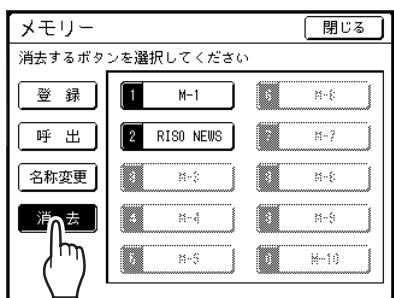
**6** <閉じるボタン>にタッチする  
機能一覧画面に戻ります。

## メモリーを消去する

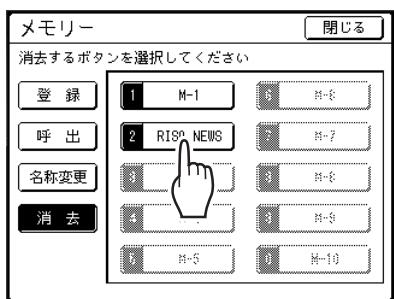
### 1 機能一覧画面で<メモリーボタン>にタッチする



### 2 <消去ボタン>にタッチする

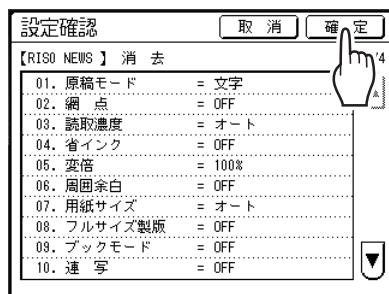


### 3 消去するボタンにタッチする



- ・消去して良い設定内容かどうかを確認してください。
- ・消去確定後は復帰させることはできません。

### 4 <確定ボタン>にタッチする



[メモリー]が消去されます。

### 5 <閉じるボタン>にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

# 機密書類の複製を防止する

## [機密]



プリント終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になります。

[機密]を実行すると、ドラム上のマスターが廃棄されます。

試験問題や名簿のような、機密書類などの情報漏洩を防止できます。

### 参考

- [機密]を行った後には、[再製版] (P.169) はできません。
- [アイドリング]が「ON」に設定されている場合は、機密版による[アイドリング]を行います（ドラムを長時間使わずに保管する場合などにご利用ください）。
- 強制的に「機密」を促す設定ができます。

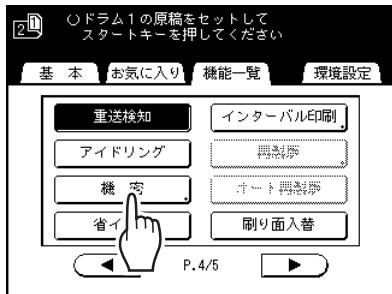
☞ P.199「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」



## 1 印刷の終了を確認する

すべての印刷が終了していることを確認します。

## 2 機能一覧画面で<機密ボタン>にタッチする

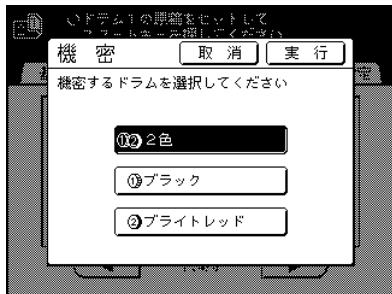


本体にセットされているドラムの数で、表示される画面が異なります。

### ■ ドラムを2本セットしている場合

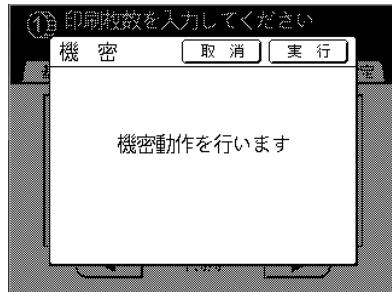
ドラム選択画面が表示されます。

マスターを廃棄するドラムのボタンにタッチしてください。

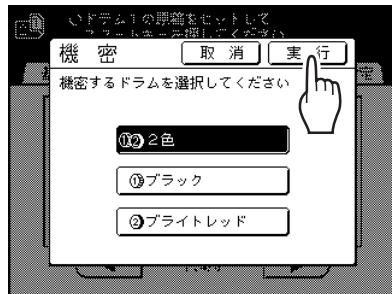


### ■ ドラムを1本だけセットしている場合

[機密]画面が表示されます。



## 3 <実行ボタン>にタッチする



現在のマスターが廃棄され、ドラムに新しいマスターが装着されます。

# 割り込み印刷を防止する

## [占有延長]

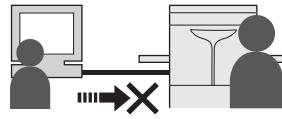


パソコンと接続した環境でご使用の場合に便利な機能です。

印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間(占有時間)が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。

その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が開始され、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。

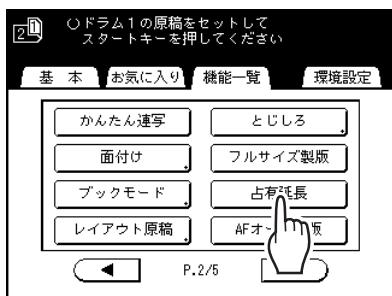
このようなパソコンからの割り込みは、「占有時間」を延長することで防止できます。印刷作業を一時中断するときや、チラシの印刷中などで割り込まれたくない場合などには「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。



### 参考

- ・「環境設定」で「占有延長」を設定したときに延長される時間を、5分、10分、30分から選ぶことができます。工場出荷時は5分に設定されています。  
☞ P.188「初期設定を変更する [環境設定] / 占有延長時間」
- ・次の動作または操作をしている場合は、「占有時間」のカウントが開始されません。
  - 本機が動作しているとき(製版、印刷、機密、アイドリングなど)
  - ソーター等のオプション機器が単独で動作しているとき
  - 操作パネルのキーやボタン等を操作しているとき
  - 設定メニュー画面を開いているとき
- ・占有時間延長中には、オートスリープ／オートシャット OFF などは実行されません。  
オートスリープ／オートシャット OFF：「占有延長」終了後からカウントして動作します。  
オートシャット OFF 時刻：次の日のその時刻までシャット OFF しません。  
☞ P.188「初期設定を変更する [環境設定] / 省エネモード」

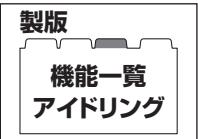
機能一覧画面で〈占有延長ボタン〉にタッチする



「占有時間」が延長されます。

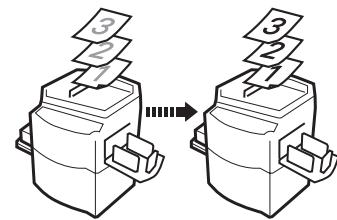
# アイドリングをする

## [アイドリング]



長時間使用しなかったときや、ドラムを交換したときに印刷を行うと、刷り始めの数枚が薄く印刷されることがあります。製版前に[アイドリング]を行うことにより、刷り始めから鮮明に印刷ができ、余分な用紙の使用を減らすことができます。

**重要** [アイドリング]は、製版から行う場合に有効です。印刷しか行わない場合には、[アイドリング]を設定しても実行されません。



### 参考

- ドラム 1 のみ、またはドラム 2 のみをセットして使用している場合は、セットされているドラムに[アイドリング]を行います。
- [環境設定]で[オートアイドリング]を設定すると、最後の印刷から未使用の状態で一定の時間以上の時間が経過すると、次の製版の前に自動で[アイドリング]を実行します。また、[アイドリング]の動作モード(回数)を 1 ~ 3 回のうちから選択できます。

☞ P.189「初期設定を変更する [環境設定] / オートアイドリング」

## 1 機能一覧画面で<アイドリングボタン>にタッチする



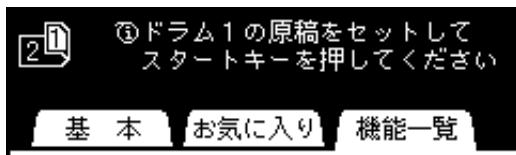
画面に①が表示されます。

## 2 <スタート>キーを押す

「アイドリング」を行った後に製版を開始します。

### 参考

- 画面のメッセージエリアに②が表示された場合は、[オートアイドリング]で設定されている時間が経過したこと示しています。この状態で製版を行うと、[アイドリング]が実行されます。



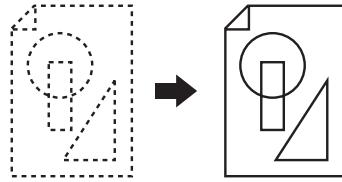
- アイドリング終了後、すぐに製版を開始しますので、あらかじめ原稿をセットしてから<スタート>キーを押してください。

# 再製版する

## [再製版] [オート再製版]



最後に製版したマスターのデータは、本機に一時的に記憶されています。  
[再製版] [オート再製版]は、そのデータを利用することで、あらためて原稿をセットすることなく、同じ設定で再度マスターを製版できます。  
原稿の向きを 180 度回転させて再製版することもできます。



[オート再製版]は、一定枚数の印刷が終了した時点で、自動的に[再製版]を実行する機能です。

何千、何万枚単位で大量に印刷する場合、印刷完了前にマスターが劣化することがあります。

あらかじめ [オート再製版] を「ON」にして印刷を開始すると、印刷枚数が一定枚数(再製版開始枚数)に到達した時点で[再製版]して自動的に印刷を続行するため、刷りはじめから終わりまで、一定の品質で印刷できます。

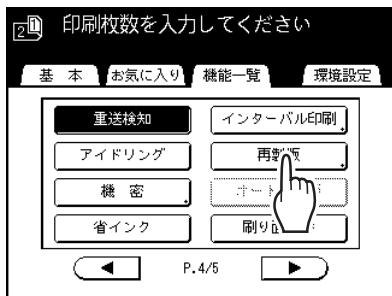
### 参考

- 2色／両面プリント時には、[再製版]を行うドラムを選択することができます。1色プリント時には、使用しているドラムが[再製版]されます。
- 2色プリント時には、ドラム 1 とドラム 2 のマスターを入れ替えて[再製版]することができます(刷り色の入れ替え)。
- パソコンから送ったデータでも[再製版]できます。ただし、複数ページのジョブ終了後は、最終ページのみ実行されます。
- [180 度回転]をして[再製版]することができます。
- [再製版]は次の状態では実行できません。
  - 起動直後
  - <リセット>キーを押した後
  - 「オートクリア」実行後 P.185「初期設定を変更する [環境設定]」
  - 機密実行後
  - カードカウンター(オプション)集計製版後
  - 製版完了前にエラーが発生したとき
  - RLP 出力実行後
- 「オート再製版」時の試し刷りの枚数は、環境設定で変更できます。 P.189
- 印刷位置を調整した場合、[再製版] [オート再製版]を行うと、試し刷りが 2 回(印刷位置が調整されていない状態と調整されている状態)出てきます。

## 再製版する [再製版] [オート再製版]

### 再製版を実行する

#### 1 機能一覧画面で<再製版ボタン>にタッチする

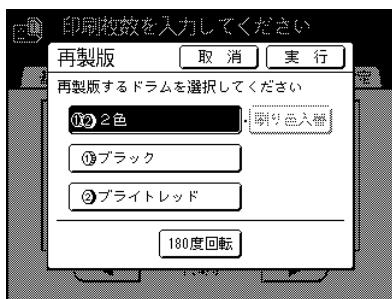


プリントモードで、表示される画面が異なります。

#### ■ ドラムを2本セットしている場合

ドラム選択画面が表示されます。

[再製版]するドラムのボタンにタッチしてください。



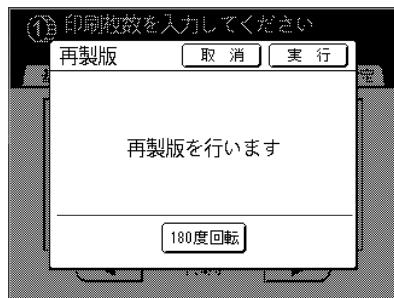
両面プリントの場合は、「①② 2色」を選択します。

#### 参考

- 2色プリント時のみ<①② 2色ボタン>を選択したときに、刷り色入れ替えができます。<刷り色入替ボタン>にタッチして選択すると、ドラム1とドラム2のマスターの内容を入れ替えて製版することができます(原稿の順序をまちがえたときに便利です)。
- <180度回転ボタン>にタッチして選択すると、原稿を180度回転して再製版することができます。
- [180度回転]を設定すると、[オート再製版]を行う場合も180度に回転して再製版を行います。
- [180度回転]の解除は、もう一度<180度回転ボタン>にタッチします。

#### ■ ドラムを1本だけセットしている場合

[再製版]画面が表示されます。



#### 参考

<180度回転ボタン>にタッチして選択すると、原稿を180度回転して再製版することができます。

[180度回転]を設定すると、「オート再製版」を行う場合も180度に回転して再製版を行います。

[180度回転]の解除は、もう一度<180度回転ボタン>にタッチします。

#### 2 <実行ボタン>にタッチする

再製版を開始します。



## [オート再製版]を使う

[オート再製版]を使うには、あらかじめ[環境設定]で「オート再製版設定」を有効にしておく必要があります。



- [環境設定]で[オート再製版設定]を有効にしていないと、[オート再製版]は「ON」にできません。  
☞ P.185「初期設定を変更する [環境設定]」
- [オート再製版]は、以下の場合には「OFF」になります。
  - [プログラム]による印刷を選択したとき
  - <モード>キーを押したとき
  - ダイレクトプリントで次のジョブを処理しようとしたとき

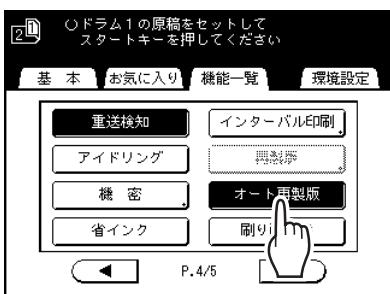
### 参考

工場出荷時には、有効にした場合は1000枚ごとに再製版し、3枚試し刷りを行う設定になっています。この設定は[環境設定]で変更することができます。

☞ P.189「初期設定を変更する [環境設定]／オート再製版設定」

## オート再製版を行う

機能一覧画面で<オート再製版ボタン>にタッチする



[オート再製版]が「ON」になります。

この状態でプリントを実行すると、指定した枚数の印刷後に、[オート再製版]が実行されます。

### 参考

<オート再製版ボタン>がグレー表示されているときは、「環境設定」の「オート再製版設定」で「有効」を選択してください。

☞ P.189「オート再製版設定」

# 印刷する面を入れ替える

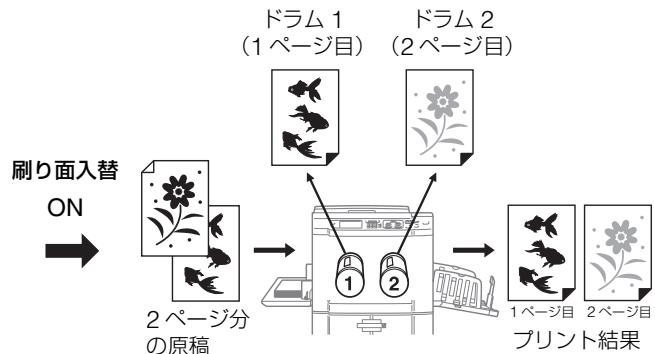
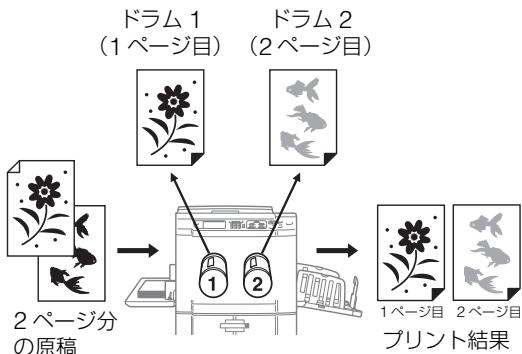
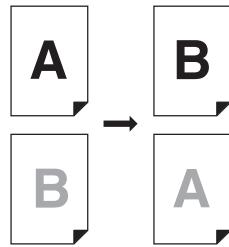
## [刷り面入替]



両面プリント時に、印刷する面を入れ替えてプリントできます。  
印刷用紙が排紙されるときの面を上下で入れ替えたいときや、印刷色を入れ替えたいときに便利です。

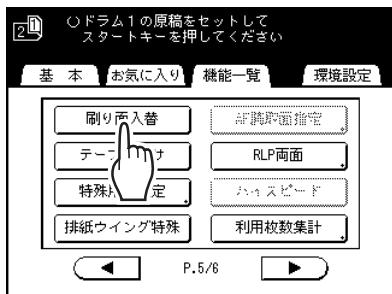


環境設定で「刷り面入れ替え基本設定」を設定すると、通常、ドラム1側になる原稿から読み取りを行いますが、ドラム2側から原稿を読み込むように設定できます。  
☞ P.186「初期設定を変更する【環境設定】／刷り面入替基本」



刷り面入替「ON」の場合、1枚目の原稿がドラム2側に製版され、2枚目の原稿がドラム1側に製版されます。

### 1 機能一覧画面で〈刷り面入替ボタン〉にタッチする



### 2 <スタート>キーを押す

画面のメッセージに従って原稿をセットします。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷工程と同様に操作してください。

# 最後のページからプリントする

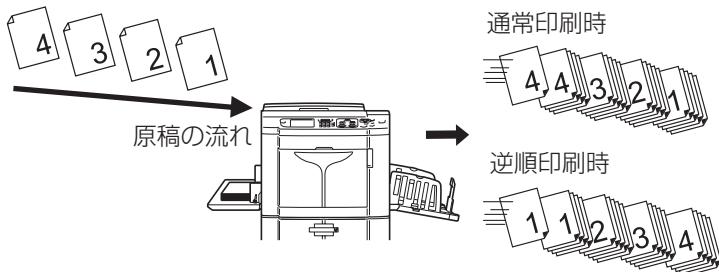
## [逆順印刷]



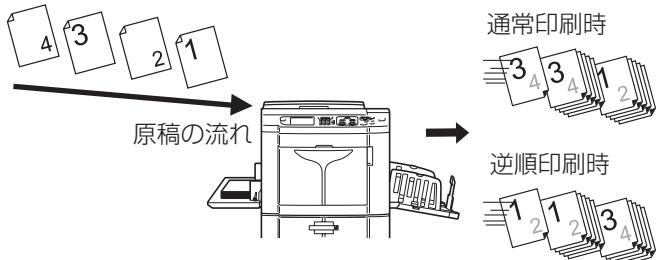
いろいろな機能を使う

複数ページある原稿のページ順を逆にし、最後のページからプリントします。

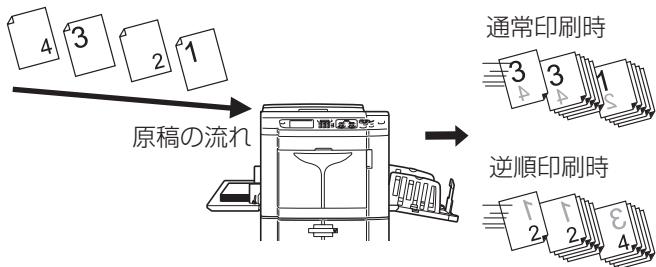
### ■ 1色プリント時の印刷排紙順



### ■ 2色プリント時の印刷排紙順



### ■ 両面プリント時の印刷排紙順



- 原稿の読み取り中に、メモリの空き容量がなくなったときは、読み取りを停止し、メッセージが表示されます。原稿の読み取りを中止するか、保存済みのホールドデータの整理(削除)をしてから、もう一度、原稿の読み取りを行ってください。
- 両面プリントで逆順印刷を行うと、各原稿に割り振られるドラム(カラー)は、通常の印刷と逆になります。



「逆順印刷」は、次の機能とは併用できません。

- プログラム([多原稿][ドリル印刷])
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- 名入れ
- ホールド
- かんたん分版
- AF 読取面指定([両面→片面])
- シングル製版
- 両面合成

## 最後のページからプリントする【逆順印刷】

**1**

### プリントモードを選ぶ

プリントするモードを選びます。  
プリントモードの選びかたは、P.27「プリントモード」をご覧ください。

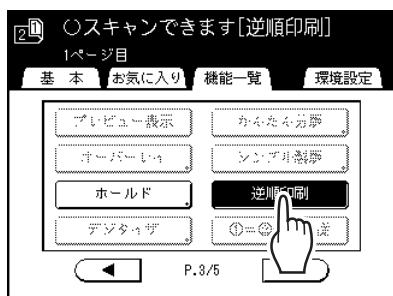
**2**

### 原稿、印刷用紙をセットする

原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。  
2色または両面プリントの場合は、ドラム 1 の原稿からセットします。  
原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

**3**

### 機能一覧画面で<逆順印刷ボタン>にタッチする



ボタンが白黒反転表示に変わり、[逆順印刷]が[ON]になります。

**4**

### 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。

**5**

### <スタート>キーを押す

1枚目の原稿を読み取ります。

RISO オートフィーダー DX-1(オプション)を装着している場合は、すべての原稿の読み取りが終わった後、手順 7 に進んでください。

**6**

### 原稿が複数ページある場合は、原稿を入れ替えて手順 4、5 を繰り返す

**7**

### <読取終了ボタン>にタッチする



製版開始確認の画面が表示されます。

**8**

### <はいボタン>にタッチする

保存データ用の製版基本画面が表示されます。  
各種出力指示の変更ができます。  
☞ P.63「出力指示の変更」

#### 参考

製版をせずに逆順印刷を中止したい場合は、<いいえボタン>にタッチしてください。1つ前の手順に戻るときは、<戻るボタン>にタッチしてください。

**9**

### <スタート>キーを押す

1 ページ目の製版が開始され、保存データ用の印刷基本画面が表示されます。

**10**

### テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

**11**

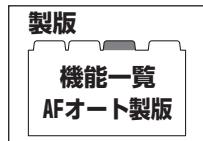
### <スタート>キーを押す

印刷が開始されます。

以降は、手順 9 ~ 11 を繰り返してください。

# 試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]

(RISO オートフィーダーDX-1 装着時のみ)



いろいろな機能を使う

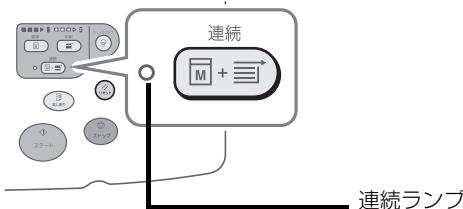
RISO オートフィーダーDX-1(オプション)にセットした複数の原稿を[連続]でプリントすると、すべてのプリントを自動で行うことができますが、原稿ごとの仕上がりは確認できません。[AFオート製版]を設定すると、製版後の試し刷りをした時点で停止するので、原稿ごとの仕上がりを確認できます。印刷後は止まらずに、次の原稿の製版を行います。



[AF オート製版]を使用するときは、[連続]を「OFF」にしてください。

→ P.77「続けてプリントする [連続]」

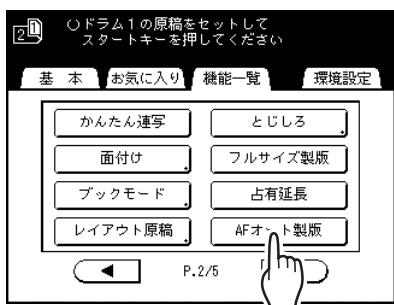
連続ランプの点灯時は、[連続]が[ON]になっています。<連続>キーを押すと、ランプが消灯し、[連続][OFF]になります。



[AF オート製版]の初期設定は、[環境設定]で変更できます。

→ P.186「初期設定を変更する [環境設定]／AF オート製版基本※」

## 1 機能一覧画面で<AF オート製版ボタン>にタッチする

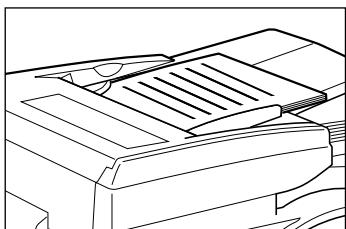


「AF オート製版」が設定されます。



<AF オート製版ボタン>が表示されていない(あるいはグレー表示)場合は、操作パネルの<連続>キーを OFF してください。

## 2 原稿を RISO オートフィーダーDX-1 にセットする



原稿をセットすると、自動的に製版基本画面に切り替わります。

## 3 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。



枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押し  
て消去した後に入力しなおしてください。

## 4 <スタート>キーを押す

製版を開始し、試し刷りを出して停止します。

## 5 試し刷りを確認する

必要があれば、各種調整を行うことができます。

## 6 <スタート>キーを押す

指定した枚数の印刷後に、次の原稿を製版し、  
試し刷りで停止します。

以降は、手順 5、6 を繰り返してください。

# RISO オートフィーダーDX-1への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]



RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使って原稿を読み取る場合、原稿の読み取り面を「オモテ面」、「ウラ面」、「両面」の3種類から選択できます。



- ・両面プリントモード時は、この機能は使用できません。
- 両面プリント時の原稿読み取り面の設定は、[両面設定]機能の画面で行います。
- ・RISO オートフィーダーDX-1 に原稿をセットしたときは、「ブックモード」、「A4 →ハガキ変倍」、「B5 →ハガキ変倍」を併用できません。

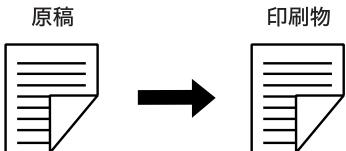


- ・原稿をセットしたときの上面が「オモテ面」です。
- セットした原稿は、上から順に読み取られます。
- ・「環境設定」で片面原稿の読み取り面の初期設定(オモテ面またはウラ面)を変更できます。  
工場出荷時は「オモテ面→片面」に設定されています。
- ☞ P.186「初期設定を変更する〔環境設定〕／AF 読取面変更※」

## AF 読取面指定

### ■ オモテ面→片面

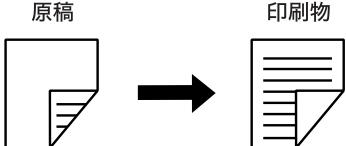
セットした原稿のオモテ面(上面)を読み取って、片面にプリントします。



「自動振分」機能を「有効」にしている場合や、「レイアウト原稿」機能を使う場合は、必ず「オモテ面→片面」に設定してください。

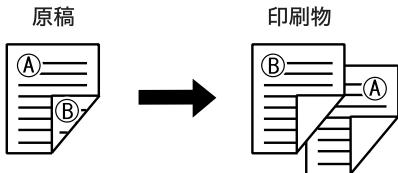
### ■ ウラ面→片面

セットした原稿のウラ面(下面)を読み取って、片面にプリントします。



### ■ 両面→片面

セットした原稿の両面を読み取って、片面にプリントします。原稿は、オモテ面→ウラ面の順に読み取られます。原稿に合わせて「原稿セット方向」と原稿の「ページめくり方向」を指定してください。



「2色プリント」設定時は、「両面→片面」の設定はできません。(「両面→片面」設定後、2色プリントに設定すると、「オモテ面→片面」または「ウラ面→片面」に戻ります。)



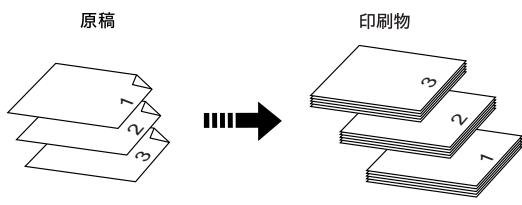
両面原稿に白紙が含まれている場合、白紙のページも読み取ってからプリントされます。

## ■ 原稿のセット順と印刷用紙の排出順

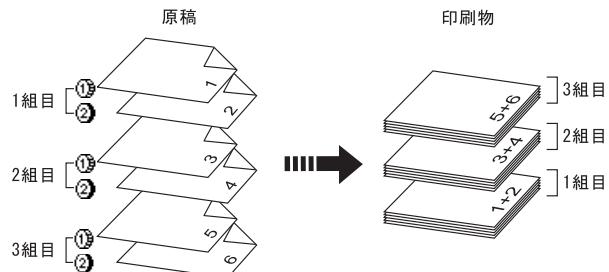
RISO オートフィーダーDX-1 にセットした原稿は、上から順に読み取られ、読み取られたものから印刷されます。

「オモテ面→片面」の場合：

1色プリントの場合



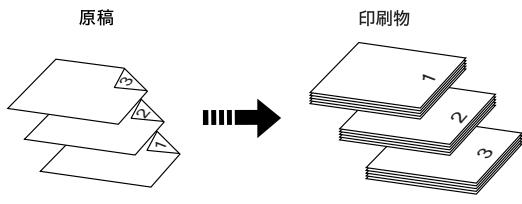
2色プリントの場合



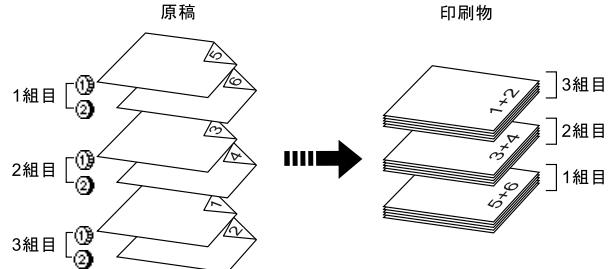
①はドラム1、②はドラム2で製版される原稿を示しています。

「ウラ面→片面」の場合：

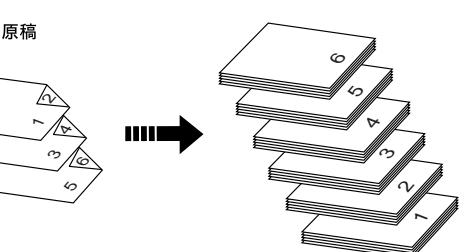
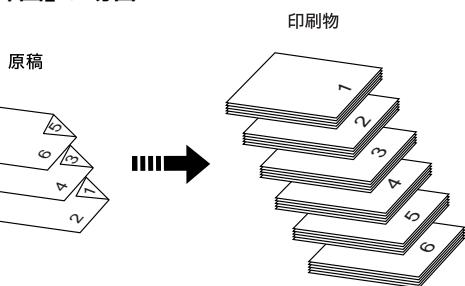
1色プリントの場合



2色プリントの場合



「両面→片面」の場合：



「多原稿プログラム」設定時は、1番目に読み取る原稿が設定画面上での「原稿 01」になります。

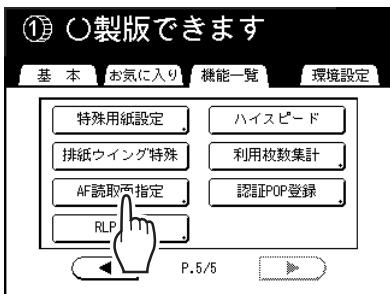
【例】

「ウラ面→片面」の場合、最終原稿(いちばん上の原稿)から読み取るので、最終原稿が画面上の「原稿 01」になります。

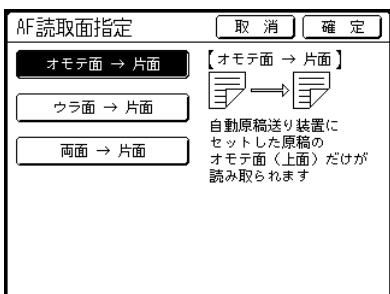
# RISO オートフィーダーDX-1への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]

## 読み取り面の指定

### 1 機能一覧画面で<AF 読取面指定ボタン>にタッチする



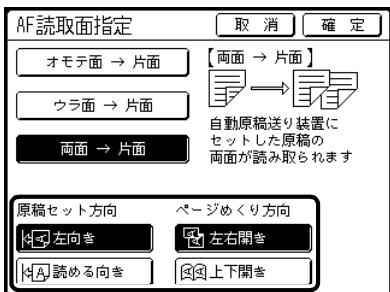
### 2 原稿の読み取る面を選んでボタンにタッチする



#### 参考

##### 「両面→片面」を選んだとき

画面に「原稿セット方向」と「ページめくり方向」のボタンが表示されるので、それぞれ選んでタッチします。



各読み取り面についての詳細は、P.176 を参照してください。

### 3

#### <確定ボタン>にタッチする

「AF 読取面指定」の設定が反映され、各基本画面に戻ります。

#### 参考

現在の「AF 読取面指定」の設定内容を確認したいときは、もう一度「AF 読取面指定」画面を開いてください。

その時点で選択されている読み取り面のボタンが反転して表示されています。

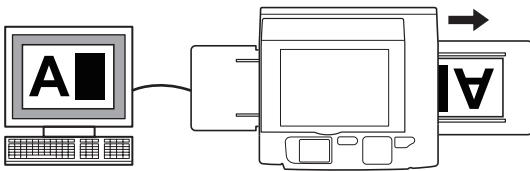
# 原稿を 180 度回転して製版する

## [180 度回転]



いろいろな機能を使う

ダイレクトプリント時、パソコンからの原稿データを 180 度回転して製版することができます。天側に広範囲のベタがある原稿データなどに使用すると、紙詰まりを防ぐことができます。



本機が原稿データを受信後、機能一覧画面で<  
180 度回転ボタン>にタッチする



[180 度回転]が設定されます。

### 参考

あらかじめパソコンから原稿データを送信するとき、「連続モード」を[OFF]または[製版前ストップ]に設定しておきます。

# 各ユーザーの利用枚数を確認する

## [利用枚数集計]

各ユーザーが使用状況を把握したいときに、印刷枚数などの集計結果を、さまざまな方法で出力できます。



使用状況を管理する場合は、「認証設定」で、「認証有無」を「本体認証、認証プリント」に設定してください。  
P.138「本体認証、認証プリント」に設定していないと、正しい利用枚数は集計できません。

### ■ 集計出力

利用枚数の集計結果は、以下の方法で出力できます。

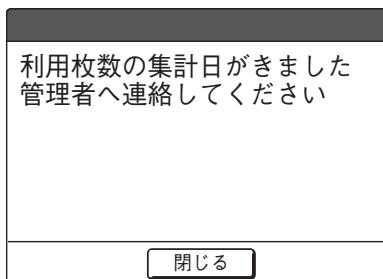
- プリント  
利用枚数データを本機からプリントします。

- メール送信  
利用枚数データを添付して、送信先として設定されたアドレスにメールを送ります。  
あらかじめメール設定されている必要があります。メール設定をするには、オプションの RISO Network Card が必要です。詳細については、「RISO Network Card 取扱説明書」をご覧ください。
- USB メモリへ出力  
利用枚数データを USB メモリに出力します。  
あらかじめ USB メモリが USB スロットに挿入されている必要があります。

### 参考

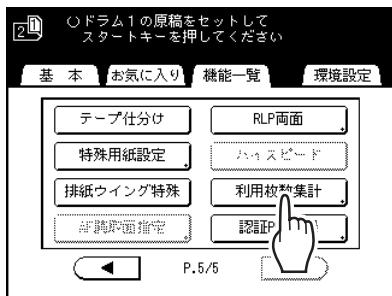
付属の CD-ROM に収録されている「リソーユーティリティソフトウェア」(理想集計アプリケーション)を利用して、USB メモリに出力した利用枚数データをパソコンで管理することができます。詳しくは、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

また、管理者に集計結果を報告する日などがある場合に、お知らせ日設定をしておくと、毎月設定した日に集計日お知らせ画面が表示されます。

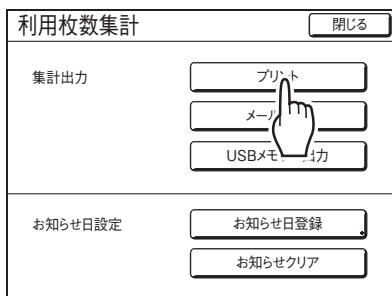


## 利用枚数を出力する

### 1 機能一覧画面で<利用枚数集計ボタン>にタッチする



### 2 集計出力から出力先を選んでボタンにタッチする



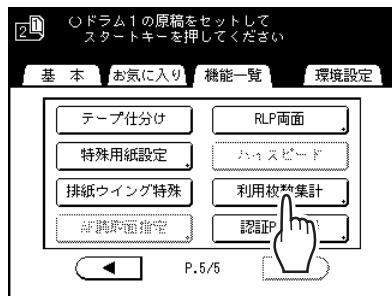
選択した方法で出力され、基本画面に戻ります。

<メール送信ボタン>は、メール設定されていない場合は、選択できません。設定方法については、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

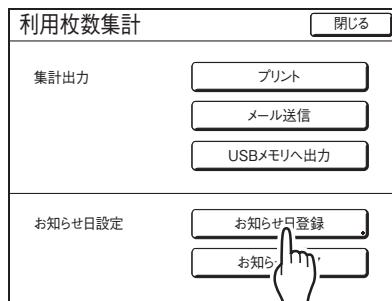
<USBメモリへ出力ボタン>は、USBメモリが挿入されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

## お知らせ日を設定する

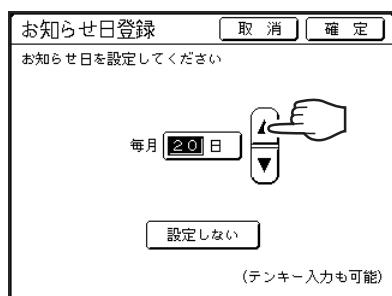
### 1 機能一覧画面で<利用枚数集計ボタン>にタッチする



### 2 <お知らせ日登録ボタン>にタッチする



### 3 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、お知らせ日を指定する



<XX日ボタン>がグレー表示されている場合は、<設定しないボタン>にタッチしてください。

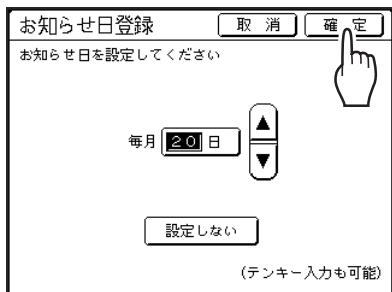
### 参考

- テンキーでも入力できます。
- 設定する日付は1~31の間で選択できます。
- お知らせ日を29日~31日のいずれかに設定した場合、日数が少なく、その日がない月(2月など)は、最終日にお知らせ画面が表示されます。
- お知らせ日を設定しない場合は、<設定しないボタン>にタッチします。



## 各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]

### 4 <確定ボタン>にタッチする



お知らせ日が設定され、[利用枚数集計]画面に戻ります。

### 5 <閉じるボタン>にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

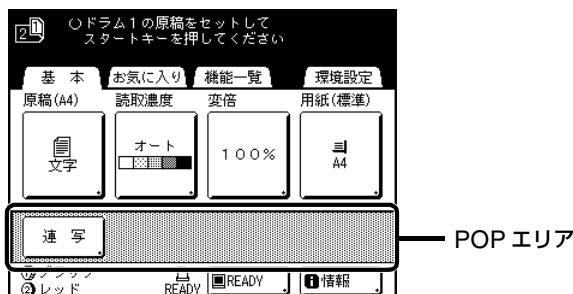
#### 参考

お知らせ日を登録すると、「集計出力」するまで、電源を「ON」にするたびにお知らせ画面が表示されます。当月、集計出力をしない場合は、<お知らせクリアボタン>にタッチしてください。翌月のお知らせ日まで表示されません。

# ユーザーごとにPOP登録する

## [認証 POP 登録]

「認証設定」で「本体認証、認証プリント」に設定されている場合に、「認証 POP 登録」を設定することができます。通常、基本画面のPOPエリアに表示される機能は初期設定で登録されていたり、管理者によって変更されたりしますが、「認証 POP 登録」はユーザーごとにPOPエリアの機能を登録できます。POPエリアに表示できる機能は、モード(製版／印刷／スキャン／RLP)ごとに個別に登録可能です。(各モードとも4件まで)

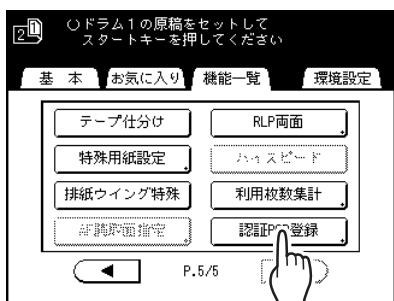


「認証 POP 登録」は、他のユーザーに変更されることなくユーザーごとに保持され、そのユーザーとして認証したときに表示されます。

### 参考

「認証 POP 登録」を設定していないときは、POPエリアには通常POP登録されている機能が表示されます。通常のPOP登録については、P.194「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」を参照してください。

### 1 機能一覧画面で<認証 POP 登録ボタン>にタッチする

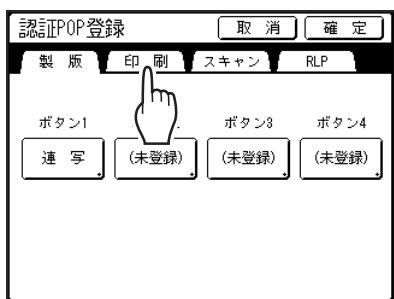


「認証設定」で認証の範囲が「本体認証、認証プリント」以外に設定されている場合はグレー表示され、タッチできません。

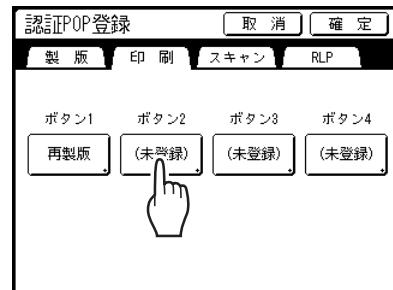
### 参考

認証の範囲については、管理者にお問い合わせください。

### 2 登録するモードにタッチする



### 3 登録するボタンにタッチする



登録済みのボタンでも、タッチして他の機能を上書きすることができます。

### 4 登録する機能名にタッチする



- 表示された画面内に目的の機能名がないときは、<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして表示を切り替えてください。
- 機能を登録しないときは、<登録しないボタン>にタッチしてください。

### 参考

## ユーザーごとにPOP登録する【認証POP登録】

- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

### 5 <確定ボタン>にタッチする

[認証POP登録]画面に戻り、ボタンに選択した機能名が登録されます。

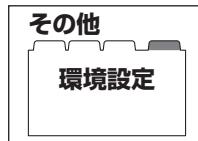
複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順3～6を繰り返します。

### 6 <確定ボタン>にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

# 初期設定を変更する

## [環境設定]



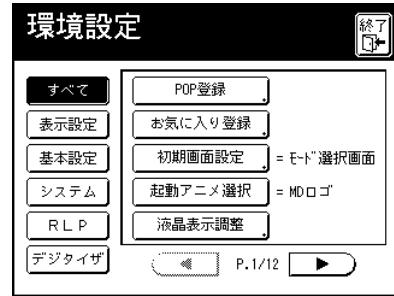
使用状況に合わせて、各種機能の初期設定を変更できます。変更された内容を設定しなおすこともできます。



- 認証設定で管理者が登録されている場合、環境設定には管理者としての認証が必要です。 P.142
- 使用環境により【環境設定】が設定できない（【環境設定】タブが表示されていない）場合があります。詳しくはお買い上げの販売会社（保守・サービス会社）にお問い合わせください。



初期設定（設定の初期値）とは、電源を「ON」にしたときや、クリセット>キーを押したときに表示される設定値です。



## 設定可能な項目一覧

《 》は工場出荷時の設定です。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<表示設定>	<b>POP 登録</b> 各モードの基本画面に、よく使う機能を登録できます。	P.194「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」
	<b>お気に入り登録</b> 各モードのお気に入り画面に、よく使う機能を登録できます。	P.194「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」
	<b>初期画面設定</b> 起動直後に最初に表示される画面を変更できます。	モード選択画面・2色プリント・1色プリント・スキャン・RLP *
	<b>起動アニメ選択</b> 起動したときに表示される画面（アニメ）を変更できます。	RISO ロゴ・《MD ロゴ》・マスコット
	<b>液晶表示調整</b> 画面の背景色と濃さおよび明るさを変更できます。	背景色：《白》・青 濃さ：-5～《0》～+5 明るさ：-2～《0》～+2
	<b>ジョブリスト表示切替</b> ホールドデータ選択画面／受信ジョブ画面／USB データ選択画面で表示されるファイル名表示のしかたを変更できます。	《先頭表示》・末尾表示
	<b>表示言語</b> 画面に表示される言語を設定します。  <b>重要</b> 設定を変更する場合は、販売会社（または保守・サービス会社）にお問い合わせください。	#01～
<基本設定>	<b>原稿モード基本設定</b> [原稿モード]の初期設定を変更します。	《文字》・写真・文字／写真・えんぴつ
	<b>読み取り濃度基本設定</b> [読み取り濃度]の初期設定を変更します。	1・2・3・4・5・《オート》
	<b>分版ボタン登録</b> ここで選択した分版が、機能一覧画面でボタン表示されます。	《OFF》・赤色分版・書き込み分版・書き込み分版（インク）・エリア指定分版・トレイス分版・デジタイザ分版

\*オプション装着時のみ設定できます。

## 初期設定を変更する [環境設定]

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<基本設定>	<b>変倍基本設定</b> [変倍]の初期設定を変更します。	《100%》・オート
	<b>印刷速度基本設定</b> [印刷速度]の初期設定を変更します。	1・2・《3》・4・5
	<b>印刷濃度基本設定</b> [印刷濃度]の初期設定を変更します。	ドラム① 1・2・《3》・4・5 ドラム② 1・2・《3》・4・5
	<b>AF 読取面変更*</b>  RISO オートフィーダーDX-1(オプション)装着時、片面原稿の場合の[AF 読取面指定]の初期設定を変更します。 ☞ P.176「RISO オートフィーダーDX-1への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]」	《オモテ面→片面》・ウラ面→片面
	<b>刷り面入替基本</b> 先に読み込まれる原稿をドラム 2 側でプリントします。	《②先行読み込み》・OFF
	<b>OP 連続自動設定*</b> オプションの RISO オートフィーダーDX-1 装着時に、[連続]を自動的に[ON]にするかしないかを設定します。	《ON》・OFF
	<b>AF オート製版基本*</b> RISO オートフィーダーDX-1(オプション)装着時に[AF オート製版]の初期設定を変更します。	ON・《OFF》
	<b>連続基本設定</b> [連続]の初期設定を変更します。	ON・《OFF》
	<b>重送検知基本設定</b> 重送(用紙が重なって送られること)を検知するかどうかを設定します。	《ON》・OFF
	<b>テープ仕分け基本設定*</b> ST ソーター(オプション)装備時に[テープ仕分け]の初期設定を変更します。	ON・《OFF》
	<b>排紙ウイング特殊基本</b> 排紙ウイング位置の基本設定を変更します。   この設定は、あらかじめ特殊用紙の設定をしている場合にのみ表示されます。設定が必要な場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。	《オート》・特殊
	<b>特殊排紙調整基本</b> エアブローおよび分離ファンの初期設定を変更します。	エアブロー :①《ON》・OFF :②《ON》・OFF 分離ファン :①OFF・1・2・《3》・4 :②OFF・1・2・3・《4》 分離ファンプラス:②OFF・1・2・《3》・4
<基本設定>	<b>フォルダ基本設定*</b> メモリーカード DM128CF に、スキャンモードで読み取ったデータを保存するフォルダと、パソコンから送信されてきたデータを保存するフォルダを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキャン保存先 6 フォルダ</li> <li>受信ジョブ保存先 6 フォルダ</li> </ul>

※オプション装着時のみ設定できます。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	<b>用紙サイズ登録</b> 不定形の印刷用紙を使用するときに、あらかじめ用紙のサイズを登録します。	☞ P.196「不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]」
	<b>不定形原稿サイズ固定</b> 不定形サイズの原稿を定形サイズとして読み取るように指定します。	《OFF》・A3・B4・A4・A4 縦・B5・B5 縦
	<b>フォルダ名変更*</b> メモリーカード DM128CF 装着時に、データ保存用フォルダのフォルダ名を変更します。	6 フォルダ
	<b>両面合成用データ</b> 両面合成でドラム 2 側の合成するホールドデータを登録します。	☞ P.224「原稿と保存データで両面プリントする [両面合成] (両面プリント時)」
	<b>名入れ用データ*</b> メモリーカード DM128CF 装着時に、[名入れ] で合成するホールドデータを登録します。	☞ P.218「原稿と保存データで 2 色プリントする [名入れ] (2 色プリント時)」
	<b>CI 切替</b> 「内蔵 CI」と「外部 CI」の設定を切り替えます。	《内蔵 CI》・外部 CI
	<b>外部 CI 情報設定*</b> 本機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定は、本システムを取り込むネットワークの管理方法によって異なります。	参考
		<ul style="list-style-type: none"> <li>入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、&lt;*&gt;キーを押して移動させてください。</li> </ul>
	<b>本機 IP アドレス設定</b> 本機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定は、本システムを取り込むネットワークの管理方法によって異なります。	<b>DHCP サーバーを使用するとき</b> <DHCP を使用するボタン>  <b>手入力で IP アドレスを設定するとき</b> <手入力するボタン> <▲ボタン><▼ボタン> またはテンキー
	参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、&lt;*&gt;キーを押して移動させてください。</li> <li>[本機 IP アドレス設定] ボタンを押して「RISORINC-NET を起動中です」のメッセージが表示された場合は、[中止] にタッチした後、RISORINC-NET(ネットワークカード)が起動完了するまで 1 分程度待ってから再度操作してください。</li> </ul>
	<b>周囲余白縮小率</b> 周囲余白縮小率の初期設定を変更します。	90 ~ 99% (工場出荷時 94%)
	<b>自動 90 度回転</b> 原稿台ガラスまたは RISO オートフィーダーDX-1(オプション)にセットした原稿に対し、給紙台にセットされている用紙のサイズは適合しているが向きが一致しない場合、画像を 90 度回転して製版するかしないかを設定します。	《ON》・OFF

※オプション装着時のみ設定できます。

## 初期設定を変更する【環境設定】

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	<b>日時設定</b> 本機に内蔵されている時計の設定を行います。 時刻は[ 情報]画面に表示されます。  P.252「<情報ボタン>について」	年／月／日 時：分
	<b>連写待ち時間</b> 「多原稿連写」をするときに、次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。	《15秒》・30秒
	<b>次原稿待ち時間</b> 2色／両面プリント時に、ドラム2用の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。	5分・《無限》
	<b>占有時間</b> 本機を操作していない状態で、一定の間、パソコンからの原稿データの出力指示を制限する(受信のみ可能)時間を変更します。	OFF・《15秒》・30秒・60秒
	<b>占有延長時間</b> [占有延長]を設定したときにデータの割り込みを制限できる時間を変更します。	《5分》・10分・30分
	<b>オートクリア設定</b> 一定時間使用しない場合に、設定を自動的に初期設定に戻します。オートクリア実行後には「再製版」機能は使えません。「再製版」をよく使う場合は、「無効」に設定することをおすすめします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートクリア設定 無効・《有効》</li> <li>動作までの時間 1～60分(工場出荷時5分)</li> </ul>
	<b>省エネモード</b> 本機を一定時間使用しないときに、電源を自動的に切ったり、スリープ状態にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 電源スイッチの「ON」／「OFF」に従い、[省エネモード]には切り替えません。</li> <li>オートスリープ パソコンからの原稿データの受信のみを可能にし、その他は電源を切った状態にします。</li> <li>オートシャット OFF 電源を自動的に切れます。(データを受信しません)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネモード 無効・《オートスリープ》・ オートシャット OFF</li> <li>動作までの時間 1～60分(工場出荷時5分)</li> </ul>
	<b>参考</b> 「プロテクト」が有効に設定されている場合は、「無効」に設定することはできません。また、「オートスリープ」「オートシャット OFF」の動作までの時間は1分に固定され、時間変更できません。	
	<b>シャット OFF 時刻</b> 設定した時刻になると、本機の電源を自動的に切れます。 ただし、設定した時刻に本機(外部接続機器を含む)を使用していたり、データを受信していたときには、[シャット OFF]されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャット OFF 時刻 《無効》・有効</li> <li>シャット OFF する時間 時：分</li> </ul>

※オプション装着時のみ設定できます。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	<b>認証設定</b> 認証機能の設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 認証有無 認証を必要とする範囲を設定します。</li><li>• ユーザー登録 本機の管理者や、認証できるユーザーの設定をします。</li><li>• グループ名称 グループの名称を変更します。</li><li>• カウントオールクリア 各ユーザーの製版／印刷利用枚数をすべてクリアします。</li><li>• 認証方式 認証をするときの方法を設定します。</li></ul>	 P.136「認証設定をする [認証設定]」
	<b>プロテクト</b> プロテクト機能を設定します。  P.199「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」	《無効》・有効
	<b>オートアイドリング</b> 一定以上の時間、未使用の状態が続いたとき、次の製版時に自動的に[アイドリング]を行うかどうかを設定します。 また、[オートアイドリング]開始までの時間、および動作回数を設定できます。	<ul style="list-style-type: none"><li>• オートアイドリング 無効・《有効》</li><li>• 未使用時間 1～《12 時間》</li><li>• 動作回数 《1》～3 回</li></ul>
	<b>オート再製版設定</b> 設定した印刷枚数に達すると、自動的に使用中のマスターを廃棄して再製版するように設定できます。再製版後に試し刷りする枚数も設定できます。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 《無効》・有効</li><li>• 再製版開始枚数 1～9999 枚(工場出荷時 1000 枚)</li><li>• 再製版試し刷り枚数 0～99 枚(工場出荷時 3 枚)</li></ul>
	<b>最低印刷枚数</b> 最低印刷枚数を設定します。 設定枚数未満の印刷枚数が入力されたときは、製版できません。 <b>重要</b> 設定値を変更できないようにロックをかけることができます。詳細についてはお買い上げの販売会社(あるいは、保守・サービス会社)にお問い合わせください。	《無効》・有効 [2～99 枚]
	<b>サプライ在庫管理</b> 現在の在庫数が確認できるように、購入した本数を入力しておきます。 在庫が[確認在庫数]で入力した本数以下になると、画面に確認メッセージが表示されます。 <b>参考</b> 入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、<*>キーを押して移動させてください。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 購入した本数 《0》～99 本</li><li>• 確認在庫数 《0》～99 本</li></ul>

※オプション装着時のみ設定できます。

## 初期設定を変更する [環境設定]

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	<p><b>ブザー音</b> キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ON キー・ボタン操作時やイベントの発生・終了時などブザー音が設定されている場面すべてでブザー音を鳴らします。</li> <li>• 限定 キー・ボタン操作時、本機の復帰動作中にはブザー音を鳴らしません。</li> <li>• OFF ブザー音は鳴らしません。</li> </ul>	OFF・限定・《ON》
<RLP> <small>連携機 Prioa(別売) 接続時のみ表示されます。</small>	<p><b>RLP 情報設定</b></p> <p><b>RLP 接続設定</b> 本機に連携機 Prioa(別売)を 1 台だけ接続する(他の連携機やパソコンがネットワークにない)場合は、[1 対 1 接続]にします。</p> <p><b>自動振分枚数</b> 出力先を切り替えるときの基準の印刷枚数を設定します。入力した印刷枚数が自動振分枚数未満のときは連携機から、設定した枚数以上のときは本機からそれぞれ出力されます。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 初期値は 20 枚に設定されています。</li> <li>• [自動振分枚数] を [有効] に設定しているときは、[最低印刷枚数] は設定できません。</li> </ul> <p><b>RLP 両面待ち時間</b> 両面印刷をするときに、2 枚目の原稿をセットするための待ち時間を設定します。</p> <p><b>受信ジョブ自動振分</b> パソコンから受信したデータを [自動振分枚数] の設定値で自動振分するかしないかを設定できます。</p> <p><b>参考</b></p> <p>[自動振分枚数] が [無効] に設定されていると、この項目はグレー表示になり設定できません。</p> <p><b>色ドラム自動振分設定</b> 1 色プリント時に黒以外のドラムがセットされている場合に、[自動振分枚数] が設定されていると、現在セットされているドラム色で印刷するかどうかを設定します。</p> <p><b>RLP 情報取得時間</b> 連携機からの情報を本機が取得するタイミングを設定します。</p>	<p>● P.235「連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]」</p> <p>《通常接続》・1 対 1 接続</p> <p>有効 [自動振分枚数] 2 ~ 99 枚／無効 (工場出荷時 20 枚)</p> <p>《15 秒》・30 秒</p> <p>《有効》・無効</p> <p>《有効》・無効</p>
<デジタイザ>	<p><b>使用色基本設定</b></p> <p><b>ツールバー左右基本</b></p> <p><b>サブツールバー基本</b></p> <p><b>原稿表示方向基本</b></p>	<p>● ソフトデジタイザの取扱説明書をご覧ください。</p>

※オプション装着時のみ設定できます。



## 初期設定の変更のしかた

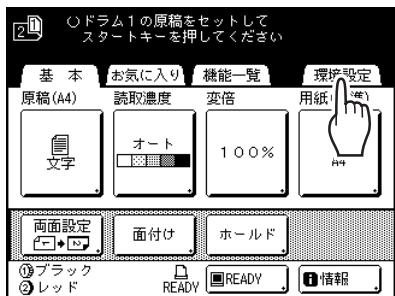
設定の変更は、本機が動作していないときに行なうことができます。

プリントの諸設定をしていない状態で行ってください。

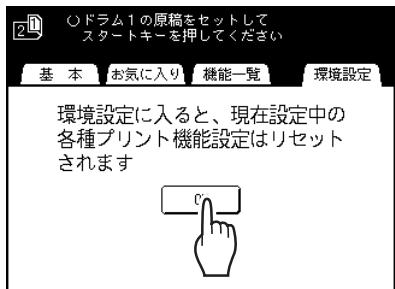
### 参考

- 認証設定で管理者が登録されている場合、[環境設定]画面を表示するためには管理者認証が必要です。 P.142
- [環境設定]画面では、現在の設定が各項目のボタンの右側に表示されています(一部を除く)。

## 1 各モードの基本画面で[環境設定]タブにタッチする



## 2 <OKボタン>にタッチする



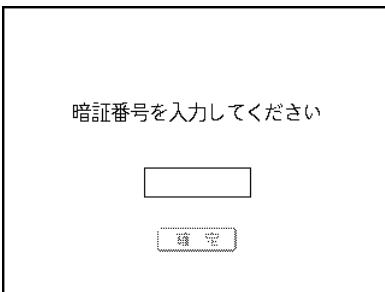
### 参考

認証設定で管理者が登録されている場合は、認証画面が表示されます。管理者認証を行なってください。既に管理者として認証済みのときは、認証画面は表示されません。

管理者以外のユーザーの認証は許可されません。

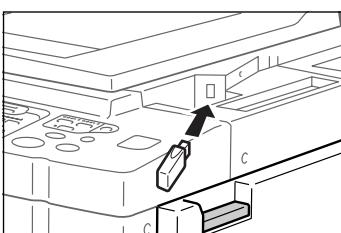
### ■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで管理者用の暗証番号を入力し、<確定ボタン>にタッチします。



### ■ 認証方式が「USBメモリ」の場合

USBスロットに、管理者認証用のUSBメモリを挿入します。



認証されると、[環境設定]画面が表示されます。

## 初期設定を変更する [環境設定]

3

設定を変更する機能のボタンにタッチする



### ■ 表示セレクトボタンについて

[環境設定]で設定できる機能は、グループに分けられています。表示セレクトボタンにタッチすると、そのグループの機能名のみが表示されるので、変更したい機能を速やかに見つけることができます。

- [すべて] .....すべての機能を表示
- [表示設定] .....画面表示に関する機能だけを表示
- [基本設定] .....各機能の初期値を設定する機能だけを表示
- [システム] .....システム全体に関する機能だけを表示
- [RLP]
  - .....RLP モードに関する機能だけを表示  
(連携機 Prioa(別売)を接続しているときにのみ表示されます)
- [デジタイザ]
  - .....ソフトデジタイザに関する機能だけを表示

4

設定を変更する

機能によって、設定画面が表示されるものとされないものがあり、また、設定画面による変更のしかたも異なります。

次のタイプを参考にして変更を行ってください。

### ■ 設定画面なし

#### (選択肢が二者／三者択一のもの)

機能名のボタンにタッチするたびに、設定値が切り替わります。

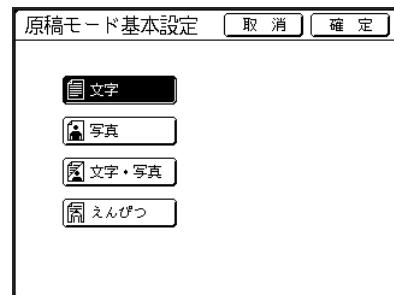
ボタン右側の表示で、設定値を確認しながら設定してください。



### ■ 設定画面あり

#### ボタン選択タイプ

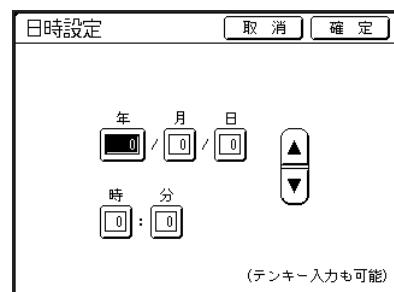
初期値にするボタンにタッチします。



### 目盛り調節・数値増減タイプ

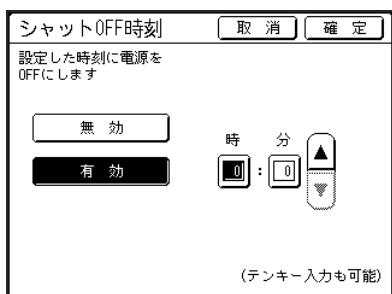
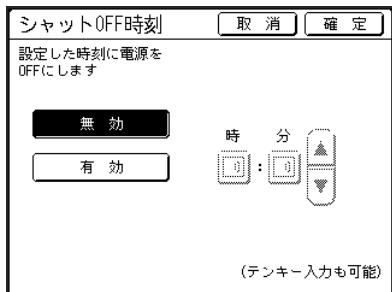
<▲ボタン><▼ボタン>にタッチして、数値を増減させます。

数値を変更する設定ではテンキーによる数値の入力も可能です。



### 設定部分が複数あるタイプ

設定を変更するボタンにタッチした後、各ボタンやテンキーなどで設定を変更します。

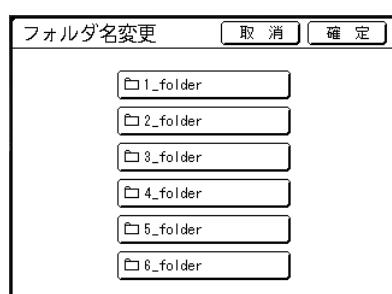


<有効ボタン>にタッチすると、画面右側の設定ができるようになります。

### 文字入力タイプ

名称を変更するボタンにタッチした後、名称を入力します。

ボタンにタッチすると、[名称入力]画面が表示されます。

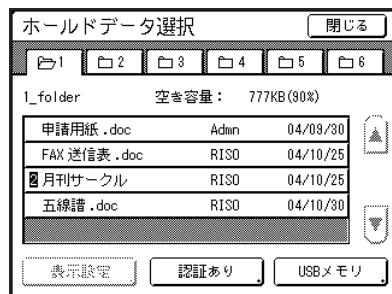


文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。文字種類のボタンにタッチして表示を切り替え、入力したい文字を探してください。

☞ P.156「名称入力画面について」

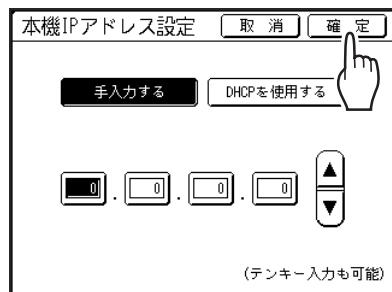
### データ指定タイプ

ホールドデータを指定する画面が表示されます。指定のしかたについては、P.212「保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USBメモリ]」をご覧ください。



## 5

<確定ボタン>にタッチする



設定画面のないタイプの場合は手順6に進んでください。

### 参考

- ・<取消ボタン>にタッチすると、変更を中止して[環境設定]画面に戻ります。
- ・設定値は、機能名の右隣に表示されます(一部を除く)。

## 6

<終了ボタン>にタッチする

各基本画面に戻ります。

# よく使う機能を画面に登録する

## [POP][お気に入り]

よく使う機能を各モードの基本画面の「POP エリア」または「お気に入り画面」に登録することができます。機能一覧画面から探す手間を省き、ワンタッチで本機能を設定したり、設定を呼び出したりすることができます。

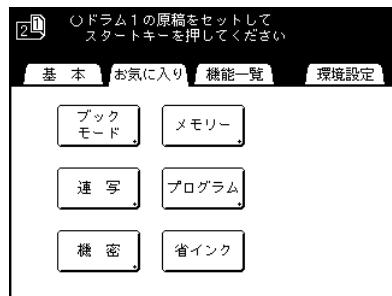
機能は、モード(製版／印刷／スキャン／RLP)ごとに個別に登録可能です。

### 各モードで登録できる件数

基本画面	製版	印刷	スキャン	RLP
ポップエリア	4	4	4	4
お気に入り	9	9	—	6



POP エリア



お気に入り画面

### 参考

- それぞれのモードには、そのモードで有効な機能を登録すると便利です。  
☞ P.2「機能一覧」
- POP エリア、お気に入り画面には、出荷時にあらかじめ機能が設定されていますが、変更できます。
- 登録できる機能は、機能一覧画面から実行できる機能です。
- 連携機 Prioa(別売)を複数台接続して使用しているときに、RLP モードの「POP エリア」または「お気に入り画面」の登録・変更をする場合は、登録・変更したい連携機を選択した後に、[環境設定]で設定しなおしてください。
- オプションを接続した場合は、POP(お気に入り)の未登録ボタンに自動的に登録されます(連携機のオプションの場合は、[環境設定]での登録が必要です)。
- 認証の範囲が「本体認証」のときは、ユーザーごとにPOPエリアに表示される機能を設定できます(認証POP登録)。設定方法については、P.183「ユーザーごとにPOP登録する [認証POP登録]」を参照してください。

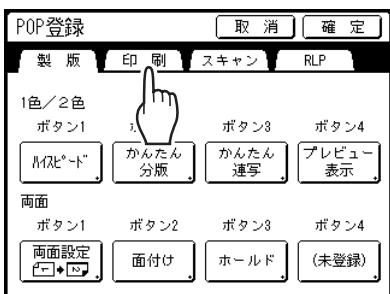


以下の手順では、POP エリアへの登録とお気に入り画面への登録を一度に説明します。

## 1 環境設定画面で<POP 登録ボタン>または<お気に入り登録ボタン>にタッチする



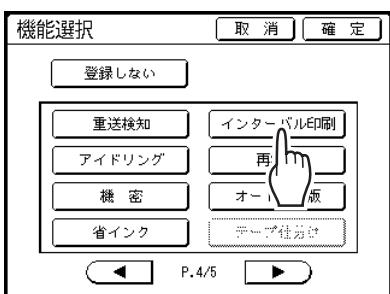
## 2 登録するモードにタッチする



## 3 登録するボタンにタッチする

登録済みのボタンにタッチすると、別の機能に変更することができます。

## 4 登録する機能名にタッチする



### 参考

- 表示された画面内に目的の機能名がないときは、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチしてページを切り替えてください。
- 違う機能を選択してしまったときは、<登録しないボタン>にタッチしてください。
- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

## 5 <確定ボタン>にタッチする

[POP 登録] または [お気に入り登録] 画面に戻り、選択した機能名が表示されます。

複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順 3 ~ 5 を繰り返します。

## 6 <確定ボタン>にタッチする

お気に入り画面(または POP エリア)の場合も同様です。

## 7 <終了ボタン>にタッチする

製版または印刷基本画面に戻ります。

# 不定形サイズを登録する

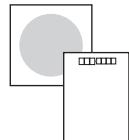
## [用紙サイズ登録]



A4 や B4 などの定形サイズ以外の用紙を使用するときは、あらかじめ用紙サイズを登録してください。

一度登録した用紙は、製版基本画面の [用紙] ボタンで選択して、使用することができます。

用紙登録は 30 件まで登録可能です。また、登録した内容を変更、消去することもできます。



### 登録できる用紙サイズ

最小 100mm × 148mm ~ 最大 320mm × 555mm

ただし、長さが 436mm 以上の場合は、長尺モードで印刷されます。

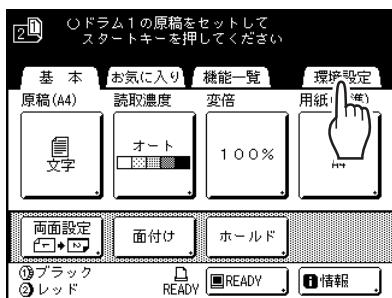
☞ P.197「奉書(長尺の用紙)にプリントするときは」



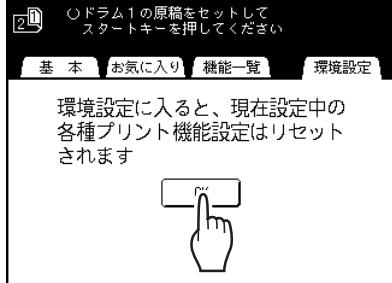
- 不定形用紙は必ず登録してください。登録せずに使用すると、原稿の読み取りが正しく行われないことがあります。
- 両面プリントでは、不定形サイズの用紙は使えません。

### 用紙サイズの登録と名称変更

#### 1 各モードの基本画面で [環境設定] タブにタッチする



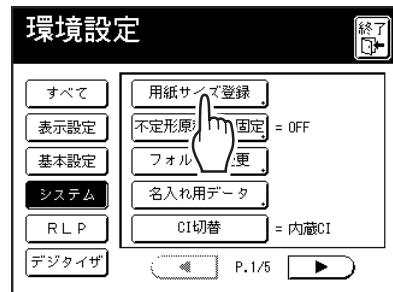
#### 2 <OK ボタン>にタッチする



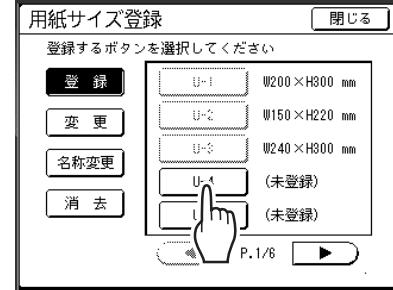
認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」手順 2 を参照してください。

#### 3 <システムボタン>または<▶ボタン>にタッチして、画面に<用紙サイズ登録ボタン>を表示させる

#### 4 <用紙サイズ登録ボタン>にタッチする

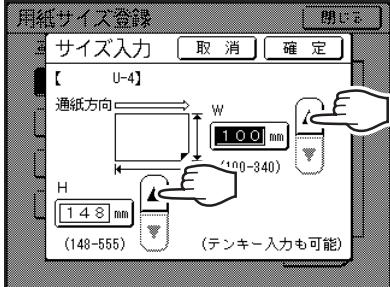


#### 5 未登録のボタンにタッチする



登録済みのボタンはグレー表示されます。

## 6 用紙サイズを入力する



通紙方向(給紙台にセットする方向)に対して、W(幅)と H(長さ)を設定します。<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチするか、テンキーで入力してください。

## 7 <確定ボタン>にタッチする

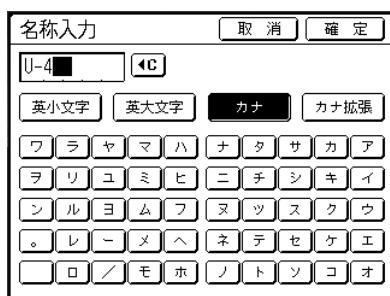
必要があれば、引き続き名称を変更します。

名称を変更しない場合は、<閉じるボタン>にタッチしてください。

## 8 <名称変更ボタン>にタッチする

## 9 名称を変更するボタンにタッチする

## 10 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.156「名称入力画面について」

**参考** 名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀ボタン>にタッチ、または< C >キーを押して消去できます。

## 11 名称入力後、<確定ボタン>にタッチする

### 参考

名称を修正するときは、手順8からやりなおしてください。

## 12 名称を確認して<閉じるボタン>にタッ チする

用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

### 奉書(長尺の用紙)にプリントするときは

本機では、「ユーザー登録用紙」として登録することにより、436～555mm(給紙方向に対する天地の長さ)までの長さの用紙を使用して印刷できます。

[用紙サイズ登録]画面で、給紙方向に対する天地の長さを436mm以上に設定すると、その用紙は「長尺用紙」として扱われます。

登録した「長尺用紙」を製版／印刷基本画面の用紙ボタンにタッチし、用紙サイズ画面で選択すると、本機は[長尺モード]に切り替わります。



奉書の種類や紙質によって通紙できない場合や、印刷物の内容(画像の位置)によって部分的に汚れが発生する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。

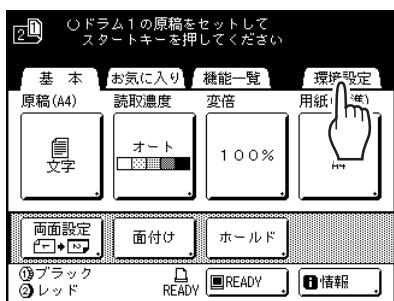
### 「長尺モード」について

- ・本機が[長尺モード]のときは、メッセージエリアの表示が【製版できます[長尺]】または【印刷できます[長尺]】に変わります。
- ・[長尺モード]では、給紙方向に対する天地の長さが436mm～555mmまでの長さの用紙に印刷できます。ただし、最大印刷面積および天地印刷位置の調整範囲は、通常時と同様です。
  - ☞ P.17「印刷範囲について」
  - ☞ P.123「印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従]」
- ・[長尺モード]では、印刷のタイミングや速度が、通常の印刷時とは異なります。あらかじめご了承ください。
- ・[長尺モード]時の給紙台、排紙台のセット方法については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

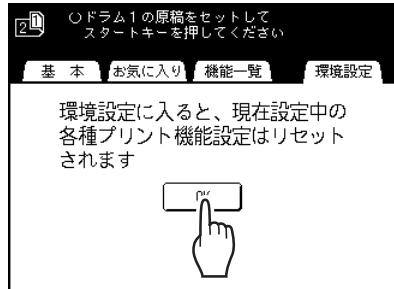
## 不定形サイズを登録する【用紙サイズ登録】

### 登録した用紙サイズの消去

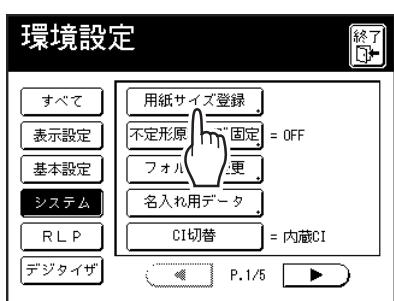
- 1** 各モードの基本画面で【環境設定】タブにタッチする



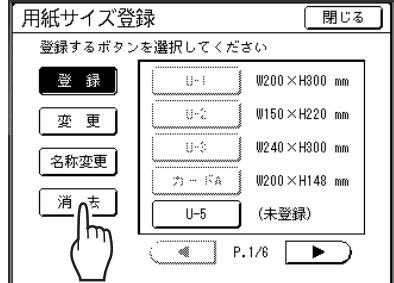
- 2** <OKボタン>にタッチする



- 3** 環境設定画面で、<用紙サイズ登録ボタン>にタッチする

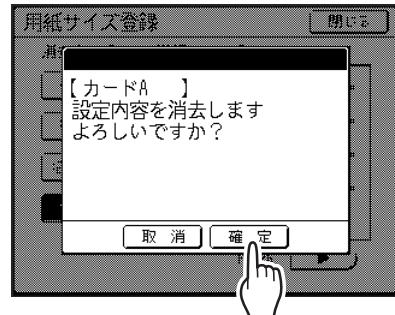


- 4** <消去ボタン>にタッチする



- 5** 消去する用紙サイズのボタンにタッチする

- <確定ボタン>にタッチする



選択した用紙サイズが消去され、[用紙サイズ登録]画面に戻ります。

- 7** <閉じるボタン>にタッチする

用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

# 印刷済みのマスターを安全に管理する

## [プロテクト]

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。(「機密」機能といいます。)

また、使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。それらのマスターが、悪意を持つ第三者によって排版ボックスから取り出され、流出することを防ぐため、本機ではプロテクト機能を用意しています。

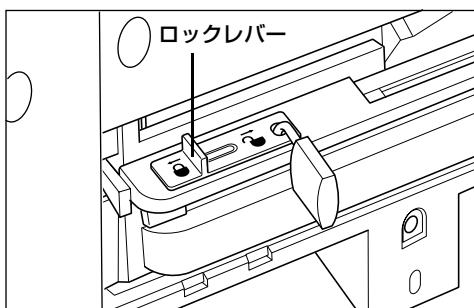
### ■「プロテクト」設定

「プロテクト」設定を有効にすると

- 印刷終了後、「機密」を実行して、ドラムに巻き付いたままのマスターを廃棄するよう促すメッセージが表示されます。
- 印刷待機中に排版ボックスが取り出せないようにロックされます。(ただし、排版部でマスターがつまつたり、排版ボックスがいっぱいになった場合は、排版ボックスを取り出すことができます。)

### ■ 排版ボックスの施錠

排版されたマスターの流出を防ぐため、排版ボックスを管理者以外が取り外せないように、南京錠等でロックすることができます。(南京錠は、市販のものをお買い求めください。錠を差し込む穴の直径は7mmです。) 排版ボックスの施錠は、ロックレバーを取り付けてある場合のみ行うことができます。



### プロテクト機能の状態と制限範囲について

プロテクト機能の状態	制限範囲
プロテクト:無効 南京錠:なし	印刷機利用制限なし※1
プロテクト:有効 南京錠:なし	機密実行メッセージ表示 排版ボックスのロック※2
プロテクト:無効 南京錠:施錠	機密実行のメッセージ表示なし 管理者以外の排版処理は不可
プロテクト:有効 南京錠:施錠	機密実行のメッセージ表示 管理者以外の排版処理は不可

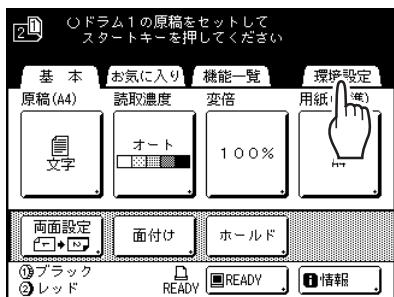
※ 1 通常の「機密」機能は任意で実行できます。

※ 2 一部、排版部でマスターがつまつたり、排版ボックスがいっぱいになった場合には、ロックが解除されます。

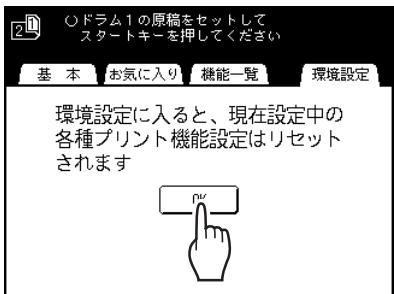
# 印刷済みのマスターを安全に管理する【プロジェクト】

## 「プロジェクト」設定を有効にする

### 1 各モードの基本画面で【環境設定】タブにタッチする

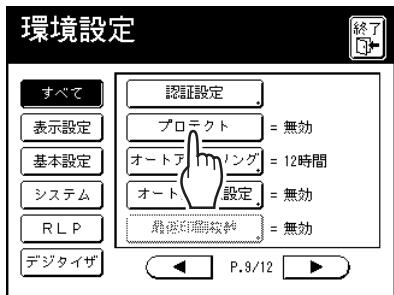


### 2 <OKボタン>にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」手順2を参照してください。

### 3 <プロジェクトボタン>にタッチする



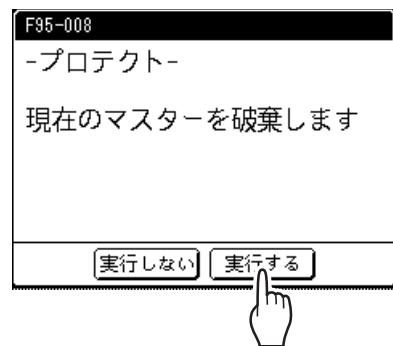
「プロジェクト」が有効となります。

#### 参考

- 「プロジェクト」を「有効」に設定すると、「省エネモード」(オートスリープまたはオートシャットOFF)が自動的に有効になり、動作までの時間は1分に設定されます。(設定時間の変更はできません)
- 「プロジェクト」が「有効」のとき、「再製版」はグレー表示され、選択できません。

## 「プロジェクト」設定が「有効」のときの動作について

印刷が終了すると以下の画面が表示されます。



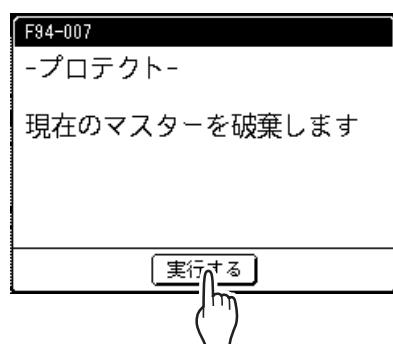
<実行する>または<実行しない>にタッチします。

<実行する>..... ドラム上のマスターを廃棄します。

<実行しない>... 廃棄する必要がない、または刷り増しをする場合などに選択します。

#### 参考

- パソコンからのデータ送信の場合も、上記の画面が表示されます。
- プロジェクト有効時に<実行しない>を選択した場合、<リセット>キー、<C>キーを押すたびに「プロジェクト」確認画面が表示されます。
- 次の場合に以下の画面が表示されます。
  - 機密されていないドラムをセットしたとき
  - 機密実行の確認画面が表示された状態のままスリープ状態になり、次にスリープ状態が解除されたとき(または電源を「ON」にしたとき)

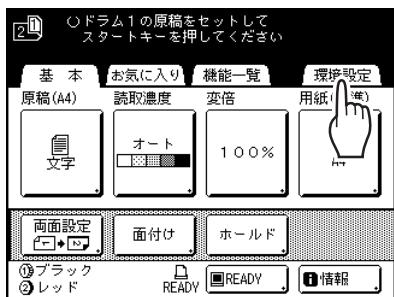


<実行するボタン>にタッチすると、ドラム上のマスターは廃棄されます。

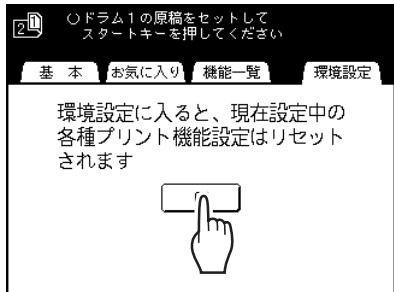
## 「プロテクト」設定を解除する

「プロテクト」設定の解除は、必ず管理者が行ってください。

### 1 各モードの基本画面で [環境設定] タブにタッチする

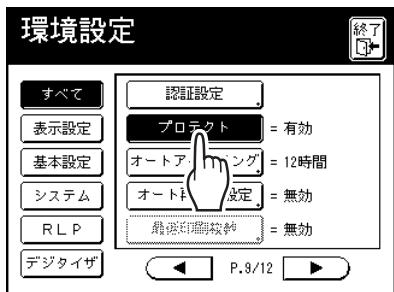


### 2 <OKボタン>にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」手順2を参照してください。

### 3 <プロテクトボタン>にタッチする



「しばらくお待ちください」と表示された後、「プロテクト」設定が解除されます。



# 原稿データを保存して活用する

- 204 原稿データの保存と活用方法について
- 206 紙原稿をデータ保存する [スキャンモード]
- 212 保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USB メモリ]
- 215 保存データを活用する [オーバーレイ] [名入れ] [両面合成]
- 231 保存データをコピー／移動する

# 原稿データの保存と活用方法について

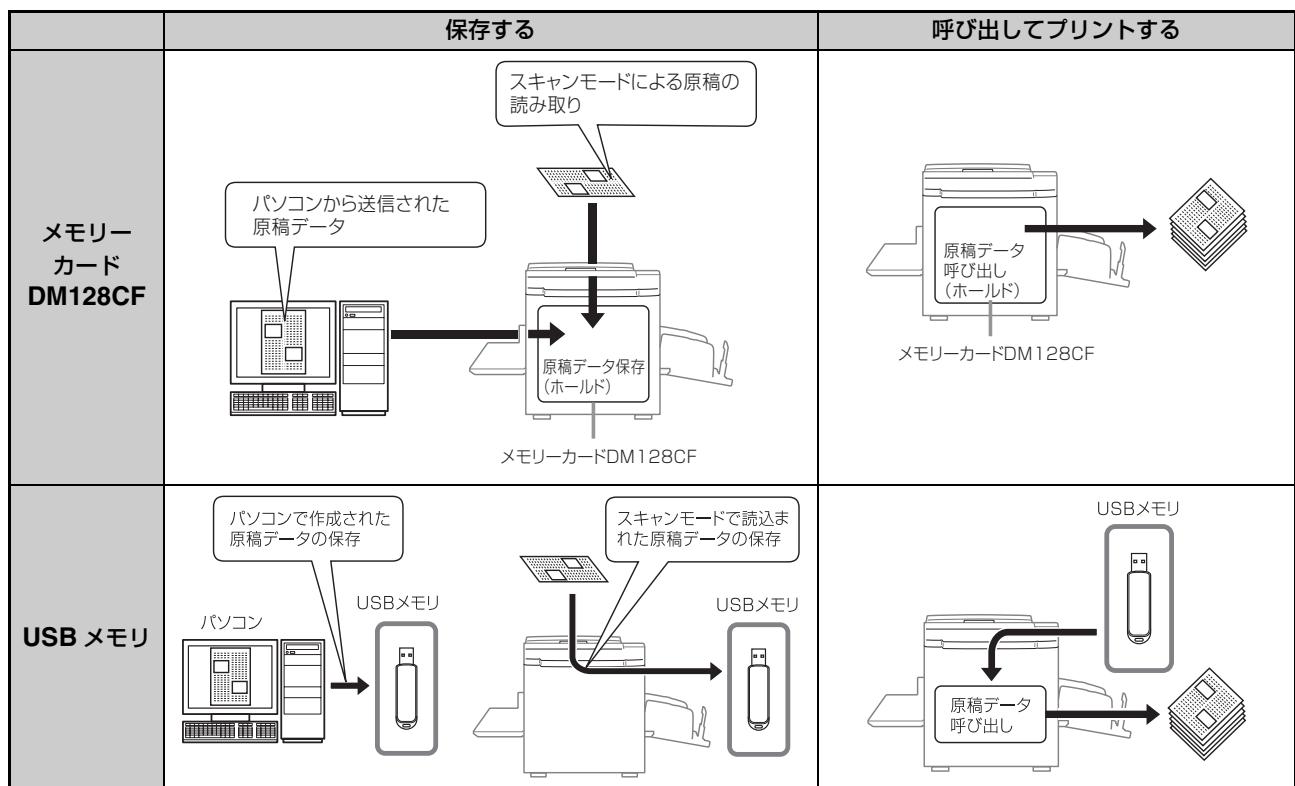
本機には、原稿データを保存する機能があります。

保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。

原稿データの保存方法には、印刷機本体内のメモリーカードDM128CFに保存する「ホールド」と、USBメモリに保存する「USBメモリ」があります。どちらも、次のように原稿データを保存できます。

- 紙原稿を印刷機のスキャナーから読み取って保存
- パソコンで作成した原稿データを保存

ここでは、紙原稿の保存方法と、保存してある原稿データのプリント方法を説明します。パソコンで作成したデータの保存方法については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。



- 「ホールド」または「USB メモリ」に保存したデータで、以下のことができます。
  - 保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。
  - 複数ページのホールドデータの場合は、奇数ページや偶数ページ、またはページを指定してプリントすることができます。
    - ➡ P.214「[ホールドデータ呼出]画面／[USB データ呼出]画面の使いかた」
  - ホールドデータと紙原稿を組み合わせてプリントすることができます。
    - ➡ P.215「保存データを活用する [オーバーレイ] [名入れ] [両面合成]」
- 「ホールド」は、本機内のメモリーにある 6 個のフォルダを、本機の使用者全員で使うことができます。共有のデータを保存して利用する場合などに便利です。
- 「USB メモリ」は、USB メモリごとに 6 個のフォルダが作られるので、USB メモリを個人あるいは部署などで管理すれば、個別にデータ管理をしたい場合などに便利です。

**重要**

天災や不測の事態により、本機のホールドデータや USB メモリデータが損傷した場合の、データの保証はいたしかねます。重要な書類は、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

**参考**

- メモリーカード DM128CF または USB メモリの空き容量が少なくなったときや、不要になった保存データを削除したいときは、簡単に削除できます。空き容量は、[ホールドデータ選択]画面または[USB データ選択]画面に表示されます。  
☞ P.214「[ホールドデータ呼出]画面／[USB データ呼出]画面の使いかた」
- 原稿データを保存するフォルダは、メモリーカード DM128CF に 6 個、USB メモリの場合は、メモリごとに 6 個用意されています。共有で使用する場合には、フォルダのルール(例えば、部署ごとに分ける、データの種類ごとに分けるなど)を決めておくことをおすすめします。
- メモリーカード DM128CF のフォルダ名は、環境設定で変更できます。  
☞ P.187「初期設定を変更する [環境設定]／フォルダ名変更※」
- USB メモリのフォルダ名を変更する場合は、付属の CD-ROM に収録されている「リソーユーティリティソフトウェア」(理想USBメモリマネージャー)を利用してください。(パソコンのエクスプローラ画面などで変更すると、本機で認識されなくなります。)  
☞ 「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)
- ホールドデータや USB メモリデータは、並び順を入れ替えることができます。  
☞ P.213「データの並び順を変える」

# 紙原稿をデータ保存する

## [スキャンモード]

スキャンモードは、紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、ホールドデータまたはUSBメモリデータとして保存する機能です。

スキャンモードで保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントできます。

同じ印刷物をプリントする場合には、あらためて原稿を読み込ませる手間を省くことができます。

☞ P.212「保存データの呼び出しかた」

また、原稿の紛失や、経年変化による劣化の心配もありません。



**重要** RISOコントローラIS300(オプション)を装着している場合は、本機のホールド機能を使用できません。スキャンモードで読み込んだデータはIS300に保存されます。



**参考** メモリーカードDM128CFまたはUSBメモリの空き容量が少なくなったときは、不要になった保存データを削除してください。

☞ P.214「[ホールドデータ呼出]画面/[USBデータ呼出]画面の使いかた」

スキャンモードでは、以下の機能を使うことができます。機能の使いかたについては、それぞれの機能の説明をご覧ください。

- 原稿モード(☞ P.68)
- 読取濃度(☞ P.70)
- 変倍(☞ P.71)
- 網点(☞ P.78)
- コントラスト強調(☞ P.79)
- トーンカーブ選択(☞ P.80)
- 連写、かんたん連写(☞ P.82)
- 面付け(Nアップ／4頁冊子／小冊子)(☞ P.92)
- ブックモード(☞ P.100)
- プレビュー表示(☞ P.114)

以下は、スキャンモード固有の機能です。

- サイズ  
☞ P.211「保存サイズを指定する」
- 色指定

## 紙原稿をスキャンする

### 1 原稿をセットする

原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

#### 参考

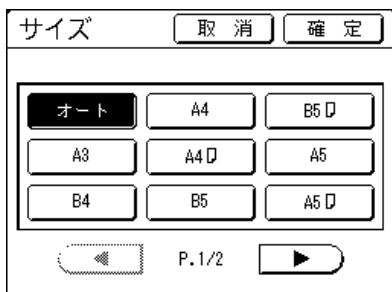
名入れ用データおよび両面合成用データとして原稿を保存する場合は、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。また、原稿サイズが A4 サイズよりも小さい場合は、原稿のセット向きを「左向き」にしてください。

### 2 スキャンモードを選ぶ

モード選択画面で<スキャンボタン>にタッチします。

☞ P.24「画面の移り変わり」

スキャンモード選択後、以下の[サイズ]画面が表示された場合は、保存サイズを選択して、<確定ボタン>にタッチしてください。



▼  
スキャン基本画面が表示されます。

メッセージエリアに、読み取る原稿のデータ保存後のページが表示されます。



### 3 データ情報を設定する

データ名、保存場所、オーナー名を設定します。

☞ P.209「データの情報設定をする」

### 4 必要な機能を設定する

原稿を読み取る際に必要な機能を設定します。

#### 参考

- ・「プレビュー表示」を設定しておくと、スキャンした内容を保存する前に確認できます。  
☞ P.114「製版前に印刷イメージを確認する[プレビュー表示]」
- ・設定できる機能については、P.206を参照してください。

#### 重要

不定形の原稿を読み取る場合は、「サイズ」の設定をしてください。

☞ P.211「保存サイズを指定する」

### 5 プリントモードを指定する

データを呼び出して印刷するときのプリントモードを指定します。

#### 参考

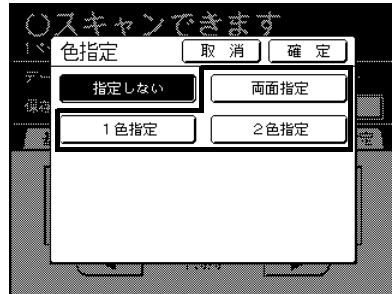
工場出荷時には、[指定しない]に設定されています。1色プリントの原稿の場合、特に指定する必要はありません。

#### ① <色指定ボタン>にタッチする



[色指定]画面が表示されます。

#### ② <プリントモード>にタッチする



## 紙原稿をデータ保存する【スキャンモード】

### ③ ドラム色を確認する

ドラム1とドラム2のインクの色を変更する場合は、それぞれの<変更ボタン>にタッチし、表示された色の中から指定してください。

#### 参考

- ・[変更]画面には、これまでに本機にセットされたことのある色名が表示されます。
- ・実際にプリントするときには、色を変更することができます。



### ④ 設定するカラーのボタンにタッチし、<確定ボタン>にタッチする



カラーが変更され、[色指定]画面に戻ります。

### ⑤ <確定ボタン>にタッチする

原稿の色指定が確定され、スキャン基本画面に戻ります。

手順②で[2色指定]を選択した場合は、メッセージエリアに、読み取る原稿のデータ保存後のページと使用ドラムが表示されます。

## 6 <スタート>キーを押す

スキャンが開始されます。

#### 参考

- 「プレビュー表示」が設定されている場合は、ディスプレイにスキャンした画像が表示されます。画像を確認し、<閉じるボタン>にタッチしてください。

## 7

### 原稿が複数ページある場合は、手順4、6を繰り返す

2色／両面プリント用の原稿のときは、ドラム2用の原稿をセットします。

#### 参考

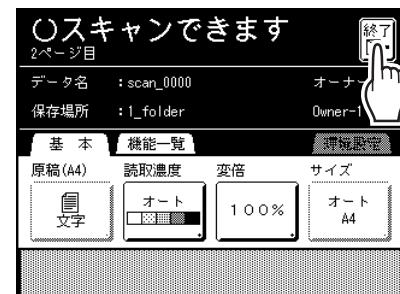
RISOオートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をまとめてセットした場合は、すべての原稿を同じ設定でスキャンします。

## 8

### <終了ボタン>にタッチする

1つのデータとして保存する原稿のスキャンが終了したら、<終了ボタン>にタッチしてください。

確認の画面が表示されます。



## 9

### <はいボタン>にタッチする

データが保存されます。

<戻るボタン>にタッチすると、1つ前の操作に戻ります。

<いいえボタン>にタッチすると、スキャンした内容を破棄します。

#### 参考

スキャンモードを終了する場合は、<モード>キーを押してください。

## データの情報設定をする

スキャン基本画面で、これからスキャンしてホールドするデータの設定を行います。

### 1 スキャンモードを選ぶ

モード選択画面で<スキャンボタン>にタッチします。

☞ P.24「画面の移り変わり」



データ名、保存場所、オーナーは、スキャンモードの起動時に自動で割り当てられます、必要に応じて変更することができます。

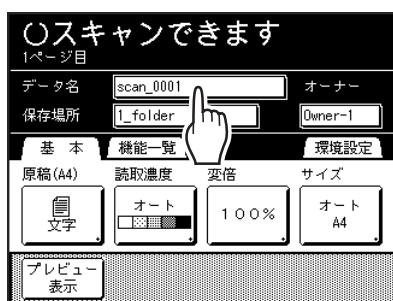
#### 参考

[保存場所] フォルダの初期設定は、[環境設定]で変更できます。

☞ P.186「初期設定を変更する [環境設定] / フォルダ基本設定」

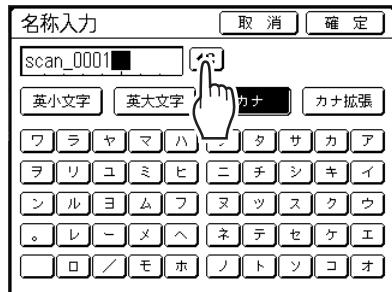
### 2 データ名を設定する

#### ① データ名の入力ボックスにタッチする



[名称入力] 画面が表示されます。

- ② <◀Cボタン>にタッチして、現在の名称を消去する



#### 参考

<C>キーを押しても消去できます。

- ③ 文字ボタンにタッチして、データ名を1文字ずつ入力する

文字種類のボタンにタッチして表示を切り替え、入力したい文字を探してください。

☞ P.156「名称入力画面について」

- ④ <確定ボタン>にタッチする

データ名が確定され、スキャン基本画面に戻ります。

### 3 保存場所を設定する

USBメモリに保存する場合は、あらかじめ本機のUSBスロットにUSBメモリを挿入してください。

#### 参考

RISOコントローラ IS300(オプション)を装着している場合、保存場所の指定はできません。

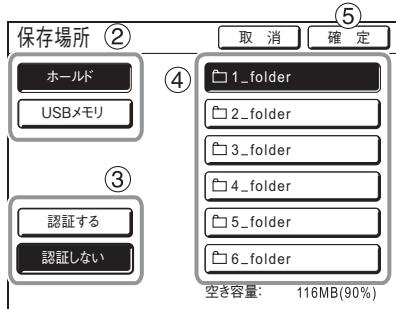
- ① 保存場所の入力ボックスにタッチする



[保存場所] 画面が表示されます。

## 紙原稿をデータ保存する【スキャンモード】

- ② <ホールドボタン>または<USBメモリボタン>にタッチする



<USBメモリボタン>はUSBメモリが挿入されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

- ③ <認証するボタン>または<認証しないボタン>にタッチする

<認証するボタン><認証しないボタン>は、認証有無が「本体認証、認証プリント」に設定されている場合のみ表示されます。

- ④ データを保存するフォルダのボタンにタッチする

- ⑤ <確定ボタン>にタッチする

[保存場所] フォルダが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

### 参考

ホールドデータの[保存場所] フォルダの名称は、[環境設定]で変更できます。

☞ P.187「初期設定を変更する [環境設定] / フォルダ名変更」

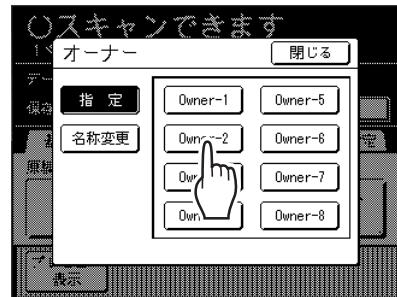
## 4 オーナーを設定する

- ① オーナーの入力ボックスにタッチする



[オーナー]画面が表示されます。

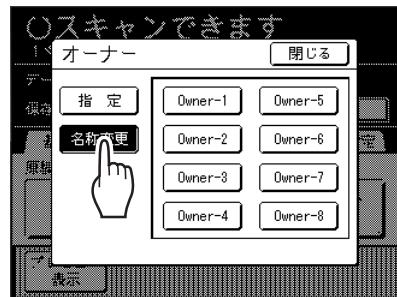
- ② 設定するオーナーのボタンにタッチする



オーナーが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

### オーナー名を変更するには

- ① [オーナー]画面で<名称変更ボタン>にタッチして、変更したいオーナー名にタッチする

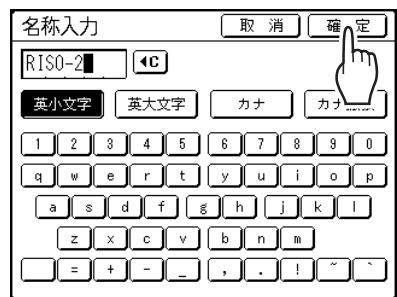


[名称入力]画面が表示されます。

- ② <◀Cボタン>にタッチして、現在の名称を消去する

- ③ オーナー名を入力する

- ④ <確定ボタン>にタッチする



オーナー名が確定され、[オーナー]画面に戻ります。

## 保存サイズを指定する

スキャンする原稿(データ)の保存サイズを設定します。原稿台ガラスにセットする場合、原稿が不定形の場合、実際の原稿とは異なるサイズで保存する場合は、「[サイズ]」画面で設定します。定形サイズの原稿を RISO オートフィーダーDX-1(オプション)にセットした場合は、「オート」でサイズが検知されるため指定する必要はありません。そのままのサイズで保存されます。

### 1 スキャン基本画面で「[サイズ]」ボタンにタッチする



[サイズ]画面が表示されます。

### 2 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



[オート]を選ぶと、セットされた原稿と同じサイズに自動的に設定されます。

#### 参考

サイズを「オート」にした場合、変倍の「オート」は選択できません。

### 3 <確定ボタン>にタッチする

用紙サイズが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

# 保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USBメモリ]



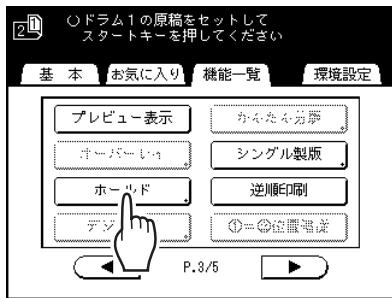
## 保存データの呼び出しかた

USBメモリデータを呼び出す場合は、あらかじめ本機のUSBスロットにUSBメモリを挿入してください。USBメモリデータのプリント方法の詳細は、P.58「パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USBメモリ]」を参照してください。

### 参考

- 管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.57「認証画面での操作について」を参照してください。
- 認証設定で「認証方式」が「暗証番号」に設定されている場合、各モードの基本画面表示中にUSBメモリが挿入されると、自動的に[USBデータ選択]画面が表示されます。手順2へ進んでください。

## 1 機能一覧画面で<ホールドボタン>にタッチする



[ホールドデータ選択]画面または[USBデータ選択]画面(認証なし)が表示されます。(画面に<認証ありボタン>が表示されています。)

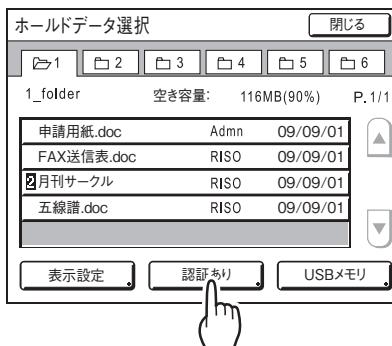
## 2 「認証あり」または「認証なし」を選択する

### 参考

認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されている場合、<認証ありボタン>は表示されません。

### ■ 認証設定されているデータを呼び出す場合

<認証ありボタン>にタッチします。

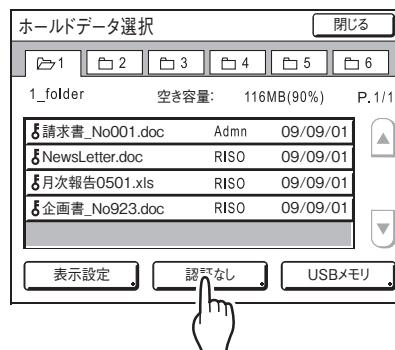


### 参考

認証設定されているときは、データ名の前に「」アイコンが表示されています。

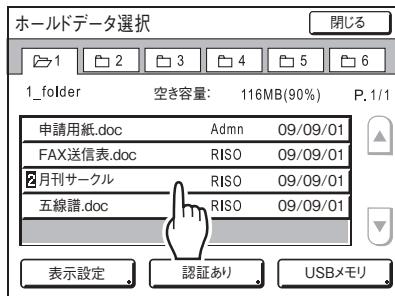
### ■ 認証設定されていないデータを呼び出す場合

画面に<認証なしボタン>が表示されている場合は、<認証なしボタン>にタッチします。



## 3

### プリントするデータにタッチする



別のフォルダにホールドされているデータを選ぶ場合は、フォルダのタブにタッチします。

### 参考

- 2色指定されたデータ※、両面指定されたデータ、デジタイザ編集されたデータ、認証プリントされているデータの場合は、それぞれのアイコンを表示します。

:2色データ

:両面データ

:デジタイザデータ

:認証されているデータ

※ デジタイザで分版したもの、プリンタドライバから分版指示をして本機にホールドしたデータ、およびスキャンで色指定をした場合

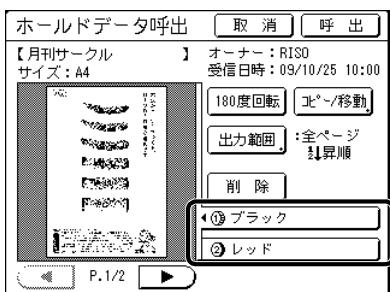
- 保存データが画面に表示しきれない場合は、<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして表示させてください。
- [ホールド(USB)データ選択]画面右下のボタン(<ホールドボタン>または<USBメモリボタン>)で[ホールドデータ選択]画面と[USBデータ選択]画面の切り替えができます。

## 4 呼び出すデータを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。

### 参考

2色／両面プリントのデータの場合は、右下の色名ボタンでサムネイルを切り替えることができます。

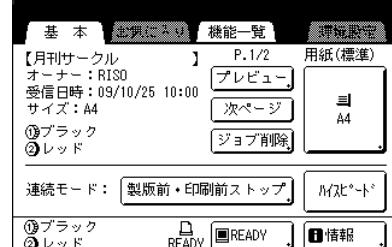


「ホールド(USB)データ呼出」画面では、ホールドデータの確認や出力設定を行うことができます。

操作については、P.214「[ホールドデータ呼出]画面／[USBデータ呼出]画面の使いかた」を参照してください。

## 5 <呼出ボタン>にタッチする

①② ○ドラム1 製版できます



ホールドデータ(USBメモリデータ)が呼び出され、ホールドモードの製版基本画面が表示されます。

## 6 <スタート>キーを押す

データが製版されます。

以降は、通常の各プリントモードの製版・印刷工程と同様の操作を行ってください。

## データの並び順を変える

ホールドデータ(USBメモリデータ)を選択する画面に表示されるホールドデータ(USBメモリデータ)の表示順を変更することができます。

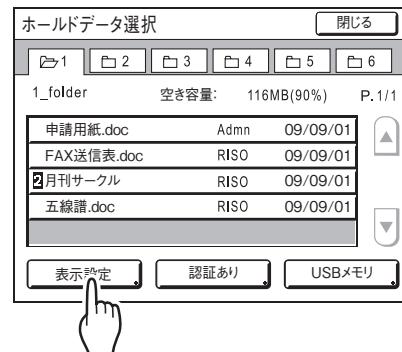
### 参考

工場出荷時は、「保存日降順」に設定されています。

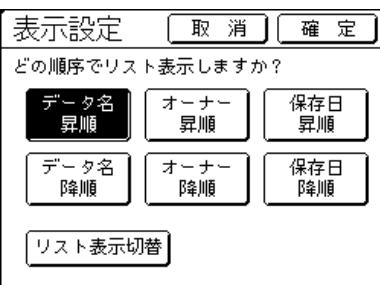
## 1 <表示設定ボタン>にタッチする

### 参考

<表示設定ボタン>は、ホールドデータ(USBメモリデータ)がないまたは1個のみの場合にはタッチできません。



## 2 [表示設定]画面で、変更する並び順のボタンにタッチする



### 参考

<リスト表示切替ボタン>のON(反転)/OFFにより、[ホールド(USB)データ選択]画面でのデータの表示形式が切り替わります。

OFF: データ名+オーナー名+保存日

ON(反転): データ名

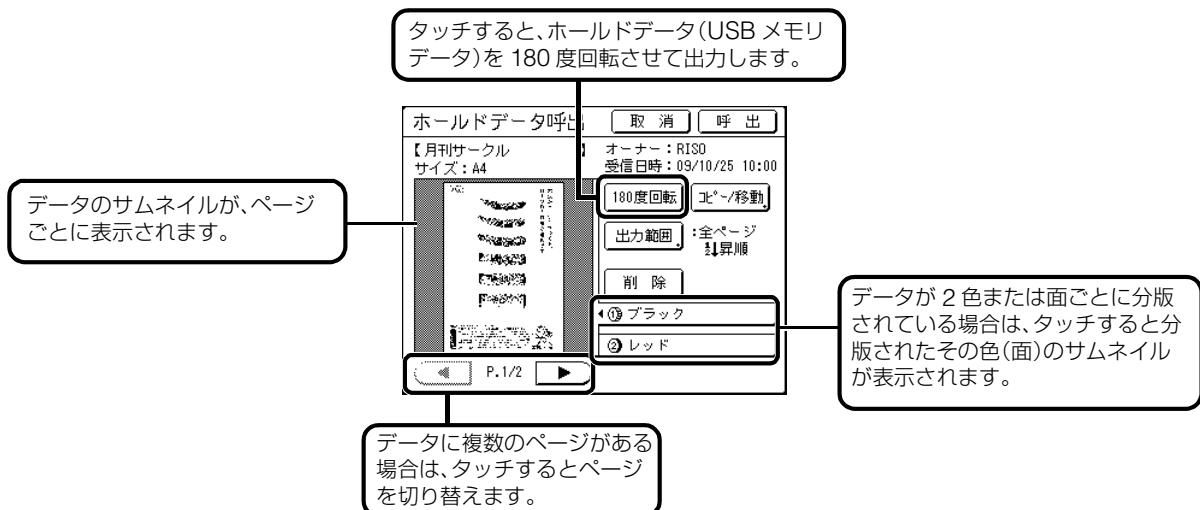
## 3 <確定ボタン>にタッチする

[ホールド(USB)データ選択]画面に戻ります。

## 保存データを呼び出してプリントする【ホールド】[USBメモリ]

### [ホールドデータ呼出]画面／[USBデータ呼出]画面の使いかた

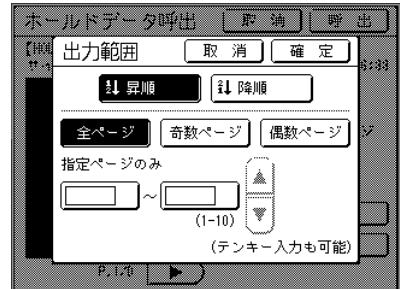
[ホールド(USB)データ呼出]画面の各部の意味は、以下のとおりです。  
ここでは「ホールドデータ呼出」画面を例に説明します。



#### ■ [出力範囲]

複数のページのあるホールドデータ(USBメモリデータ)の場合、出力するページを指定することができます。

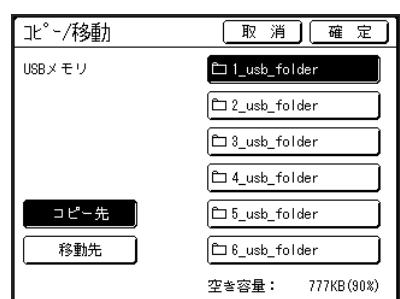
<出力範囲ボタン>にタッチすると、[出力範囲]画面が表示されます。各ボタンにタッチすることで、すべてのページ、奇数ページのみ、偶数ページのみを、それぞれ[昇順]または[降順]で出力するように設定できます。ページ範囲を指定する場合は、ページの入力ボックスにタッチし、<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチしてページを指定します。



#### ■ [コピー／移動]

ホールドとUSBメモリとの間で、保存データをコピー／移動します。[ホールドデータ呼出]画面からは USB メモリに、[USB データ呼出]画面からはホールドにコピー／移動できます。

設定方法の詳細については、P.231「保存データをコピー／移動する」を参照してください。



#### ■ [削除]

<削除ボタン>にタッチすると、確認画面が表示されます。  
<確定ボタン>にタッチすると、このデータが削除されます。



# 保存データを活用する

## [オーバーレイ] [名入れ] [両面合成]

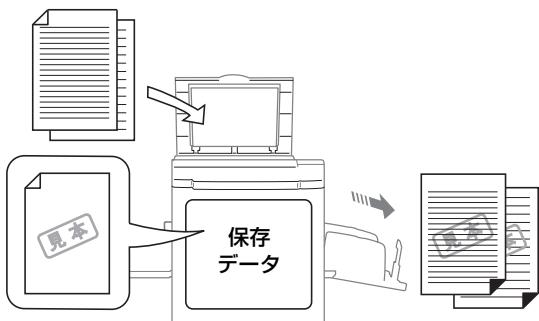
保存データと紙原稿を組み合わせてプリントすることができます。

プリントモードによって、組み合わせのしかた、機能名が異なります。

### ■ 1色プリントモードのとき「オーバーレイ」

1色プリント時に、紙原稿と保存しているデータを合成することができます。

たとえば、複数の原稿に、「見本」などの共通のスタンプを印刷する場合などに使用します。



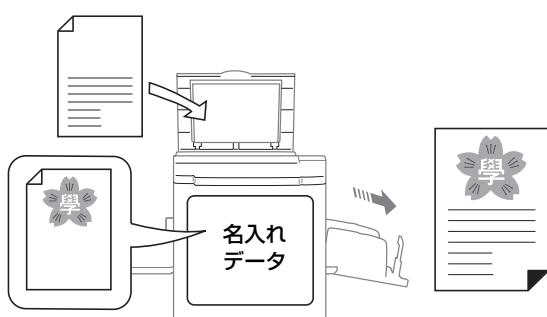
「オーバーレイ」は、次の機能とは併用できません。

- 省インク
- レイアウト原稿
- とじしろ
- ダイレクトプリント
- ホールド
- USBメモリ

### ■ 2色プリントモードのとき「名入れ」

2色プリント時に、紙原稿と保存しているデータを、それぞれ別のドラムに製版し、2色プリントすることができます。

たとえば、学校の校章などを保存データに指定しておけば、連絡文書などを印刷する際、カラーの校章入りで印刷することができます。



- 「名入れ」では、本機のスキャナで読み込む紙原稿をドラム1(黒ドラム)に、あらかじめ選択された保存データをドラム2(カラードラム)に自動的に振り分けて製版します。

ドラムが両方もカラードラムの場合は、紙原稿をドラム1に、ホールドデータをドラム2に自動で振り分けます。  
ドラムを任意に設定することはできません。

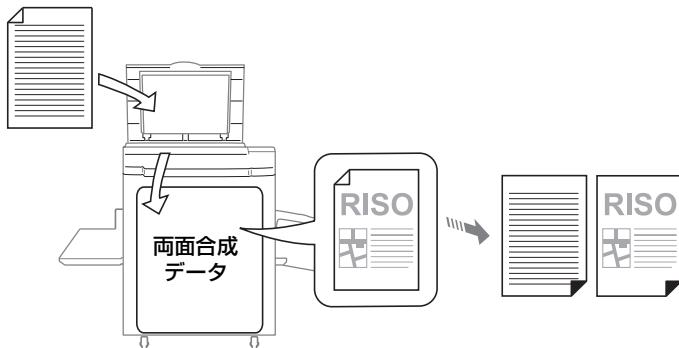
- 「名入れ」は、次の機能とは併用できません。

- かんたん分版
- ダイレクトプリント
- ホールド
- USBメモリ

## 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

### ■ 両面プリントモードのとき「両面合成」

両面プリントのとき、紙原稿はドラム 1 側(1 ページ目)へ、保存データはドラム 2 側(2 ページ目)に振り分けて製版を行います。たとえば、お店やキャンペーンの内容を紙原稿にし、お店の地図や会社ロゴなどの毎回固定となる原稿は保存データにしておくと便利です。



#### [両面合成]は、次の機能とは併用できません。

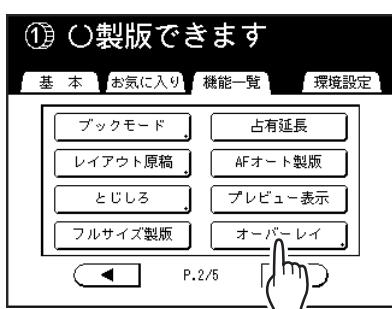
- かんたん分版
- ホールド
- USB メモリ
- AF 読取面指定(RISO オートフィーダーDX-1 装着時のみ)
- 小冊子
- 4 頁冊子
- 逆順印刷
- 刷り面入替
- ブックモード(分割)

### 保存データを合成する【オーバーレイ】 (1色プリント時)

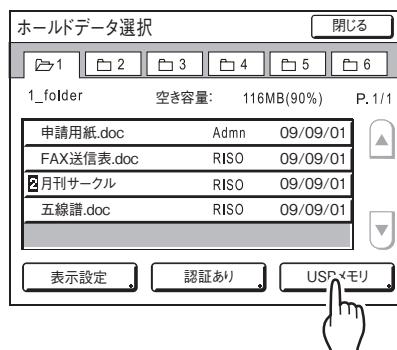
#### 1 原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラスまたは RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。  
原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

#### 2 機能一覧画面で、<オーバーレイボタン> にタッチする



[ホールドデータ選択]画面が表示されます。  
USB メモリに保存されているデータを合成したいときは、USB スロットに USB メモリを挿入し、<USB メモリボタン>にタッチします。



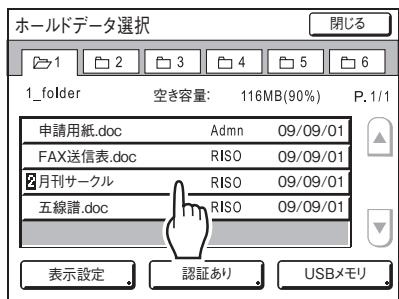
[USB データ選択]画面が表示されます。



USB メモリは、プリントが終わるまで取り外さないでください。

**3**

## 合成する保存データを選ぶ



データの選択方法については、P.212「保存データの呼び出しかた」の手順3、4をご覧ください。

## 参考

認証が設定されているデータは選択できません。

**4**

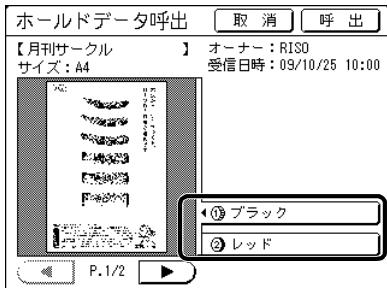
## 保存データを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。

複数のページ(版)がある場合は、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチして表示させてください。

## 参考

2色プリントのデータの場合は、右下の色名ボタンでサムネイルを切り替えることができます。

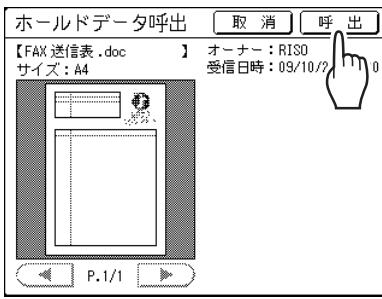


## 重要

オーバーレイ用に呼び出せるデータは1ページのみです。複数ページ(または2色分版)あるデータの場合は、印刷したい側のカラー(ドラム)のページを選択します。

**5**

## &lt;呼出ボタン&gt;にタッチする



[オーバーレイ]が設定され、機能一覧画面に戻ります。

**6**

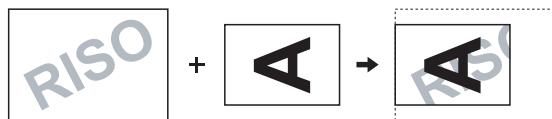
## プリント操作をする

以降の操作については、P.53「1色プリントする」の手順6以降をご覧ください。

## 保存データの合成のされたかた

保存データはホールドされているサイズで合成されます。原稿サイズや用紙サイズに合わせて拡大／縮小することはできません。

## 保存データ



## 保存データ



保存データは、原稿のトップ(天方向)のセンター合わせで合成されます。合成位置を調整することはできません。

# 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

## 原稿と保存データで2色プリントする 【名入れ】(2色プリント時)

### ■【名入れ】用データを登録する

[名入れ]は、[名入れ]用データに登録されているデータを使用します。

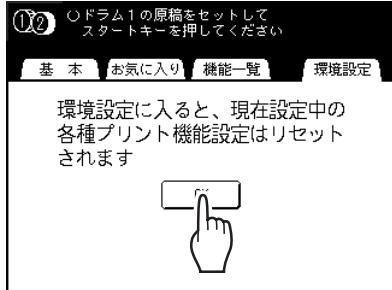
名入れに使用する原稿を、あらかじめ「ホールド」に保存し、保存されているデータから名入れに使用するデータを登録します。

[名入れ]用データは、最大10件まで登録できます。保存データの作りかたについては、P.204「原稿データの保存と活用方法について」をご覧ください。

### 1 各モードの基本画面で【環境設定】タブにタッチする



### 2 <OKボタン>にタッチする



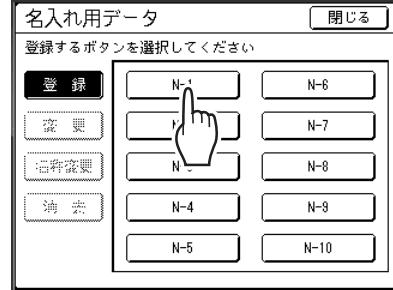
### 3 【環境設定】画面で<名入れ用データボタン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。



[名入れ用データ]画面が表示されます。

### 4 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。  
登録済みのボタンはグレー表示されます。



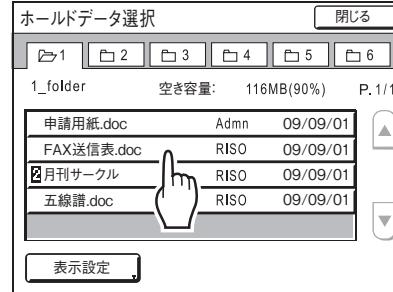
[環境設定]の[C1切替]が[外部C1]に設定されている場合は、<名入れ用データボタン>は表示されません。

[内蔵C1]に設定しなおしてください。

→ P.187「初期設定を変更する【環境設定】／C1切替」

[ホールドデータ選択画面]が表示されます。

### 5 [名入れ]用にする保存データを選ぶ



- [ホールドデータ選択]画面の操作のしかたは、P.212「保存データを呼び出してプリントする[ホールド][USBメモリ]」をご覧ください。
- 認証が設定されているデータは選択できません。

## 6 保存データを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。

複数のページ(版)がある場合は、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチして表示させてください。

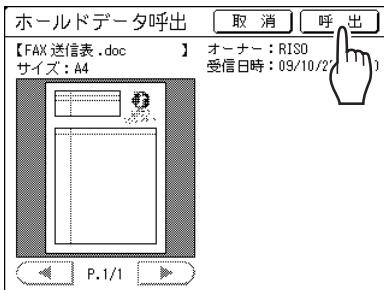
### 参考

2色プリントのデータの場合は、右下の色名ボタンでサムネイルを切り替えることができます。



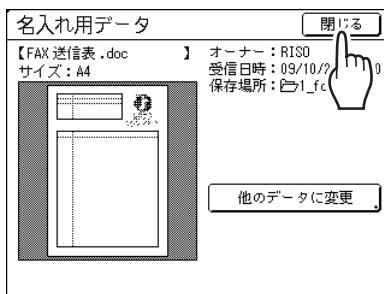
名入れ用に呼び出せるデータは1ページのみです。複数ページ(または2色/両面分版)あるデータの場合は、印刷したい側のカラー(ドラム)のページを選択します。

## 7 <呼出ボタン>にタッチする



[名入れ用データ]画面に戻ります。

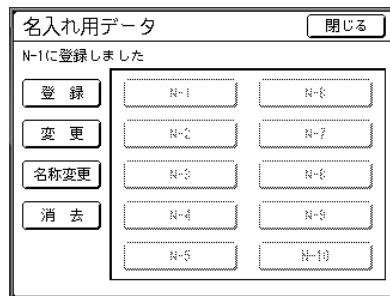
## 8 <閉じるボタン>にタッチする



### 参考

[名入れ]用データを変更する場合は、<他のデータに変更ボタン>にタッチします。[ホールドデータ選択]画面が表示されます。

[名入れ]用データが登録され、[名入れ用データ]のリスト画面に戻ります。



必要があれば、P.220「■ 名入れデータに名前を付ける」の手順2へ進んでください。

## 9 <閉じるボタン>にタッチする

[環境設定]画面に戻ります。

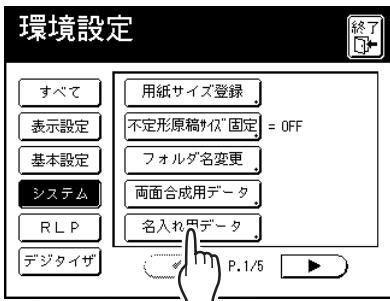
## 10 <終了ボタン>にタッチする

**保存データを活用する [オーバーレイ] [名入れ] [両面合成]**

## ■ 名入れデータに名前を付ける

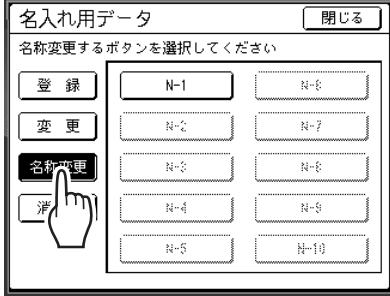
1 [環境設定]画面で<名入れ用データボタン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。

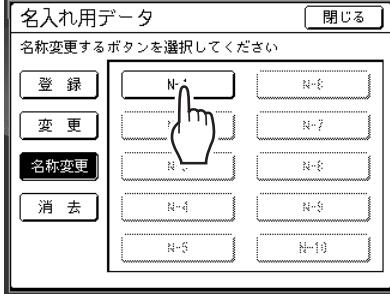


[名入れ用データ]画面が表示されます。

## 2 <名称変更ボタン>にタッチする



## 3 名称を変更したいボタンにタッチする



未登録のボタンはグレー表示され、タッチできません。

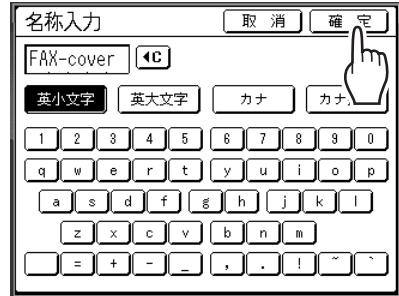
**4** 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



参考

- 入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。  
☞ P.156「名称入力画面について」
  - 名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀Cボタン> にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

## 5 名称入力後、<確定ボタン>にタッチする



入力した名称が登録され、[名入れ用データ]リスト画面に戻ります。

## 6 <閉じるボタン>にタッチする

[環境設定]画面に戻ります。

## 7 <終了ボタン>にタッチする

## ■【名入れ】で2色プリントする

2色プリントを選択してください。

### 1 紙原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットします。

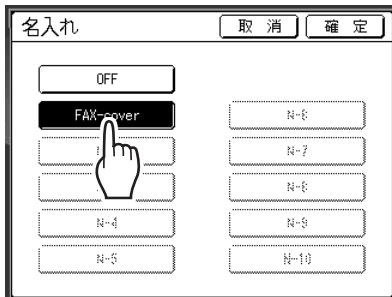
原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

### 2 機能一覧画面で、<名入れボタン>にタッチする



**重要** [名入れ]用データを登録していない場合は、[機能一覧]画面に<名入れボタン>は表示されません。

### 3 使用したい名入れデータを選択する



未登録のボタンはグレー表示され、タッチできません。

### 4 <確定ボタン>にタッチする

[名入れ]が設定されます。

### 5 プリント機能を設定する

必要に応じてプリント機能を設定することができます。

#### 参考

[プレビュー表示]を設定すると、ホールドデータと紙原稿の記載の向きがあっているかを、確認することができます。

☞ P.114「製版前に印刷イメージを確認する〔プレビュー表示〕」

### 6 <スタート>キーを押す

紙原稿と名入れデータが製版され、試し刷りが印刷されます。

以降は、P.49「2枚の原稿で2色プリントする」の手順 13 以降と同様の操作を行ってください。

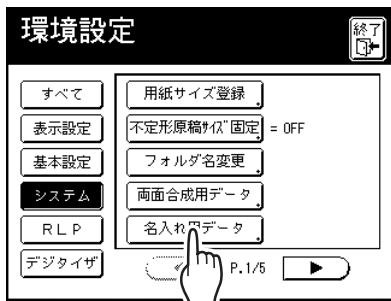
# 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

## ■ データを変更する

登録済の名入れ用データを、他のホールドデータに差し替えることができます。

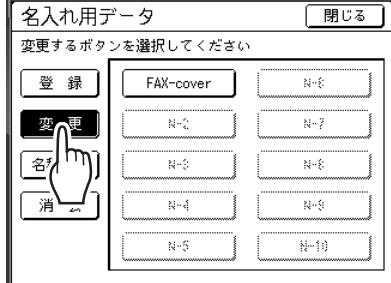
### 1 [環境設定]画面で<名入れ用データボタン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。



[名入れ用データ]画面が表示されます。

### 2 <変更ボタン>にタッチする

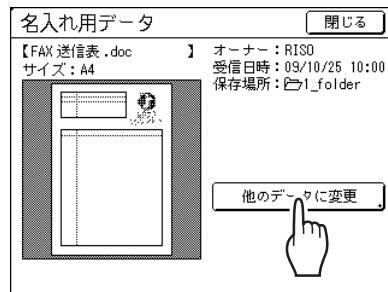


### 3 変更するボタンにタッチする

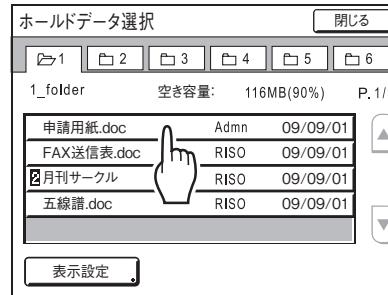


[名入れ用データ]画面が表示されます。

## <他のデータに変更>にタッチする



### 5 変更する保存データを選ぶ



#### 参考

- ・[ホールドデータ選択]画面の操作のしかたは、P.212「保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USBメモリ]」をご覧ください。
- ・認証が設定されているデータは選択できません。

### 6 保存データを確認する



サムネイルで呼び出したいデータかどうか確認します。

複数のページ(版)がある場合は、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチして表示させてください。

#### 参考

2色プリントのデータの場合は、右下の色名ボタンでサムネイルを切り替えることができます。

### 7 <呼出ボタン>にタッチする

[名入れ用データ]画面に戻ります。

## 参考

[ホールドデータ呼出]画面については、P.214「[ホールドデータ呼出]画面／[USB データ呼出]画面の使いかた」をご覧ください。

8

<閉じるボタン>にタッチする

データが変更され、[名入れ用データ]画面のリストに戻ります。

9

<閉じるボタン>にタッチする

[環境設定]画面に戻ります。

10

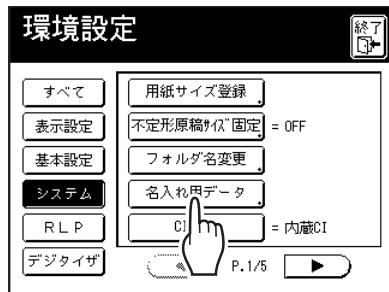
<終了ボタン>にタッチする

## ■名入れデータの消去

1

[環境設定]画面で<名入れ用データボタン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。



[名入れ用データ]画面が表示されます。

2

<消去ボタン>にタッチする



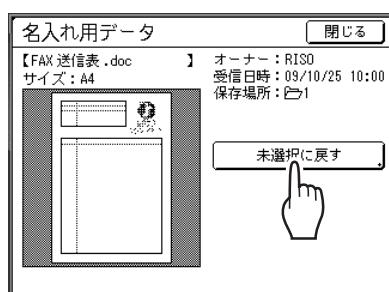
3

消去するボタンにタッチする



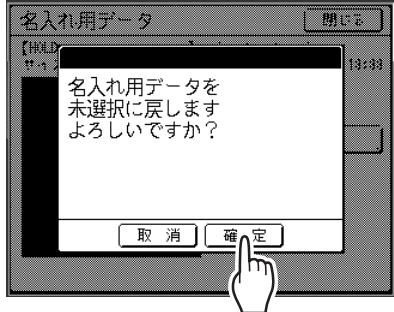
4

<未選択に戻す>にタッチする



## 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

### 5 <確定ボタン>にタッチする



[名入れ用データリスト]画面に戻ります。

### 6 <閉じるボタン>にタッチする

### 7 <終了ボタン>にタッチする

#### 参考

「未選択」にしたデータは、ホールドデータ内に保存されています(ホールドからは消去できません)。

## 原稿と保存データで両面プリントする 【両面合成】(両面プリント時)

### ■ [両面合成用データ]を登録する

[両面合成]は、[両面合成用データ]に登録されているデータを使用します。

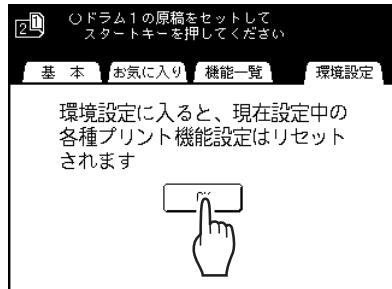
両面合成に使用する原稿を、あらかじめ「ホールド」に保存し、保存されているデータから両面合成に使用するデータを登録します。

[両面合成]用データは、最大10件まで登録できます。保存データの作りかたについては、P.204「原稿データの保存と活用方法について」をご覧ください。

### 1 各モードの基本画面で[環境設定]タブにタッチする



### 2 <OKボタン>にタッチする



## 3

## [環境設定]画面で&lt;両面合成用データボタン&gt;にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。



[両面合成用データ]画面が表示されます。



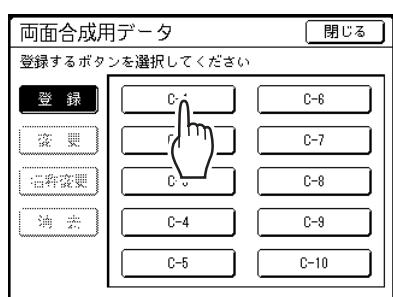
[環境設定]の[C1切替]が[外部C1]に設定されている場合は、<両面合成用データボタン>は表示されません。

[内蔵C1]に設定しなおしてください。

☛ P.187「初期設定を変更する [環境設定] / C1切替」

## 4

## 未登録のボタンにタッチする

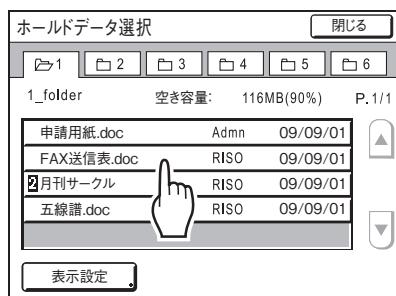


実線で表示されているボタンが未登録です。  
登録済みのボタンはグレー表示されます。

[ホールドデータ選択画面]が表示されます。

## 5

## [両面合成]用にする保存データを選ぶ



[ホールドデータ呼出画面]が表示されます。



- [ホールドデータ選択]画面の操作のしかたは、P.212「保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USBメモリ]」をご覧ください。
- 認証設定されているデータは選択できません。

## 6

## 保存データを確認する

サムネイルで呼び出したいたデータかどうかを確認します。

複数のページ(版)がある場合は、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチして表示させてください。



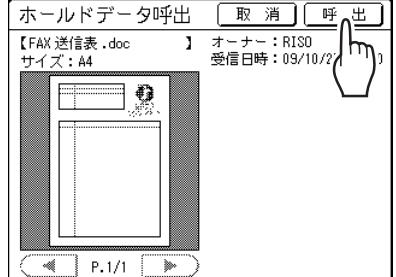
2色／両面プリントのデータの場合は、右下の色名ボタンでサムネイルを切り替えることができます。



両面合成用に呼び出せるデータは1ページのみです。  
複数ページ(または2色／両面分版)あるデータの場合は、印刷したい側のカラー(面)を選択します。

## 7

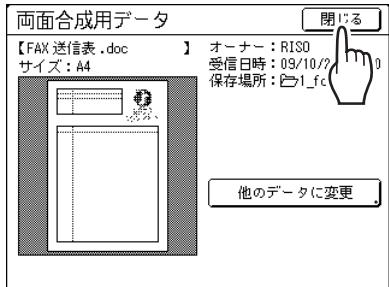
## &lt;呼出ボタン&gt;にタッチする



[両面合成用データ]画面に戻ります。

## 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

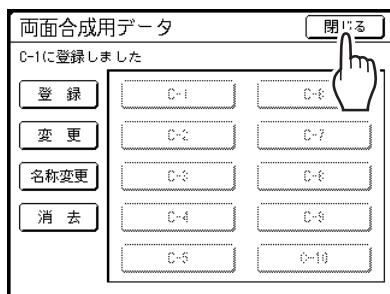
### 8 <閉じるボタン>にタッチする



参考

[両面合成]用データを変更する場合は、<他のデータに変更ボタン>にタッチします。[ホールドデータ選択]画面が表示されます。

[両面合成]用データが登録され、[両面合成用データ]のリスト画面に戻ります。



必要があれば、P.226「■ 両面合成データに名前を付ける」の手順 2 へ進んでください。

### 9 <閉じるボタン>にタッチする

[環境設定]画面に戻ります。

### 10 <終了ボタン>にタッチする

### ■ 両面合成データに名前を付ける

1

[環境設定]画面で<両面合成用データボタン>にタッチする

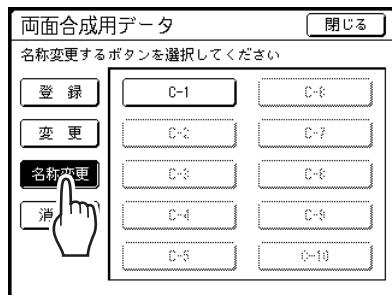
[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。



[両面合成用データ]画面が表示されます。

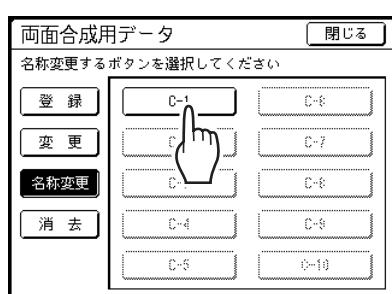
2

<名称変更ボタン>にタッチする



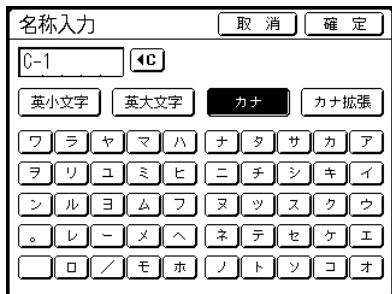
3

名称を変更したいボタンにタッチする



未登録のボタンはグレー表示され、タッチできません。

## 4 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



## 参考

- 入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。  
→ P.156「名称入力画面について」
- 名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀Cボタン>にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

## 5 名称入力後、<確定ボタン>にタッチする



入力した名称が登録され、[両面合成用データ]リスト画面に戻ります。

## 6 <閉じるボタン>にタッチする

[環境設定]画面に戻ります。

## 7 <終了ボタン>にタッチする

## ■ [両面合成]で両面プリントする

あらかじめ両面プリントを選択してください。

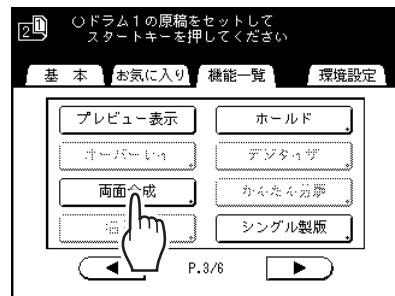
## 1 紙原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットします。  
原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

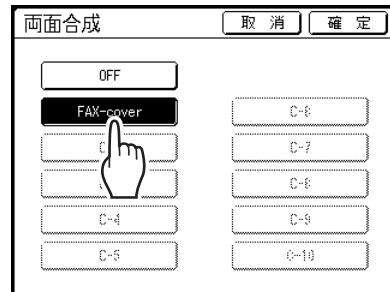
## 2 機能一覧画面で、<両面合成ボタン>にタッチする



[両面合成]用データを登録していない場合は、[機能一覧]画面に<両面合成ボタン>は表示されません。



## 3 使用したい両面合成データを選択する



未登録のボタンはグレー表示され、タッチできません。

## 4 <確定ボタン>にタッチする

[両面合成]が設定されます。

# 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

## 5 プリント機能を設定する

必要に応じてプリント機能を設定することができます。

### 参考

プレビュー表示を設定すると、原稿読み取り時のイメージを表示できます。  
製版前に、紙原稿とホールドデータの画像の向きを確認することができます。

## 6 <スタート>キーを押す

紙原稿と両面合成データが製版され、試し刷りが印刷されます。

以降は、P.45「両面プリントする」の手順7以降と同様の操作を行ってください。

## ■ データを変更する

登録済の両面合成データを、他のホールドデータに差し替えることができます。

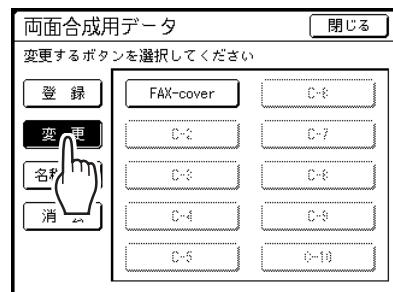
## 1 [環境設定]画面で<両面合成用データボタン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。

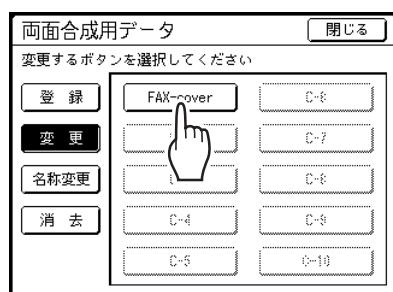


[両面合成用データ]画面が表示されます。

## 2 <変更ボタン>にタッチする

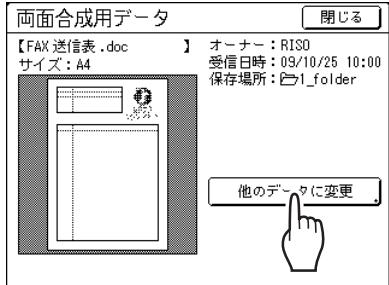


## 3 変更するボタンにタッチする

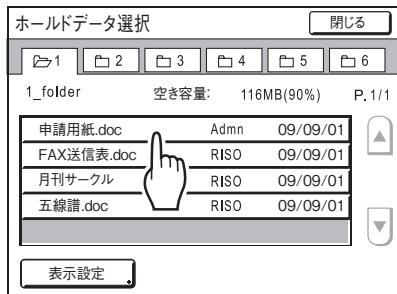


[両面合成用データ]画面が表示されます。

## 4 <他のデータに変更>にタッチする



## 5 変更する保存データを選ぶ



## 参考

- [ホールドデータ選択]画面の操作のしかたは、P.212「保存データを呼び出してプリントする[ホールド][USBメモリ]」をご覧ください。
- 認証設定がされているデータは、選択できません。

## 6 保存データを確認する



サムネイルで呼び出したいデータかどうか確認します。

複数のページ(版)がある場合は、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチして表示させてください。

## 参考

- 2色／両面プリントのデータの場合は、右下の色名ボタンでサムネイルを切り替えることができます。

## 7 <呼出ボタン>にタッチする

[両面合成用データ]画面に戻ります。

## 参考

[ホールドデータ呼出]画面については、P.214「[ホールドデータ呼出]画面/[USBデータ呼出]画面の使いかた」をご覧ください。

## 8 <閉じるボタン>にタッチする

データが変更され、[両面合成用データ]画面のリストに戻ります。

## 9 <閉じるボタン>にタッチする

[環境設定]画面に戻ります。

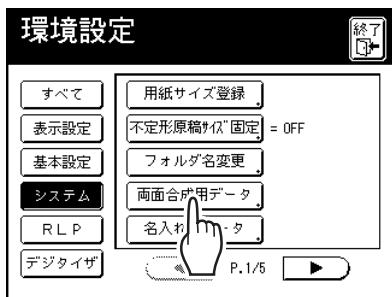
## 10 <終了ボタン>にタッチする

# 保存データを活用する【オーバーレイ】【名入れ】【両面合成】

## ■ 両面合成用データの消去

### 1 <環境設定>画面で<両面合成用データボタン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.191「初期設定の変更のしかた」をご覧ください。

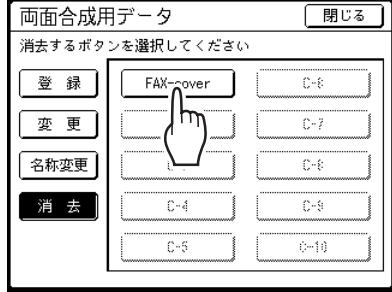


[両面合成用データ]画面が表示されます。

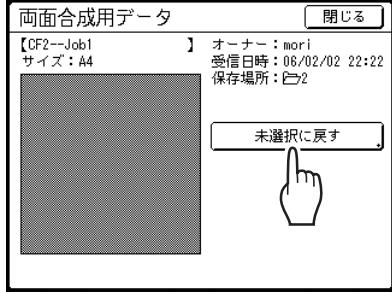
### 2 <消去ボタン>にタッチする



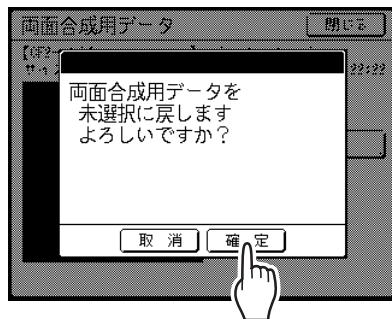
### 3 消去するボタンにタッチする



### 4 <未選択に戻す>にタッチする



### 5 <確定ボタン>にタッチする



[両面合成用データリスト]画面に戻ります。

### 6 <閉じるボタン>にタッチする

### 7 <終了ボタン>にタッチする

**参考** 「未選択」にしたデータは、ホールドデータ内に保存されています(ホールドからは消去できません)。

# 保存データをコピー／移動する

ホールドと USB メモリとの間でデータをコピー／移動することができます。

ホールドまたは USB メモリのデータ空き容量が少ないとときや、バックアップをとるときなどに便利です。

## 参考

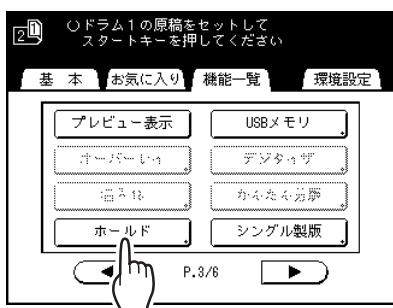
- ホールド内または USB メモリ内でのデータコピー／移動はできません。
- 付属の CD-ROM に収録されている「リソーユーティリティソフトウェア」(理想 USB メモリマネージャー)を利用して、USB メモリに保存されている原稿データをパソコンで整理・管理することができます。詳しくは、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。
- 認証データは、データの認証設定が保持されたままコピー／移動されます。

ここでは、ホールドから USB メモリにデータをコピー／移動する場合の手順を例に説明します。

## 1 データ保存用 USB メモリが挿入されていることを確認する

USB メモリが挿入されていない場合は、USB メモリを USB スロットに挿入してください。

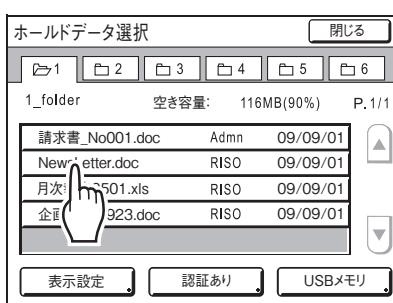
## 2 機能一覧画面で〈ホールドボタン〉にタッチする



## 参考

USB メモリからホールドにデータをコピー／移動するときは、〈USB メモリボタン〉にタッチします。

## 3 コピー／移動するホールドデータにタッチする

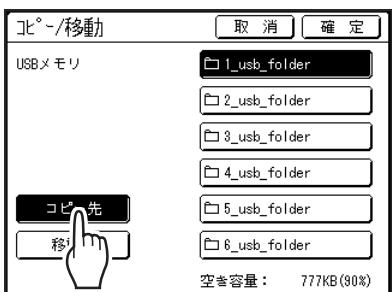


データの選択方法については、P.212「保存データの呼び出しかた」の手順 3、4 を参照してください。

## 4 <コピー／移動ボタン>にタッチする



## 5 <コピー先ボタン>または<移動先ボタン>にタッチする



## 6 コピー先／移動先フォルダのボタンにタッチする

## 7 <確定ボタン>にタッチする

データがコピー／移動され、コピー先／移動先のフォルダが表示されます。

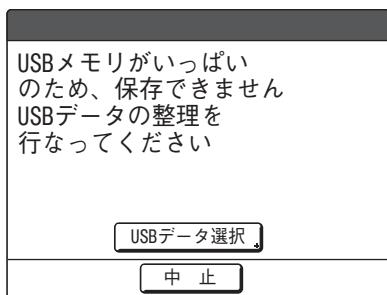


データを処理している間は、USB メモリを取り外さないでください。データの消失や USB メモリの故障の原因になります。

## 保存データをコピー／移動する

### 参考

USBメモリ(USBメモリからホールドにコピー／移動する場合は、ホールド)のデータ容量が不足している場合は、以下のメッセージが表示されます。USBメモリー覧にタッチしてUSBメモリのデータを整理するか、中止にタッチしてコピー／移動を中止してください。



# 連携機 Prioa(別売)を接続して使う

- 234 連携機を使用したプリント機能について
- 235 連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]
- 239 紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]
- 241 連携機のオプション機能を使う
- 245 両面印刷のしかた [両面]

# 連携機を使用したプリント機能について

本機を連携機 Prioa と接続して、より経済的なプリントが行えます。  
連携機を使ったプリントには、[自動振分]と[RLP モード]の 2 つがあります。

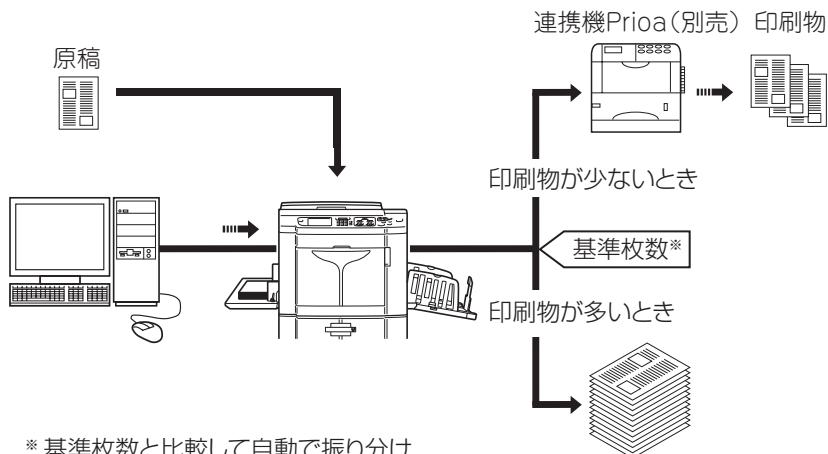


連携機として接続できるプリンタは「Prioa」です。接続には、RISO Network Card が必要です。

## 自動振分

紙原稿やパソコンから送信したデータをプリントする場合、あらかじめ基準枚数(自動振分枚数)を設定しておくと、印刷部数が基準枚数以上の部数のときは本機を、基準枚数未満のときは連携機を自動で選択し、プリントします。USB メモリやメモリーカード DM128CF に保存した原稿データを呼び出してプリントする場合も、枚数により自動的に振り分けてプリントができます。

● P.190「初期設定を変更する [環境設定]／自動振分枚数」、P.190「初期設定を変更する [環境設定]／受信ジョブ自動振分」、P.204「原稿データの保存と活用方法について」



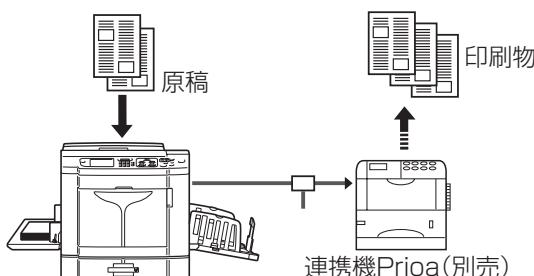
紙原稿の場合、製版の前に印刷枚数の入力が必要です。枚数が「0」で<スタート>キーを押すと、無条件で本機からプリントします。



[自動振分] は 2 色プリントでは使用できません。

## RLP モード

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントします。両面印刷など、連携機の機能を使ったプリントができます。



# 連携機を使うための準備

## [RLP 情報設定]

本機と接続した連携機を使用できるようにするために、連携機の情報を本機に登録する必要があります。ここでは、本機の[環境設定]の中の[RLP情報設定]についてのみ説明しています。その他のRLPに関するその他の[環境設定]については、P.190を参照してください。



- ・本機と連携機が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、情報登録はできません。
- ・情報の登録は、接続してある連携機(Prioa)1台ずつにそれぞれ行ってください。
- ・本機に連携機を1台だけ接続する場合は、[RLP接続設定]を[1対1接続]にしてください。
- ・連携機の情報が登録されていない場合、連携機からの出力や取り付けたオプションの機能は使用できません。

### 連携機情報を設定する

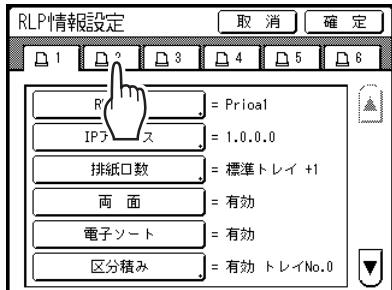
#### 1 [環境設定]画面で<RLPボタン>にタッチする



#### 2 <RLP情報設定ボタン>にタッチする

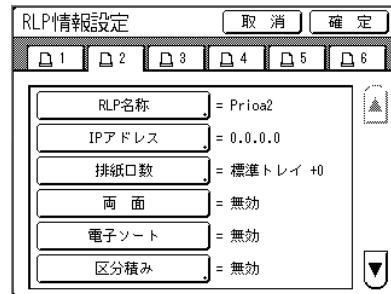


#### 3 情報を登録する連携機のタブにタッチする



連携機の情報は6台分まで登録できます。

#### 4 登録する情報のボタンにタッチする



表示された画面内に目的の項目がないときは、<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして表示を切り替えてください。

#### 5 設定を変更する

P.242「設定可能な項目一覧」を参考にして各項目を変更してください。



設定画面がある場合は、設定の変更後、<確定ボタン>にタッチします。変更内容が確定され、[RLP情報設定]画面に戻ります。設定を中止するときは、<取消ボタン>にタッチして、[RLP情報設定]画面に戻ります。

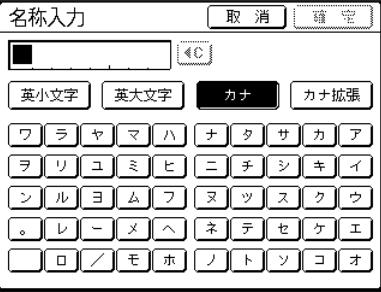
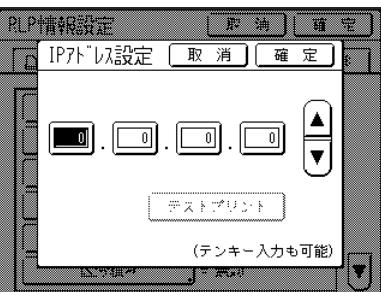
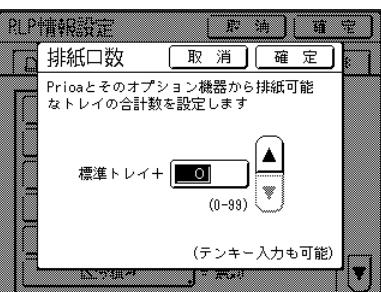
#### 6 <終了ボタン>にタッチする

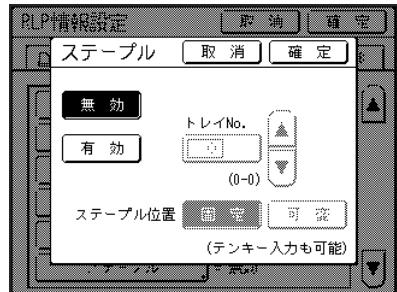
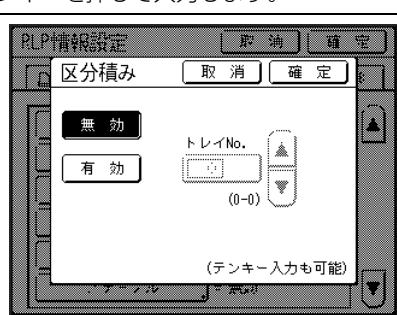
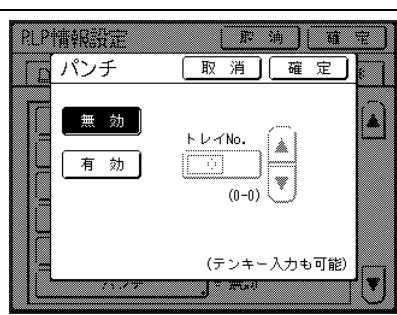
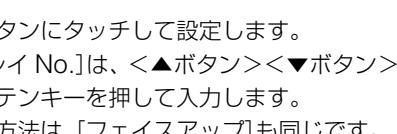
環境設定を終了し、基本画面に戻ります。

## 連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]

### 設定項目一覧

《 } 》は工場出荷時の設定です。

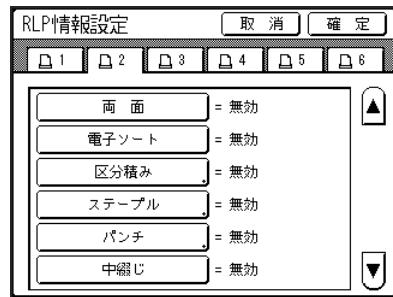
設定項目	設定内容	入力方法
<b>RLP 名称</b> 連携機の名称を設定します。  <b>参考</b> 登録した名称は RLP モード画面で表示されます。		 <p>文字ボタンにタッチして、1 文字ずつ入力します。その後、&lt;確定ボタン&gt;にタッチして、RLP 名称を登録します。操作の詳細は、P.156「名称入力画面について」を参照してください。</p>
<b>IP アドレス設定</b> 連携機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定します。  <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;テストプリントボタン&gt;にタッチすると、連携機へのデータ送信テストが実行されます。テストに成功したときは、連携機からテストの結果のレポートが出力されます。</li> <li>&lt;テストプリントボタン&gt;は、[環境設定]の[本機 IP アドレス設定]が未設定のときは選択できません。</li> </ul>		 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;▲ボタン&gt;&lt;▼ボタン&gt;、またはテンキーを押して入力します。</li> <li>入力位置を移動するときは、直接、入力位置のボタンにタッチするか、&lt;*&gt;キーを押して移動させてください。</li> </ul>
<b>排紙口数</b> 標準トレイ以外で、排紙可能なトレイの数を設定します。  <b>重要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のオプションで設定されている「トレイ No.」より小さい値を設定したときは、他のオプションは「無効」になります。</li> <li>実際のトレイの数が設定したトレイの数と異なる場合は、標準排紙口から出力されます。</li> </ul>	0 ~ 99	 <ul style="list-style-type: none"> <li>連携機の標準トレイから出力するときは、[0]を入力します。</li> <li>&lt;▲ボタン&gt;&lt;▼ボタン&gt;、またはテンキーを押して入力します。</li> </ul>

設定項目	設定内容	入力方法
<b>ステープル</b> [ステープル]機能がある場合に[有効]に設定します。また、[ステープル]機能が使えるトレイ No. *とステープル位置の固定・可変を設定します。	《無効》: ステープル機能なし(使用しない) 有効: ステープル機能あり 使用するトレイ No. / 固定・可変	 <p>各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、&lt;▲ボタン&gt;&lt;▼ボタン&gt;、またはテンキーを押して入力します。</p>
<b>区分積み</b> [区分積み]機能がある場合に[有効]に設定します。また、[区分積み]機能が使えるトレイ No. *を設定します。	《無効》: 区分積み機能なし(使用しない) 有効: 区分積み機能あり 使用するトレイ No.	 <p>各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、&lt;▲ボタン&gt;&lt;▼ボタン&gt;、またはテンキーを押して入力します。 入力方法は、「区分積み」「パンチ」「フェイスアップ」とも同じです。</p>
<b>パンチ</b> [パンチ]機能がある場合に[有効]に設定します。また[パンチ]機能が使えるトレイ No. *を設定します。	《無効》: パンチ機能なし(使用しない) 有効: パンチ機能あり 使用するトレイ No.	 <p>各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、&lt;▲ボタン&gt;&lt;▼ボタン&gt;、またはテンキーを押して入力します。 入力方法は、「フェイスアップ」も同じです。</p>
<b>フェイスアップ</b> [フェイスアップ]機能がある場合に[有効]に設定します。また[フェイスアップ]機能が使えるトレイ No. *を設定します。	《無効》: フェイスアップ機能なし(使用しない) 有効: フェイスアップ機能あり 使用するトレイ No.	 <p>各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、&lt;▲ボタン&gt;&lt;▼ボタン&gt;、またはテンキーを押して入力します。</p>

\* トレイ No. はお使いの Prioa の機種により異なります。

## 連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]

設定項目	設定内容	入力方法
<b>両面</b> [両面]機能がある場合に[有効]に設定します。	有効・《無効》	
<b>電子ソート</b> [電子ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>中綴じ</b> [中綴じ]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>回転ソート</b> [回転ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>AF 時自動フェイスアップ</b> [AF 時自動フェイスアップ]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>リバース出力</b> [リバース出力]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>AF 時自動リバース出力</b> [AF 時自動出力]機能があり、[リバース出力]が[有効]の場合に、[有効]に設定します。		
<b>メールボックス</b> [メールボックス]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>ソート</b> [ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。		
<b>ブックレット</b> [ブックレット]機能がある場合に[有効]に設定します。		



各ボタンにタッチするたびに、有効・無効が切り替わります。

入力方法は、[両面] [電子ソート] [中綴じ] [回転ソート] [AF 時自動フェイスアップ] [メールボックス] [ソート]とも同じです。

# 紙原稿を読み取り連携機から出力する

## [RLP モード]

本機で原稿を読み取り、連携機 Prioa からプリントするモードを「RLP モード」と呼びます。RLP モードでは、プリント枚数にかかわらず、連携機からプリントされます。

### 1 原稿をセットする

原稿台ガラス、または RISO オートフィーダー DX-1(オプション)に原稿をセットします。  
原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

### 2 RLP モードに切り替える

本機の<モード>キーを押して、RLP モードに切り替えます。  
モード選択画面から RLP 基本画面を表示する時は、<RLP 出力ボタン>にタッチしてください。

☞ P.24「画面の移り変わり」

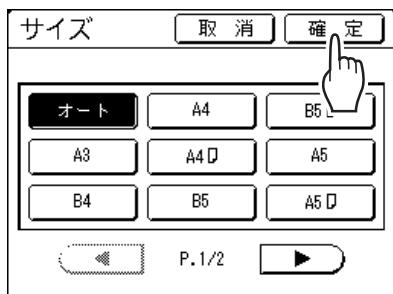


RLP 基本画面が表示されます。

#### 参考

本機のディスプレイに[ネットワークカード起動中です／Prioa の情報を取得中です しばらくお待ちください]と表示されたときは、ネットワーク経由で連携機の情報を確認している状態です。メッセージが消えるまでお待ちください。

以下の[原稿サイズ]画面が表示された場合は、原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、<確定ボタン>にタッチしてください。



### 3 用紙を指定する

連携機に用紙トレイが複数あるときは、<用紙トレイボタン>を押して、トレイ(用紙サイズ)を指定してください。

#### ① RLP 基本画面の<用紙トレイボタン>にタッチする



#### ② 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



#### ③ <確定ボタン>にタッチする

### 4 必要に応じて、プリントに必要な各種機能を設定する

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ

# 紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]

## 参考

- 連携機に両面印刷ユニットなどのオプションを装着しているときは、オプション機能を使用することができます。☞P.241「連携機のオプション機能を使う」
- 印刷の速度や濃度、位置は調節(調整)できません。
- 本機で作業をしている途中にパソコンからデータが送信されると、パソコンからのデータを優先してプリントすることがあります。  
連携機からの出力を優先させるには、[占有延長]を設定しておくことをお勧めします。設定した時間内は、パソコンからのデータは処理されません。
- ☞ P.167「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

## 5

### 印刷枚数を入力する

テンキーを使って入力します。入力枚数は、枚数カウンターに表示されます。

## 参考

入力をまちがえたときは、<C>キーを押すと消去できます。

## 6

### <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが始まります。

読み取られた原稿データは連携機に送信され、入力した枚数が連携機から出力されます。

## 参考

現在の設定をメモリーに登録しておくと、メモリーを呼び出すことで、次回以降も同じ設定でプリントできます。

☞ P.161「メモリー機能を使う [メモリー]」

## 7

### 印刷が終了したら、<リセット>キーを押す

設定が初期値に戻ります。

## 複数の連携機をネットワーク接続しているとき

複数の連携機をネットワーク接続で使用しているときは、出力先として使用する連携機を必要に応じて切り替えることができます。

- ① RLP 基本画面で、[RLP 名称] のボタンにタッチする



- ② 出力する連携機のボタンにタッチする



## 参考

- 連携機にエラーが発生している場合、その連携機は選択できません。
- RLP モード中に、選択している連携機でエラーが発生したときは、[RLP 切替]画面が表示されます。出力可能な連携機を選択しなおしてください。  
連携機の追加導入については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に相談してください。

# 連携機のオプション機能を使う

ソーターや両面印刷ユニットなど、オプションを取り付けたときに使用できる機能の設定について説明します。

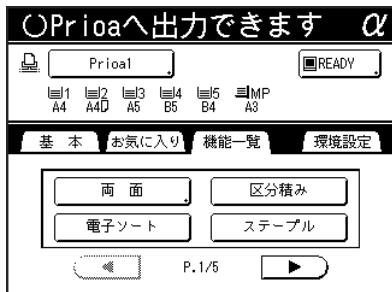
**参考**

各機能の詳細については、「Prioa 取扱説明書」をご覧ください。

## 1 RLP 基本画面で【機能一覧】タブにタッチする



## 2 設定する項目のボタンにタッチする



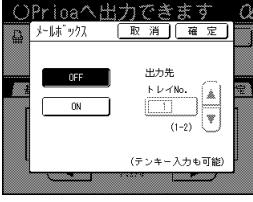
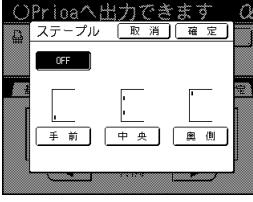
## 3 設定する

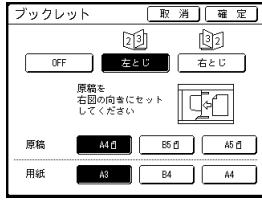
P.242「設定可能な項目一覧」を参考にして、各項目を設定してください。

## 連携機のオプション機能を使う

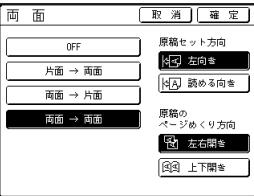
### 設定可能な項目一覧

《 》は工場出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
<b>メールボックス</b> 出力先の排紙トレイを選択します。	トレイ No.1～n([環境設定]の[排紙口数]で設定したトレイの合計数)	 ＜▲ボタン＞＜▼ボタン＞または テンキーを押して入力します。	[排紙口数]: トレイ合計数を1以上に設定  参考 [ソート]機能を [有効]に設定した 場合は、[排紙口 数]機能は設定で きません。
<b>区分積み</b> 複数ページの印刷物を1部ずつ交互にすらして排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[区分積み]: [有効]を設定したときのみ表示
<b>ステープル</b> 印刷物をとじる位置を設定します。 【固定】に設定時: ON・《OFF》 【可変】に設定時: 《OFF》・手前・中央・奥側	[環境設定]の[ステープル位置]により異なります。 【固定】に設定時: ON・《OFF》 【可変】に設定時: 《OFF》・手前・中央・奥側	 各ボタンにタッチして設定します。	[ステープル]: [有効]を設定したときのみ表示  参考 [ソート]機能または [区分積み]機能を [有効]に設定した 場合は、[ステー ブル]機能は設定 できません。
<b>パンチ</b> 印刷物にパンチ穴を開ける機能を設定します。	ON・OFF	—	[パンチ]: [有効]を設定したときのみ表示  参考 [ソート]機能または [区分積み]機能を [有効]に設定した 場合は、[パン チ]機能は設定で きません。
<b>中綴じ</b> 2つ折りで、中央を閉じた状態で印刷物を排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[中綴じ]: [有効]を設定したときのみ表示
<b>フェイスアップ</b> 印刷面を上向きにして排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[フェイスアップ]: [有効]を設定したときのみ表示
<b>リバース出力</b> RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使って読み取った原稿を、逆順にして出力する機能を設定します。	ON・OFF	—	リバース出力: [有効]に設定したときのみ表示

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
<b>ソート1</b> 複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま各トレイに仕分けして出力する機能を設定します。	ON・OFF	—	[ソート]: [有効]に設定したときのみ表示 <b>参考</b> [区分積み]機能または[メールボックス]機能または[ステープル]機能を[有効]に設定した場合は、[ソート]機能は設定できません。
<b>電子ソート</b> 複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま单一のトレイに出力する機能を設定します。	ON・OFF	—	[電子ソート]: [有効]に設定したときのみ表示
<b>回転ソート</b> 複数ページの印刷物を、一部ずつ縦横交互に排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[回転ソート]: [有効]に設定したときのみ表示
<b>ブックレット</b> 複数ページの原稿を製本する機能を設定します。	OFF・左とじ・右とじ 左とじ・右とじ設定時、原稿サイズと用紙サイズを設定します。 原稿:A4□、B5□、A5□ 用紙:A3、B4、A4	 各ボタンにタッチして設定します。	「ブックレット」: 「有効」を設定したときのみ表示

## 連携機のオプション機能を使う

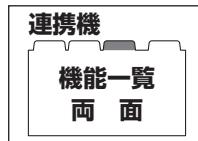
設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
<b>両面印刷</b> 用紙の両面に印刷する機能です。 本機にRISO オートフィーダーDX-1(オプション)を付けている場合と、付けていない場合で画面と入力方法が異なります。	RISO オートフィーダーDX-1 を付けたとき 《OFF》・片面→両面・ 両面→片面・ 両面→両面  <b>原稿セット方向:</b> 《左向き》・読める向き  <b>仕上がりのページめくり方向:</b> 《左右開き》・上下開き  <b>原稿のページめくり方向:</b> 《左右開き》・上下開き	RISO オートフィーダーDX-1 を付けたとき:     <p>各ボタンにタッチして設定します。</p>	



オプションの各機能は、連携機の機種やオプション構成などにより同時に設定できないものがあります。

# 両面印刷のしかた

## [両面]



両面印刷ユニット(オプション)を連携機に装着しているときは、用紙の両面に印刷することができます。

### 参考

製版または印刷の機能一覧画面でも「両面設定」が行えます。  
これらの画面で設定を行うと、設定した内容を反映して、連携機から出力されます。

### 1 機能一覧画面で<両面ボタン>にタッチする



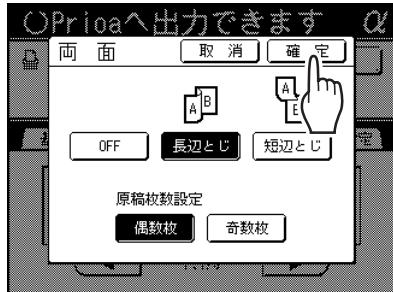
### 2 両面とじ方向を設定する

以下の表を参考に、とじ方向を設定してください。原稿のセット方向と、とじ方向の組み合わせにより、印刷物の仕上がりが異なります。

原稿のセット方向と「両面とじ方向」の関係

原稿 セット とじ方向	縦置き (ポートレート)	横置き (ランドスケープ)
長辺とじ		
短辺とじ		

### 3 <確定ボタン>にタッチする



### 参考

両面印刷を行わないときは、<OFFボタン>にタッチした後に<確定ボタン>にタッチしてください。

### 4 原稿をセットする

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

### 参考

原稿が1枚のときは、原稿台ガラスにセットしてください。

### 5 プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

### 6 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

### 参考

枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

### 7 <スタート>キーを押す

原稿台ガラスにセットしたときとRISOオートフィーダーDX-1にセットしたときとでは、以下の操作手順が異なります。

以下の手順に従って操作を行ってください。

## 両面印刷のしかた [両面]

### ■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2枚目の原稿をセットし、<スタート>キーを押す。



表裏両方のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順5～8を繰り返します。



1枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP両面待ち時間」で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。



- 2枚目の原稿をセットしないで<スタート>キーを押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
  - 原稿モード
  - 読取濃度
  - 変倍
  - 網点・コントラスト強調
  - トーンカーブ選択

### ■ RISO オートフィーダーDX-1 にセットしたとき

セットした一番上の原稿から読み取りが始まります。原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

## RISO オートフィーダーDX-1 を装着している場合

本機に RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を装着しているときに、両面原稿の読み取りができます。

### ■ 原稿のセット方向・ページめくり方向と出てくる印刷物の状態の関係

原稿セット方向 ..... 本機の前に立って原稿をセットするときの、原稿の向きを示します。

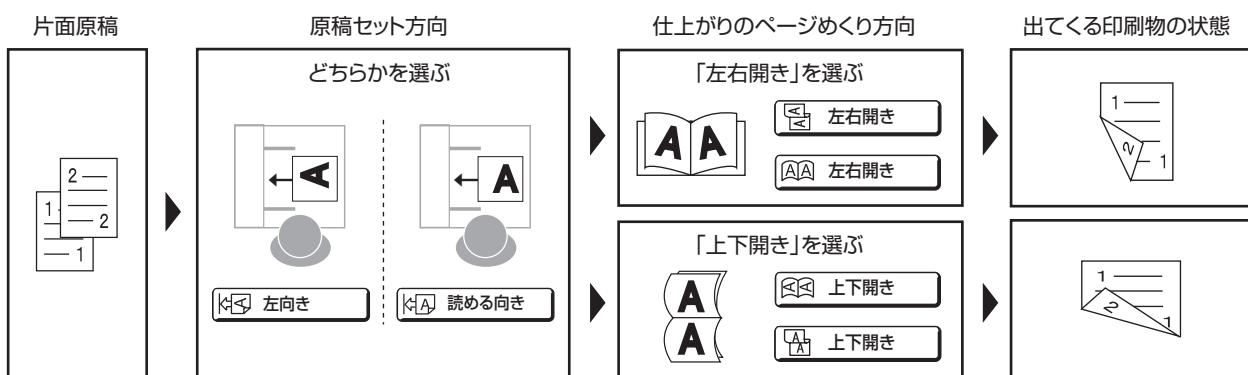
ページめくり方向 ..... 原稿(または仕上がり時)の綴じ方向を示します。

画面上のボタンアイコンは、原稿セット方向を基準にしたときの図になっています。

#### 片面→両面 (連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着時)

片面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。

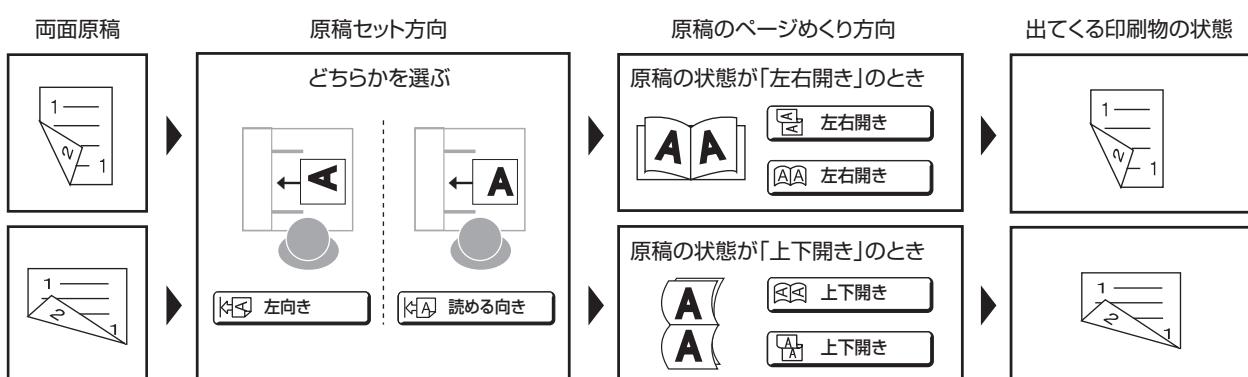
原稿は、オモテ面を上向きにセットしてください。



#### 両面→両面 (連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着時)

両面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。

RISO オートフィーダーDX-1 にセットした原稿の上面(オモテ面)→下面(ウラ面)の順に読み取られます。



## 両面印刷のしかた【両面】

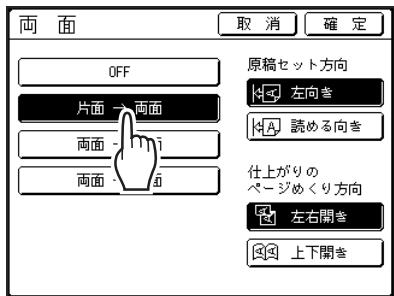
1

機能一覧画面で<両面ボタン>にタッチする



2

片面／両面の種類を選択する

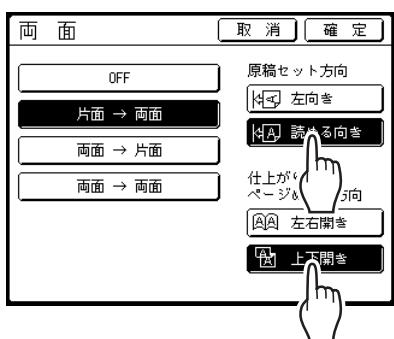


参考

- 原稿台ガラスにセットするときは、[片面→両面]にタッチしてください。
- 連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着していないときは、[片面→両面]、[両面→両面]はグレー表示されタッチできません。

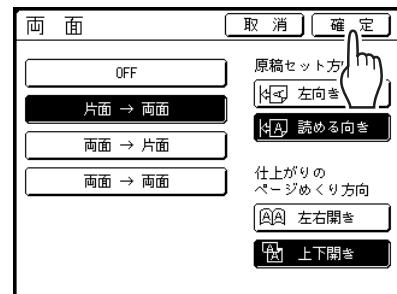
3

「原稿のセット方向」「ページめくり方向」を設定する



4

<確定ボタン>にタッチする



参考

両面印刷を行わないときは、<OFFボタン>にタッチした後に<確定ボタン>にタッチしてください。

5

原稿をセットする

原稿台ガラス、またはRISOオートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.43「原稿をセットする」をご覧ください。

6

プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

7

テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力を間違えたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

8

<スタート>キーを押す

原稿台ガラスにセットしたときとRISOオートフィーダーDX-1にセットしたときとでは、以降の操作手順が異なります。

**重要**

原稿台ガラスと RISO オートフィーダーDX-1 を併用して、原稿読み取りを行うことはできません。

**■ 原稿台ガラスにセットしたとき**

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2 枚目の原稿をセットし、<スタート>キーを押す



表裏両面のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順 5 ~ 8 を繰り返します。

**重要**

1 枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP 両面待ち時間」で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。

**参考**

- 2 枚目の原稿をセットしないで <スタート> キーを押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2 枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
  - 原稿モード
  - 読取濃度
  - 変倍
  - 網点
  - コントラスト強調
  - トーンカーブ選択

**■ RISO オートフィーダーDX-1 にセットしたとき**

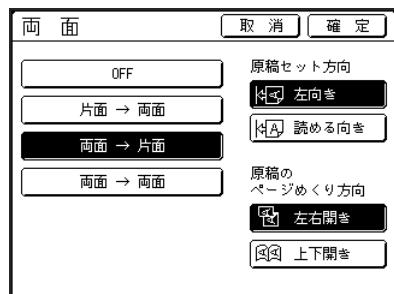
セットした一番上の原稿のオモテ面から読み取りが始まります。

原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

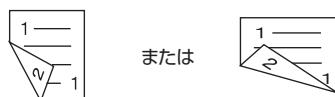
**両面原稿を片面に印刷する場合**

RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を装着している場合、両面原稿を読み取って片面に印刷することができます。

[両面]画面で [両面 → 片面] を設定し、印刷を行ってください。



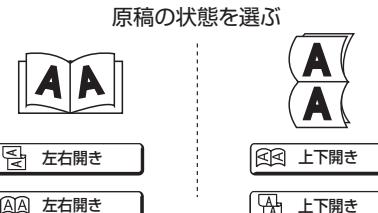
両面原稿



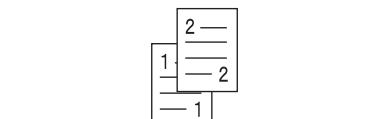
原稿セット方向



原稿のページめくり方向



出てくる印刷物の状態





連携機 Priora (定期) を接続して使う

# 消耗品を交換する

- 252 消耗品の残量を確認する
- 253 マスター交換のしかた
- 256 インクボトル交換のしかた
- 258 排版ボックスのマスターの処理
- 260 ドラムのセット（カラーチェンジ）
- 262 使用済み消耗品の回収、廃棄について

# 消耗品の残量を確認する

インクやマスター、排版ボックスの空き容量の確認ができます。

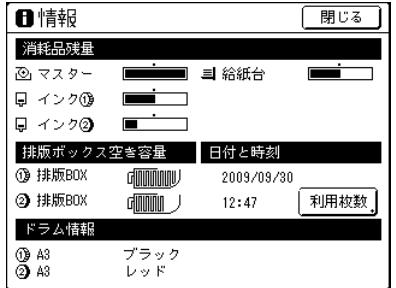
**参考**

- ・残量検知が正しくできない場合には、残量が表示されないことがあります。
- ・残量は目安であり正確な数値ではありません。

## 1 基本画面で<情報ボタン>にタッチする



## 2 消耗品の残量を確認する



各消耗品の残量が少なくなったら、早めに消耗品の在庫をご確認ください。

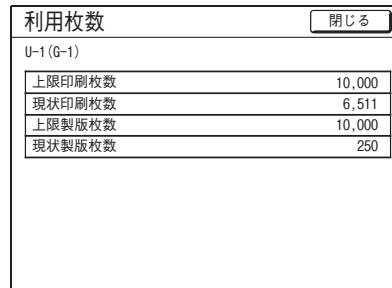
- ・マスター( P.253)
- ・インク( P.256)
- ・排版(使用済みマスターの処理)( P.258)

### 表示の内容

表示	内容
	黒色の部分が残量を示します。 例)  : 残量約 10%
(不明) 「---」、表示無し	消耗品の情報が取得できない、セットされていないなどを示します。

### [利用枚数]画面について

本機が認証状態にある場合、<利用枚数ボタン>にタッチして[利用枚数]画面を表示することができます。[利用枚数]画面では、現在認証しているユーザーの上限印刷／製版枚数、現状印刷／製版枚数を確認できます。上限印刷／製版枚数は、管理者によって設定されています。詳しくは、管理者へお問い合わせください。



**参考**

### <情報ボタン>について

<情報ボタン>の**■**アイコンは、消耗品から得たマッチング情報の状態を表しています。本機が読み取った消耗品の情報により、**■**アイコンは次のように表示されます。

- ・(消耗品から)マッチング情報を適切に取得できたとき**■**(表示)
- ・(消耗品から)マッチング情報を適切に取得できなかったとき**■**(グレー表示)
- アイコンがグレー表示のときは、マスター・インクの残量は表示されません。

マスターやインクの残量が少なくなると、ボタンの右側に**■**(マスター)または**■**(インク)が点滅して、交換時期が近いことをお知らせします。

**参考**

消耗品からマッチング情報を適切に取得できなかったときは、適切な設定値を入力する必要があります。

( P.292「消耗品情報入力画面が表示されたときは」)

# マスター交換のしかた

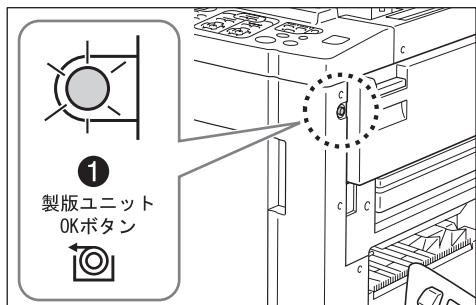
マスターがなくなると、メッセージが表示されて本機が停止します。新しいマスターと交換してください。



- マスターは当社指定の本機専用マスターでのご使用をお勧めします。(P.304「消耗品について」)
- マスター交換は、本機の電源を入れた状態で行ってください。

## 1 製版ユニットOKボタンの点灯を確認する

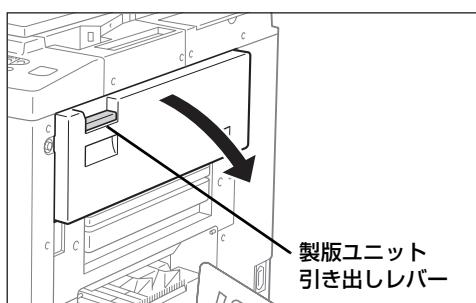
ランプが消えているときは、製版ユニットOKボタンを押して点灯させます。



ドラムを引き出しているときは、製版ユニットは引き出せません。ドラムを戻してから製版ユニットOKボタンを押してください。  
(P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」)

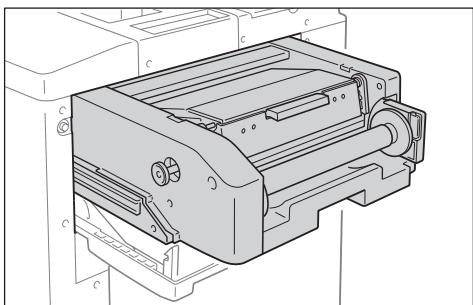
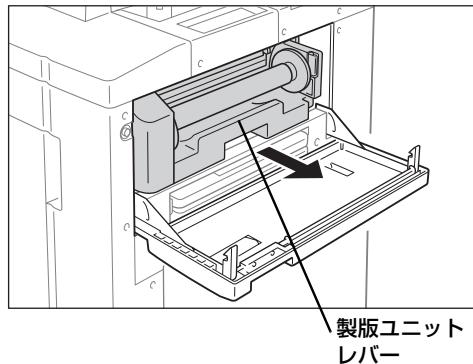
## 2 製版ユニット引き出しカバーを開く

製版ユニット引き出しレバーを握って、手前に開きます。



## 3 製版ユニットを引き出す

製版ユニットレバーを握って、手前に引きます。

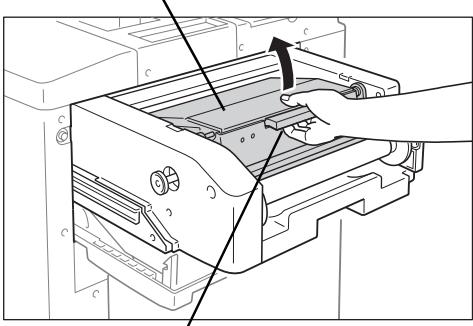


製版ユニットが止まるまでゆっくりと引き出してください。

## 4 製版ユニットカバーを開ける

製版ユニットカバーレバーを握りながら、製版ユニットカバーを上に開けます。

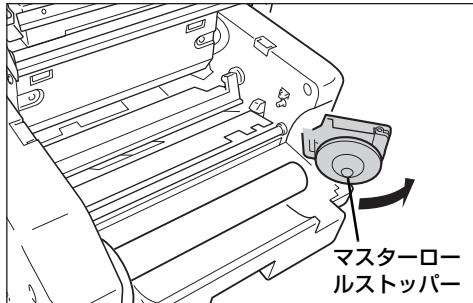
製版ユニットカバー



## マスター交換のしかた

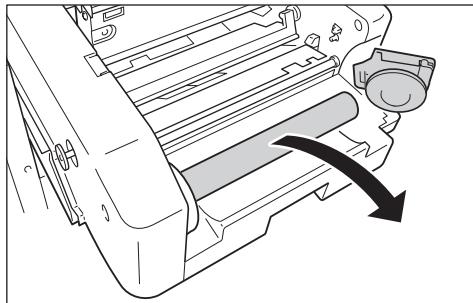
5

マスター ロールストッパーを開ける



6

使用済みのマスター芯を外す



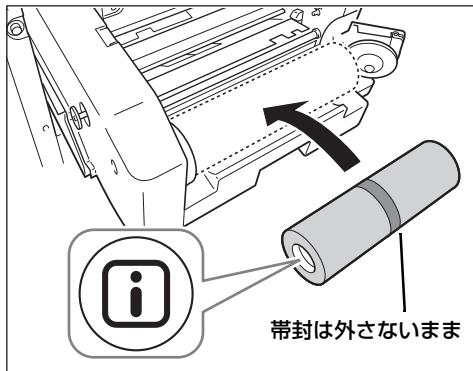
使用済みのマスター芯は、各自治体の規制に従って廃棄してください。

→ P.262「使用済み消耗品の回収、廃棄について」

7

新しいマスターをセットする

新しいマスターのシュリンク包装(透明フィルム)を取り除き、**i**マークがある方を左側にしてセットします。

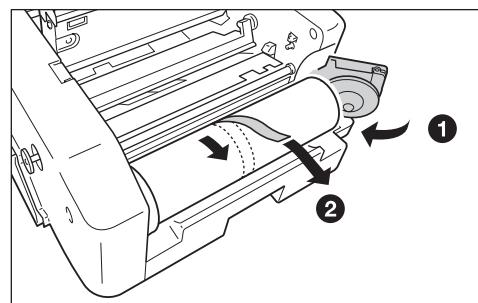


- ・シュリンク包装を取るときは、**i**部分に傷を付けないように注意してください。**i**部分が折れ曲がったりミシン目が切れてしまうと、そのマスターは使用できなくなります。
- ・帯封は、まだ外さないでください。

8

マスター ロールストッパーを閉める

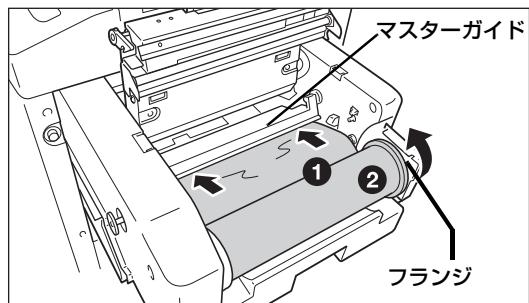
マスター ロールストッパーを閉めた後、帯封を外します。



9

マスターの先端をガイドの下に差し込む

マスター ガイドの下にマスターの先端を奥にあたるまで差し込み(①)、右のフランジを奥側に回してたるみを巻き戻します(②)。



### マスターが差し込めないとき

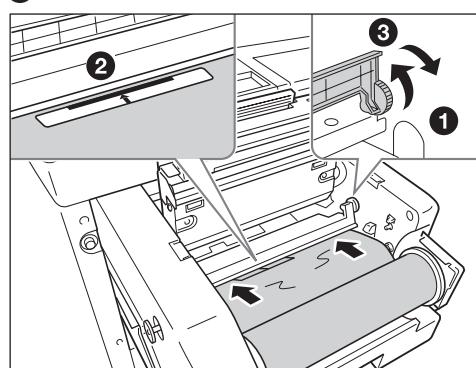
次の手順でマスターを差し込んでください。

① マスター ガイドを上げる

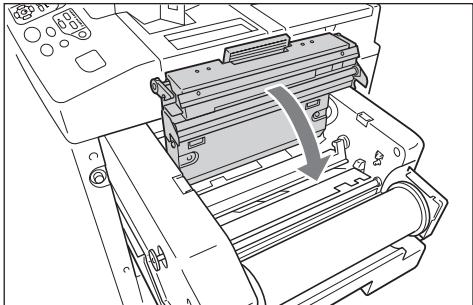
マスター ガイド端のダイヤル部分を奥側に回し、マスター ガイドを上げます。

② マスターを矢印の先のラインまで引き出す

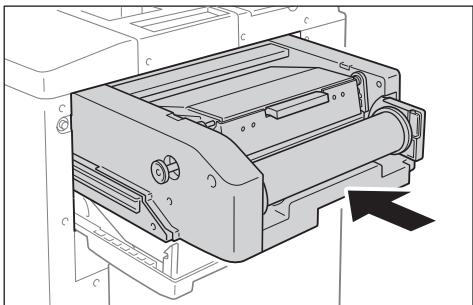
③ マスター ガイドを戻す



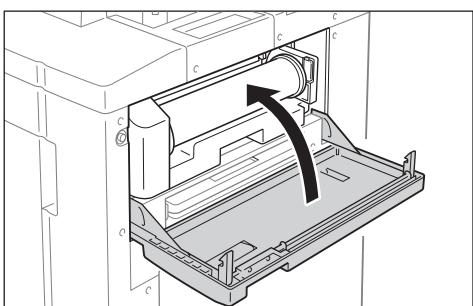
## 10 各部をもとに戻す



製版ユニットカバーを閉めます。



製版ユニットをピッと音が鳴る位置まで、ゆっくりと戻します。



製版ユニット引き出しカバーを閉めます。

# インクボトル交換のしかた

インクがなくなると、メッセージが表示されて本機が停止します。新しいインクボトルと交換してください。

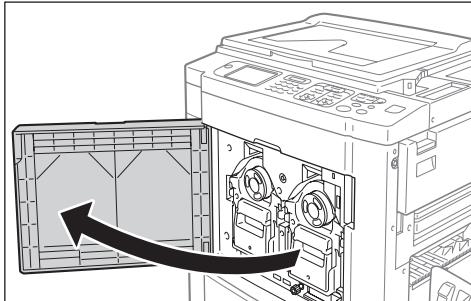
**△注意** ドラム周辺にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないようご注意ください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

- 重要**
- ・インクボトルは、当社指定の本機専用インク※のご使用をお勧めします。(P.304「消耗品について」)
  - ・インク交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。
  - ・必ず同じ色のインクボトルと交換してください。インクの色を換えるときは、ドラムごと交換してください。(P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」)

※当インクは、(財)日本環境協会が制定するデジタル印刷機のエコマーク認定基準の、インクに関する全ての認定の基準に準拠しています。

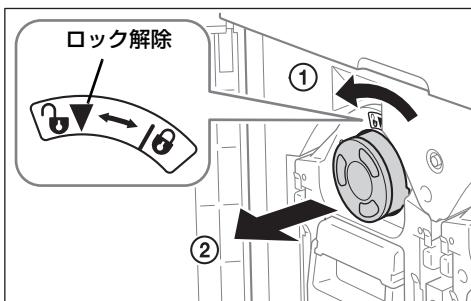
インクボトルの交換手順は、ドラム1とドラム2どちらも同じです。ここでは、ドラム1の場合で説明します。

## 1 前カバーを開く



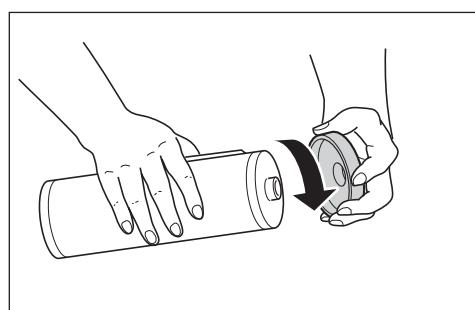
## 2 使用済みのインクボトルを引き抜く

インクボトルを左(①)方向に回してから(②)、手前に引き抜きます(②)。

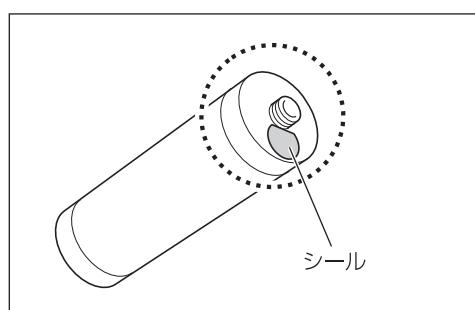


## 3 新しいインクボトルのキャップを外す

インクボトルのキャップを回して外します。

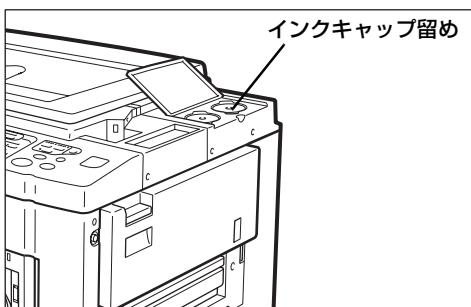


インクボトル口の周辺に触れたり、衝撃を与えないようにしてください。  
また、インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。



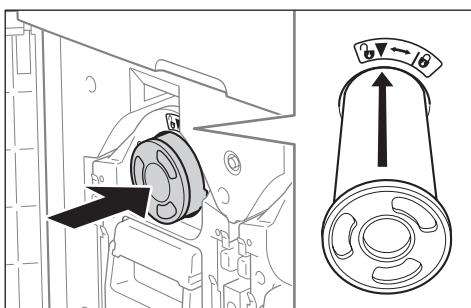
## 参考

インクボトルから外したキャップは、原稿台横のインクキャップ留めに置くことができます。



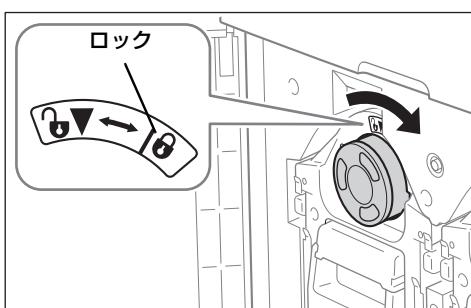
#### 4 新しいインクボトルをセットする

インクボトルの矢印部分をドラムユニットの▼に合わせ、奥にあたるまで差し込みます。

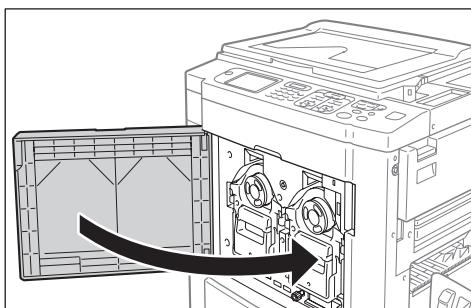


#### 5 インクボトルをロックする

インクボトルを右方向(锁定)に回して、ロックします。



#### 6 前カバーを閉じる



# 排版ボックスのマスターの処理

使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。排版ボックスの容量がいっぱいになると、メッセージが表示されて本機が停止します。使用済みのマスターを廃棄してください。

**△注意** 作業中、手などにインクが付いたときは、早めに洗剤で洗い落としてください。

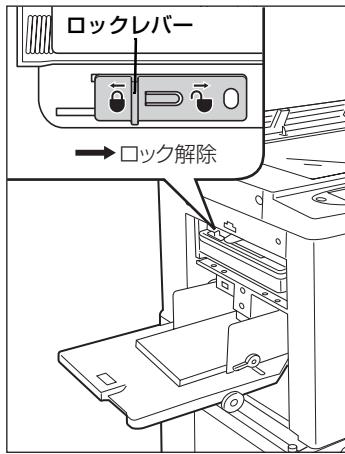


- ・排版ボックスは、使用済みのマスターの流出を防ぐために、市販の南京錠を取り付けられるようになっています。南京錠を取り付けて、排版ボックスの管理をしている場合、マスターを廃棄する際には管理者に連絡してください。
- ・「プロテクト」機能が「ON」に設定されている場合は、【排版ボックスがいっぱいになりました】または【排版部にマスターがつきました】のメッセージが表示されたときのみ、排版ボックスを引き出すことができます。  
→ P.199「印刷済みのマスターを安全に管理する【プロテクト】」

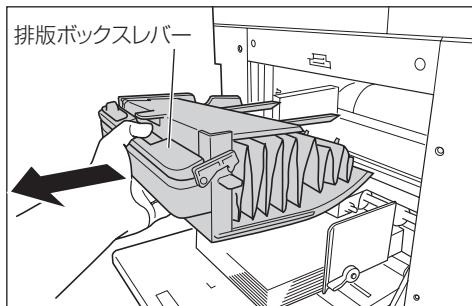
本機には、ドラム 1 用とドラム 2 用の 2 つの排版ボックスがあります。作業の手順はどちらも同じです。ここでは、ドラム 1 用の排版ボックスで説明します。

## 1 排版ボックスを外す

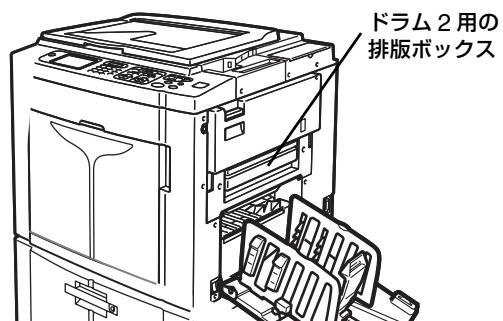
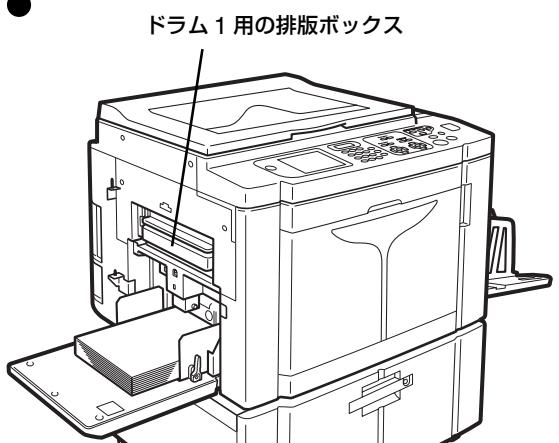
- ① 排版ボックスレバーがロックされている場合は、ロックレバーを右にスライドして、ロックを解除します。



- ② 排版ボックスレバーを握りながら、排版ボックスを手前に引き出します。

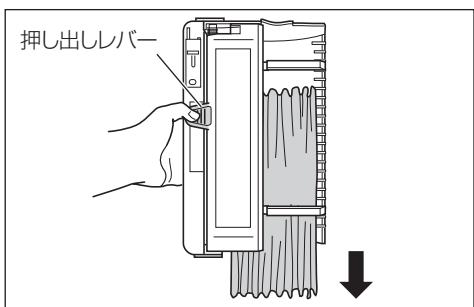


排版ボックスが施錠されている場合は、管理者に連絡して南京錠を開錠してください。

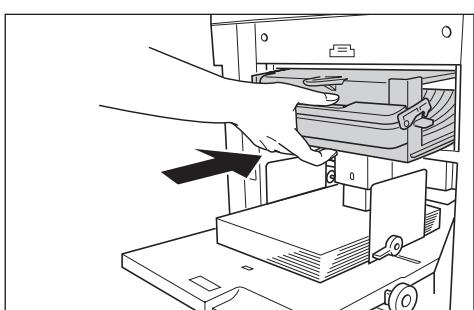


**2****使用済みマスターを捨てる**

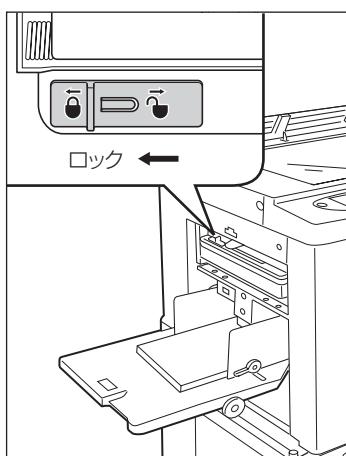
排版ボックスを手前に傾け、押し出しレバーを握って、中の使用済みマスターを捨てます。

**3****排版ボックスをセットする**

排版ボックスを奥にあたるまで差し込みます。

**参考**

- 必要に応じて、排版ボックスロックレバーを左にスライドしてロックし、南京錠で施錠してください。
- P.199「印刷済みのマスターを安全に管理する〔プロテクト〕」



- 使用済みのマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。
- P.262「使用済み消耗品の回収、廃棄について」

# ドラムのセット(カラーチェンジ)

他の色で印刷するためにカラードラムを交換するときや、つまった紙を取り除くときは、ドラムを本体から外します。カラードラムは、オプションの専用カラードラムをご使用ください。

**△注意** ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。



- ・ドラムは必ず当社指定の本機専用カラードラムを使用してください。
- ・ドラムの引き出しやセットは、必ず本機の電源を入れた状態で行ってください。
- ・交換したドラムは必ずドラムケースに入れて水平に保管してください。

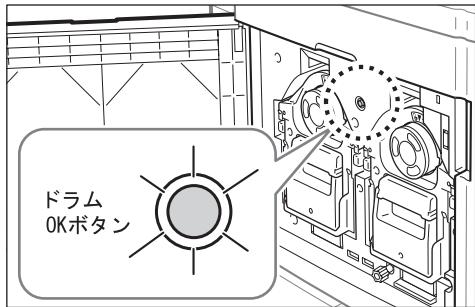
## ドラムの取り出しかた

ドラムの交換手順は、ドラム 1 とドラム 2 どちらも同じです。ここでは、ドラム 1 の場合で説明します。

### 1 前カバーを開ける

### 2 ドラム OK ボタンの点灯を確認する

ランプが消えているときは、ドラム OK ボタンを押して点灯させます。

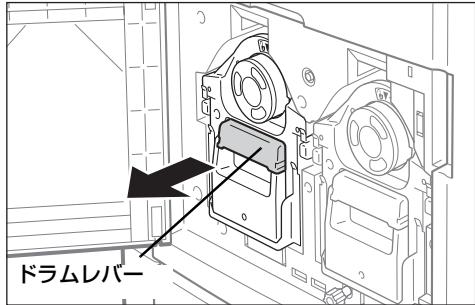


製版ユニットを引き出しているときは、ドラムは引き出せません。製版ユニットを戻してからドラム OK ボタンを押してください。

(☞ P.253「マスター交換のしかた」)

### 3 ドラムを引き出す

ドラムレバーを握りながら、ドラムが止まるまで手前に引きます。



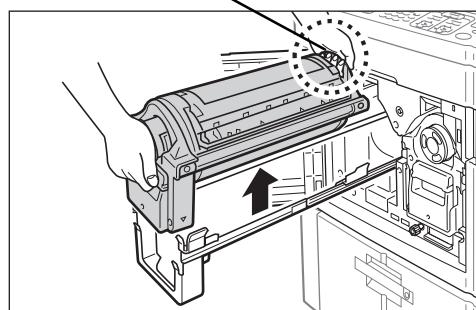
## 4

### ドラムを外す

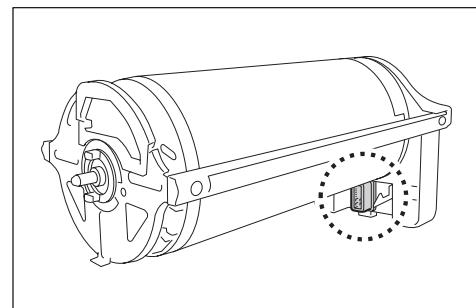
ドラムを両手で真上に持ち上げレールから外します。

ドラムの交換、紙詰まりの処理などを行います。

みどり色のハンドルを  
しっかりと握る



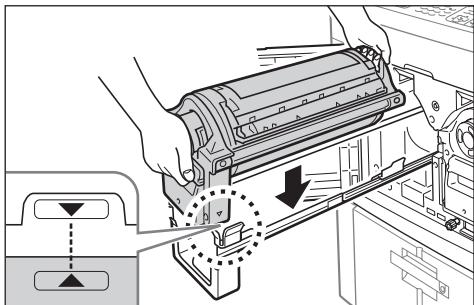
ドラムのコネクタには触れないでください。静電気などによりドラム故障の原因になることがあります。



## ドラムのセットのしかた

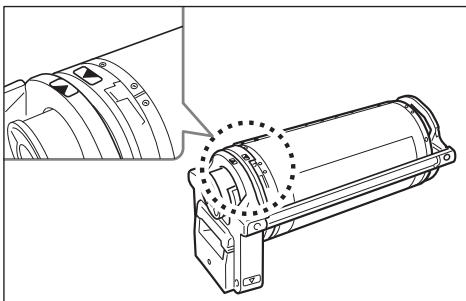
### 1 ドラムをレールにセットする

ドラムの▼マークとレールの▲マークを合わせて、ドラムをレールに水平に取り付けます。



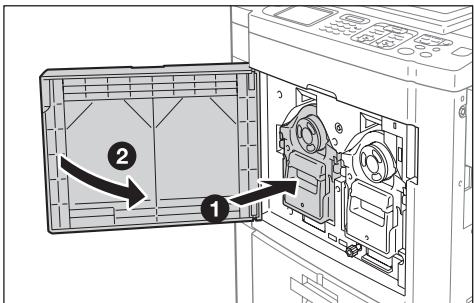
#### 参考

手動でドラムを回転させたときは、作業後、必ず  
▶マークと◀マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。



### 2 ドラムを本体に戻す

ドラムを奥に止まるまで押し込み、前カバーを閉めます。

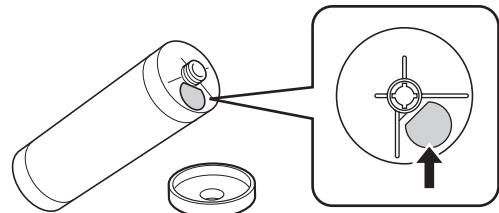


ドラムレバーを握った状態で押し込まないでください。

# 使用済み消耗品の回収、廃棄について

## ■ インクボトル

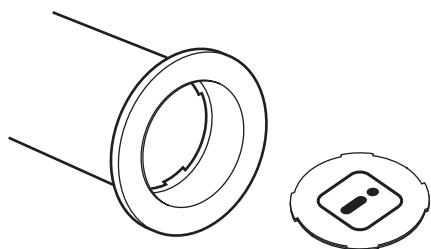
使用済みのインクボトルの回収システムがあります。詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。廃棄する場合は、各自治体の規制に従ってください。  
分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。  
インクボトル口の金属を含むシールを、矢印部分からはがして分別してください。  
インクボトルの口は、インクで汚れていることがありますので、手や衣服などを汚さないように注意してください。



部品名	材質
インクボトル・キャップ	プラスチック(ポリプロピレン・ポリエチレン)
シール	金属を含むプラスチック
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

## ■ マスター芯

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。  
①マークが型押しされている部分の裏面に金属を含むシールが付いています。  
ミシン目から切り取り、分別してください。



部品名	材質
芯	紙
マスター	プラスチック・和紙
①を切り取った部分	金属を含むプラスチック・紙

## ■ 排版されたマスター

使用済みの排版されたマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。

部品名	材質(成分)
マスター	プラスチック・和紙
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

### 参考

成分は炭素と水素の化合物ですので、完全燃焼すれば水と炭酸ガスになります。

# お手入れ

- 264 クリーナーについて
- 265 お手入れのしかた

# クリーナーについて

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーを紹介します。  
クリーナーを使用するときは、各クリーナーの注意書きをよく読んでから使用してください。

## △注意

- お手入れに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。
- クリーナーを使用後は必ず手を洗ってください。

## ■ 理想ステージクリーナー

エチルアルコールを含ませた不織布シートです。  
原稿台ガラスなどの汚れをきれいに落とせます(1箱20袋入)。



## ■ 理想サーマルヘッドクリーナー

ペンタイプの使いやすいクリーナーです。  
サーマルヘッドの発熱部にペン先をあて、なでるように拭き取る  
だけで汚れをきれいに落とせます。  
トルエン、キシレン類の溶剤は使用しておりません。



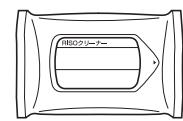
## ■ リソグラフクリーナー

本体外装部の清掃に最適です。  
塗装面に直接スプレーし、柔らかい布や紙で拭き取ります。  
清掃後は汚れの付着を防止する効果もあります。



## ■ RISO クリーナー(ティッシュタイプ)

本体外装部や原稿台ガラスなどの清掃にご使用いただける、  
ティッシュタイプのクリーナーです。



# お手入れのしかた

製版ユニットのサーマルヘッドや RISO オートフィーダーDX-1(オプション)のスキャナーガラス、ホワイトローラーなどに、ほこりやゴミ、インク、修正液などが付くと、プリントの仕上がりが汚れたりかすれたりすることがあります。

次の方法で、定期的にお手入れすることをおすすめします。

## △注意

記載されている以外の作業(調整や修理など)は行わないでください。

調整や修理は必ずお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)に依頼してください。

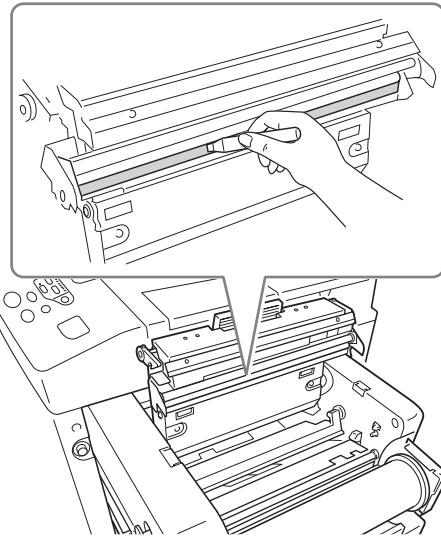
## ■ サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドは、マスター交換時(1ロールごと)にクリーニングしてください。

製版ユニットカバーを開けて、奥にあるサーマルヘッドを、理想サーマルヘッドクリーナーで数回軽くこります。



- サーマルヘッドは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。
- サーマルヘッドは静電気に弱い部分です。清掃する前に、必ず身体に帯電している静電気を除去してください。

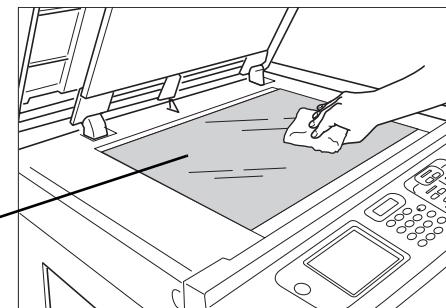


## ■ 原稿台ガラスと原稿パッド

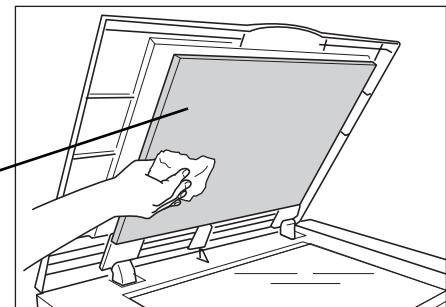
原稿台ガラスや原稿パッドが汚れているときは、理想ステージクリーナーで数回軽く拭いてください。



- 原稿台ガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。



原稿台ガラス



原稿パッド

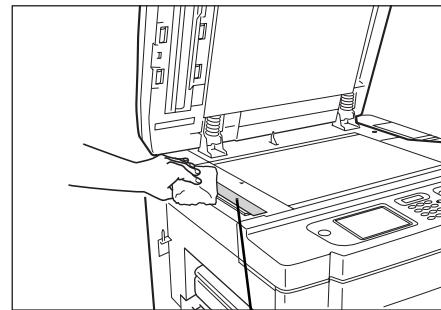
## お手入れのしかた

### ■ RISO オートフィーダーDX-1(オプション)のスキャナーガラスとホワイト板

スキャナーガラスとホワイト板を、柔らかい布やティッシュペーパーで軽くこすり汚れを落とします。

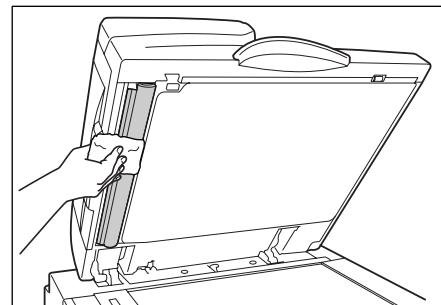
#### 参考

スキャナーガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。



スキャナーガラス

- RISO オートフィーダーDX-1(オプション)の場合  
ホワイトローラーを拭いてください。

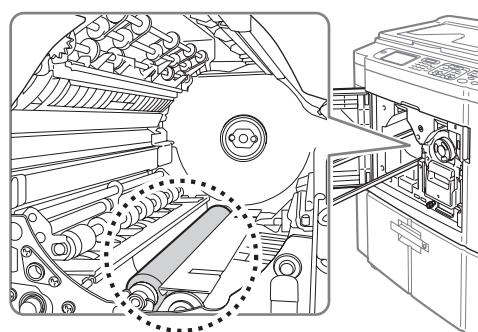


### ■ プレスローラー

ドラムユニットに用紙を圧着させるプレスローラーが汚れていると、用紙の裏に帯状の汚れが付くことがあります。

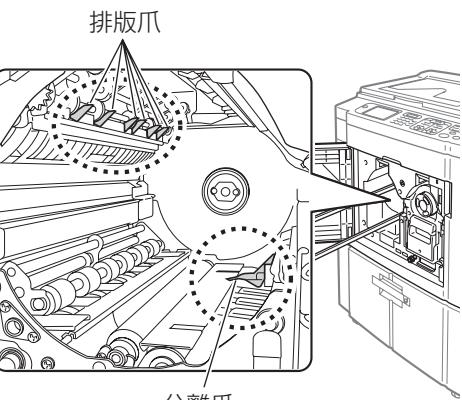
理想ステージクリーナーで軽く拭いてください。

ドラムを取り出す方法は、P.260 を参照してください。



#### △注意

- プレスローラーの清掃時には必ず本機の電源を切ってください。
- 本体内部に手を入れるときは、分離爪に触れないよう注意してください。分離爪の先端は鋭利なため、けがの原因になることがあります。
- ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。



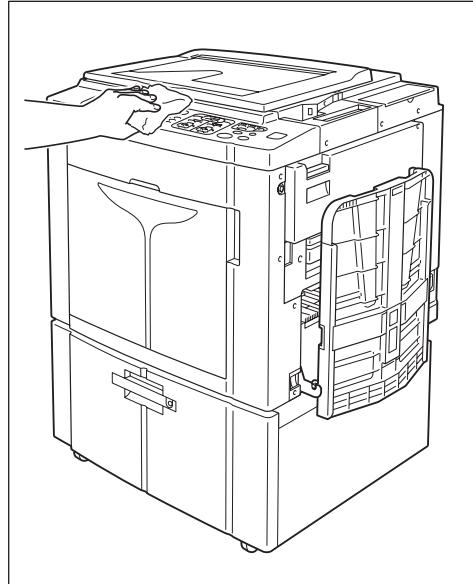
## ■ 外装部

本体にほこりなどが付くのを防ぐため、定期的に全体を柔らかい布で軽く拭いてください。

また、汚れ落としには RISO クリーナー(ティッシュタイプ)またはリソグラフクリーナーを使用してください。

### 重要

- 本体の外装にはプラスチックを使用しているのでアルコールや溶剤系の洗剤のご使用は絶対におやめください。
- ディスプレイ部の汚れは、通常、乾いた布で軽く拭き取ります。インクなどで汚れたときは、布などに少量のクリーナーを付けて軽く拭き取ってください。ディスプレイに直接クリーナーを吹きかけたり塗布したりしないでください。故障の原因になります。





# こんなときには

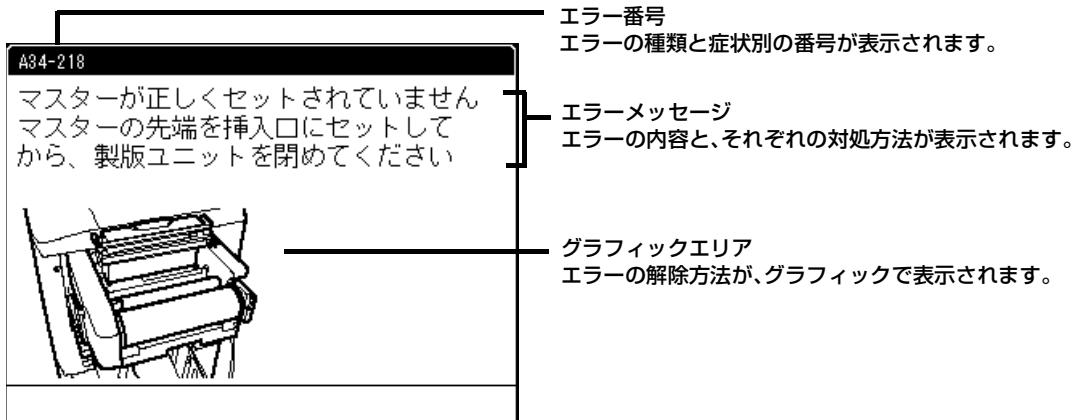
- 270 メッセージが表示されたときは
- 295 「故障？」と思ったとき

# メッセージが表示されたときは

ディスプレイにメッセージが表示され本機の動作が停止したときは、次の表から原因を確認し、対処してください。

## エラーメッセージの見かた

エラーの種類に応じて、メッセージとエラーグラフィックで対処方法が表示されます。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
T00 - 000	サービスエラー	サービスマンによる点検・修理が必要なエラーです。 サービスエラーが発生したときには、エラー番号を販売会社（または保守・サービス会社）に連絡してください。	P.271
A00 - 000	ジャムエラー	マスターなどがつまつたときに表示されます。	P.271
B00 - 000	オプションエラー	接続しているオプション側でエラーが発生したときに表示されます。	P.272
C00 - 000	消耗品エラー	インク、マスターなどの消耗品がなくなったときに表示されます。	P.273
D00 - 000	セット確認エラー	各部のセットが正しくされていないときに表示されます。	P.274
J00 - 000	通紙ジャムエラー	原稿および用紙がつまつたときに表示されます。	P.276

## ■ T00-000: サービスエラー(50 音順)

表示	原因	対処
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	本機内部の電池が切れました。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 ☞「アフターサービスについて」 エラーメッセージを消すには、<トップ>キーまたは<リセット>キーを押してください。
【トラブルが発生しました 電源を入れ直してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】	トラブルが発生しました。	電源を入れなおしてください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【トラブルが発生しました リセットキーを押してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】		<リセット>キーを押してください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

## ■ A00-000: ジャムエラー(50 音順)

表示	原因	対処
【紙がつまりました 点滅している場所を確認し、用紙を取り除いてから、確認ボタンを押してください】	点滅している箇所で紙がつまっています。	<p>① つまっている紙を取り除いてください。          ② &lt;リセット&gt;キーまたは&lt;確認ボタン&gt;を押してください。</p>
【給紙台の安全スイッチが働きました 給紙台の用紙を再セットしてください】	給紙台の安全スイッチが働きました。	給紙台の下や用紙の上に障害物がないか確認してください。障害物があれば、取り除いてください。
【製版ユニットでトラブルが発生しました マスターをいったん取り出して製版ユニットカバーを閉めてください】	マスターを切るカッターが正常に動作しませんでした。	<p>① 製版ユニットを引き出し、マスターを取り出してください。          ☞ P.253「マスター交換のしかた」</p> <p>② 製版ユニットカバーを閉めると、リセットされます。再度マスターをセットしてください。</p>
【着版できませんでした ドラムを引き出して、マスターを取り除いてください】	マスターがドラムに正しく巻き付けられませんでした。	<p>① ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。          ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」</p> <p>② ドラムをセットしなおしてください。          ③ &lt;スタート&gt;キーを押してください。</p>
【ドラムにマスターが残っています ドラムを引き出して、マスターを取り除いてください】	ドラム上に不要なマスターが残っています。	<p>① ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。          ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」</p> <p>② ドラムをセットしなおしてください。          ③ &lt;スタート&gt;キーを押してください。</p>
【排版できませんでした ドラムを引き出して、マスターを取り除いてください】	マスターが排版されていません。	<p>① ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。          マスターがドラムに巻き付いていない場合は、引き出したドラムの排版部を確認し、マスターを取り除いてください。          ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」</p> <p>② ドラムをセットしなおしてください。          ③ &lt;スタート&gt;キーを押してください。</p>

## メッセージが表示されたときは

表示	原因	対処
【排版部にマスターがつまりました 排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを取り除いてください】	排版ユニット部にマスターがつまっています。	排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを取り除いてください。 取り除きにくい場合は、ドラムを引き出してから、マスターを取り除いてください。 ☞ P.258「排版ボックスのマスターの処理」 ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 それでもディスプレイのエラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にご連絡ください。
【マスターが正しくセットされていません マスターの先端を挿入口にセットしてから、 製版ユニットを閉めてください】	マスターがセットされていないか、正しくセットされていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを正しくセットしてください。 ☞ P.253「マスター交換のしかた」  <b>重要</b> 巻き戻したマスターがしわになっていたり切れているときは、先端をまっすぐに切り取ってからセットしてください。
【マスターがつまりました 製版ユニットを引き出してマスターを巻き戻し、もう一度セットしてください】	マスターが正しくセットされていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを巻き戻してセットしなおしてください。 ☞ P.253「マスター交換のしかた」

### ■ B00-000: オプションエラー(50音順)

表示	原因	対処
【Prioa が認識できません Prioa が接続されていないか、 電源が入っていない可能性があります 確認してください】	連携機(Prioa)の電源が入っていないか、ケーブルが正しく接続されていないか、断線している可能性があります。	連携機(Prioa)の電源を確認してください。 また、連携機(Prioa)や本機のケーブルがハブなどに正しく接続されていることを確認してください。接続に異常がない場合は、サーバーやネットワークの通信状態を確認し、サーバーやネットワークの管理者に相談してください。
【Prioa でエラーが発生しています】	連携機(Prioa)でサービスコールエラーが発生しています。	連携機(Prioa)側を確認し、エラーを解除してください。
【Prioa のトナーがありません】	連携機(Prioa)のトナーがありません。	連携機(Prioa)のトナーを交換してください。
【ST ソーターのテープがつまりました つまっているテープを取り除いてください】	ST ソーター(オプション)にテープがつまりました。	ST ソーターを確認し、つまっているテープを取り除いてください。
【ST ソーターのテープがなくなりました 新しいテープをセットしてください】	ST ソーター(オプション)のテープがなくなりました。	ST ソーターに新しいテープをセットしてください。
【ST ソーターの電源が入っていません 電源を入れてください】	ST ソーター(オプション)の電源が入っていません。	ST ソーターの電源を入れてください。
【カードカウンターのカードをセットしてください】	カードカウンター(オプション)にカードがセットされていません。	カードカウンターにカードをセットしてください。
【トラブルが発生しました 電源を入れ直してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】	トラブルが発生しました。	電源を入れなおすください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

表 示	原 因	対 処
【認識できませんでした】	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB スロットに、USB メモリ以外のものがセットされています。</li> <li>USB スロットに、故障している USB メモリがセットされています。</li> <li>USB スロットに、本機に対応していない USB メモリがセットされています。</li> </ul>	<p>本機に対応している正常な USB メモリをセットしてください。</p> <p>☞ P.15「USB メモリについて」</p>
【認識できませんでした(HUB)】	USB スロットに USB ハブがセットされています。	<p>本機に対応している正常な USB メモリをセットしてください。</p> <p>☞ P.15「USB メモリについて」</p>
【本機 IP アドレスが設定されていません 管理者に連絡してください】	本機の IP アドレスの設定が完了していません。	<p>システム管理者に連絡し、本機の IP アドレスを設定してください。</p> <p>☞ P.187「初期設定を変更する [環境設定]／本機 IP アドレス設定」</p>

## ■ C00-000: 消耗品エラー(50 音順)

表 示	原 因	対 処
【インクがなくなりました 新しいインクに交換してください】	インクがなくなっています。	<p>新しいインクボトルに交換し、正しくセットしてください。</p> <p>インクは専用のものをご使用ください。</p> <p>☞ P.256「インクボトル交換のしかた」</p> <p><b>重要</b> 交換後も表示が消えないときは、インクボトルが正しくセットされているか確認してください。</p>
【排版ボックスがいっぱいになりました 排版ボックスのマスターを捨ててください】	排版ボックスがいっぱいになりました。	<p>排版ボックス内のマスターを捨ててください。</p> <p>☞ P.258「排版ボックスのマスターの処理」</p>
【マスターがなくなりました 新しいマスターに交換してください】	マスターがなくなっています。	<p>新しいマスターをセットしてください。</p> <p>マスターは専用のものをご使用ください。</p> <p>☞ P.253「マスター交換のしかた」</p>
【用紙をセットしてください】	給紙台の用紙がなくなっています。	<p>給紙台に用紙をセットしてください。</p> <p>☞ P.40「給紙台と用紙のセット」</p>
【両側の排版ボックスがいっぱいになりました 両側の排版ボックスのマスターを捨ててください】	排版ボックスがいっぱいになりました。	<p>排版ボックス内のマスターを捨ててください。</p> <p>☞ P.258「排版ボックスのマスターの処理」</p> <p>新しいマスターをセットしてください。</p>

## メッセージが表示されたときは

### ■ D00-000: セット確認エラー(50音順)

表示	原因	対処
【2色指定のジョブを受信しました ドラムをセットしてください 色指定: ドラム(指定カラー名称)】	指定されているカラーの ドラムがセットされてい ません。	カラーを確認し、ドラムをセットしてください。
【AF 紙給紙カバーを閉めてください】	RISO オートフィーダー DX-1(オプション)の AF 紙給紙カバーが開いている か、または正しくセット されていません。	AF 紙給紙カバーを確認し、しっかりと閉じてください。
【インクボトルが違います 正しいボトルをセットしてください】	違うインクボトルがセッ トされています。	正しいインクボトルをセットしてください。 ☞ P.256「インクボトル交換のしかた」
	インクボトル口面のシ ールがはがれているか、汚 れています。	<p><b>重要</b> インクボトルは本機専用のものをご使用 ください。他のインクをご使用になると、故障やトラブルの原因になります。</p>
	インクボトル口面のシ ールには印刷に必要な情報が 入っています。情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 シールが貼ってあり、かつ汚れていない本機専用の インクボトルをセットしてください。	
【インクボトルをセットしてください】	インクボトルがセットさ れていないか、または正し くセットされていません。	インクボトルを正しくセットしてください。 ☞ P.256「インクボトル交換のしかた」
【製版ユニットカバーを閉めてください】	製版ユニットカバーが開 いているか、または正しく セットされていません。	製版ユニットを引き出して確認し、製版ユニットカバーをしっかりと閉じてください。
【製版ユニットが引き出せます】	製版ユニットが引き出せ る状態になっています。	製版ユニットを引き出してください。
【製版ユニット引き出しカバーが開けられま す】	製版ユニット引き出しカ バーが開けられる状態に なっています。	製版ユニット引き出しカバーを開けてください。
【製版ユニット引き出しカバーを閉めてくだ さい】	製版ユニット引き出しカ バーが開いているか、または正しく セットされていません。	製版ユニット引き出しカバーを確認し、しっかりと 閉じてください。
【製版ユニットをセットしてください】	製版ユニットがセットさ れていないか、または正し くセットされていません。	製版ユニットを正しくセットしてください。 ☞ P.253「マスター交換のしかた」
【ドラムが正しくセットされていません ドラム OK ボタンを押し、ボタンが点灯し てからドラムをいったん引き出してくだ さい】	ドラムが奥までセットさ れていない状態でロック されています。	ドラム OK ボタンを押し、ボタンが点灯してから ドラムを引き出して、セットしなおしてください。 ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」
【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください】	違うドラムがセットされ ています。	<p><b>重要</b> 正しいドラムをセットしてください。 ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」</p> <p>ドラムは本機専用のものをご使用ください。他のドラムをご使用になると、故障やトラブルの原因になります。</p>
【ドラムが引き出せます】	ドラムが引き出せる状態 になっています。	ドラムを引き出してください。

表示	原因	対処
【ドラムをセットしてください】	ドラムがセットされていないか、または正しくセットされていません。	ドラムを正しくセットしてください。 ☞ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」
【排版ボックスをセットしてください】	排版ボックスがセットされていないか、または正しくセットされていません。	排版ボックスを正しくセットしてください。 ☞ P.258「排版ボックスのマスターの処理」
【本体リアカバーが外れています サービス実施会社に連絡してください】	本体リアカバーが外れています。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【前カバーを閉めてください】	本機前カバーが開いているか、または正しくセットされていません。	前カバーアクセス用マグネットを確認して、しっかりと閉じてください。
【マスターが違います 正しいマスターをセットしてください】	違うマスターがセットされています。	正しいマスターをセットしてください。 ☞ P.253「マスター交換のしかた」
	マスター芯のマーク部がないか、切れたり傾いた状態になっています。	<b>重要</b> マスターは本機専用のものをご使用ください。他のマスターをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。 マスター芯のマーク部には、プリントに必要な情報が入っています。 情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 マーク部があり、かつ切れたり傾いた状態になっていない本機専用のマスターをセットしてください。
【マスターをセットしてください】	マスターがセットされていません。	マスターをセットしてください。 ☞ P.253「マスター交換のしかた」
【両面ユニットが引き出せます】	両面ユニットが引き出せる状態になっています。	両面ユニットを引き出してください。
【両面ユニットをセットしてください】	両面ユニットがセットされていないか、または正しくセットされていません。	両面ユニットを正しくセットしてください。

## メッセージが表示されたときは

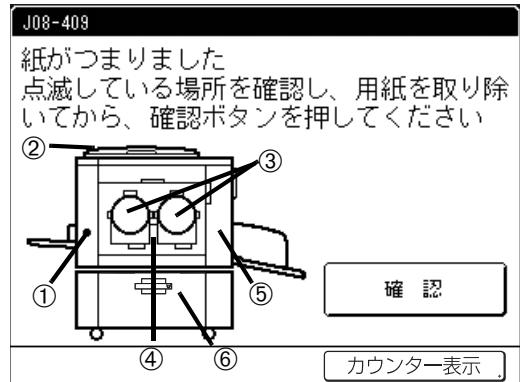
### ■ J00-000: 通紙ジャムエラー

本体内部や RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に、原稿および用紙が詰まったときに表示されます。通紙ジャムの発生箇所を、グラフィック上の点滅表示(①～④)でお知らせします。エラーが発生したときには、以下の該当する欄(①～④)を参照し、それぞれに対処してください。

#### 参考

通紙ジャムを防ぐために、印刷に適した用紙を使用してください。また、RISO オートフィーダーDX-1 に原稿をセットするときは、適切な原稿を使用してください。

- P.16「ご使用の前に／印刷用紙に関する注意」
- P.18「原稿に関する注意」

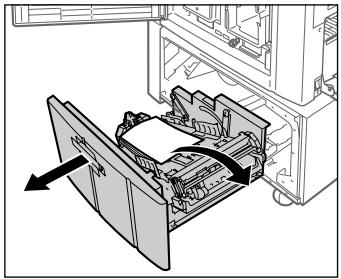
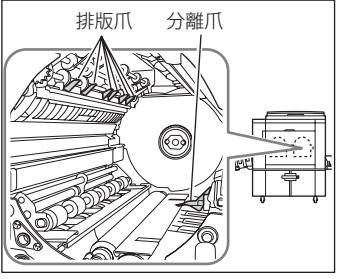


点滅箇所／表示	原因	対処
①	給紙側に用紙が詰まりました。	<p>① 紙側を確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。          ② &lt;確認ボタン&gt;を押してください。</p> <p><b>参考</b> 特殊な用紙の場合は、給紙圧調節レバーを紙質に合わせて調節してください。          → P.40「給紙台と用紙のセット」</p>
②	RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿が詰まりました。	<p><b>重要</b> ユニット内部のローラーには触らないよう注意してください。原稿の汚れや紙詰まりの原因となります。</p> <p>■ 原稿給紙部に詰まった原稿を取り除くとき          AF給紙カバーを開いて(①)、詰まった原稿を引き出してください(②)。</p>

点滅箇所／表示	原 因	対 処
(2)	RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿が詰まりました。	<p>■ 原稿搬送部に詰った原稿を取り除くとき AF 紙給力バーを開いて(①)、紙口ーラー部を図のように立ち上げます(②)。 内部のカバーを開いて(③)、詰った原稿を引き出してください(④)。</p>
	RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿が詰まりました。	<p>■ 両面搬送部に詰った原稿を取り除くとき AF 紙給力バーを開き(①)、原稿トレイを図のように立ち上げます(②)。 詰った原稿を引き出してください(③)。</p>

## メッセージが表示されたときは

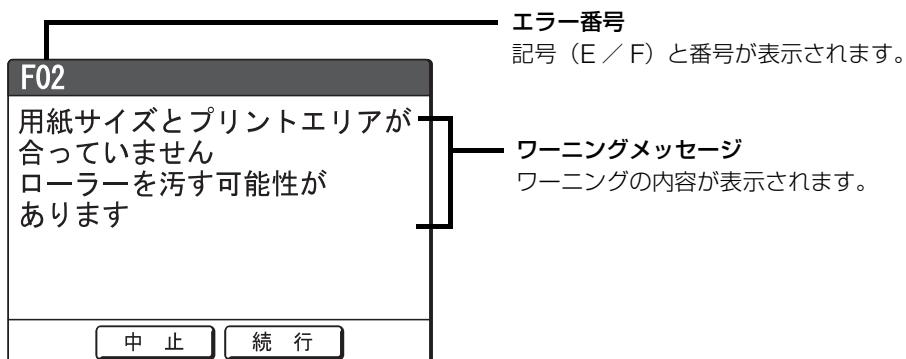
点滅箇所／表示	原因	対処
(3) (4)	ドラム周辺に用紙が詰まりました。	<p><b>①</b> ドラムを引き出してください。        ↗ P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」</p> <p><b>②</b> 詰まっている用紙を取り除いてください。</p> <p><b>③</b> ドラムをセットしなおしてください。</p> <p><b>④</b> &lt;確認ボタン&gt;を押してください。</p> <p><b>重要</b> 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際に は、分離爪や排版爪に触れないように注意し てください。爪の先端は鋭利にならっているの で、けがの原因になることがあります。</p>
(5)	正常に排紙できませんでした。	<p><b>①</b> 排紙側に詰まっている用紙がないか確認し、 詰まっている場合は取り除いてください。</p> <p><b>②</b> &lt;確認ボタン&gt;を押してください。</p> <p><b>参考</b> 特殊な用紙の場合は、排紙フェンスの紙揃え プレートを調節してください。        ↗ P.41「排紙台のセット」</p>

点滅箇所／表示	原因	対処
(6)	両面ユニット内で用紙が詰まりました。	<p>① ドラム 2 側を取り出してください。 P.260「ドラムのセット(カラーチェンジ)」</p> <p>② 両面ユニット引き出しボタンを押します。</p> <p>③ ボタンが点灯したら、両面ユニット引き出しバーを握って両面ユニットを引き出します。</p> <p>④ ユニット内にある用紙をすべて取り除きます。</p>  <p>⑤ ドラム 2 側への搬送部に用紙が詰まっているときは、ジャム解除ダイヤルを右の方向に回しながら、取り除きます。</p>  <p><b>重要</b> 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因になることがあります。</p> 

## メッセージが表示されたときは

### ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた

各種のワーニングメッセージが、専用のウインドウ上に表示されます。内容によって、続行が可能なものと、対処するまで続行が不可能なものがあります。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
E00 - 000	サービスコール	サービスマンによる電池交換や定期点検が必要なときに表示されます。	☞ P.280
F00 - 000	ワーニング メッセージ	操作パネルでの設定と、本機あるいは連携機の状態が適合せず、プリントできないときに表示されます。	☞ P.281

#### ■ E00-000: サービスコール(50 音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【定期点検の時期がきました サービス実施会社に連絡してください】	(原因) メンテナンスの時期がきたことをお知らせしています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。 ☞「アフターサービスについて」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	(原因) 本機内部の電池が切れかかっています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 ☞「アフターサービスについて」	<閉じるボタン>にタッチする (<リセット>キーを押しても解除できます。)

## ■ F00-000: ワーニングメッセージ(50音順)

表示	原因・対処	ワーニング解除方法
【「A4→ハガキ」変倍とAFは併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) 「A4→ハガキ」変倍設定時に、RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。	• <b>プリントを続行するとき</b> RISO オートフィーダーDX-1 から原稿を取り出し、原稿台ガラスにセットします。 • <b>プリントを中止するとき</b> <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【Prioa の情報を取得中です しばらくお待ちください】	(原因) 本機のシステムが、連携機(Prioa)の情報を取得している状態です。この間は、RLP モードでのプリントはできません。 (対処) 連携機(Prioa)の情報取得が終了してから、プリントを開始してください。 または、本機からプリントしてください。	<閉じるボタン>にタッチすると、ワーニングメッセージを消去して、元の画面に戻ります。 • <b>本機でプリントするとき</b> <製版>キーまたは<印刷>キーを押す • <b>連携機から出力するとき</b> システム情報の取得が終了するまでお待ちください。(数分かかる場合があります。)
【USB メモリがいっぱいのため、保存できません USB データの整理を行ってください】	(原因) USB メモリの空き容量がありません。 (対処) USB データを確認し、 unnecessary ジョブなどを削除してください。	<中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。) • <b>USB データを確認するとき</b> < USB データ選択ボタン>にタッチする。
【厚紙給紙アタッチメントが装着されているため 両面プリントできません 標準のアタッチメントに交換してください】	(原因) 厚紙用の給紙アタッチメントが取り付けられたまま、両面プリントしようとしています。 (対処) 標準アタッチメントに取り替えてからプリントしてください。 なお、両面プリントモードでは、「厚紙」は使用できません。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【いくつかの指定エリアの外周が用紙の外周より長いので 分版処理できません 大きすぎる指定エリアを いくつかの小さな指定エリアに書き直してやり直してください】	(原因) 指定されたエリアが使用する印刷用紙サイズよりも大きすぎます。 (対処) エリアを小さくするか、いくつかに分けて指定してください。	<OK ボタン>にタッチする
【印刷枚数が 0 枚のときは 本機で製版します】	(原因) 連携機(Prioa)接続時の「自動振り分け枚数」を「有効」に設定しているときに、印刷枚数 0 枚でプリントしようとしました。 (対処) 印刷枚数を入力してください。 ☞ P.190「初期設定を変更する [環境設定] / 自動振分枚数」	• <b>本機でプリントするとき</b> <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • <b>プリントを中止するとき</b> <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

## メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【エリア指定分版と AF は併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) エリア指定分版設定時に、RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【回転ソートに必要な用紙がセットされていません 同じサイズの用紙を別々のトレイに 縦向きと横向きにセットしてください】	(原因) 「回転ソート」を行うために適切なサイズの用紙が、用紙トレイにセットされていませんでした。 (対処) 適切なサイズの用紙を、連携機(Prioa)の別々のトレイに「縦置き」と「横置き」にセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【カウントチャージの集計日がきました 管理者へ連絡してください】	(原因) カウントチャージの集計日になりました。 (対処) 管理者に連絡してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【画像処理を追加するため再スキャンを実行します 原稿をセットしてスタートキーを押してください】	(原因) 原稿がセットされていません。 (対処) 原稿をセットしなおしてください	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【片方のドラムだけが省インク製版されています 二色印刷してよろしいですか?】	(原因) ドラム 1 または 2 のどちらかだけ、「省インク」で製版されています。 (対処) 「続行」にタッチするとそのまま印刷を行いますが、マスターの製版状況が 1 と 2 では異なるため、最適な状態での印刷はできません(どちらか 1 色が濃くまたは薄く印刷されてしまいます)。「中止」にタッチして、再度、両ドラムとも「省インク」または通常の製版をして印刷することをお勧めします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントを続行するとき &lt;続行ボタン&gt;にタッチする (&lt;スタート&gt;キーを押してもプリントできます。)</li> <li>● プリントを中止するとき &lt;中止ボタン&gt;にタッチする (&lt;ストップ&gt;キーまたは&lt;リセット&gt;キーを押しても解除できます。)</li> </ul>
【給紙圧調整レバーが「厚紙」になっているため両面プリントできません レバーの位置を「標準」にしてください】	(原因) 給紙圧調整レバーの位置が正しくありません。 (対処) 両面プリントをするときは、レバーの位置を「標準」に戻してください。なお、両面プリントモードでは、「厚紙」は使用できません。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

表示	原因・対処	ワーニング解除方法
【原稿サイズ検知の範囲外です オート変倍できません 変倍設定を行ってください】	(原因) 原稿サイズが検出できないため、 オート変倍が実行できません。 (対処) 変倍率を指定してください。	• 変倍設定するとき <変倍設定ボタン>にタッチする • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【原稿台カバーを閉じてください 原稿の位置がずれると正確な 編集結果を得られません】	(原因) 原稿台のカバーが開いています。 (対処) 原稿をセットして、原稿台カバー を閉じてください	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【原稿データと印刷用紙の サイズが合っていません 印刷用紙のサイズを 確認してください】	(原因) パソコンから送信された原稿データと印刷用紙のサイズが合っていません。 (対処) 印刷用紙のサイズを確認し、必要に応じてサイズを変更してください。	• プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【原稿を検知できません 原稿を再セットしてください】	(原因) 原稿を検知できませんでした。または、原稿がセットされていません。 (対処) 原稿をセットしなおしてください。	• プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【現在、他の処理作業中のため 分版処理できませんでした しばらくしてから やり直してください】	(原因) 現在、他の処理作業中のため分版 処理できません。 (対処) 処理作業が終わるまで、しばらく お待ちください。	<OKボタン>にタッチする
【現在セットされている用紙では 4頁冊子できません 適切な定形用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットさ れているため、4頁冊子機能が使 えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてく ださい。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。)
【現在セットされている用紙では Nアップできません 適切な定形用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットさ れているため、Nアップ機能が使 えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてく ださい。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。)

## メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【現在セットされている用紙では 小冊子できません 適切な定形用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットされているため、小冊子機能が使えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【現在セットされている用紙では 設定できません 適切な定形用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットされているため、とじしろ機能が使えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【現在セットされている用紙では 連写できません 適切な定形用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットされているため、連写機能が使えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてください。 ☞ P.40「給紙台と用紙のセット」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【現在の原稿と印刷用紙では オート変倍できません 変倍設定を行ってください】	(原因) セットした原稿と印刷用紙ではオート変倍できません (対処) 定形用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>変倍設定を指定するとき</b> &lt;変倍設定ボタン&gt;にタッチし、倍率を指定する</li> <li>• <b>プリントを中止するとき</b> &lt;中止ボタン&gt;にタッチする (&lt;ストップ&gt;キーまたは&lt;リセット&gt;キーを押しても中止できます。)</li> </ul>
【現在の変倍率では製版可能サイズに入りきらない可能性があります 確認してください】	(原因) 原稿サイズが製版可能サイズを超えている可能性があります。 (対処) 変倍率を指定してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>変倍設定するとき</b> &lt;変倍設定ボタン&gt;にタッチする</li> <li>• <b>プリントを続行するとき</b> &lt;続行ボタン&gt;にタッチする (&lt;スタート&gt;キーを押してもプリントできます。)</li> <li>• <b>プリントを中止するとき</b> &lt;中止ボタン&gt;にタッチする (&lt;ストップ&gt;キーまたは&lt;リセット&gt;キーを押しても中止できます。)</li> </ul>
【検知された原稿サイズが 4頁冊子の適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】	(原因) セットした原稿のサイズでは4頁冊子機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

表示	原因・対処	ワーニング解除方法
【検知された原稿サイズが N アップの適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】	(原因) セットした原稿のサイズでは N アップ機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください ➡ P.92「1枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [面付け]」	• 原稿サイズを指定するとき <原稿サイズ指定ボタン>にタッチし、原稿サイズを指定する • プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【検知された原稿サイズが 小冊子の適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】	(原因) セットした原稿のサイズでは小冊子機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【検知された原稿サイズが連写の 適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】	(原因) セットした原稿サイズでは「連写」機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください。 ➡ P.82「1枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写]」	• 原稿サイズを指定するとき <原稿サイズ指定ボタン>にタッチし、原稿サイズを指定する • プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【ご使用のインクの 在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします インク色:】	(原因) ご購入されたインクやマスターの在庫数が、「在庫確認数」より少なくなりました。 ➡ P.189「初期設定を変更する [環境設定] / サプライ在庫管理」 (対処) 必要があればインクやマスターを発注してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【ご使用のマスターの 在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします】		<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【このサイズの用紙には 2色プリントできません B5(タテ)以上の用紙を セットしてください】	(原因) 本機では、B5 サイズよりも小さい用紙には、2色印刷できません。 (対処) 縦方向が B5 サイズ(257 mm)よりも長い用紙をセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

## メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【このサイズの用紙には ドラム 2 側で プリントできません 使用するドラムを 1 側にセットし、モード選択を やり直してください】	(原因) ドラム 2 を使用して 1 色プリント する場合、使用できる用紙サイズ に制限があります。現在セットさ れている用紙サイズでは、ドラム 2 での 1 色印刷はできません。 (対処) ドラム 2 をいったん取り外し、ド ラム 1 側に入れ替えてください。 ドラム 2 で 1 色印刷できる用紙サ イズは P.16「印刷に使用できる用 紙について」をご覧ください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。)
【このサイズの用紙には 両面プリントできません A4(タテ)以上の用紙をセットしてく ださい】	(原因) 両面プリントに使用できないサイ ズの用紙がセットされています。 (対処) 使用できる用紙サイズを確認して ください。 ☞ P.16「印刷用紙に関する注意」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。)
【指定エリアの形が 複雑すぎるので 分版処理できませんでした エリアを指定し直して やり直してください】	(原因) 指定されたエリアの形が複雑で処 理できません。 (対処) ペン枠の形がギザギザしてい たり、ペン枠どうしが接觸してい たりすると、ペン枠として認識され ません。枠が明確にわかるように、 なるべく単純な形に指定してく ださい。 ☞ P.110「[エリア指定分版]、[ト レース分版]についての注意」	<OK ボタン>にタッチする
【指定エリアの数が多すぎるので 分版処理できません 指定エリアを減らして やり直してください】	(原因) 指定エリアの数が制限を超えてい ます。 (対処) 1 枚の原稿に指定できるペン枠の 数は最大 20 個です。エリア数を減 らしてください。	<OK ボタン>にタッチする
【指定されている変倍率から 用紙サイズを特定できません 用紙トレイを選択してください】	(原因) 連携機(Prioa)で現在の変倍率に 適した用紙サイズがありません。 (対処) 適切な用紙サイズがセットされて いるトレイを選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>用紙選択するとき</b> &lt;用紙選択ボタン&gt;にタッチし、用紙トレイ を選択する</li> <li>● <b>プリントを中止するとき</b> &lt;中止ボタン&gt;にタッチする (&lt;ストップ&gt;キーまたは&lt;リセット&gt;キー を押しても中止できます。)</li> </ul>

表示	原因・対処	ワーニング解除方法
【自動振分できません 選択中の Prioa にエラーが発生しているか、電源が入っていない可能性があります】	(原因) 「自動振分枚数」の設定が「有効」で、印刷枚数入力により RLP モードに切り換わったときに、現在選択している連携機(Prioa)にエラーが発生しています。 (対処) 連携機(Prioa)のエラーを解除してから、再度プリントを行ってください。 または、別の連携機に切り換えてプリントするか、本機からプリントしてください。 ☞ P.190「初期設定を変更する [環境設定]／自動振分枚数」	• 製版画面に戻るとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても戻ることができます。) • 利用可能な別の連携機に切り換えるとき <Prioa 変更ボタン>にタッチして、「RLP 切替」画面で他の連携機を選択する (他に利用可能な連携機がない場合は、<Prioa 変更ボタン>は表示されません。) ☞ P.240「複数の連携機をネットワーク接続しているとき」
【上限に達しました これ以上利用できません】	(原因) 管理者が設定した上限印刷／製版枚数に達しました。 (対処) 管理者に連絡してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【ジョブの色指定と ドラム 1 のカラーが異なります ドラムを交換してください】	(原因) プリンタドライバで設定された色指定と、異なる色のドラムがセットされています。 (対処) そのままの色で続行するときは「続行」にタッチしてください。ドライバでの色指定を無視して、現在セットされているドラムの色で製版／印刷を開始します。 ドライバの指定通りに印刷する場合は「中止」にタッチし、ドラムを交換してください。	• プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【ジョブの色指定と ドラム 2 のカラーが異なります ドラムを交換してください】	(原因) プリンタドライバで設定された色指定と、異なる色のドラムがセットされています。 (対処) そのままの色で続行するときは「続行」にタッチしてください。ドライバでの色指定を無視して、現在セットされているドラムの色で製版／印刷を開始します。 ドライバの指定通りに印刷する場合は「中止」にタッチし、ドラムを交換してください。	• プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

## メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【ジョブの色指定と ドラムカラーが異なります ドラムを交換してください】	(原因) プリントドライバで設定された色 指定と、異なる色のドラムがセッ トされています。 (対処) そのままの色で続行するときは 「続行」にタッチしてください。ド ライバでの色指定を無視して、現 在セットされているドラムの色で 製版／印刷を開始します。 ドライバの指定通りに印刷する場 合は「中止」にタッチし、ドラムを 交換してください。	● プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) ● プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。)
【スキャンできません 外部 CI が接続されていないか 接続処理中です 確認してください】	(原因) 外部コントローラとの接続不良、 または接続処理中のため、スキャ ンモードが使用できません。 (対処) 外部コントローラが正しく接続さ れているか確認してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても中止できます。)
【適切なサイズの用紙が Priva にセットされていません 用紙をセットするか 用紙トレイを選択して スタートキーを押してください】	(原因) 検知した原稿サイズに適合するサ イズの用紙が連携機にセットされ ていません。 (対処) 用紙を確認し、適切なサイズの用 紙を連携機にセットしてくださ い。	● 手差しトレイを使ってプリントするとき <手差しボタン>にタッチする(A3 サイズ で出力されます。) ● 用紙を選択してプリントするとき <用紙選択ボタン>にタッチする ● プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。)
【ドラム 1 を交換してください 1 側には、両面印刷可能な インクが入ったドラムを セットしてください】	(原因) 現在セットされているインクで は、両面印刷できません。 (対処) 両面印刷可能なインクがセットさ れているドラムを、1 側にセットし てください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。)
【ドラム 2 で 1 色印刷するには ドラム 1 を機密処理するか、 ドラム 2 をドラム 1 側へセット して、モード選択を行います】	(原因) ドラム 2 側で 1 色印刷しようとし ています。 (対処) ドラム 1 を機密にするか、ドラム 2 をいったん取り外し、ドラム 1 側に入れ替えてください。	● ドラム 1 を機密にするとき <1 側機密ボタン>にタッチする ● ドラムをセットしなおすとき <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。)
【ドラムにマスターがついていません 製版を行ってください】	(原因) ドラムにマスターが付いていない 状態で印刷しようとしています。 (対処) 原稿をセットして、製版を行って ください。	<閉じるボタン>にタッチする <b>重要</b> ドラムにマスターがついていない状 態で放置するとドラムが乾いて故障 の原因となります。必ず、製版または 「機密」を行ってマスターを巻きつけ てください。

表示	原因・対処	ワーニング解除方法
【中綴じできるサイズの用紙がセットされていません】	(原因) RLP モードで、「中綴じ」を「ON」に設定して<スタート>キーを押したときに、連携機(Prioa)の用紙トレイに適切なサイズの用紙がセットされていませんでした。 (対処) 連携機のトレイに、以下のいずれかの用紙をセットしてください: A3、A4(縦)、Ledger、Letter(縦)	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【ネットワークカードを起動中ですしばらくお待ちください】	(原因) RISO Network Card が起動しています。 (対処) しばらくお待ちください。 または、本機からプリントしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<リセット>キーを押しても解除できます。)
【パソコンからのジョブを処理しています ジョブ処理中はこの機能は使用できません】	(原因) パソコンから指示された原稿データの受信中です。 ジョブの処理中は、RLP モードおよびスキャンモードは使用できません。 (対処) ジョブの受信・出力が終了してから、プリントを再試行するか、本機から出力してください。	<閉じるボタン>にタッチする
【必要なサイズの用紙が RLP にセットされていません 用紙を確認してください】	(原因) 検知した原稿サイズに適合するサイズの用紙が連携機(Prioa)にセットされていません。 (対処) 用紙サイズを確認し、適切なサイズの用紙を連携機にセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>手差しを選択するとき</b> 「MP トレイ」を選択し、A3 サイズ固定で出力する</li> <li>• <b>用紙選択するとき</b> 用紙選択画面で用紙サイズを選択する</li> <li>• <b>プリントを中止するとき</b> &lt;中止ボタン&gt;にタッチする (&lt;ストップ&gt;キーまたは&lt;リセット&gt;キーを押しても中止できます。)</li> </ul>
【ブックモードと AF は併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) ブックモード設定時に、RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

## メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【不定形原稿では、オートトレイ選択できません 用紙トレイを選択して 再スタートしてください】	(原因 1) 連携機(Prioa)接続時で、不定形の原稿をセットしているときに、「オート」で印刷用紙を選択しようとしています。 (対処) 連携機の用紙トレイを選択してください。 (原因 2) 定形サイズの原稿の場合は、セット位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正しい位置にセットしなおして下さい。	● <b>用紙トレイを選択するとき</b> <用紙選択ボタン>にタッチし、用紙トレイを選択する ● <b>プリントを中止するとき</b> <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【不定形原稿では オートサイズ選択できません 保存データサイズを選択して 再スタートしてください】	(原因 1) スキャンモードで不定形の原稿をセットしているときに、「オート」で読み取りサイズを選択しようとしています。 (対処) サイズを選択してください。 (原因 2) 定形サイズの原稿の場合は、セット位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正しい位置にセットしなおして下さい。	● <b>保存サイズを指定するとき</b> <保存サイズボタン>にタッチする ● <b>スキャンを中止するとき</b> <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【ホールドメモリがいっぱい のため、保存できません ホールドデータの整理を行ってください】	(原因) メモリーカード DM128CF の空き容量がありません。 (対処) ホールドデータを確認し、 unnecessary ジョブなどは削除してください。	<中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。) ● <b>ホールドデータを確認するとき</b> <ホールド一覧ボタン>にタッチする。
【本機の温度が低いため 「ハイスピード」は 使用できません】	(原因) 使用環境の温度が低い場合には「ハイスピード」は使用できません。 (対処) 印刷機本体内部の温度が 15 °C 以上になるまで、通常の印刷速度でご使用ください。 「続行」にタッチすると、通常のスピードで印刷を開始します。 「中止」にタッチすると、印刷基本画面に戻ります。	● <b>プリントを続行するとき</b> <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) ● <b>プリントを中止するとき</b> <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【マスターが違います 正しいマスターをセット してください】	(原因) 現在セットされているマスターでは、両面印刷できません。 (対処) 製版ユニットを引き出し、両面印刷に適したマスターに交換してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

表示	原因・対処	ワーニング解除方法
【用紙が重送された可能性があります 印刷物を確認してください】	印刷物を確認してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。) • <b>重送検知を解除するとき</b> <重送検知 OFF ボタン>にタッチし、白黒反転から通常の状態にする
【用紙サイズとプリントエリアが合っていません ローラーを汚す可能性があります (続行は試し刷りキー)】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセットしてください。	• <b>本機でプリントするとき</b> <試し刷り>キーを押す • <b>プリントを中止するとき</b> <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【用紙サイズとプリントエリアが合っていません ローラーを汚す可能性があります】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセットしてください。	• <b>本機でプリントするとき</b> <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーまたは<試し刷り>キーを押してもプリントできます。) • <b>プリントを中止するとき</b> <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【利用枚数の集計日がきました 管理者へ連絡してください】	(原因) 利用枚数の集計日になりました。 (対処) 管理者に連絡してください。 ➡ P.180「各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【両面モードで製版し直してください 現在のマスターは両面印刷用に製版されていません】	(原因) 現在ドラムに装着されているマスターは、両面印刷用に製版されていません。 (対処) <モード>キーを押して、両面プリントモードを選択し、製版からやり直してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【両面モードではこの用紙は使用できません 用紙重さ(厚さ)が 適正範囲を超えています 用紙を交換してください】	(原因) 厚紙(または色が濃く、厚めの用紙)を通紙しようとしています。 (対処) 使用できる用紙の重さを確認してから印刷してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【 - プロテクト - 現在のマスターを破棄します】	(原因) 「プロテクト」設定が有効になっています。 (対処) 必要に応じて機密を実行してください。 ➡ P.199「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」	• <b>機密をするとき</b> <実行するボタン>にタッチする • <b>機密をしないとき</b> <実行しないボタン>にタッチする

## メッセージが表示されたときは

### 消耗品情報入力画面が表示されたときは

本機は、最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報(マッチング情報)を得ています。マッチング情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品情報入力画面が表示されます。適切な設定値を入力してください。

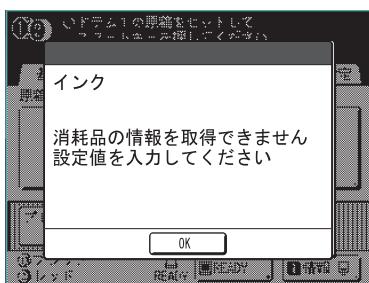
このとき、 の  アイコンはグレー表示になります。

 「 <  情報ボタン>について」(P.252)

#### 参考

- 入力した設定値が不適切でも通常動作には問題ありませんが、プリントの仕上がりが悪くなることがあります。
- 次のような操作を行った場合、[消耗品情報入力ウィザード]画面で設定した情報が消失するため、再度、消耗品情報の入力が必要となります。
  - 電源スイッチを「OFF」にして、再度「ON」したとき
  - スリープ状態になった後
  - <ウェイクアップ>キーを押したとき

### ■ インク情報入力画面が表示された場合



インクのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。  
<OK>にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してください。

画面表示	設定内容	設定値
<p>消耗品情報入力ウィザード インク情報の入力 (ドラム1)</p> <p>【H1】インク色設定</p> <p> 1 : ブラック     2 : カラー</p> <p>次へ&gt;</p>	<p>【H1】インク色設定(ドラム 1 の場合) 【H7】インク色設定(ドラム 2 の場合) 現在使用しているドラムと同じ色を選択します。</p>	1:黒 2:カラー
<p>消耗品情報入力ウィザード インク情報の入力 (ドラム1)</p> <p>【H2】印刷濃度微調整</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>&lt;戻る 次へ&gt;</p>	<p>【H2】印刷濃度微調整(ドラム 1 の場合) 【H8】印刷濃度微調整(ドラム 2 の場合) インクに合わせて、適正な印刷濃度になるように、微調整を行います。</p>	1(薄い)～5(濃い)

画面表示	設定内容	設定値
<p>消耗品情報入力ウィザード インク情報の入力(ドラム1)</p> <p>【H3】ファーストプリント印刷濃度調整</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>&lt;戻る 次へ&gt;</p>	<p>【H3】ファーストプリント印刷濃度調整 (ドラム 1 の場合) 【H9】ファーストプリント印刷濃度調整 (ドラム 2 の場合) インクに合わせて、ファーストプリントの印刷濃度の調整を行います。</p>	1(薄い)～5(濃い)

消耗品情報入力ウィザード  
インク情報の入力(ドラム1)

以下の入力内容でよろしいですか?  
設定値を確認して、スタートキーを押してください

項目	設定値
【H1】インク色設定	1
【H2】印刷濃度微調整	3
【H3】ファーストプリント印刷濃度調整	3

<戻る

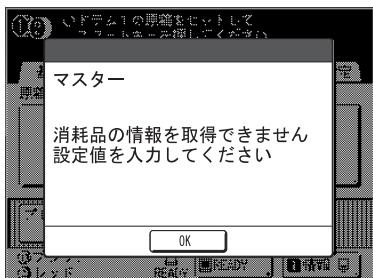
設定が終了すると、確認画面が表示されます。  
設定値を確認し、<スタート>キーを押してください。  
基本画面に戻ります。

**参考**

マスター情報入力画面が表示された場合は、引き続き  
適切な設定値を入力してください。  
P.294「■ マスター情報入力画面が表示された場合」

## メッセージが表示されたときは

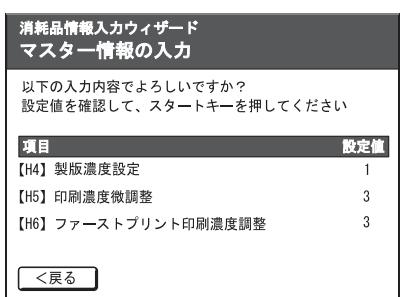
### ■ マスター情報入力画面が表示された場合



マスターのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。

<OKボタン>にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してください。

画面表示	設定内容	設定値
	【H4】製版濃度設定 マスター製版時における基準濃度の設定を行います。	1(薄い)～10(濃い)
	【H5】印刷濃度微調整 マスターに合わせて、適正な印刷濃度になるように、微調整を行います。	1(薄い)～5(濃い)
	【H6】ファーストプリント印刷濃度調整 マスターに合わせて、ファーストプリントの印刷濃度の調整を行います。	1(薄い)～5(濃い)



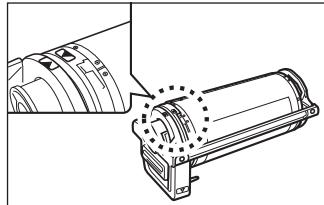
設定が終了すると、確認画面が表示されます。

設定値を確認し、<スタート>キーを押してください。  
基本画面に戻ります。

# 「故障？」と思ったとき

「故障かな？」と思ったときには、サービスマンに連絡をする前に、次の表から原因を確認し対処してください。

状況	原因	対処
電源を入れても起動しない	スリープ状態(節電モード)を電源「OFF」と誤解して、電源スイッチを押していませんか?	もう一度、電源スイッチを押してください。電源スイッチを押す前に、操作パネルの<ウェイクアップ>キーを確認してください。<ウェイクアップ>キーが点灯しているときはスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押すとスリープが解除され、操作が可能な状態になります。
	電気は通じていますか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが本機とコンセントに確実に接続されているか確認してください。</li> <li>商用電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。</li> </ul>
前カバーが閉まっているのに、エラーメッセージが消えない	前カバーは完全に閉まっていますか?	前カバー下のマグネットが付くように、完全に閉めてください。
給紙台が閉まらない	給紙フェンスは左右いっぱいに広がっていますか?	電源を入れて、給紙台を最下部まで下げてください。その後、給紙フェンスロックレバーを解除して、給紙フェンスを左右いっぱいに広げてから給紙台を閉じてください。 ☞ P.40「給紙台と用紙のセット」
	給紙台が最下部まで下がりきる前に電源を「OFF」にしていませんか?	
ドラムが入らない	正しい停止位置にドラムを回転させていますか?	手動でドラムを回転させたときは、作業後必ず▶マークと◀マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。
	ドラムをレールに正しくセットしていますか?	ドラムを正しくセットしてください。 ☞ P.261「ドラムのセットのしかた」
消耗品(インク、マスター)をセットしたのにエラーメッセージが消えない	消耗品(インク、マスター)を正しくセットしていますか?	インクボトルを差し込んで、右方向(🔒)に回し、ロックしてください。 または、セットしなおしてください。 ☞ P.256「インクボトル交換のしかた」
	消耗品情報のないインクボトルをセットしていませんか?	マスター芯の <i>i</i> マークがある方を左にしてセットしてください。 ☞ P.253「マスター交換のしかた」
	消耗品情報のないマスターをセットしていませんか?	インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。はがしてしまった場合は、新しいインクボトルをセットしてください。 ☞ P.256「インクボトル交換のしかた」



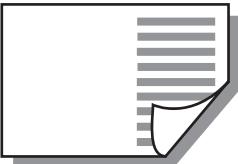
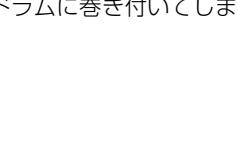
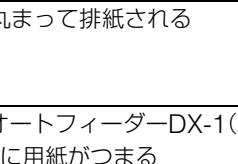
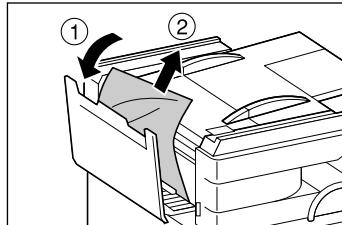
## 「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
排版ボックスが取り出せない	「プロテクト」設定が「ON」になっていませんか？ 排版ボックスのロックレバーは解除されていますか？	「プロテクト」設定が「ON」の場合、通常の状態では排版ボックスを取り出すことができません。 ➡ P.199「印刷済みのマスターを安全に管理する〔プロテクト〕」 排版ボックスロックレバーを右にスライドして、ロックを解除してください。 排版ボックスが施錠されている場合は、管理者に連絡して南京錠を開錠してください。 ➡ P.258「排版ボックスのマスターの処理」
出てきた用紙が真っ白で何も印刷されていない	原稿面の表裏を逆にしてセットしていませんか？	原稿面を下にしてセットしてください。
プリントの一部が欠けてしまう	原稿台ガラスやRISOオートフィーダーDX-1(オプション)のスキャナーガラスが汚れていますか？ マスターに何か付いていませんか？ 製版時に、給紙台にセットされている用紙サイズと原稿サイズが合っていますか？ 製版時に、給紙台の給紙フェンスが用紙にぴったりと合っていますか？	原稿台ガラスやスキャナーガラスを柔らかい布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ➡ P.265「お手入れのしかた」 ドラムを引き出して、マスターに何か付いているときは取り除いてください。 マスターとドラムの間に異物が挟まっているときは、マスターをはがし異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットし、製版しなおしてください。 給紙台に原稿サイズと同じサイズの用紙をセットしてから製版を行ってください。 製版サイズは給紙台に載せている用紙のサイズ(給紙フェンスの幅と用紙の長さ)で決定しています。製版時、原稿サイズよりも小さいサイズの用紙を給紙台にセットしていると、原稿全体を製版することができません。
プリントされた用紙に白い縦線に入る	製版ユニット部のサーマルヘッドやRISOオートフィーダーDX-1(オプション)のスキャナーガラスに、ちりや修正液などが付いていませんか？	サーマルヘッドやスキャナーガラスを柔らかい布などで軽く拭いてください。 サーマルヘッドを拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想サーマルヘッドクリーナーの使用をおすすめします。 ➡ P.265「お手入れのしかた」
排紙台に用紙がきれいに揃わない	排紙フェンス、ストッパーの位置は適切ですか？ 紙揃えプレートを適切にセットしていますか？	排紙フェンスとストッパーは用紙サイズに合わせてください。厚い用紙のときは少し広めにセットしてください。 ➡ P.41「排紙台のセット」 紙揃えプレートを適切にセットしてください。 ➡ P.41「排紙台のセット」

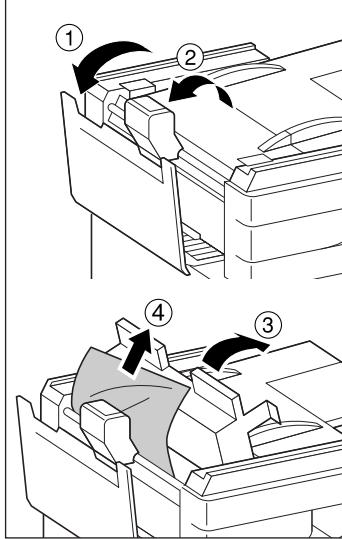
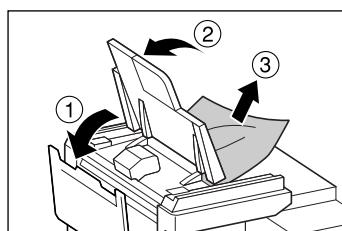
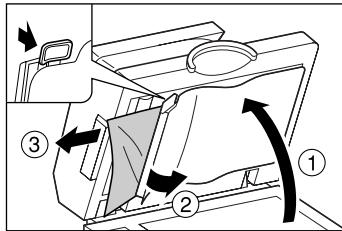
状況	原因	対処
プリントされた用紙に地汚れが出る	新聞など、地色のある原稿を使用していませんか？	「読み取り濃度」を薄くして製版しなおしてください。 ➡ P.70「原稿の読み取り濃度を選択する〔読み取り濃度〕」
プリントされた用紙に汚れが印刷される	原稿台ガラスやRISOオートフィーダーDX-1(オプション)のスキャナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスキャナーガラスを柔らかい布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ➡ P.265「お手入れのしかた」
プリントされた用紙の縁(フチ)がインクで汚れる	製版時、原稿よりも大きなサイズの用紙を給紙台にセットしていませんか？	原稿と同じサイズの用紙を給紙台にセットして製版しなおしてください。原稿よりも大きなサイズを読み取って製版するときに、原稿台カバーがしっかりと閉じていないと原稿の縁が影として製版されます。
	「フルサイズ製版」していませんか？	または、下記で紹介しているセロハンテープを貼る方法で対処してください。
	はがきなど厚い用紙を印刷しているとき、用紙の角がマスターにあたつてマスターを傷付けていませんか？	製版しなおしてください。 またはドラムを引き出して、マスターが傷付いている部分にセロハンテープを貼って対処してください。 なお、マスターにセロハンテープを貼ると、排版時にマスターが正常に排版されないことがあります。ご了承ください。
紙がつまっていないのにエラーメッセージが表示される	舞い上がった紙が、ドラム2回転目で出てきていませんか？	印刷物を確認し、上部に余白が5mm以上ないときは印刷位置を少し下げてください。
	日光が本機に直接あたっていませんか？	日光が本機に直接あたると、センサーが誤検知することがあります。 カーテンなどで光を遮るか、日光が直接あらない場所に本機を移動してください。
パソコンから原稿データを送信したとき、原稿データが複数ページであるにもかかわらず、1ページごとに製版を繰り返す	プリンタドライバの設定で「部単位で印刷」を選択していませんか？	現在のデータのジョブを削除し、「部単位での印刷」のチェックをはずしてから、原稿データを送信しなおしてください。 ➡ P.58「パソコンデータをプリントする〔ダイレクトプリント〕〔USBメモリ〕」 ➡ P.63「出力指示の変更」
パソコンから原稿データを送信したが本機がデータを受信しない。	ディスプレイに「環境設定」画面が表示されていませんか？	「終了」にタッチして「環境設定」画面から基本画面に切り替えてください。
<スタート>キーが点灯している	受信データが出力待ちの状態ではありませんか？	<スタート>キーを押して印刷してください。

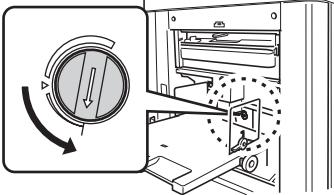
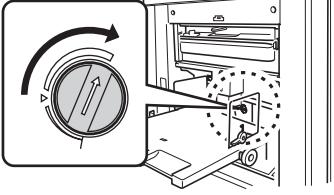
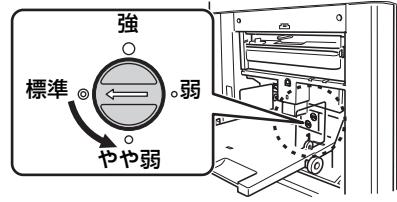
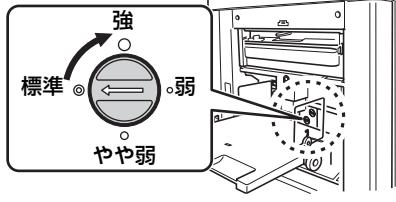
## 「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
	用紙の裏がインクで汚れる プレスローラーがインクで汚れていますか？	ドラムを取り外して、プレスローラーを柔らかい布などで拭いてください。拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーのご使用をおすすめします。 ☞ P.265「お手入れのしかた」 また、印刷位置が用紙からはみ出ると、プレスローラーを汚す原因となります。「印刷位置調整」で印刷位置が用紙におさまるようにしてください。
	給紙フェンスは用紙の幅に合っていますか？	給紙フェンスを用紙の幅に合わせてください。 給紙フェンスが用紙幅に合っていないと、用紙サイズより余分に製版してしまうことがあります。 ☞ P.40「給紙台と用紙のセット」
	インクの乾きが悪い用紙を使っていませんか？	インクが乾く前に次の用紙が排紙されて、裏移りしています。 用紙を変えるか、「省インク」「インターバル印刷」をお試しください。 ☞ P.81「インクを節約する〔省インク〕」 ☞ P.127「裏移りを少なくする〔インターバル印刷〕」
	プリントが薄い文字がかずれる 本機を使用しない状態が長時間続いた後に、プリントしていませんか？	本機を長時間使用しないと、ドラム表面のインクが乾きます。この状態でプリントすると、印刷物が薄くなったり、かずることがあります。 <試し刷り>キーを押して、何枚か印刷してから使用してください。 「アイドリング」機能をご利用になると便利です。 ☞ P.168「アイドリングをする〔アイドリング〕」
	原稿自体が薄くありませんか？	「読み取り濃度」を濃くして製版しなおしてください。 ☞ P.70「原稿の読み取り濃度を選択する〔読み取り濃度〕」 えんぴつ書き原稿のときは、「原稿モード」で「えんぴつ」を設定してください。 ☞ P.68「原稿に適したモードを選択する〔原稿モード〕」
	本機の使用環境またはインクの保管場所の温度が低温(15 °C以下)ではありませんか？	常温の場所にしばらく置いてから使用してください。 ☞ P.14「使用環境について」
	「省インク」を設定していませんか？	「省インク」を設定すると、印刷の仕上がりが通常よりも薄くなります。 ☞ P.81「インクを節約する〔省インク〕」

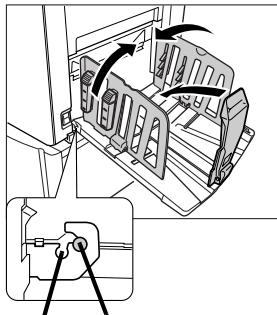
状況	原因	対処
	連写されずに片面が何も印刷されない ブザーが鳴って[次の原稿をセットし、スタートキーを押してください]と表示されている間に原稿をセットしましたか？	「連写」でプリントすると、連写待ち時間にブザーが鳴ります。その間に原稿をセットしてください。 原稿台ガラスに原稿をセットしていて、ブザーが鳴らずに2枚目の原稿が読み込まれてしまうときは、「環境設定」で「連写待ち時間」の設定を変更してください。 ☞ P.188「初期設定を変更する [環境設定]／連写待ち時間」
	原稿読み込み中に<ストップ>キーを押しませんでしたか？	原稿読み込み中に<ストップ>キーを押すと、作業を中止します。すべての原稿が読み込まれるまで、<ストップ>キーを押さないでください。
用紙がドラムに巻き付いてしまう 	原稿上部または印刷物上部の余白は十分に取っていますか？	原稿上部(印刷物の排紙方向先端)には5mm以上の余白が必要です。印刷の天地位置を下げて印刷してください。印刷位置が下げられないときは、原稿の余白を取って製版しなおしてください。 ☞ P.71「原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]」
	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ☞ P.16「印刷用紙に関する注意」
	原稿上部に大きなベタ面がありませんか？	原稿上部に大きいベタ面があると、排紙されにくくなります。原稿のセット方向を逆にして、製版しなおしてください。
用紙が丸まって排紙される 	排紙方向が横目(紙の繊維の流れ)になる印刷用紙をセットしていませんか？	印刷用紙は、排紙方向が縦目(紙の繊維の流れ)になる印刷用紙をセットしてください。
RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に用紙がつまる 	RISO オートフィーダー内部に用紙が引き込まれていませんか？	以下の手順で、引き込まれている用紙を取り除いてください。  <b>重要</b> ユニット内部のローラーには触らないよう注意してください。原稿の汚れや紙詰まりの原因となります。  <b>原稿給紙部</b> AF給紙カバーを開いて(①)、詰まった原稿を引き出してください(②)。 

## 「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に用紙がつまる	RISO オートフィーダー内部に用紙が引き込まれていませんか?	<p><b>原稿搬送部</b>            AF 給紙カバーを開いて(①)、給紙ローラー部を図のように立ち上げます(②)。            内部のカバーを開いて(③)、詰まった原稿を引き出してください(④)。</p> 
		<p><b>原稿反転部</b>            AF 給紙カバーを開き(①)、原稿トレイを図のように立ち上げます(②)。            詰まった原稿を引き出してください(③)。</p> 
		<p><b>原稿排出部</b>            原稿台カバーを上げ(①)、解除レバーを手前に倒しながら(②)、詰まった原稿を引き出してください(③)。</p> 

状況	原因	対処
<ul style="list-style-type: none"> <li>給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)</li> <li>紙粉が多い</li> <li>用紙が重送する</li> <li>厚紙やハガキなどが空送する</li> <li>ハガキの裏面がめくれる</li> </ul>	<p>さばき板角度は適切ですか？</p>	<p>状況に応じてさばき板角度を調整してください。 <b>さばき板角度の調整</b></p> <p><b>■ 用紙が空送するとき</b> ダイヤルを左に回してください。</p>  <p><b>■ 用紙が重送するとき</b> ダイヤルを右に回してください。</p>  <p><b>重要</b> 調整を行うときは、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してから行ってください。</p>
	<p>紙さばき圧の調整は適切ですか？</p>	<p>紙粉が出やすい用紙、空送する、ハガキの裏面がめくれる場合</p> <p>ダイヤルを左に回してください。</p>  <p><b>用紙が重送する場合</b> ダイヤルを右に回してください。</p>  <p><b>重要</b> 調整を行うときは、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してから行ってください。</p>
	<p>機能一覧の「特殊給紙調整」は正しく設定されていますか？</p>	<p>「特殊給紙調整」を調整してください。調整方法につきましては、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。</p>

## 「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
排紙台のストッパーを越えて、用紙が飛び出してしまう		<p>以下の手順で、排紙台の角度を水平にして、ご使用ください。</p> <p>① 排紙台フェンス・ストッパーをたたんでください。</p> <p>② 排紙台の左右を両手で持ち上げて、排紙台の軸を排紙台軸受けの B の位置に移動させてください。</p> <p>通常は、A の位置でご使用ください。</p>  <p>B 用紙が飛び出すとき A 通常位置</p>
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	印刷用紙は適切ですか？	<p>推奨範囲の用紙を使用してください。</p> <p>☞ P.16「印刷用紙に関する注意」</p>
	給紙圧調節レバーの位置は適切ですか？	<p>厚紙や滑りやすい用紙のときは、給紙圧調節レバーを「厚紙」にセットしてください。</p> <p>☞ P.40「給紙台と用紙のセット」</p>
名入れ / 両面合成で原稿とホールドデータの出力向きが異なる	ホールドデータを保存するときに、原稿を原稿台ガラスにセットしましたか？	<p>ホールドする原稿は原稿台ガラスにセットしてください。また、原稿サイズが A4 サイズ以下の場合は、原稿のセット向きを「左方向」にしてください。</p> <p>☞ P.206「紙原稿をデータ保存する〔スキャンモード〕」</p>

# 付録

- 304 消耗品について
- 305 オプションについて
- 306 仕様
- 309 索引

# 消耗品について

本機で使用できる消耗品は次のとおりです。

## ■ 専用消耗品

マスター、インクなどの消耗品は、下記の当社指定の本機専用消耗品を使用してください。  
不適切な消耗品の使用は故障やトラブルの原因となりますのでおやめください。

種類	MD6650W
マスター	RISO マスターD タイプ HG(1ロール 220 版相当) <sup>*1</sup>
インク	RISO インク D タイプ HG(黒) RISO インク D タイプ HG(レッド、ブルー、ライトレッド、ミディアムブルー) <sup>*2</sup>

\*1 プリントモードにより異なります。

\*2 色の種類については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

当社指定の本機専用消耗品は、製造年月より 18 力月(常温保存)以内を目安にご使用ください。より良い状態でお使い頂くため、購入後はできるだけ早めに、ご使用頂くことをお薦めいたします。

消耗品の製造年月は、インクボトル表面、マスター芯内側にそれぞれ記載してあります。

## ■ 印刷用紙について

印刷用紙は、機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」、「理想環境用紙」の使用をおすすめします。

- 仕様、種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 詳細については、本体お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

# オプションについて

本機をより便利に使用するために、さまざまなオプションを用意しています。  
お求めの際はお買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)へお問い合わせください。

<b>RISO オートフィーダーDX-1</b>	最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができ、両面原稿の読み取りも可能です。
<b>カラードラム</b>	ドラムを交換するだけで簡単に多色刷りができます。(専用ケース付き)
<b>カードカウンター IV:N</b>	一定期間ごとやカードごとにプリント枚数の集計やマスター使用枚数などがワンタッチで確認でき、コスト管理に便利です。また、部門ごとのプリント枚数やマスター使用枚数の記録を取ることができます。
<b>ST ソーター IV:N II</b>	プログラム機能との併用で、自動的にグループごとにテープを差し込み、印刷物の仕分けが簡単に行えます。
<b>RISO Network Card</b>	本機をネットワークに接続するためのオプションです。 各パソコンから印刷機の状態を確認できるモニタリングソフトウェア(RISO-MONITOR)が付いています。
<b>コインベンダーCV-1</b>	2色印刷に対応した、硬貨投入式のセルフサービス用課金システムです。
<b>カードベンダーCR-1</b>	2色印刷に対応した、プリペイドカード挿入式のセルフサービス用課金システムです。
<b>排紙台(W)</b>	最大 340mm × 555mm の印刷用紙に対応する排紙台です。
<b>給排紙カバーキット 2COLOR</b>	動作時の給排紙の音や、機械音を抑えるためのカバーです。
<b>厚紙給紙アタッチメント</b>	ハガキなどを給紙するためのユニットです。
<b>封筒給紙アタッチメント</b>	封筒を給紙するためのユニットです。

# 仕様

## MD6650W

製版方式	高速デジタル製版
製版時間 (すべて A4 縦等倍時)	2色同時:約 57 秒、 ドラム 1 のみ製版時:約 24 秒、 ドラム 2 のみ製版時:約 34 秒(ドラム 1 本セット時) 両面時:約 59 秒
印刷方式	全自動孔版 2 色同時印刷(両面対応)
原稿の種類	ブック(10kg 以下)/シート
原稿紙質	原稿台ガラス使用時:50g/m <sup>2</sup> ~ 128g/m <sup>2</sup> (43 ~ 110kg 連量:四六判)紙 RISO オートフィーダーDX-1 使用時: 片面搬送時:40g/m <sup>2</sup> ~ 128g/m <sup>2</sup> (35 ~ 110kg 連量:四六判)紙 両面搬送時:52g/m <sup>2</sup> ~ 105g/m <sup>2</sup> (45 ~ 90kg 連量:四六判)紙
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時:最小 50mm × 90mm ~ 最大 310mm × 432mm RISO オートフィーダーDX-1 使用時:最小 105mm × 128mm ~ 最大 297mm × 432mm
用紙紙質	46g/m <sup>2</sup> ~ 210g/m <sup>2</sup> (40 ~ 180kg 連量:四六判)紙 両面プリント時:62g/m <sup>2</sup> ~ 68g/m <sup>2</sup> (53 ~ 58.5kg 連量:四六判)紙
用紙サイズ	<b>【両面プリント】</b> 使用できるサイズ、向き:A4 縦※1、B4 縦※1、A3 縦※1 <b>【2色プリント】</b> 最小:182mm × 257mm(B5 サイズ) 最大:320mm × 432mm ※2 <b>【1色プリント(ドラム 1 使用)】</b> 最小:100mm × 148mm(ハガキサイズ) 最大:320mm × 432mm ※2 <b>【1色プリント(ドラム 2 使用)】</b> 最小:182mm × 257mm(B5 サイズ) 最大:320mm × 432mm ※3
印刷面積	最大 291mm × 413mm
給紙台積載枚数	1,000 枚(64g/m <sup>2</sup> (55kg 連量:四六版)紙使用時、積載高さ 110mm 以下)
排紙台積載枚数	1,000 枚(64g/m <sup>2</sup> (55kg 連量:四六版)紙使用時、積載高さ 110mm 以下)
排紙揃え方式	ドミノ排紙方式
印刷速度	1色/2色プリント時:60 ~ 150 枚/分(操作パネル:5段階可変、タッチパネル:ハイスピード) 両面プリント時:60 ~ 100 枚/分(操作パネル:3段階可変)
印刷位置調整	天地(上下)左右:± 10mm
原稿モード	文字/写真(標準/顔写真/集合写真)/文字写真(文字優先/写真優先/下地カット)/えんぴつ(こいぬ/うすめ)
印刷倍率	ズーム(50 ~ 200%)、等倍、拡大 4 段階(163%、141%、122%、116%)、 縮小 4 段階(87%、82%、71%、61%)、周囲余白率縮小(90 ~ 99%)、A4 縦→ハガキ、B5 縦→ ハガキ(A4 縦→ハガキ、B5 縦→ハガキは 1 色プリント時のみ)
操作	対話式大型液晶パネル・プログレスバー付テンキー入力

各種機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プリントモード(両面／2色／1色)</li> <li>• ダイレクトプリント</li> <li>• 用紙サイズ検知</li> <li>• コントラスト強調</li> <li>• 連写(かんたん／1原稿／多原稿／チケット)</li> <li>• 面付け(Nアップ／4頁冊子／小冊子)</li> <li>• とじしろ製版</li> <li>• シングル製版</li> <li>• 印刷位置調整</li> <li>• インターバル印刷</li> <li>• プログラム印刷(3種類)</li> <li>• アイドリング</li> <li>• AFオート製版※4</li> <li>• 認証POP登録</li> <li>• 省エネモード(オートスリープ、オートシャットOFF)</li> <li>• 自動振り分け機能※5</li> <li>• 用紙サイズ登録</li> <li>• USBメモリ※6</li> <li>• RLP出力※5</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RISOオートフィーダーDX-1(オプション)</li> <li>• 原稿読取濃度調節(マニュアル／オート)</li> <li>• 両面設定</li> <li>• トーンカーブ選択</li> <li>• 連続</li> <li>• 省インク</li> <li>• ブックモード</li> <li>• かんたん分版</li> <li>• 印刷速度調節</li> <li>• 試し刷り</li> <li>• 特殊用紙設定</li> <li>• 機密</li> <li>• 刷り面入替</li> <li>• 180度回転</li> <li>• 自動90度回転</li> <li>• レイアウト原稿</li> <li>• プレビュー表示</li> <li>• 印刷濃度調節</li> <li>• 重送検知</li> <li>• 認証設定</li> <li>• 占有延長</li> <li>• 逆順印刷</li> <li>• 利用枚数集計</li> <li>• 刷り色入替</li> <li>• POP／お気に入り登録</li> <li>• スキャンモード</li> <li>• ホールド</li> <li>• 名入れ</li> <li>• 両面合成</li> <li>• RISO iQuality System</li> </ul>			
	<p><b>使用できない機能</b></p> <p>両面プリント：かんたん分版、AFオート製版、AF読取面指定、オーバーレイ、インターバル印刷 名入れ、デジタイザ、刷り色入替</p> <p>2色プリント：両面設定、①=②濃度追従、面付け(4頁冊子／小冊子)、刷り面入替、 オーバーレイ、両面合成</p> <p>1色プリント：両面設定、①=②濃度追従、面付け(4頁冊子／小冊子)、かんたん分版、 シングル製版、①=②位置追従、刷り面入替、名入れ、両面合成、刷り色入替</p>			
カラーチェンジ	カートリッジ式ドラム変換			
インク供給	全自動(1,000ml／本)			
マスター給・排版	全自动(約220版／ロール)			
マスター排版方式	水平排版方式(排版容量80版)			
電源容量	AC100V、50/60Hz、7.3A			
定格消費電力	600W			
本体サイズ	使用時：1,625(幅)×735(奥行)×1,140(高さ)mm 収納時：1,005(幅)×735(奥行)×1,140(高さ)mm			
質量※7	約256kg			
安全性	IEC60950-1準拠 屋内 汚染度2※8 標高2000m以下			
付属品	保証書1部 取扱説明書一式 使用許諾契約書1部 [RISO Printer Driver]ソフトウェアCD-ROM一式 理想ステージクリーナー1袋 電源コード1本 取説ケース1個			

オプション	RISO オートフィーダーDX-1 カラードラム カードカウンター IV:N ST ソーター IV:N II RISO Network Card コインベンダーCV-1 カードベンダーCR-1 排紙台(W) 給排紙カバーキット 2COLOR 厚紙給紙アタッチメント
-------	---

- ※ 1 天地方向に長い向き
- ※ 2 長尺使用時は、320mm × 555mm
- ※ 3 長尺モード使用時は、天地 555mm まで使用できます。ただし、ドラム 2 のみの 1 色プリント(ドラム 1 取り出し)で、印刷速度がハイスピードのときは 364mm までになります。
- ※ 4 RISO オートフィーダーDX-1 使用時
- ※ 5 連携機(Prioa)登録時のみ
- ※ 6 USB メモリ接続時
- ※ 7 質量には、インク、マスターおよび架台は含みません
- ※ 8 空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと。「2」は一般的な室内環境。

### おことわり

- 機械の改良、変更等により、本書の図版や記載事項とお客様の機械が、一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書で使用されている名称や用語をアルファベット順／50音順で記載しています。

## Symbols

+キー	22
×キー	22
*キー	22

## Numerics

180 度回転	179
1 原稿プログラム	149
①=②位置追従	123
①=②濃度追従	118
4 頁冊子	92, 97

## A

AF オート製版	175
AF オート製版基本	186
AF 紙力バー	20
AF 読取面指定	176
AF 読取面変更	186

## C

CI 切替	187
C キー	22

## N

N アップ	92, 94
-------	--------

## O

OP 連続自動設定	186
-----------	-----

## P

POP	194
POP エリア	28
POP 登録	185

## R

RISO Network Card	15, 16, 234, 305
RISO Printer Driver	16
RISO オートフィーダー DX-1	20, 43, 176, 305
RISO クリーナー（ティッシュタイプ）	264
RLP 基本画面	25
RLP 情報取得時間	190
RLP 情報設定	190, 235
RLP 接続設定	190
RLP モード	27, 234, 239
RLP 両面待ち時間	190

## S

ST ソーター	305
---------	-----

## U

USB スロット	21, 57
USB メモリ	
認証方式	57, 137, 138, 140, 142

プリント	61
保存データ	204, 212

## あ

アースの接続	12
アイドリング	168
赤色分版	107
網点	78
暗証番号	57, 137, 138, 140, 142
安全上のご注意	12

## い

色ドラム自動振分設定	190
インク	13
インクキャップ留め	21, 257
インク情報入力画面	292
インクの節約	81
インクボトル	21, 256
印刷位置調整キー	23, 123
印刷位置調整ランプ	23, 123
印刷位置調節	123
印刷キー	23
印刷基本画面	25
印刷時に設定する機能	3, 119
印刷速度基本設定	186
印刷速度調節	120
印刷速度調節キー	23, 120
印刷速度調節ランプ	23, 120
印刷濃度基本設定	186
印刷濃度調節	122
印刷濃度調節キー	23, 122
印刷濃度調節ランプ	23, 122
印刷範囲	17
印刷用紙	16
インターバル印刷	127

## う

ウェイクアップキー	23
-----------	----

## え

液晶表示調整	185
エリア指定分版	108

## お

オートアイドリング	56, 189
オートクリア設定	188
オート再製版	169, 171
オート再製版設定	189
オーバーレイ	215, 216
お気に入り	194
お気に入り登録	185
お手入れ	

RISO オートフィーダー DX-1	
スキャナーガラス	266
ホワイト版	266

外装部	267
原稿台ガラス	265
原稿パッド	265
サーマルヘッド	265
プレスローラー	266
オプション	305
オプションエリア	29
<b>か</b>	
カードカウンター	305
外部 CI 情報設定	187
カウンター	21
書き込み分版	107
書き込み分版（インク）	107
拡大	71
各部の名称とはたらき	20
紙揃えプレートノブ	21, 42
カラードラム	305
カラー モード	27
環境設定	185
かんたん分版	106, 111, 158
かんたん連写	82, 87
<b>き</b>	
起動アニメ選択	185
機能一覧	2
基本画面	25, 28
基本機能エリア	28
機密	166
逆順印刷	173
給紙圧調節レバー	20, 40
給紙台	20
セットのしかた	40
閉じかた	41
給紙台上下ボタン	20, 41
給紙フェンス	20, 40
<b>く</b>	
クリーナー	264
<b>け</b>	
原稿セットフェンス	20
原稿台	
セットのしかた	43
原稿台カバー	20
原稿台ガラス	20, 43, 265
原稿の余白	18
原稿排出トレイ	20
原稿パッド	20, 265
原稿表示方向基本	190
原稿モード	68
えんぴつ	68
写真	68
文字	68
文字・写真	68
原稿モード基本設定	185
<b>こ</b>	
故障	295
固定変倍	71, 72
コントラスト強調	79
こんなときには	269
<b>さ</b>	
サーマルヘッド	21, 265
サーマルヘッドクリーナー	264
再製版	169, 170
最大印刷範囲	17
最低印刷枚数	189
サブツールバー基本	190
サプライ在庫管理	189
<b>し</b>	
次原稿待ち時間	188
自動 90 度回転	187
自動振分	234
自動振分枚数	190
シャット OFF 時刻	188
ジャム解除ダイヤル	21, 279
周囲余白	71, 72
周囲余白縮小率	187
重送検知	126
重送検知基本設定	186
受信ジョブ自動振分	190
仕様	306
省インク	81
省エネ モード	188
使用環境	14
小冊子	92, 97
使用色基本設定	190
情報ボタン	28, 252
消耗品	
一覧	304
インクボトルの交換	256
交換	251
残量の確認	252
ドラムの交換	260
廃棄	262
マスターの交換	253
マスターの処理	258
初期画面設定	185
初期設定の変更	191
ジョブ情報表示エリア	29
ジョブ操作ボタンエリア	29
ジョブリスト表示切替	185
シングル製版	116

**す**

- ズーム変倍 ..... 71, 73  
 スキャナーガラス ..... 266  
 スキャン基本画面 ..... 25  
 スキャンモード ..... 27, 206  
 スタートキー ..... 23  
 ステージクリーナー ..... 264  
 ステータスエリア ..... 28, 29  
 ストップバー ..... 21, 41  
 ストップキー ..... 23  
 刷り面入替 ..... 172  
 刷り面入替基本 ..... 186

**せ**

- 製版キー ..... 23  
 製版基本画面 ..... 25  
 製版工程 ..... 32, 34, 36  
 製版時に設定する機能 ..... 2, 67  
 製版範囲 ..... 17  
 製版ユニットOKボタン ..... 21, 253  
 製版ユニットカバー ..... 21, 253  
 製版ユニット引き出しカバー ..... 21, 253  
 製版ユニット引き出しレバー ..... 21, 253  
 製版ユニットレバー ..... 21, 253  
 設置場所 ..... 12, 14  
 占有延長 ..... 167  
 占有延長時間 ..... 188  
 占有時間 ..... 188  
 専有面積 ..... 14

**そ**

- 操作パネル ..... 20, 22

**た**

- 多原稿プログラム ..... 150  
 タブエリア ..... 28, 29  
 試し刷り ..... 125  
 試し刷りキー ..... 23

**つ**

- ツールバー左右基本 ..... 190

**て**

- ディスプレイ ..... 20, 22, 24  
 テープ仕分け基本設定 ..... 186  
 デジタイザ分版 ..... 109, 113  
 テンキー ..... 22  
 電源スイッチ ..... 21, 40

**と**

- トーンカーブ選択 ..... 80  
 特殊給紙調整 ..... 128, 129  
 特殊排紙調整 ..... 128, 130  
 エアブロー ..... 128, 130  
 分離ファン ..... 128, 130

- 分離ファンプラス ..... 130  
 特殊排紙調整基本 ..... 186  
 特殊用紙設定 ..... 128  
 独立変倍 ..... 71, 72  
 とじしろ ..... 103  
 ドラム1 ..... 21, 260  
 ドラム2 ..... 21, 260  
 ドラムOKボタン ..... 21, 260  
 ドラムレバー ..... 21, 260  
 ドリル印刷 ..... 150, 158  
 トレース分版 ..... 108

**な**

- 名入れ ..... 215, 218  
 名入れ用データ ..... 187

**に**

- 日時設定 ..... 188  
 認証POP登録 ..... 183  
 認証有無 ..... 138, 141  
 認証画面 ..... 57  
 認証ジョブ ..... 60  
 認証設定 ..... 136, 189  
 管理者／ユーザーの登録 ..... 142  
 グループ設定 ..... 144  
 名称入力 ..... 143, 147  
 利用停止 ..... 145  
 利用枚数の上限設定 ..... 144  
 認証プリント ..... 136  
 認証方式 ..... 137, 138, 140

**は**

- 排紙ウイング ..... 21, 128  
 排紙ウイング特殊 ..... 128, 129  
 排紙ウイング特殊基本 ..... 186  
 排紙台 ..... 21  
 セットのしかた ..... 41  
 閉じかた ..... 42  
 排紙フェンス ..... 21, 41  
 ハイスピード ..... 121  
 排版ボックス ..... 20, 21, 258  
 パソコンとの接続 ..... 15

**ひ**

- 表示言語 ..... 185

**ふ**

- フォルダ基本設定 ..... 186  
 フォルダ名変更 ..... 187  
 ブザー音 ..... 190  
 ブックモード ..... 100  
 不定形原稿サイズ固定 ..... 187  
 不定形サイズ ..... 196  
 プリント  
 1色プリント ..... 53

2色プリント	49
出力指示	63
ダイレクトプリント	58
停止タイミング	65
流れ	32, 34, 36
両面プリント	45
プリントエリア	17
プリント準備	40
プリントモード	27
フルサイズ製版	105
プレスローラー	266
プレビュー表示	114
付録	303
プログラム	149
プログラムキー	22, 151
プログレスバー	23
プロテクト	189, 199
分版ボタン登録	185
<b>へ</b>	
変倍基本設定	186
変倍設定	71
<b>ほ</b>	
ホールド	212
移動	231
紙原稿をホールドする	206
呼び出し	212
コピー	231
ホワイト板	266
本機 IP アドレス設定	187
本体認証	136
<b>ま</b>	
枚数カウンター	22
マスター	21, 253, 258
マスターガイド	21, 254
マスター情報入力画面	294
マスター ロールストッパー	21, 254
<b>め</b>	
名称入力画面	156
メッセージ	
エラーメッセージ	270
ワーニングメッセージ	280
メッセージエリア	28
メモリー	161
消去	165
登録	162
名称入力	164
呼び出し	163
面付け	92
<b>も</b>	
モード	27
モードキー	22, 24
モード選択画面	24
モード表示エリア	28
<b>よ</b>	
用紙サイズ	74
用紙サイズ登録	187, 196
用紙の保管	17
用紙ボタン	29
余白	18
読取濃度	70
読取濃度基本設定	185
<b>り</b>	
リセットキー	23
理想 USB メモリマネージャー	16
理想集計アプリケーション	16
リソグラフクリーナー	264
利用枚数集計	180, 181
お知らせ日設定	181
集計出力	180, 181
両面合成	215, 224
両面合成用データ	187
両面設定	75
両面ユニット	20
両面ユニット引き出しボタン	20, 279
両面ユニット引き出しレバー	20, 279
<b>れ</b>	
レイアウト原稿	102
連携機	233
オプション機能	241
両面	245
連写	82
1 原稿連写	85, 88
多原稿連写	86, 88
チケット連写	90
連写待ち時間	188
連続	77
連続キー	23, 77
連続基本設定	186
連続モード	29

# アフターサービスについて

## 無償修理

保証期間中の修理の場合は必ず保証書をご提示ください。  
保証期間は商品購入日より1年以内もしくはトータルカウンター表示が  
100万枚までのいずれか早期に達した方とし、その期間中において、本  
書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されてい  
る保証規定に則り無償修理いたします。

## 有償修理

保証期間をすぎた場合は有償となります。  
また、次の場合は保証期間内であっても有償となりますのでご了承ください。

- 保証書のご提示がない場合
- 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、不当な修理、改造等による故障や損傷
- 当社認定のテクニカルリソグラフマン以外の者による修理が行われた場合
- 当社推奨消耗品をお使いいただけないことに起因する故障
- ドラムの色変更に要する作業
- 有償部品の交換
- ご購入後の輸送、移動等による故障や損傷
- 火災、地震、その他天災地変による故障や損傷
- 上記以外で当社の責任でない原因で生じた故障や損傷

## 有償部品

プラテンロール、サバキ板、ピックアップロール、スクレーパー、  
排版ベルト、プレスロール、OAパット、排紙除電ブラシ、  
ドラムブロックシート、ドラムシールテープ、除電バー、  
TPH除電ブラシ、着版ブラシ、3次給紙ロール、4次給紙ロール、  
3次搬送ベルト、排紙サクションベルト、クリーニングロール

## 専用消耗品

RISO マスターD タイプHG  
RISOインクDタイプHG（黒）  
RISOインクDタイプHG（レッド、ブルー、ライトレッド、  
ミディアムブルー）

## 修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場  
合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。  
その際は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

本製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、本製品の  
製造終了後、最低7年間保有しています。インク・マスターは、本製品の  
製造終了後、最低7年間提供しています。

- 本機では、当社の定める研修を受講し、テクニカルリソグラフマンと認  
定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理  
を依頼される際には必ずテクニカルリソグラフマン認定証の提示を求  
め、該当するテクニカルリソグラフマンであることをご確認ください。  
また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処  
置（操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意）をご確認くだ  
さい。完全に処置できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービ  
ス会社）にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などを  
できるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票をご捺印ください。

## 使用済み製品について

本製品には、ご使用後に回収し部品の再使用（リユース）や再利用（リサ  
イクル）をおこなうシステムがあります。また、このシステムで活用でき  
ない部分は環境への負荷が少ない方法で処理するシステムがあります。

アフターサービスについてのご不明な点、またはサービスサポートメニュー  
や製品についての詳細は、お買い上げの販売会社（あるいは  
保守・サービス会社）にお問い合わせください。また、お問い合わせはお客様相談室  
（➡ 次ページ）でも受け付けております。



### お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては  
**お客様相談室 ☎ 0120-534-881**

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバ/ソフトアプリケーションの操作に関しては

**サポートセンター ☎ 0120-229-330**

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

 理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6666

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>